Pioneer sound.vision.soul

プラズマディスプレイシステム

PDP-A503HD
PDP-A433HD-U
PDP-A433HD-S

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
(インターネット対応携帯電話からもご利用できます。)

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

もくじ

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。
●お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●本機の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
●お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒にして大切に保管してください。

はじめに

設置と準備

テレビを楽しむ 73

BS・110度CSデジタル放送を楽しむ 99

次ページへつづく

もくじ(つづき)

BS・110度CSデジタル放送を楽しむ(つづき)

他の機器をつないで使う 169

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書では、プラズマディスプレイシステムを「本機」と表現しています。
※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

プラズマパネルの保護機能について

- 写真やコンピューター画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。
  これはプラズマパネルの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
  この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

プラズマパネルの画素について

- プラズマディスプレイは、微細な画素の集合で表示していますが、ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがありますので、あらかじめご了承願います。

ご注意

パネルの焼き付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面が焼き付く恐れがあります。
  焼き付きにはつぎの2つの原因があります。

1. 電気負荷の残留による残像
   輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像ができることがあります。
   これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。
2. 焼き付きによる残像
   プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。
   この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。

- 省エネ機能の消費電力設定により、焼き付きの発生を軽減することができます。（**97**ページ参照）

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜け

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

⚠警告

設置

本機には設置用のスタンドが付属していません。本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

注意

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを乗せてしまうことがあります。重いものを乗せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

禁止

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V 以外禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

使用方法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこり除去

安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告

使用方法

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

禁止

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。

禁止

⚠ 注意

設置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取りつけてください。

注意

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

放熱を良くするため、他の機器・壁等から以下の間隔をとり設置してください。

パネル本体:10cm以上

メディアレシーバー:左右5cm以上

また、つぎのような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 横倒しにする。(メディアレシーバーの縦置き設置を除く)
- 逆さまにする。

禁止

ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

注意

移動させる場合は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜け

⚠注意

設置

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機のディスプレイは質量が約39kg(PDP-A503HD)/約32kg(PDP-A433HD)あり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プラグを抜け

ディスプレイはガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

例えば、3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意

ディスプレイ背面にある通気孔は、1カ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。
また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。

注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

確実に差す

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、電源を「切」にした後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。

プラグを抜け

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

使用環境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。

注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜け

使用方法

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

静止画像等、同じ絵がらを長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき残像として残る場合があります。

注意

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

電池をリモコン内にセットする場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

注意

乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

禁止

電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

禁止

長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池を取り出せ

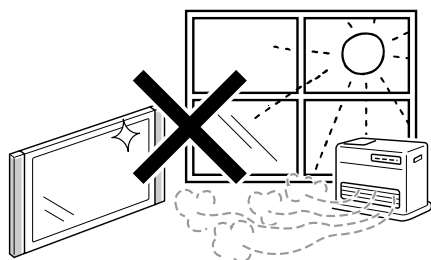
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

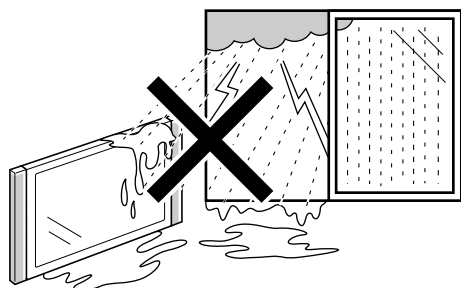
注意

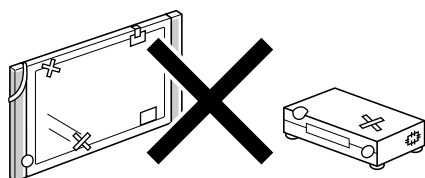
使用上のご注意

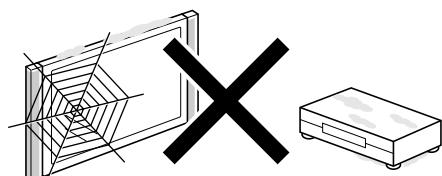
守っていただきたいこと

直射日光・熱気は避けてください

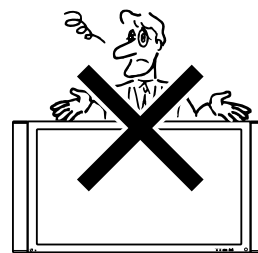
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

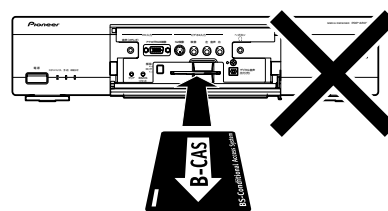
- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

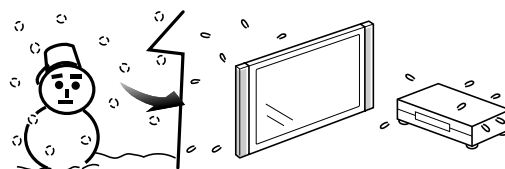
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

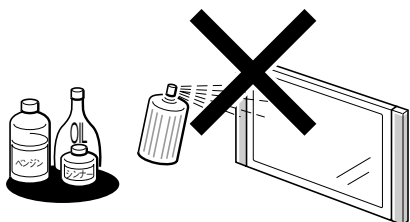
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

結露（つゆつき）について

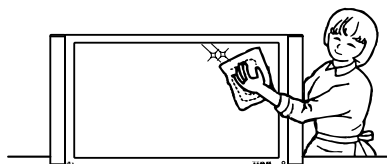
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

使用上のご注意(つづき)

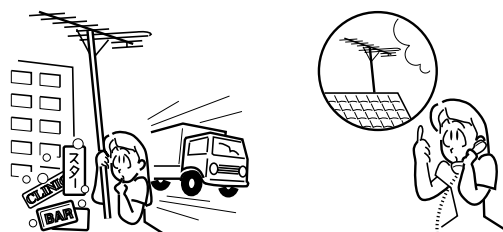
守っていただきたいこと

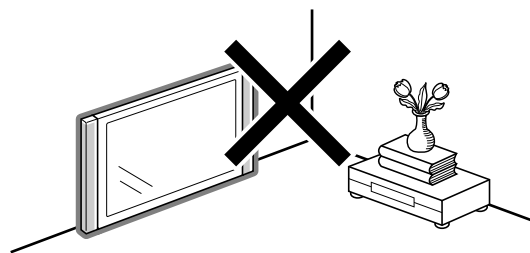
キャビネットのお手入れのしかた

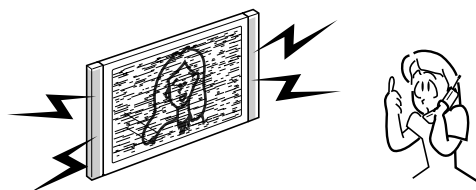
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- 本機のディスプレイパネルの表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナ線には、必ず衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。
- 本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

本機の特長

高輝度・高画質を追求したハイビジョンプラズマディスプレイシステム

- 新開発「ディープワッフル構造リブ」パネル採用により、高輝度を実現。
- 新開発「ピュアカラーフィルター」採用により、明るい場所での高コントラストと、原画に忠実で鮮やかな発色を実現。
- 水平 1280 ×垂直 768 画素の高精細ハイビジョンパネル採用。（PDP-A503HD）
- 水平 1024 ×垂直 768 画素の高精細ハイビジョンパネル採用。（PDP-A433HD）
- 「スムース CLEAR 駆動法」採用により、暗いシーンでの豊かな階調表現を実現。

BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナーを搭載

- 高画質＆多チャンネルの BS デジタル放送サービス（BS デジタルテレビ放送、BS データ放送、BS ラジオ放送）及び 110 度 CS デジタル放送サービスにも対応。
- デジタルネットワークを実現する i.LINK 端子 2 系統搭載。（D-VHS デッキ対応）
- AACデジタル音声出力対応。AACデコーダ内蔵AVアンプの接続により迫力のサラウンド効果を実現可能。

高精細と省エネの両立

- 高精細パネル搭載モデルでは困難だった省電力化を実現。
- さらに節電に役立つ機能として、【消費電力】設定、【無信号オフ】機能、【無操作オフ】機能、そして PC 入力時の【パワーマネジメント】機能の 4 つの機能が設定可能。
- 省電力化により放熱のためのファンが不要となり、静音化も実現。（ディスプレイ部）

その他

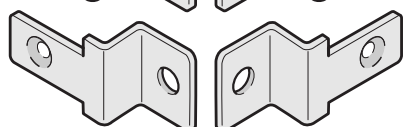
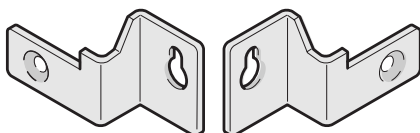
- D4 端子 2 系統、PC 入力をはじめとする豊富な入出力端子。
- BS・110度CSデジタル放送、地上放送のテレビ視聴に機能を限定した簡単リモコン付属。

付属品

スピーカー部

（PDP-A433HD-U のスピーカー付属品については、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。）

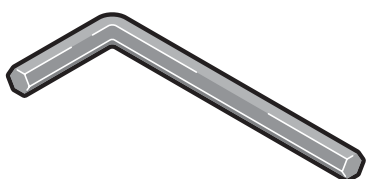
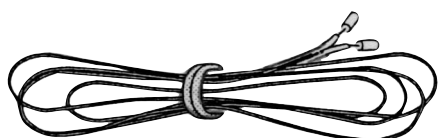
スピーカー取付金具
（取り付けかた→ **26** ページ）

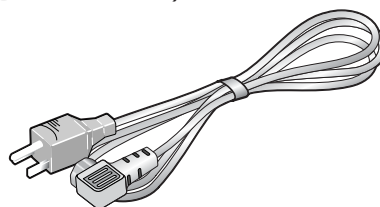
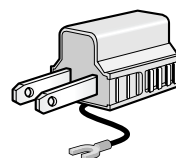
上部用× 2

下部用× 2

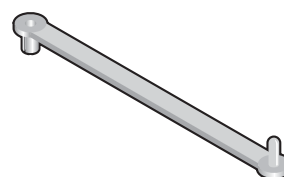
スピーカー取付ネジ類
（取り付けかた→ **26** ページ）

× 4

× 4

取付工具（六角レンチ）× 1
（使いかた→ **26** ページ）

スピーカーケーブル× 2
（使いかた→ **30** ページ）

ディスプレイ部

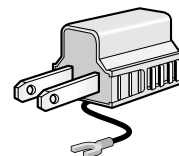
電源コード（1.8m、3ピン）× 1
（使いかた→ **29** ページ）

AC 変換プラグ× 1 （使いかた→ **29** ページ）

ワイピングクロス（前面パネルを拭く布）× 1
（使いかた→ **12** ページ）

スピードクランプ× 3 （使いかた→ **31** ページ）

ビーズバンド× 3 （使いかた→ **31** ページ）

保証書
ユーザー登録用紙
ご相談窓口・修理窓口のご案内
故障かな？と思ったら

ご注意 B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

メディアレシーバー部

リモコン× 1
(使いかた→ **20、21** ページ)

簡単リモコン× 1
(使いかた→ **22** ページ)

システムケーブル(3m)×1
(使いかた→ **29** ページ)

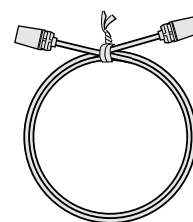
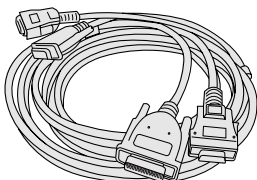
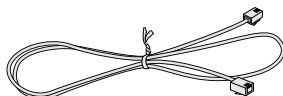
電話線(10m)×1 (使いかた→ **56** ページ)

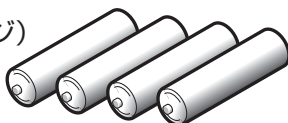
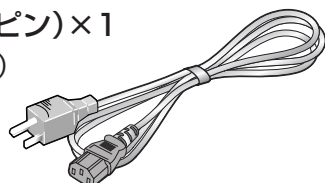
モジュラー分配器×1
(使いかた→ **56** ページ)

単4乾電池×4
(使いかた→ **21、22** ページ)

電源コード(1.8m、3ピン)×1
(使いかた→ **29** ページ)

AC変換プラグ×1
(使いかた→ **29** ページ)

アンテナケーブル(1.5m)×1
(使いかた→ **32** ページ)

ビデオコントローラー(1.8m)×1
(使いかた→ **176** ページ)

縦置用スタンド×1
(使いかた→ **26** ページ)

シール(長丸)×4
(使いかた→ **26** ページ)

縦置スタンド固定用ネジ×2
(使いかた→ **26** ページ)

BS・110度CSデジタル用品一式
- B-CASカード
- ユーザー登録カード
- 加入申込みパンフレット

取扱説明書

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（ディスプレイやメディアレシーバーの操作ボタンを使う場合の説明は､｢ディスプレイの○○ボタンを押す｣などの表現にしてあります。）

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定

ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、BS・110度CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

扉を開けたところ

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ① で｢システム設定｣を選ぶ
② で｢ダウンロード設定｣を選び、決定を押す

3 で｢する｣または｢しない｣を選び、決定を押す

｢する｣………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
｢しない｣……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ
- ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。
- ソフトウェアを受信するために、メディアレシーバーの電源が入り、ファンが回る場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的に待機状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)に戻ります。

146

- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 選択･入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは
 12ページ

故障かな？と思ったら
 212 ページ

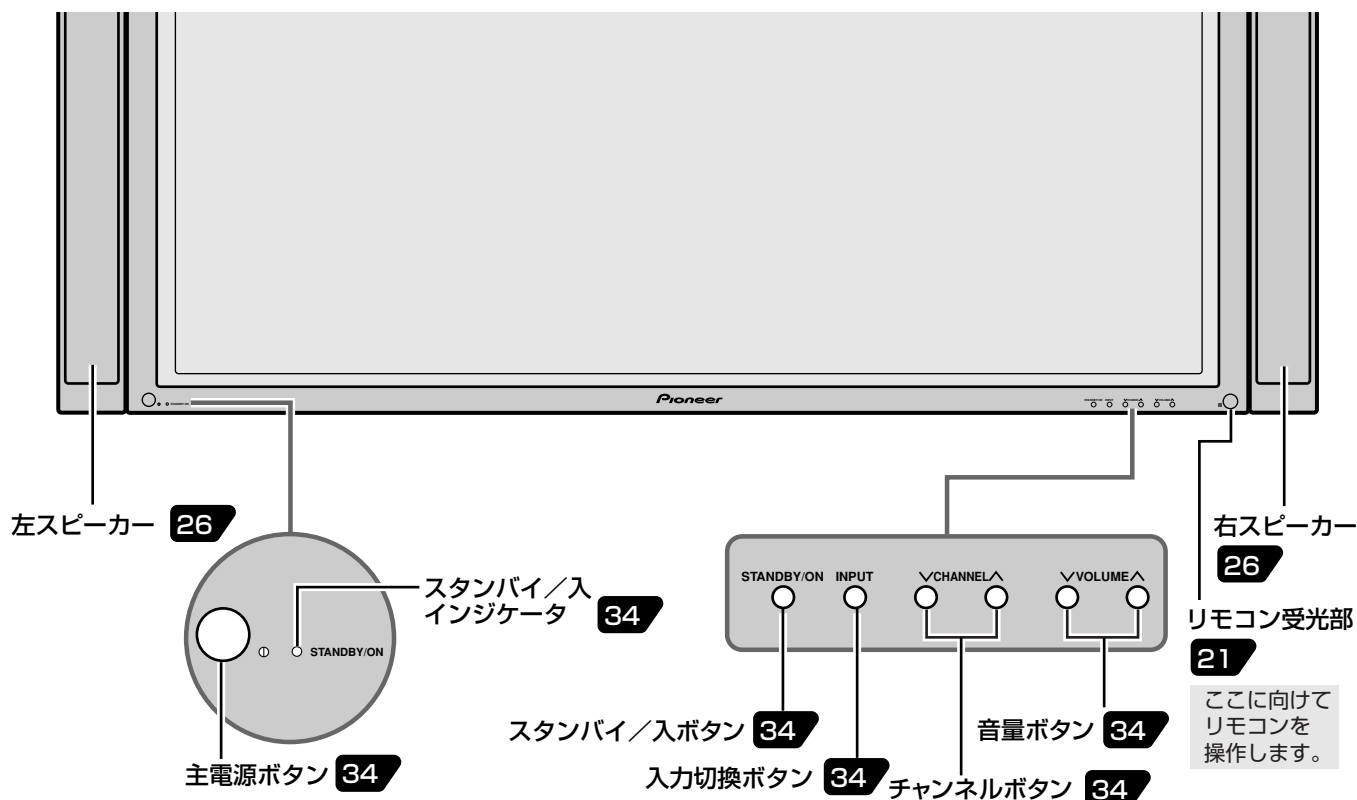
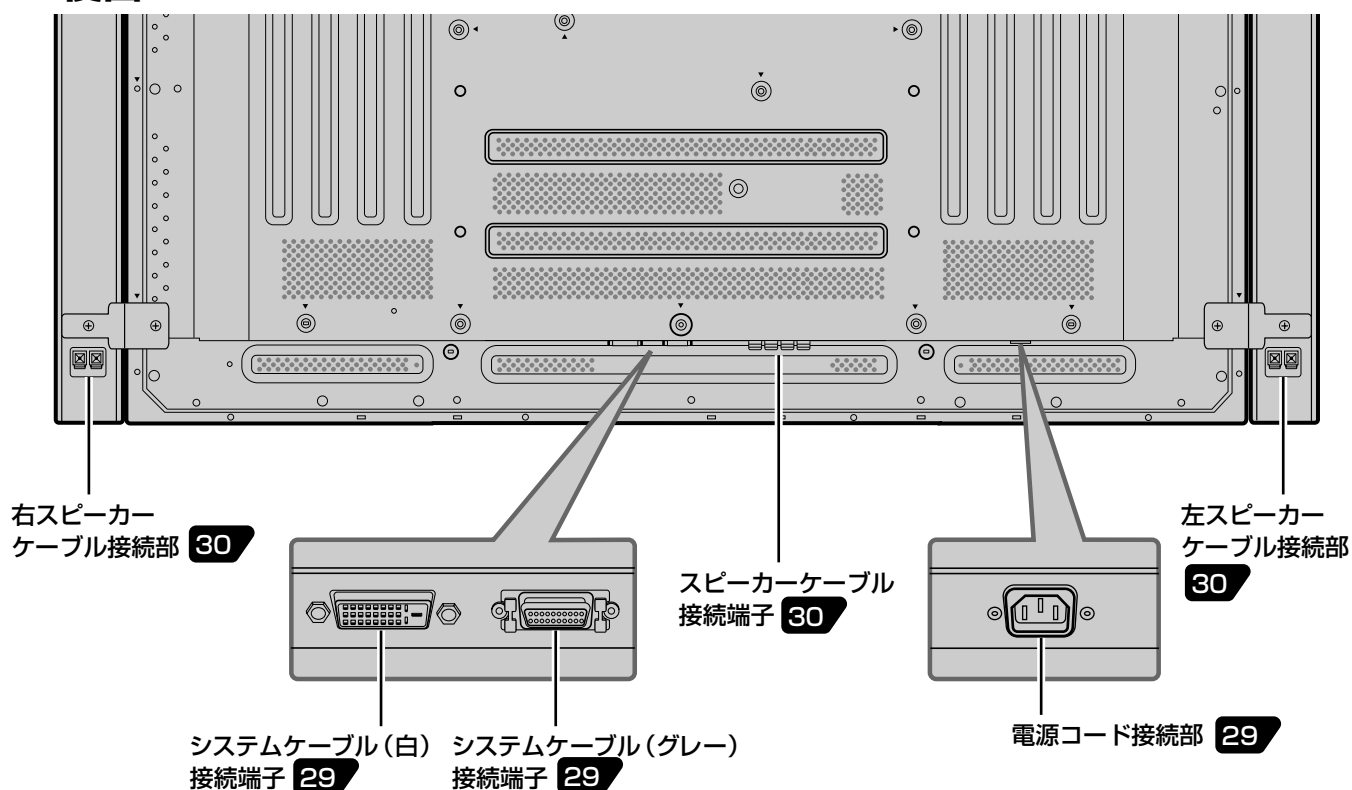
分からない用語があるときは
  224 ページ

各部のなまえ

■ 内の数字は、本文で説明しているおもなページです。

ディスプレイ

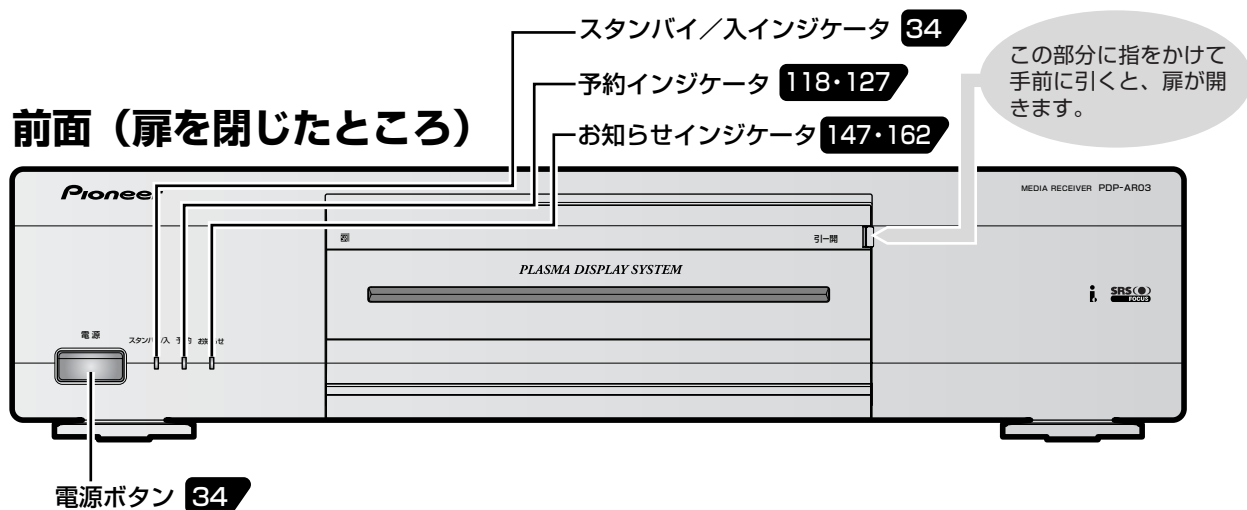
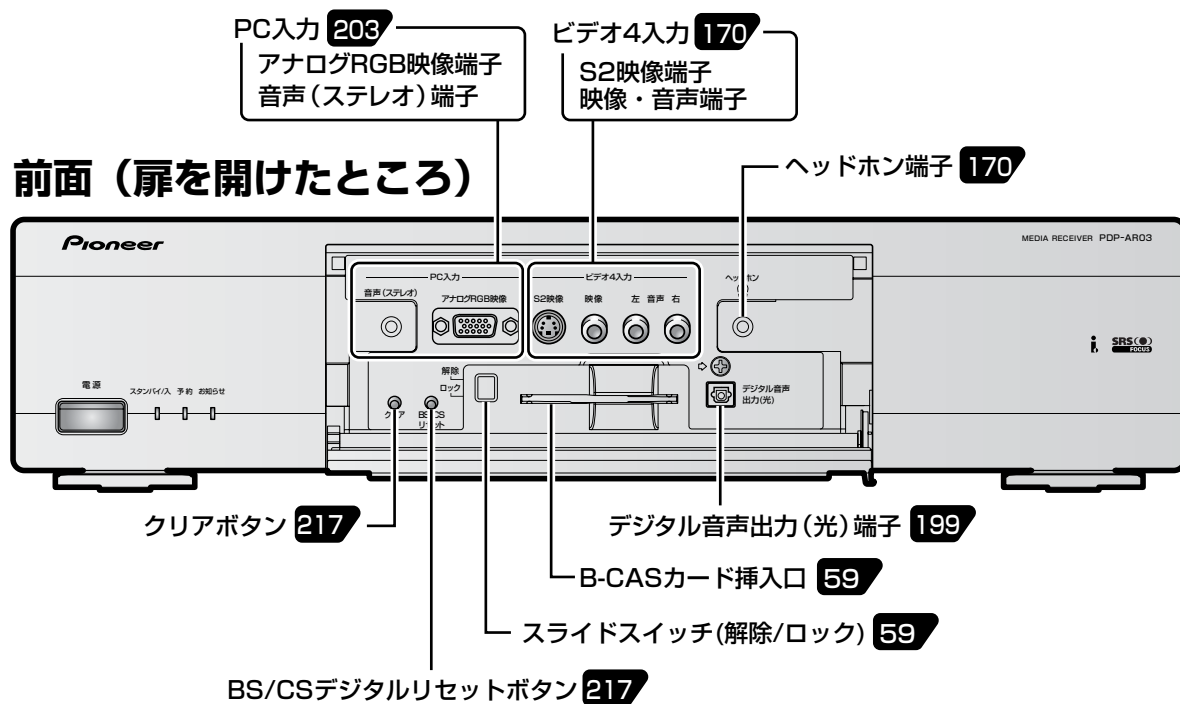
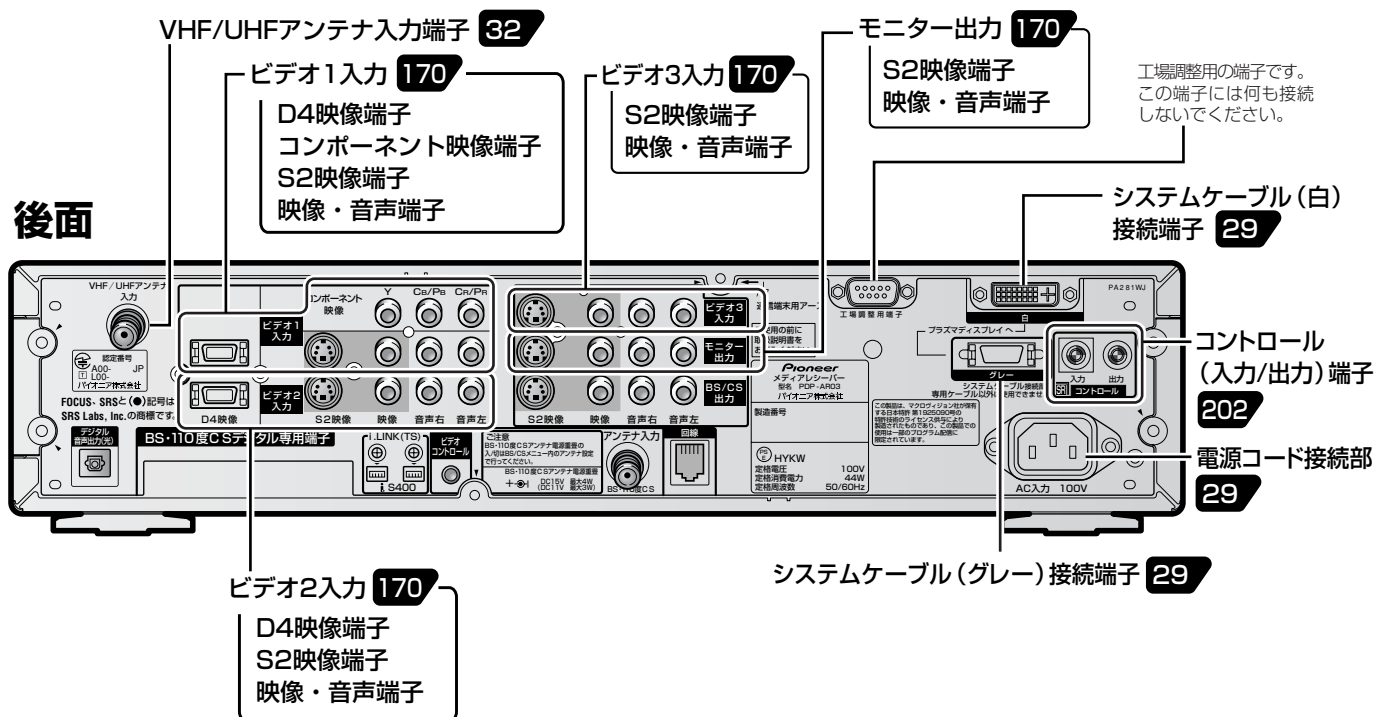
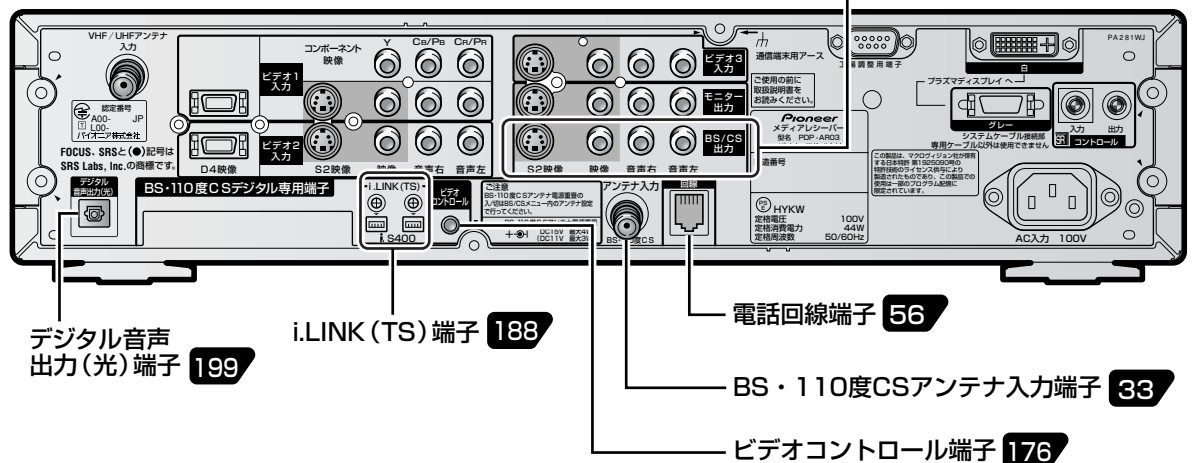
● PDP-A503HDとPDP-A433HDとでは、外観は多少異なりますが、機能や操作方法は同じです。
● PDP-A433HD-Uは、スピーカーの形状および取付け位置が異なります。

前面

後面

各部のなまえ(つづき)

メディアレシーバー

前面(扉を閉じたところ)

前面(扉を開けたところ)

後面

後面（BS・110度CSデジタル専用端子部）

各部のなまえ(つづき)

リモコン

▼扉を閉じたところ

電源……………………… 34

電源を入/切(待機状態)します。

2画面……………………… 91

2画面表示にします。

操作切換……………………… 92

2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

地上波チャンネル………… 35

- 地上放送やCATV放送を選局します。
- チャンネル設定の入力にも使用します。

BS/110度CSチャンネル 104

- BS･110度CSデジタル放送を選局します。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

番組表……………………… 110

BS･110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入/切します。

番組情報……………………… 114

視聴中のBS･110度CSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

裏番組表……………………… 115

BS･110度CSデジタル放送の裏番組表の表示を入/切します。

***d*(データ連動)**………… 106

BS･110度CSデジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

テレビ……………………… 103

BS･110度CSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

戻る……………………… 36･72

1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

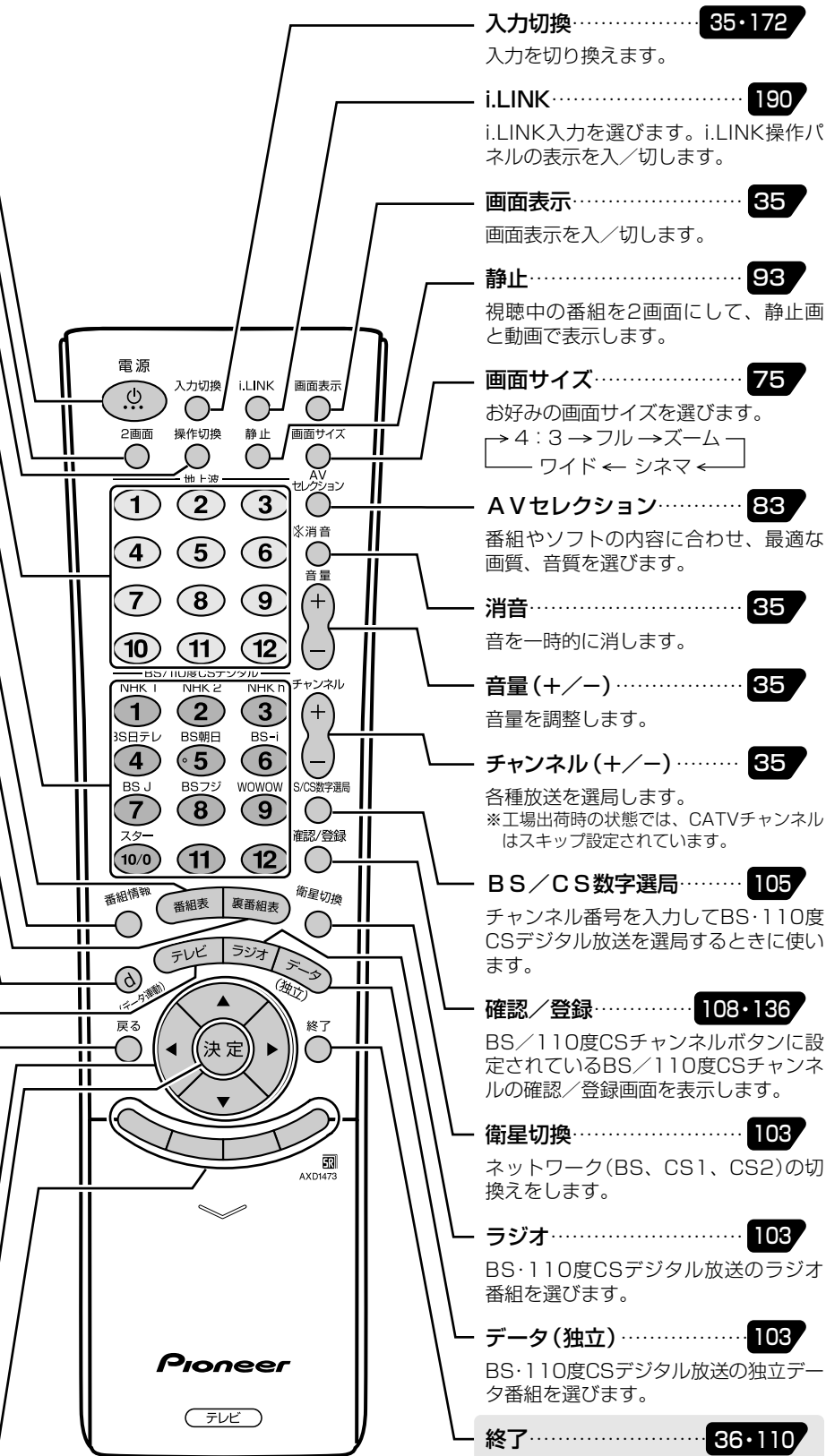
カーソル(上下左右)… 36･110

メニューや項目を選びます。

決定……………………… 36･110

カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

カラーボタン……………… 110
(青/赤/緑/黄)

BS･110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。

入力切換……………… 35･172

入力を切り換えます。

i.LINK……………………… 190

i.LINK入力を選びます。i.LINK操作パネルの表示を入/切します。

画面表示……………………… 35

画面表示を入/切します。

静止……………………… 93

視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

画面サイズ……………………… 75

お好みの画面サイズを選びます。

→ 4:3 → フル → ズーム →
← シネマ ← ワイド ←

AVセレクション………… 83

番組やソフトの内容に合わせ、最適な画質、音質を選びます。

消音……………………… 35

音を一時的に消します。

音量(+/−)……………… 35

音量を調整します。

チャンネル(+/−)……… 35

各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

BS/CS数字選局……… 105

チャンネル番号を入力してBS･110度CSデジタル放送を選局するときに使います。

確認/登録………… 108･136

BS/110度CSチャンネルボタンに設定されているBS/110度CSチャンネルの確認/登録画面を表示します。

衛星切換……………………… 103

ネットワーク(BS、CS1、CS2)の切換えをします。

ラジオ……………………… 103

BS･110度CSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

データ(独立)……………… 103

BS･110度CSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

終了……………………… 36･110

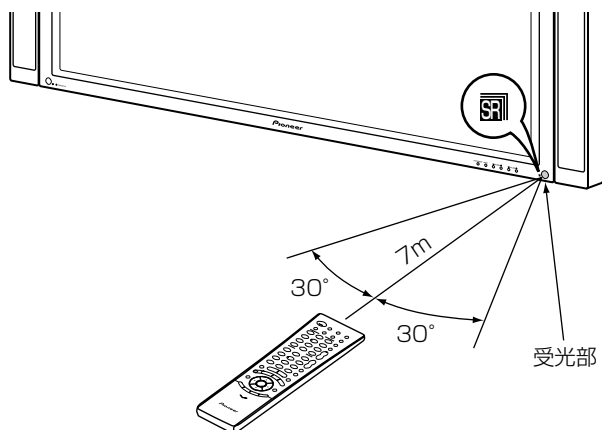
2画面、静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

ヒント メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。

▼扉を開けたところ

乾電池の入れかた

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下の受光部（SR）に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7m、上下左右に30度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンによって操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマディスプレイから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

※リモコンおよび乾電池使用上の注意とお知らせが**22**ページに記載されています。よくお読みになり、正しくお使いください。

各部のなまえ(つづき)

簡単リモコン

電源の入/スタンバイ、選局、音量調整など、ふだんよく使う基本操作は簡単リモコンだけで行えます。

チャンネル（＋／－）……… 35
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

衛星デジタル……………… 103
衛星デジタル放送(テレビ)を選びます。

地上波………………………… 35
地上放送やCATV放送を選局します。

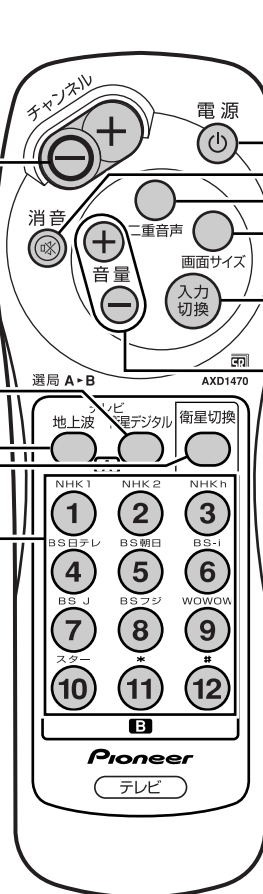
衛星切換…………………… 103
ネットワーク(BS、CS1、CS2)の切換えをします。

チャンネル…………… 35・104
選んでいる放送のチャンネルをダイレクト選局します。

BS・110度CSデジタル放送を見るときは...

1. Aの衛星デジタルボタンを押した後、
2. 衛星切換ボタンで BS または CS を選び、
3. Bのチャンネルボタンを押す。

テレビ(地上放送･CATV放送)を見るときは...

1. Aの地上波ボタンを押した後、
2. Bのチャンネルボタンを押す。

電源……………………………… 35
電源を入/スタンバイします。

消音……………………………… 35
音を一時的に消します。

二重音声……………… 87・107
音声多重放送のとき主・副音声を切り換えます。

画面サイズ
お好みの画面サイズを選びます。
- テレビ／ビデオモード時…… 75
  (4：3、フル、ズーム、シネマ、ワイド)
- ＰＣモード時………………… 204
  (4：3、フル、Dot by Dot、シネマ)

入力切換……………… 35・172
入力を切り換えます。

音量（＋/－）………… 35
音量を調整します。

おしらせ
- **簡単リモコンでは、BS・110度CSデジタル放送のラジオ番組やデータ番組を受信することができません。**

乾電池の入れかた

リモコン使用上のご注意

- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  照明の向きを変えてください。

乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので次のことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕ 極と ⊖ 極を正しく入れる。
- ショートさせない。

- **付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。**
- **新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。**
- **不要となった乾電池を処理するときは、各地方自治体の指示にしたがって処理してください。**

設置と準備

お使いになる前の準備

① リモコンに乾電池を入れる ☞21・22ページ

② メディアレシーバーとディスプレイを接続する ☞29ページ

③ アンテナ線、電話線をつなぐ ☞32・56ページ

⚠注意
アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

④ ビデオやオーディオ等、周辺機器をつなぐ ☞170ページ

⚠注意
接続する周辺機器の取扱説明書を併せてご覧になり、正しくつないでください。

⑤ 電源コードをつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む ☞29ページ

⚠警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

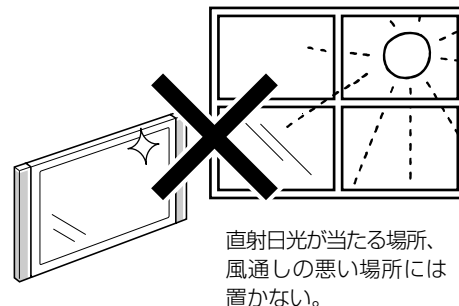
⑥ テレビのチャンネルを設定する ☞39ページ

⑦ BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備をする ☞55ページ

設置のしかた

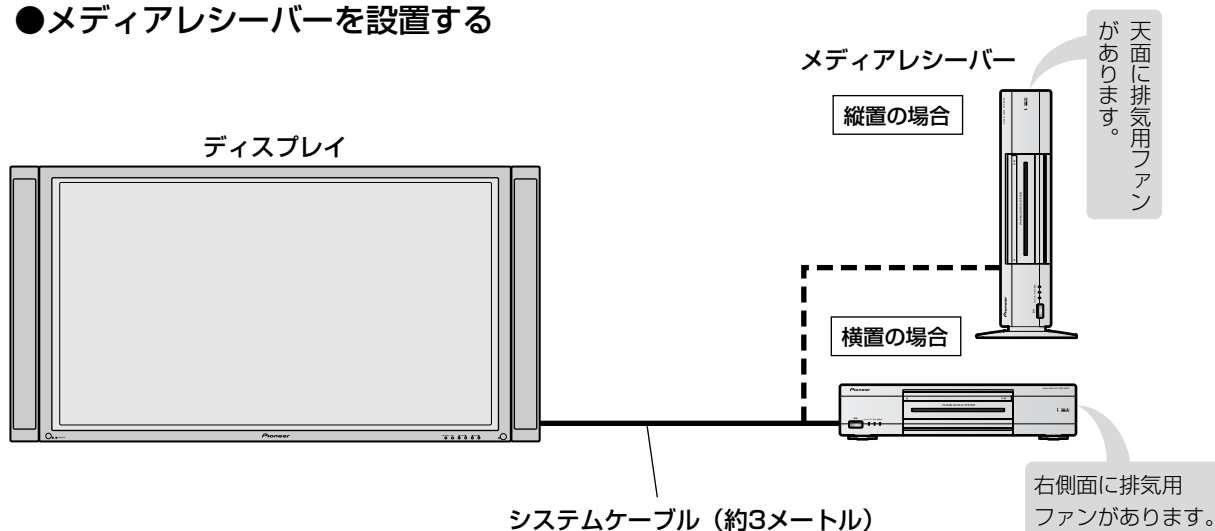
設置の手順

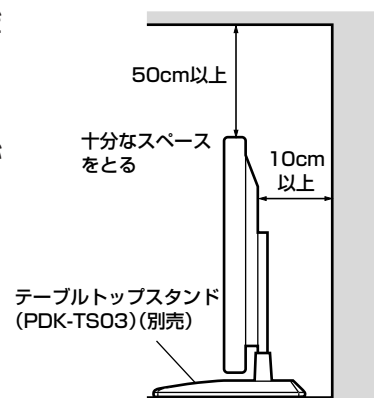
1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。
- メディアレシーバーとディスプレイを結ぶシステムケーブルの長さは、約3メートルです。

2 製品を配置する

●ディスプレイを設置する

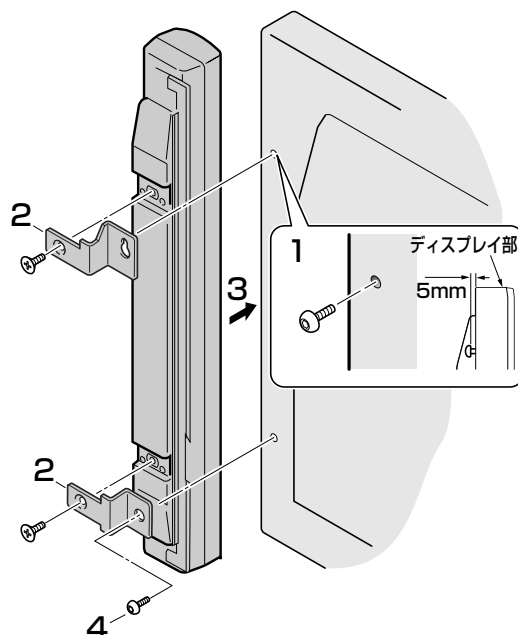
ご注意
●取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
●本機には設置用のスタンドが付属していません。
設置の際は、専用のスタンドや壁掛け金具をご使用ください。
●ディスプレイ部は重いので（約39kg［PDP-A503HD］／約32kg［PDP-A433HD］）、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。

●メディアレシーバーを設置する

- メディアレシーバーの上には、ビデオデッキ等を乗せないでください。
- ディスプレイの背面部・天面部、メディアレシーバーの天面部・側面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- メディアレシーバーの通風孔および側面ファンの排気孔はふさがないでください。

設置についてのご注意や壁掛け設置などについては、27・28ページをご参照ください。

設置のしかた(つづき)

3 スピーカーを取り付ける

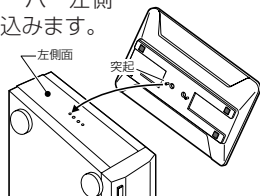
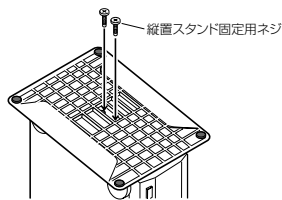
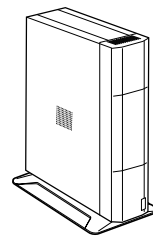
- ⊕ドライバーが必要です。
- PDP-A433HD-Uは、スピーカーの形状および取付け位置が異なります。取付けについては、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

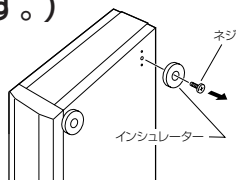
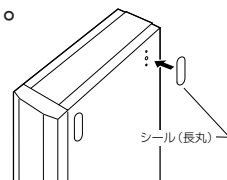
1. スピーカーをひっかけるために、あらかじめ上のネジを取り付けます。
   - このとき5mmほどの隙間を残しておきます。
2. 取付け金具をスピーカーに付けます。
3. スピーカーをディスプレイの上のネジにひっかけます。
   - 遊びがあるので、下のネジを仮止めします。
4. スピーカーとディスプレイとの隙間が均一になるように位置を調整し、上下のネジを付属の取付工具(六角レンチ)できちんと締めます。

- スピーカー前面のグリルネットに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。
- スピーカーを取り付ける際に、付属以外のネジを使用するとスピーカーの脱落や故障の原因となりますので、必ず、付属のネジを使用してください。
- スピーカーを取り付けた後で、ディスプレイを動かす場合は、スピーカー部分を持たないでください。ディスプレイの下部を持って移動するようにしてください。

縦置用スタンドを使ってメディアレシーバーを設置する場合

■付属の縦置用スタンドを使い、メディアレシーバーを縦置き設置することができます。

1 縦置用スタンドをメディアレシーバー部側面にはめる

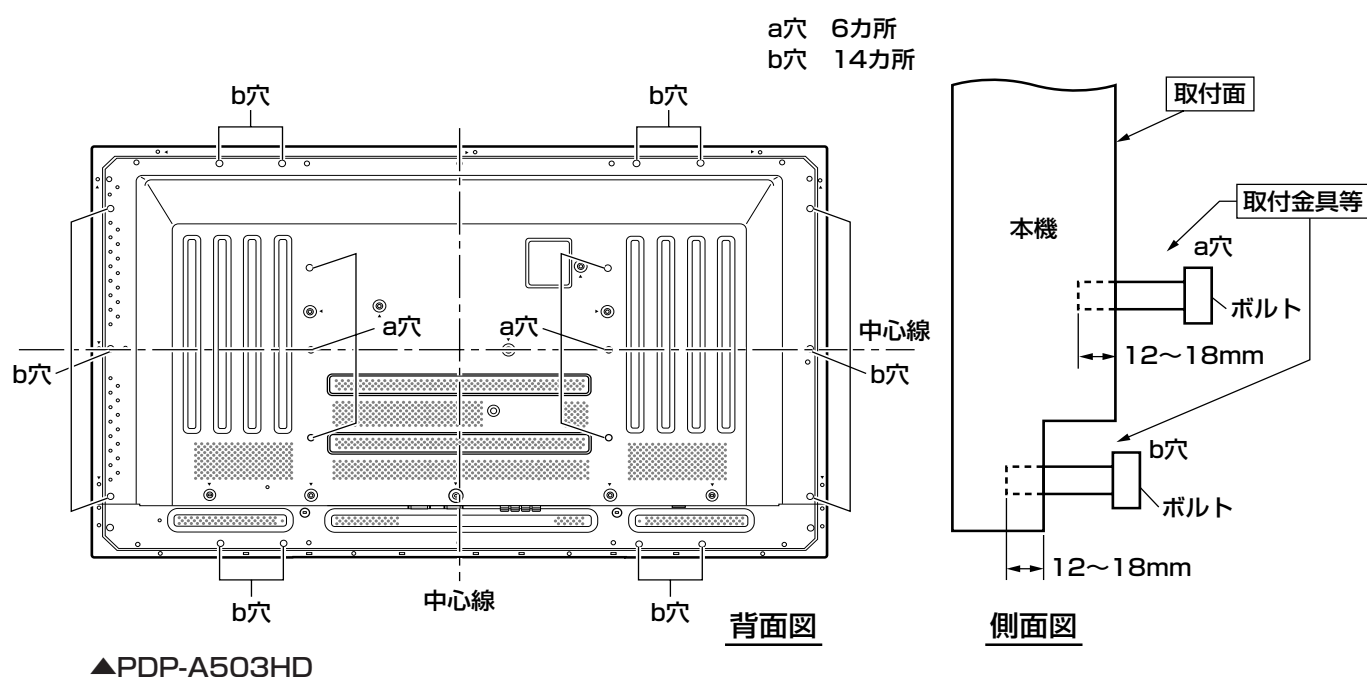
スタンドの突起(2本)をメディアレシーバー左側面の穴に差し込みます。

2 縦置スタンド固定用ネジを取り付ける

縦置き用スタンドで設置したところ

3 インシュレーターは取りはずし可能です。(ネジをはずせばとれます。)

通常設置(横置き)に戻す時必要ですので、取りはずしたインシュレーターと**ネジ**はなくさないよう大切に保管して下さい。

4 取りはずしたあとは付属のシール(長丸)で穴をふさいでください。

- メディアレシーバーを縦置き設置する場合は、必ず付属のスタンドをご使用ください。床の上などにじかに縦置きすると、通風孔がふさがれ、故障の原因となります。

設置についてのご注意

別売のスタンドなどを使用して設置する場合は下記の点に注意してください。

1. 当社別売のスタンドや金具等を使用する場合
- 設置は販売店等に依頼してください。
- 必ず添付のボルトを使用してください。
- 詳細はスタンド等の取扱説明書をお読みください。

2. 上記1以外の場合
- 販売店にご相談ください。
- 使用できる取付け穴は下図のとおりです。

必ず中心線に対して上下左右対称な4カ所以上を使用してください。

ボルトは本機の取付け面より a 穴、b 穴ともに12〜18mm本機内に入るものを使用してください。（上図　側面図参照）

裏面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。

本機はガラスを使用しておりますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。

設置用部品はなるべく当社製品をご使用ください。
当社製品以外の部品による場合の事故損傷については当社は一切責任を負いません。

設置についてのご注意(つづき)

壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

壁掛け設置をする際の注意事項

1. 設置場所について
   - 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取付けできない場合がありますので工事専門業者、または販売店にご相談ください。
2. 異常や不具合が発見された場合には、速やかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。
3. 壁掛けの設置金具や壁面の取付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機の点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者、または販売店に点検を依頼してください。本機を壁掛け設置する際には、工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。
4. 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

壁掛け設置をされたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

1. 壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。
2. 壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。
3. 地震が起きた場合には、壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。
4. 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策(チェーンなどでの固定)を、工事専門業者にご依頼ください。

システムの接続のしかた

メディアレシーバーとディスプレイを接続する

ご注意　接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

▼ディスプレイ後面

白　グレー

ディスプレイ用
電源コード(3ピン)(付属品)

AC100V
コンセントへ

システムケーブル(付属品)

端子に差し込んだ後、ネジを右に回して固定します。

両側のフックが「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込みます。

白　グレー

システムケーブル(白)接続端子へ

システムケーブル(グレー)接続端子へ

▼メディアレシーバー後面

工場調整用の端子です。この端子には何も接続しないでください。

メディアレシーバー用電源コード(3ピン)(付属品)

AC100V
コンセントへ

AC変換プラグ使用上のご注意

注意

電源コードは、ディスプレイ用、メディアレシーバー用ともに3ピンプラグになっています。
性能維持のため、アース線を接続してお使いください。

- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC変換プラグを付けず、そのままお使いください。

AC変換プラグ

アース線

3ピンプラグ

- ディスプレイに同梱されている電源コードはディスプレイに、メディアレシーバーに同梱されている電源コードはメディアレシーバーに使用してください。

システムの接続のしかた(つづき)

スピーカーを接続する

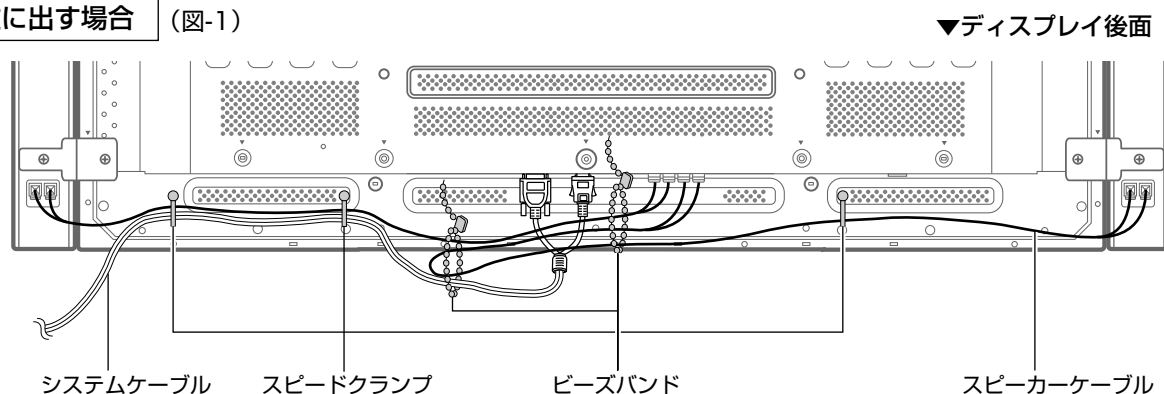
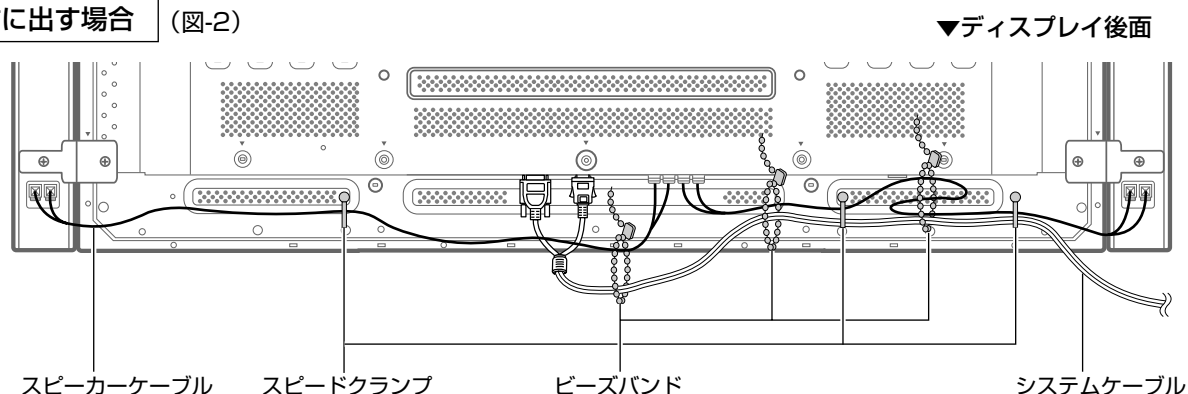
ご注意　接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

スピーカー端子の極性(⊕、⊖)にご注意ください

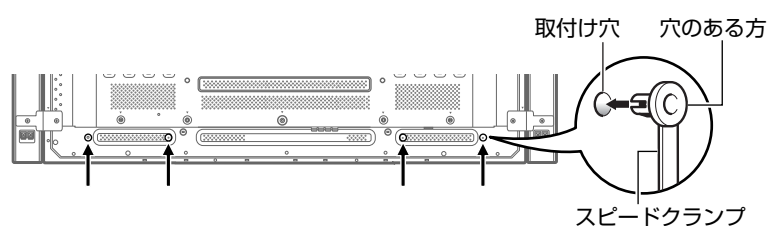
■ スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。左右のスピーカーケーブルを接続するとき、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しくつないでください。

ケーブル処理のしかた

■ディスプレイ後面の端子に接続したシステムケーブルとスピーカーケーブルは、付属のスピードクランプとビーズバンドを使って、下図のように束ねると、すっきりとうまくまとめることができます。

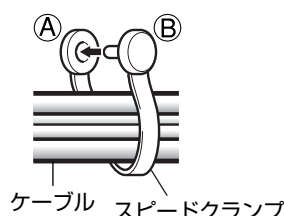
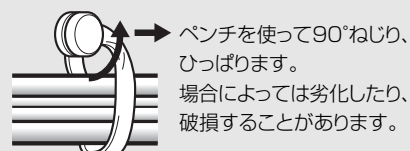
左に出す場合 （図-1）

右に出す場合 （図-2）

スピードクランプの使いかた

1 ディスプレイ後面に取り付ける

- ケーブルを出す方向に応じて、3個のスピードクランプを取り付けます。
- 取付け穴の位置、取付けかたは、右図のとおりです。

2 束ねたケーブルをスピードクランプで留める

- 右図のように、束ねたケーブルをスピードクランプでくるむようにし、Ⓐの穴にⒷを押し込みます。

スピードクランプの外しかた

ペンチを使って90°ねじり、ひっぱります。
場合によっては劣化したり、破損することがあります。

- スピードクランプは一度取り付けてしまうと、取りはずしが簡単にできない構造になっています。ケーブルを出す方向をよくお考えの上、取り付けてください。

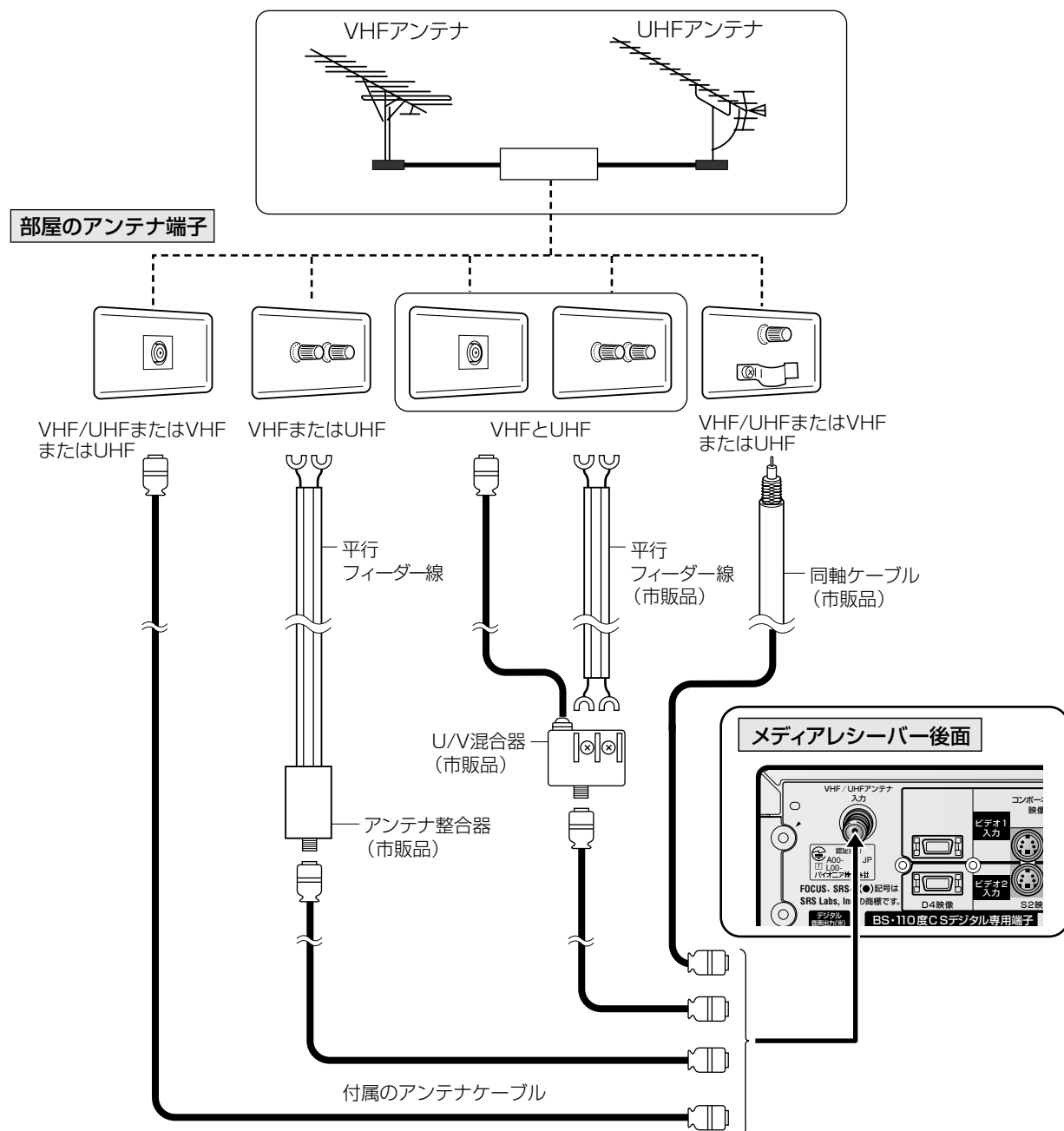
ビーズバンドの使いかた

余ったケーブルを、図-1・図-2のように、折り返すなどしてコンパクトにまとめ、ビーズバンドで巻いて留める

アンテナの接続のしかた

VHF/UHFアンテナの接続

■付属のアンテナケーブル、市販のアンテナ整合器等を、使用するアンテナ線に応じて接続し、メディアレシーバー後面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。

VHFアンテナ
UHFアンテナ
部屋のアンテナ端子
VHF/UHFまたはVHFまたはUHF
VHFまたはUHF
VHFとUHF
VHF/UHFまたはVHFまたはUHF
平行フィーダー線
平行フィーダー線（市販品）
同軸ケーブル（市販品）
U/V混合器（市販品）
アンテナ整合器（市販品）
メディアレシーバー後面
BS・110度CSデジタル専用端子
付属のアンテナケーブル

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 付属のアンテナケーブルは、「BS・110度CS共用アンテナの接続」(**33**ページ)には使用しないでください。

BS・110度CS共用アンテナの接続

■BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。

アンテナ…… 市販のBS・110度CS共用アンテナをご使用ください。共用アンテナでない**従来のBSアンテナ、CSアンテナは使用できません。**

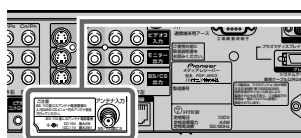
アンテナ線…… 110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(例. S-5C-FB)をご使用ください。

ブースター、分配器、分波器、混合器をご使用の場合

110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■BS・110度CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

▼メディアレシーバー後面

▼アンテナ入力(BS・110度CS)端子

- BS・110度CS共用アンテナからの衛星放送用ケーブル(同軸ケーブル)をつなぎます。この端子は、BS・110度CS共用アンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに+15V/+11Vの電源を供給する働きももっています。

ご注意 プラグをアンテナ入力端子に取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

おしらせ

- アンテナ入力(BS・110度CS)端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(**149**ページ参照)

ご注意

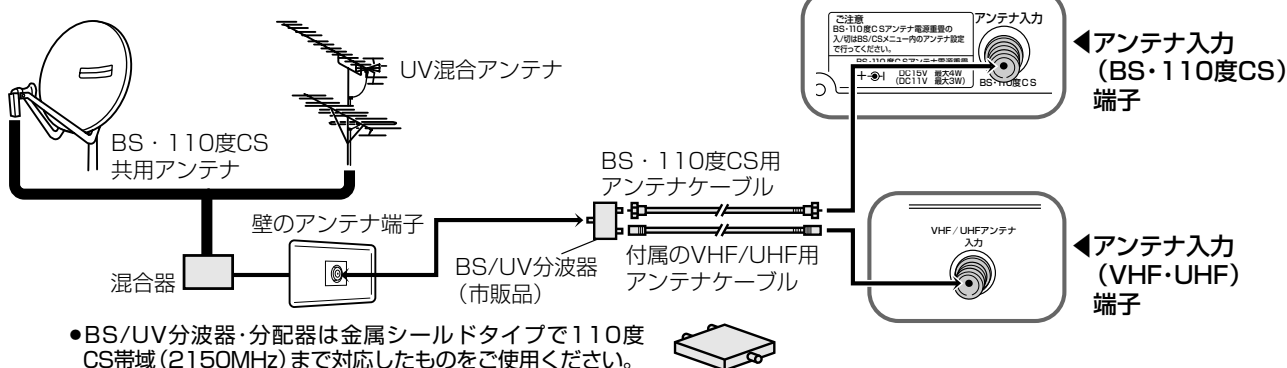
分配器の使用について

- アンテナ分配器を使用してBS・110度CSデジタル放送の信号を分配する場合、本機をアンテナ分配器の電流通過端子へ接続することをおすすめします。詳しくはご使用になるアンテナ分配器の取扱説明書をご覧ください。

BS・110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

BS・110度CS用アンテナケーブルをメディアレシーバー後面のアンテナ入力(BS・110度CS)端子と壁のアンテナ端子に接続します。

BS・110度CSとVHF/UHFが混合されているとき(マンションなど、共聴システムの場合)

BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。

●BS/UV分波器・分配器は金属シールドタイプで110度CS帯域(2150MHz)まで対応したものをご使用ください。

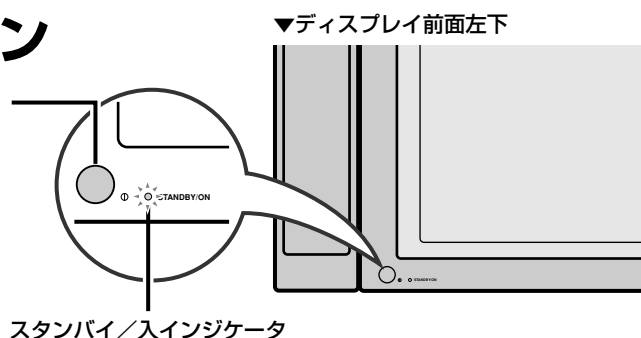
「BS・110度CS共用アンテナの接続」のつぎは ☞ **149**ページの「BS・110度CS共用アンテナの設定」を行ってください。

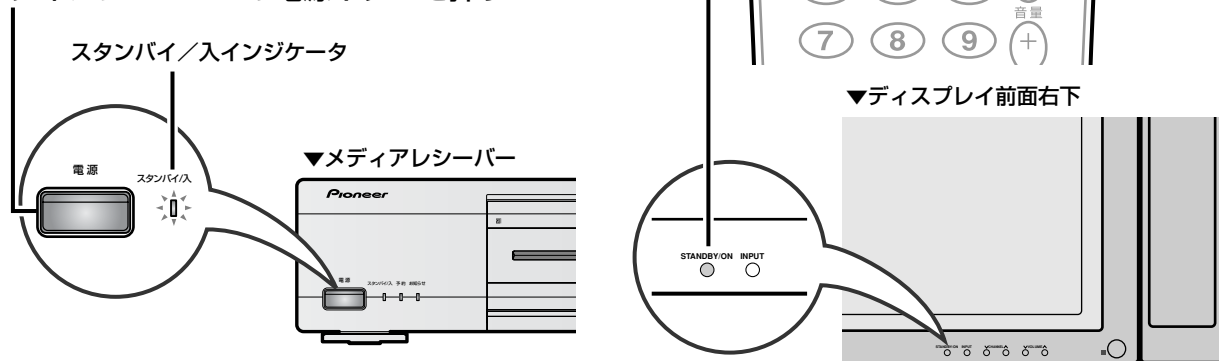
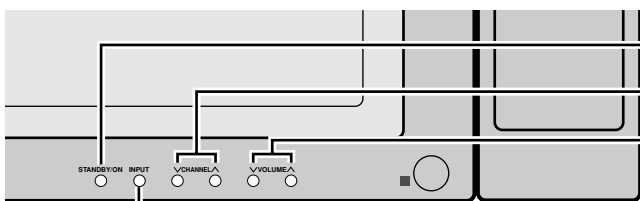
ふだんの使いかた

電源の入れかた

■本機の電源の入れかたを説明します。
■電源を入れる前に各種ケーブルの接続を済ませておいてください。

❶ディスプレイの主電源ボタンを押し、電源「入」にする

- スタンバイ状態（スタンバイ／入インジケータ赤色点灯）または動作状態（スタンバイ／入インジケータ緑色点灯）になります。
  スタンバイ状態のとき ⇨ 手順❷に進みます。
  動作状態のとき ⇨ 手順❸に進みます。

❷つぎのいずれかの方法で動作状態（スタンバイ／入インジケータ緑色点灯）にする

① リモコンの電源ボタンを押す
② ディスプレイのスタンバイ／入ボタンを押す
③ メディアレシーバーの電源ボタンを押す

電源プラグの接続について

- 本機はスタンバイ状態のときでも、BS・110度CSデジタル放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

選局・音量調整など

扉を開けたところ

電源を入/スタンバイする

電源「入」………スタンバイ／入インジケータ緑色点灯
スタンバイ状態…スタンバイ／入インジケータ赤色点灯

❸チャンネルを選ぶ

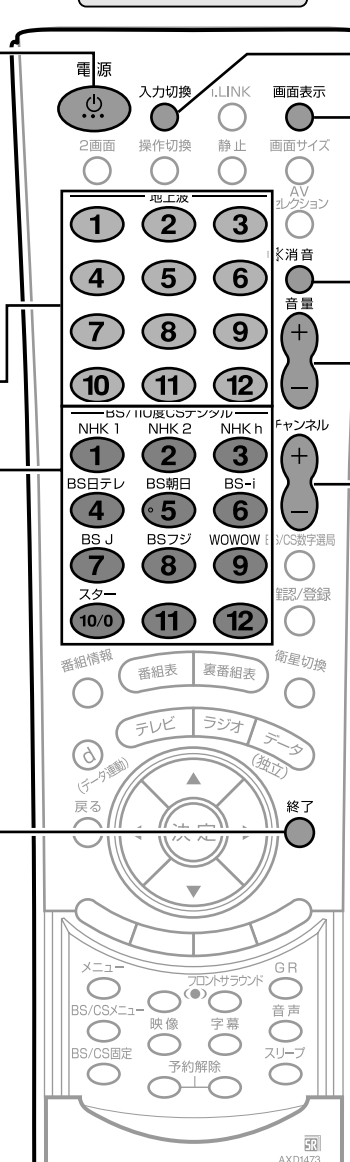
地上波チャンネル
（地上放送／CATV放送）

BS／110度CSチャンネル
（BS・110度CSデジタル放送）

BS・110度CSデジタル放送の視聴のしかたについては、**99〜168**ページをご覧ください。

操作を終了する

2画面、静止画面、メニュー操作などを終了します。

ヒント メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。

入力を切り換える

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → i.LINK → PC → テレビ

※ビデオ1〜4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
※接続されている映像用端子と、入力選択の設定（**183**ページ参照）で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

画面表示を入／切する

<画面表示例…チャンネルサイン>

地上放送受信時	8 モノラル
BSデジタル放送受信時	BS 141
110度CSデジタル放送受信時	CS1 001
CATV放送受信時	c24 モノラル
ビデオ入力時	ビデオ1 [D端子]
PC入力時	PC [1024×768 60Hz]

音を一時的に消す

もう一度押すか、音量（＋／－）ボタンなどを押すと、音声が出るようになります。

❹音量を調整する

数字（最大60）とバーで表示

チャンネル（＋／－）

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルとBS・110度CSデジタルチャンネルが受信できるようにセットされています。
  UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**39**〜**54**ページをご覧ください。

ケーブルテレビ(CATV)について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルをチャンネル(＋／－)ボタンで選局できるようにするには、CATVチャンネルを選局した後、個別設定(**47**ページ)を行ってください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。

無信号オフ機能について

- 無信号オフ機能(**97**ページ)を「する」に設定していると、放送終了後約15分でテレビの電源が「切」(電源待機状態)になります。(電源ランプが赤色に点灯)
  (放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。)
- ビデオ入力画面のときも、無信号オフ機能を「する」に設定していると、無信号状態になってから約15分で電源待機状態になります。
- BS・110度CSデジタル放送受信時、i.LINK入力時は働きません。

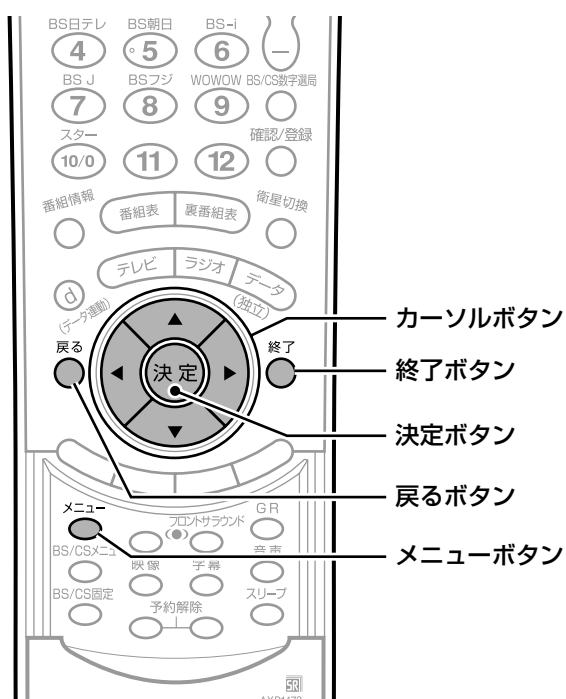
消音について

- 消音ボタンを押して消音を行うと、約8分後に自動解除されます。この時音量がゼロで解除されますので、音量ボタンで音量を調整してください。

メニュー画面について

■画面を見ながら、リモコン操作で映像や音声などの調整や機能の設定ができます。
ここではメニューの項目を選択する方法について説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

■BS・110度CSデジタル放送を視聴するための調整や設定（BS/CSメニュー）については、**72**ページをご覧ください。

扉を開けたところ

メニュー項目の表示色について

- いま選ばれている項目が黄色で表示されます。
灰色の文字で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

メニュー画面の表示時間について

- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。そのときは、はじめから操作しなおしてください。

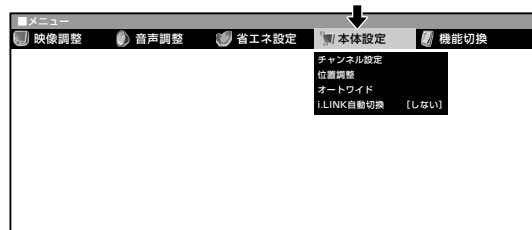
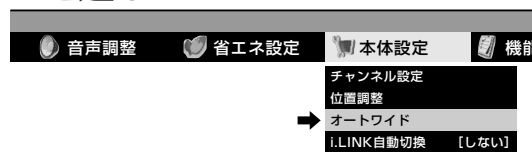
メニュー画面上の時刻表示について

- 本機は、BSデジタル放送から時刻情報を取得し、内蔵時計の自動設定を行い、メニュー画面表示する機能を備えていますが、BSアンテナを接続していない等BSデジタル放送が受信できないときは、メニュー画面上に時刻は表示されません。

メニューの基本操作

［例］「本体設定」メニューの「オートワイド」を選ぶ

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「オートワイド」を選ぶ

3 決定を押す

●つぎの画面に進みます。

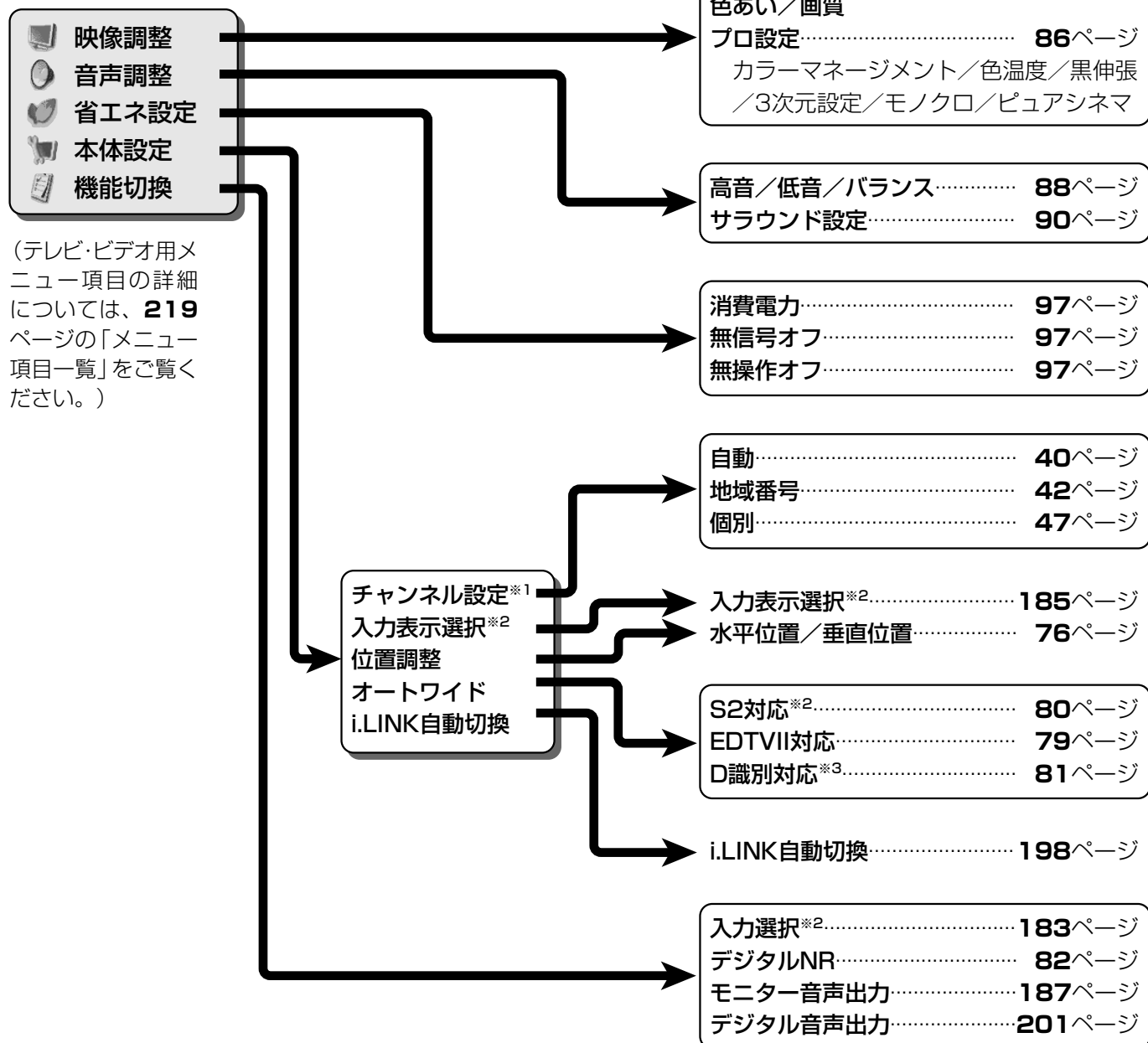
操作を誤ったとき、やりなおしたいとき 戻るを押す
●1つ前の画面に戻ります。

メニュー操作を終了するとき メニュー または 終了 を押す

おしらせ
- PC入力時にメニューボタンを押すと、PCメニュー画面が表示されます。
- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

■メニューボタンを押したときに表示されるメニュー画面は、テレビ／ビデオ入力とPC入力とで内容が異なります。

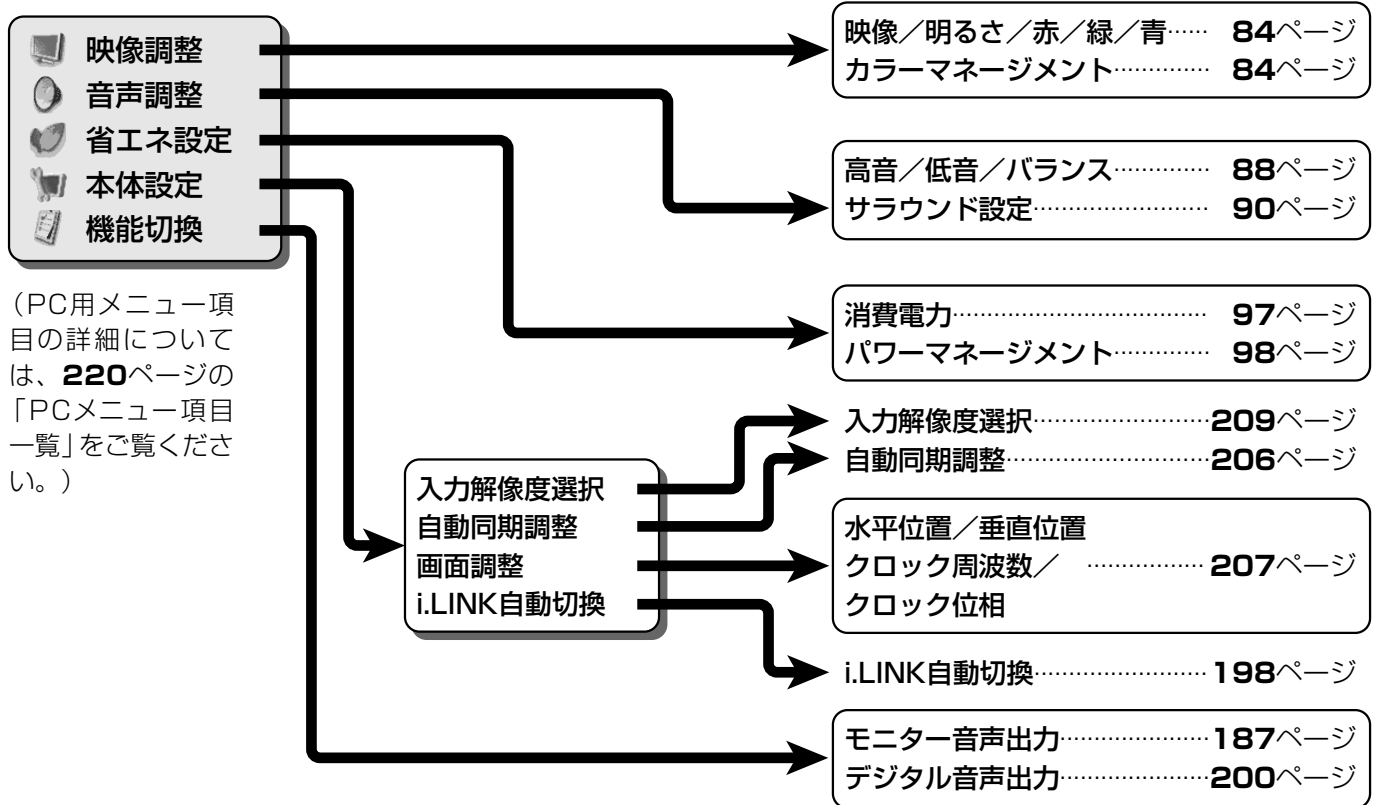
テレビ・ビデオ用メニューで設定できる項目

（テレビ·ビデオ用メニュー項目の詳細については、**219**ページの「メニュー項目一覧」をご覧ください。）

おしらせ
- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 「※1」の付いた項目は、テレビ入力時のみ表示されます。
- 「※2」の付いた項目は、ビデオ入力時のみ表示されます。
- 「※3」の付いた項目は、ビデオ1・2入力時のみ表示されます。

メニュー画面について(つづき)

PC用メニューで設定できる項目

- 映像調整
  - 映像／明るさ／赤／緑／青…… **84**ページ
  - カラーマネージメント………… **84**ページ
- 音声調整
  - 高音／低音／バランス………… **88**ページ
  - サラウンド設定…………………… **90**ページ
- 省エネ設定
  - 消費電力……………………………… **97**ページ
  - パワーマネージメント………… **98**ページ
- 本体設定
  - 入力解像度選択 → 入力解像度選択……………………**209**ページ
  - 自動同期調整 → 自動同期調整…………………………**206**ページ
  - 画面調整 → 水平位置／垂直位置／クロック周波数／クロック位相 ……………… **207**ページ
  - i.LINK自動切換 → i.LINK自動切換…………………… **198**ページ
- 機能切換
  - モニター音声出力…………………**187**ページ
  - デジタル音声出力…………………**200**ページ

（PC用メニュー項目の詳細については、**220**ページの「PCメニュー項目一覧」をご覧ください。）

- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

テレビのチャンネルを設定する

■地上放送（VHF/UHF）の受信チャンネル設定です。
（工場出荷時は、VHF1～12チャンネルが設定されています。）
■チャンネル設定には「自動」と「地域番号」と「個別」の3つの方法があります。（下記参照）

自　動	ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。
地域番号	ご使用になる場所にもっとも近い都市（受信している電波を送信している都市）を**43**～**46**ページの地域番号早見表・地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。 ●その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 ●地域番号一覧表（**44**～**46**ページ）には放送局名を掲載しています。 ●地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。
個　別	地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

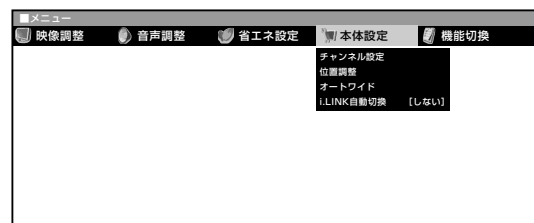
■使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
■記憶できるチャンネルは、最大20局です。記憶された局の1～12チャンネルは、リモコンの地上波チャンネルボタンで選局できます。

扉を開けたところ

自動設定

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

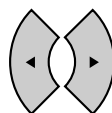
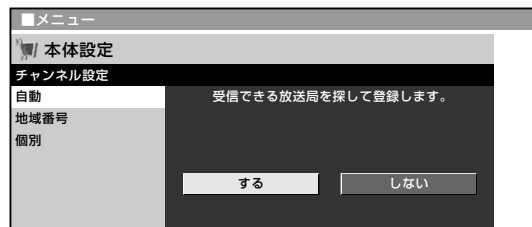
4 ▲ ▼で「自動」を選び、決定を押す

メニュー画面について
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

扉を開けたところ

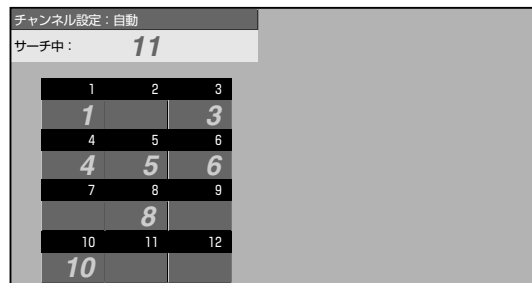
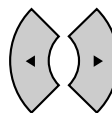
おしらせ

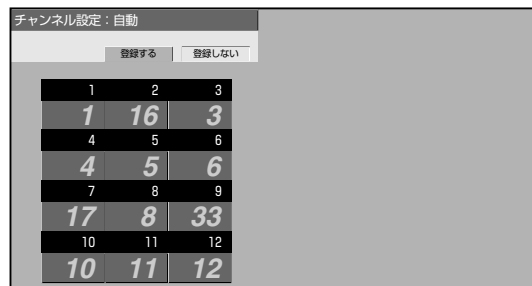
メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

6

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

（画面例）

- 見つかった放送チャンネルが表示されていきます。
- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

7 ◀▶で「登録する」を選び、を押す

（画面例）

- 少し待つと上のような画面から表示が変わります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※ 画面が変わる前に電源を切らないでください。

8 メニューを押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号設定

■「地域番号早見表」(**43**ページ)、「地域番号一覧表」(**44**〜**46**ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い地域番号を入力してください。

[例] 東京都八王子市にお住まいの場合
(地域番号「31」を設定する)

1

① 入力切換 を押し、テレビ入力にする

② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

③ ◀▶ で「本体設定」を選ぶ

④ ▲▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

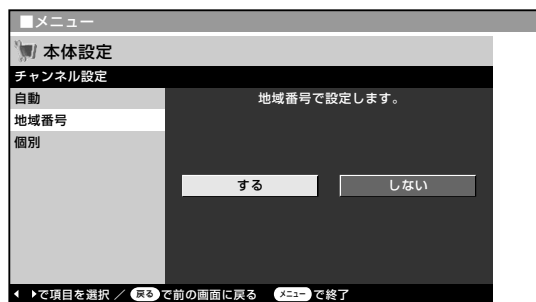
●チャンネル設定画面が表示されます。

2

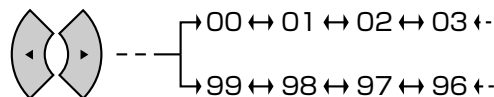
▲▼ で「地域番号」を選び、決定 を押す

3

◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

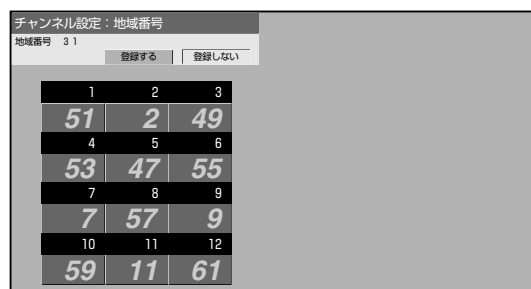
4

① 地上波チャンネルボタン 1 〜 10 で、地域番号「31」を入力する

●左右カーソルボタンでも入力できます。

00 ↔ 01 ↔ 02 ↔ 03
99 ↔ 98 ↔ 97 ↔ 96

② 「開始」で 決定 を押す

●チャンネル設定が始まり、リモコン番号1〜12に受信チャンネルが設定されます。

5

◀▶ で「登録する」を選び、決定 を押す

●少し待つと上のような画面から表示が変わります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※ 画面が変わる前に電源を切らないでください。

6

メニュー を押し、通常画面に戻す

●終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

- 地域番号一覧表に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(**47**ページ)をしてください。

地域番号早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域番号を入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、もっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21	か	橿原市	65	せ	仙台市	13	ひ	東久留米市	30
	青森市	10		柏市	29	そ	草加市	27		東村山市	30
	明石市	63		春日井市	54	た	大東市	61		彦根市	59
	昭島市	30		春日部市	27		高岡市	40		日立市	23
	秋田市	15		勝田市	22		高崎市	25		日野市	30
	阿久根市	95		門真市	61		高槻市	61		姫路市	62
	上尾市	27		金沢市	41		高松市	78		枚方市	61
	朝霞市	27		鎌倉市	33		宝塚市	61		平塚市	34
	旭川市	02		刈谷市	54		立川市	30		弘前市	10
	足利市	27		川口市	27		多摩市	32		広島市	71
	厚木市	33		川越市	27	ち	茅ケ崎市	34	ふ	福井市	42
	網走市	01		川崎市	33		千葉市	29		福岡市	83
	我孫子市	29		河内長野市	61		調布市	30		福島市	19
	尼崎市	61		川西市	64	つ	津市	57		福山市	72
	安城市	54	き	木更津市	29		つくば市	29		藤枝市	53
い	飯田市	45		岸和田市	61		土浦市	29		藤沢市	33
	池田市	61		北九州市	84		鶴岡市	18		富士市	51
	生駒市	61		北見市	09	と	東京２３区	30		富士宮市	51
	石巻市	14		岐阜市	47		徳島市	97		府中市(東京)	30
	和泉市	61		京都市１	60		徳山市	74		船橋市	29
	伊勢崎市	25		京都市２	98		所沢市	27	へ	別府市	91
	伊丹市	61		桐生市	26		鳥取市	67	ほ	防府市	74
	市川市	29	く	釧路市	04		苫小牧市	06	ま	前橋市	25
	一宮市	54		熊谷市	28		富山市	39		町田市	33
	市原市	29		熊本市	90		豊川市	55		松江市	68
	茨木市	61		倉敷市	70		豊田市	56		松阪市	57
	今治市	81		久留米市	85		豊中市	61		松戸市	29
	入間市	27		呉市	73		豊橋市	55		松原市	61
	いわき市	20	こ	高知市	82		富田林市	61		松本市	46
	岩国市	77		甲府市	43	な	長岡市	37		松山市	79
	岩槻市	27		神戸市	61		長崎市	88	み	三郷市	27
う	宇治市	60		郡山市	19		長野市	44		三島市	52
	宇都宮市	24		小金井市	30		流山市	29		三鷹市	30
	宇部市	76		越谷市	27		名古屋市	54		水戸市	22
	浦安市	29		小平市	30		那覇市	96		都城市	92
え	海老名市	33		小牧市	54		奈良市	65		宮崎市	92
	江別市	01		小松市	41		習志野市	29	む	武蔵野市	30
お	青梅市	30	さ	さいたま市	27	に	新潟市	37		室蘭市	08
	大分市	91		堺市	61		新座市	27	も	盛岡市	12
	大垣市	47		佐賀市	87		新居浜市	80		守口市	61
	大阪市	61		酒田市	18		西宮市	61	や	矢板市	31
	大館市	16		相模原市	33	ぬ	沼津市	52		焼津市	49
	大津市	58		佐倉市	29	ね	寝屋川市	61		八尾市	61
	大牟田市	86		佐世保市	89	の	野田市	29		八千代市	29
	岡崎市	54		札幌市	01		延岡市	93		八代市	90
	岡山市	70		座間市	33	は	函館市	03		山形市	17
	沖縄市	96		狭山市	27		秦野市	36		山口市	74
	小樽市	07	し	静岡市	49		八王子市	31		大和市	33
	小田原市	35		清水市	49		八戸市	11	よ	横須賀市	33
	帯広市	05		下関市	75		羽曳野市	61		横浜市	33
	小山市	27		上越市	38		浜田市	69		四日市市	57
か	各務原市	48	す	吹田市	61		浜松市	50		米子市	68
	加古川市	63		鈴鹿市	57		半田市	54	わ	和歌山市１	66
	鹿児島市	94	せ	瀬戸市	54	ひ	東大阪市	61		和歌山市２	99

- 工場出荷時は、地域番号「00」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表（**44～46**ページ）に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます（地域番号「00」は除く）。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定（**47**ページ）をしてください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号一覧表

※ 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。(2002年11月現在)

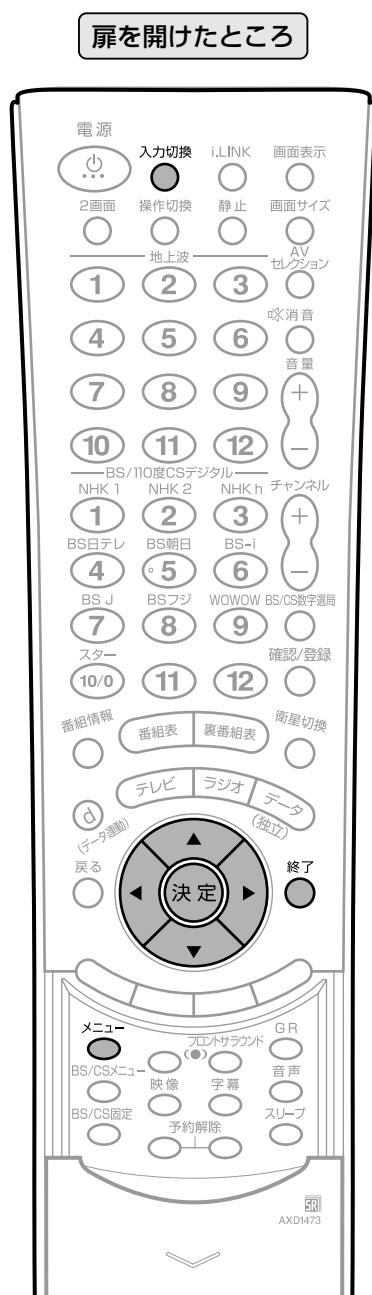
都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	01	1 北海道放送	2	3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 NHK教育
	旭川	02	1	2 NHK教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	函館	03	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 NHK教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	04	1	2 NHK教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	05	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 NHK教育
	苫小牧	06	47 テレビ北海道	49 NHK教育	51 NHK総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	07	24 テレビ北海道	2 NHK教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 NHK総合	12
	室蘭	08	1	2 NHK教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	北見	09	1	2 NHK教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 NHK教育	8	9 NHK総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 NHK総合	5	6 IBCテレビ	7	8 NHK教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 NHK総合	4	49 NHK教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 NHK教育	3	4	5	6	7	8	9 NHK総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 NHK教育	9 NHK総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ
山形	山形	17	1	2	3	4 NHK教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 NHK総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 NHK総合	4	5	6 NHK教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 NHK教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 NHK総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 NHK総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 NHK教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 NHK総合	2	46 NHK教育	42 日本テレビ	5	40 TBSテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29 NHK総合	2	27 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	26	43 NHK総合	2	45 NHK教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 TBSテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	28	33 NHK総合	2	35 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23区	30	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	31	51 NHK総合	2	49 NHK教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 TBSテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	32	30 NHK総合	2	32 NHK教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 TBSテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	34	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	5	37 TBSテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 NHK総合	2	49 NHK教育	51 日本テレビ	5	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育
	上越	38	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 NHK総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 NHK総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 NHK総合	5	6 MROテレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 NHK教育	4	5	6 MROテレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 FBCテレビ	12
山梨	甲府	43	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	48	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 NHK教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第1テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 NHK教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 NHK教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 NHK教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	59	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号一覧表(つづき)

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	80	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	82	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TXN九州	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 TXN九州	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TXN九州	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 TXN九州	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 TXN九州	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	93	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

■地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。
■ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

扉を開けたところ

おしらせ

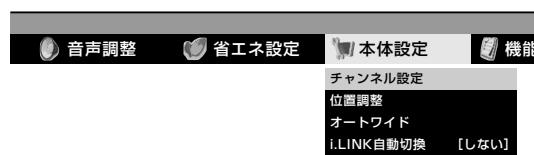
メニュー画面について
● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

個別設定

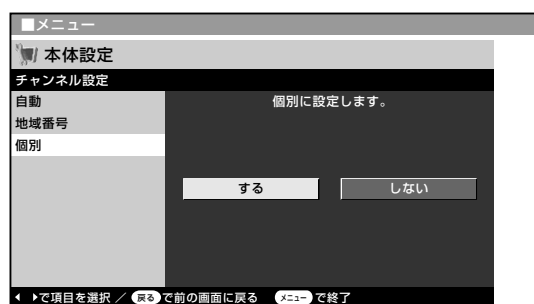
［例］地上波チャンネルボタン(5)（リモコン番号「5」）を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

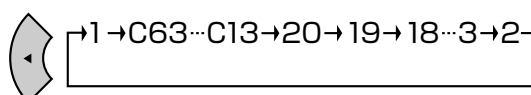
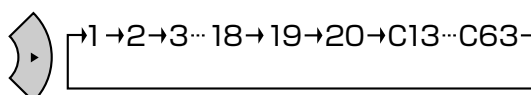
3 ▲ ▼で「個別」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「する」を選び、決定を押す

次ページへ

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	1		
受信チャンネル	1		
チャンネル表示	1		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

6 ◀ ▶ で「5」を選ぶ

▶ 1→2→3…18→19→20→C13…C63

◀ 1→C63…C13→20→19→18…3→2

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	5		
受信チャンネル	5		
チャンネル表示	5		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

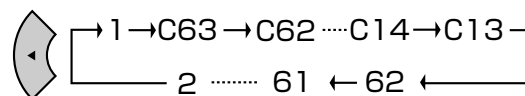
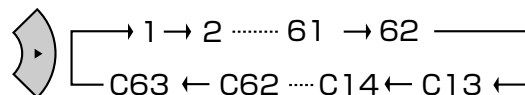
7 ▲ ▼ で「受信チャンネル」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	5		
受信チャンネル	5		
チャンネル表示	5		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

- 手順6でリモコン番号C13〜C63を選んだ場合は、「受信チャンネル」を選べません。

8 ◀ ▶ で「42」を選び、(決定)を押す

▶ 1→2……61→62→C13→C14……C62→C63

◀ 1→C63→C62……C14→C13→62→61……2

- 左または右カーソルボタンをしばらく押し続けると、受信できるチャンネルを自動的に探します。受信できないチャンネルは飛ばし、受信できるチャンネルが見つかると、そのチャンネルの映像が映り、停止します。
- チャンネルを飛ばしている途中で再度カーソルボタンを押すと、その時点で停止します。

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	5		
受信チャンネル	42		
チャンネル表示	5		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

- これで地上波チャンネルボタン(5)に42チャンネルが設定されました。
- 続けて他のチャンネルを設定するときは、手順**5**〜**8**をくり返します。

9 (メニュー)を押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

CATV(ケーブルテレビ)放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルをチャンネル(＋／−)ボタンで選局できるようにするには、CATVチャンネルを選局した後、個別設定を行ってください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、チャンネルボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)や受信状態の悪いチャンネルを飛びこして選局することができます。

■CATVチャンネルは、工場出荷時にチャンネルスキップ「する」の状態になっています。チャンネルスキップ「しない」(解除)にすると、本体とリモコンのチャンネルボタンで選局ができます。

扉を開けたところ

おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

チャンネルスキップを設定する

[例] チャンネル「11」をスキップ設定する

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「個別」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

次ページへ

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

6 ◀ ▶ で「１１」を選ぶ

▶ 1→2→3…18→19→20→C13…C63

◀ 1→C63…C13→20→19→18…3→2

チャンネル設定：個別

項目	設定	
リモコン番号	11	
受信チャンネル	11	
チャンネル表示	11	
受信微調整	0 −64 +63	
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

7 ▲ ▼ で「スキップ」を選ぶ

8 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選んで決定ボタンを押します。

9 メニュー を押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

CATVチャンネルについて

- 工場出荷時の状態では、ＣＡＴＶチャンネル(C13~C63)はスキップ「する」に設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、必要なチャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。

■実際の使用状況に合わせて、画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。

扉を開けたところ

画面のチャンネル表示を変える

[例] 地上波チャンネルボタン⑥を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「個別」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

次ページへ

おしらせ

メニュー画面について
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

5 ▲ ▼で「リモコン番号」を選ぶ

6 ◀ ▶で「6」を選ぶ

▶ 1→2→3…18→19→20→C13…C63

◀ 1→C63…C13→20→19→18…3→2

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

7 ▲ ▼で「チャンネル表示」を選ぶ

8 ◀ ▶で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ

9

① 決定を押す

② メニューを押し、通常画面に戻す

●終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

■受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

扉を開けたところ

受信状態を微調整する

[例] 地上波チャンネルボタン⑥の受信状態を微調整する

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「個別」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「する」を選び、決定を押す

次ページへ

おしらせ
メニュー画面について
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

5 で「リモコン番号」を選ぶ

6 で「6」を選ぶ

→1→2→3…18→19→20→C13…C63→

→1→C63…C13→20→19→18…3→2→

チャンネル設定：個別

リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
GR設定		●入	●切
GR速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

7 で「受信微調整」を選ぶ

8 で、見やすい映像に調整する

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- −64〜0〜+63の範囲で調整できます。

9

① 決定 を押す

② メニュー を押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

チャンネル設定に関する用語

■ **リモコン番号**
リモコンの地上波チャンネル(数字)ボタンの番号です。

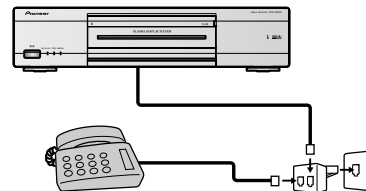
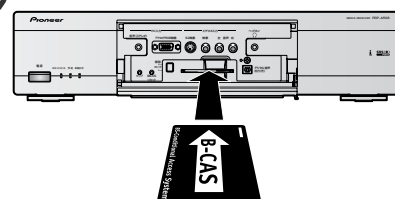
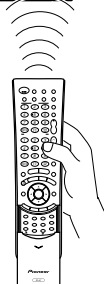
■ **受信チャンネル**
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

■ **チャンネル表示**
テレビ画面に表示されるチャンネルのことです。ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示に変えることができます。

■ **受信微調整**
ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときに調整します。

■ **スキップ**
スキップを「する」にしておくと、チャンネル(+／−)ボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)を飛び越して選局できるようになります。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備

設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

以上で設置と準備は終わりです。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

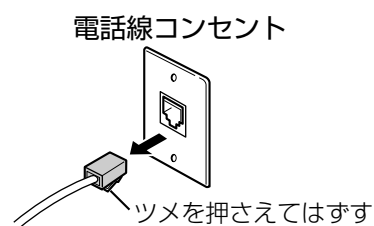
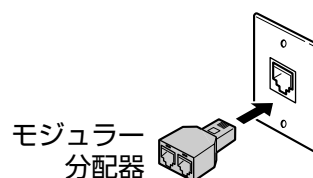
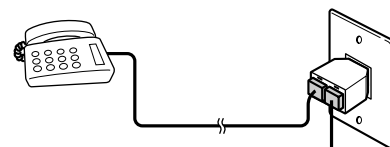
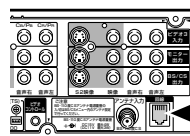
電話回線に接続する(58ページも併せてご覧ください。)

■本機は、視聴記録データの自動送信など放送局との通信を、電話回線を使って行います。
ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1 本機と電話機の電源を切る

電話線コンセント

2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す

ツメを押さえてはずす

3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

5 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子を接続する

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

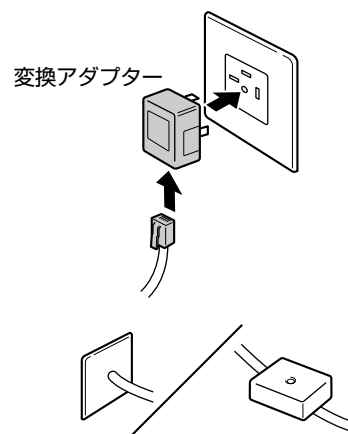
■**電話回線がモジュラージャックでない場合の接続**

- **3ピンプラグの場合**

  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

- **直結配線方式の場合**

  簡単な工事が必要です。

  詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）にお問い合わせください。

■**構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では**

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。

詳細は電話設置会社にご相談ください。

■**キャッチホンでは**

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。

詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）にお問い合わせください。

■**本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。**

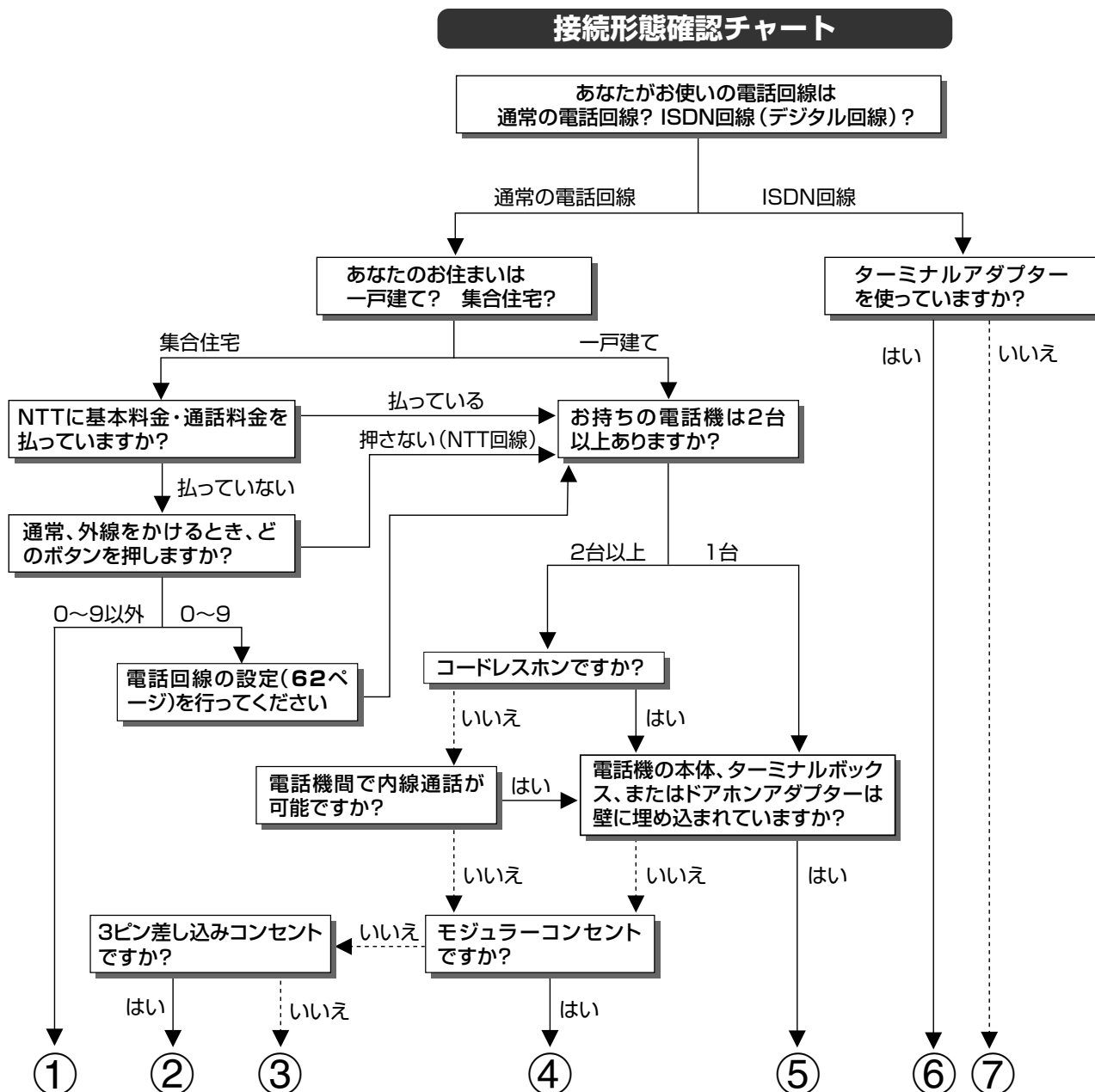
通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■**直接デジタル回線に接続することはできません。**

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

- **本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。**

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**56**ページ参照)
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)でご相談ください。

■ BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CASカードを利用した限定受信システム(＝CAS)を採用しています。
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
■ B-CASカードは、必ず登録してください。(登録は無料です。)
■ プラットワン、スカイパーフェクTV！2、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

B-CASカードを入れる

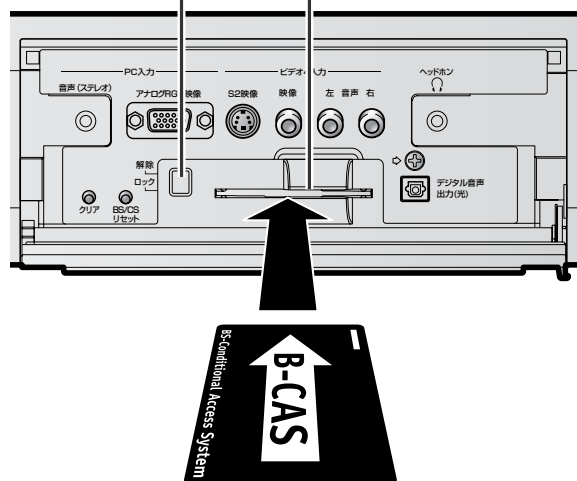
B-CAS カードの入れかた

本機に付属のB-CASカードは、メディアレシーバーを電源コンセントに接続していない状態で、つぎの手順にしたがって挿入してください。

① B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
② スライドスイッチを下にスライドさせ、「ロック」位置にする。

カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとB-CASカードは働きません。

③ 前面扉を閉める。

▼メディアレシーバー前面の扉を開けたところ

※メディアレシーバー前面の扉の開けかたについては、
18ページをご覧ください。

B-CASカードについて
- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードを入れていないとBSデジタル放送の有料番組や110度CSデジタル放送がご覧になれません。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2002年11月現在)
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
(カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。)

取扱い上のご注意
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、メディアレシーバー前面扉内のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、メディアレシーバーの電源を一度切り、メディアレシーバーを電源コンセントに接続しない状態で、スライドスイッチを上にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

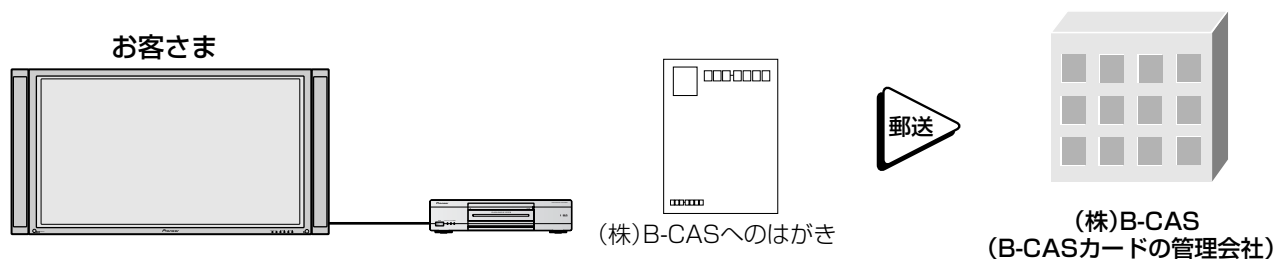
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

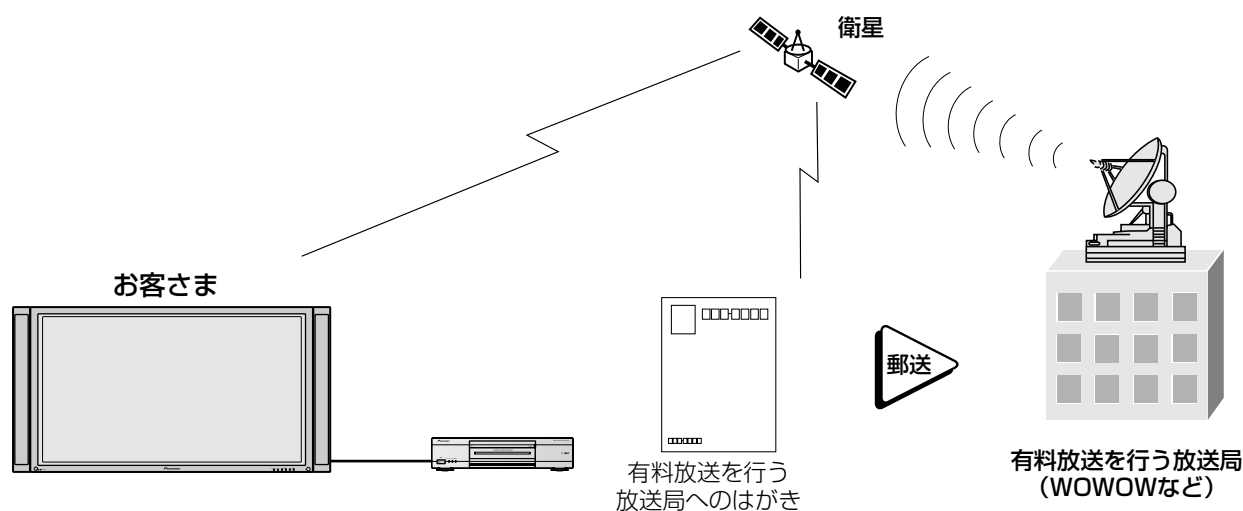
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

おしらせ

● 本機は、契約データの受信のために、電源「切」(スタンバイ状態＝電源ランプ赤色点灯)のときでも動作することがあります。

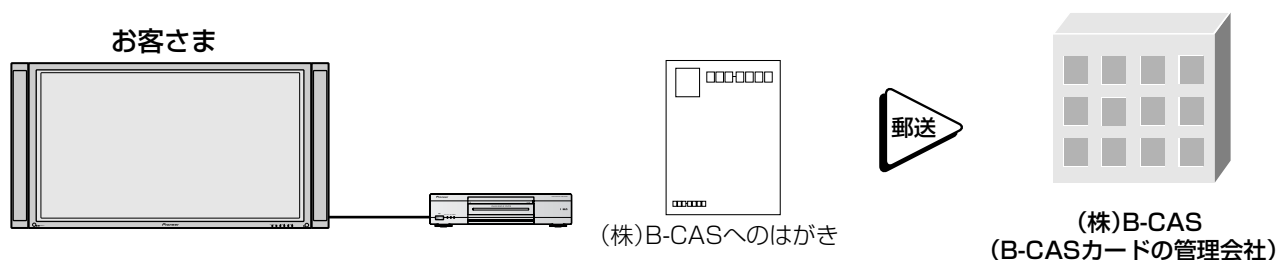
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

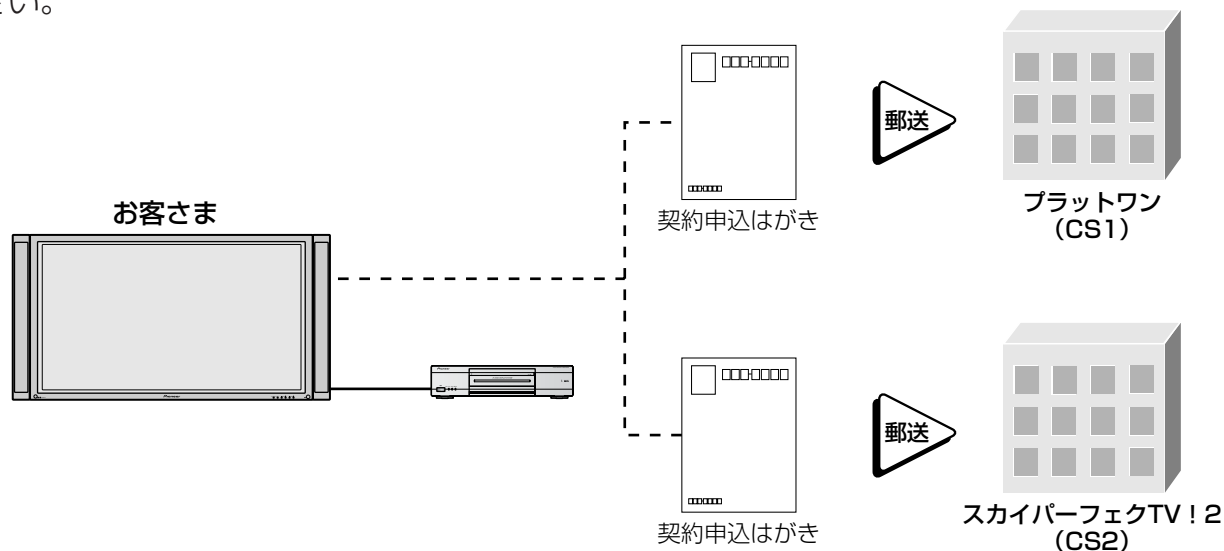
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(CS1·····プラットワン、CS2·····スカイパーフェクTV!2)※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、プラットワン、スカイパーフェクTV!2のカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線を設定する

設定を始める前に

● BS/CSメニューを使って設定を行う前に、画面をBSデジタル放送か110度CSデジタル放送の表示にしておいてください。(ほとんどの設定は、画面に「放送が受信できません」と表示されていても行うことができます。)

扉を開けたところ

1 電話回線が接続されていることを確認する(56ページ参照)

2

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「通信設定」を選び、決定を押す

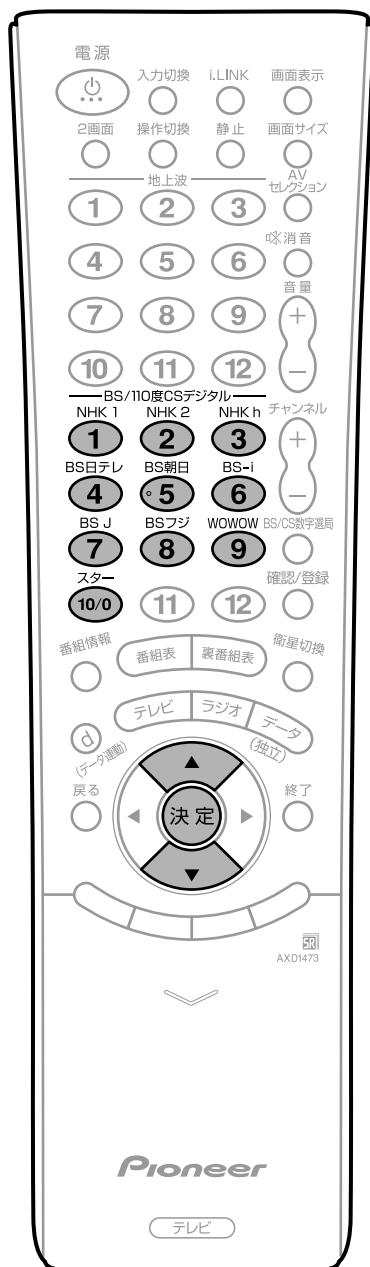
3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

② 「テスト実行」で決定を押す

●「テスト実行中」が表示されます。

●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。

●2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(**63**ページ参照)

おしらせ

● 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

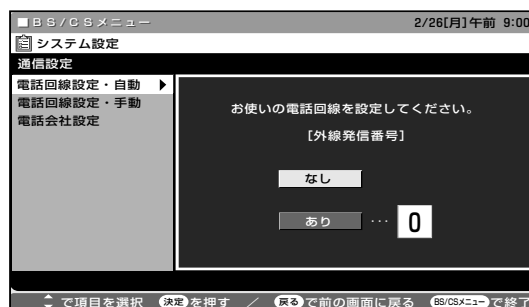
● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

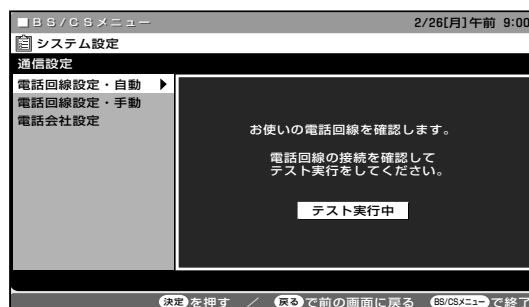
電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

外線発信番号の設定

1 ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）

「あり」……電話交換機などをご使用の場合

●「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン（1～10/0）で外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で決定を押す

●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。

●電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

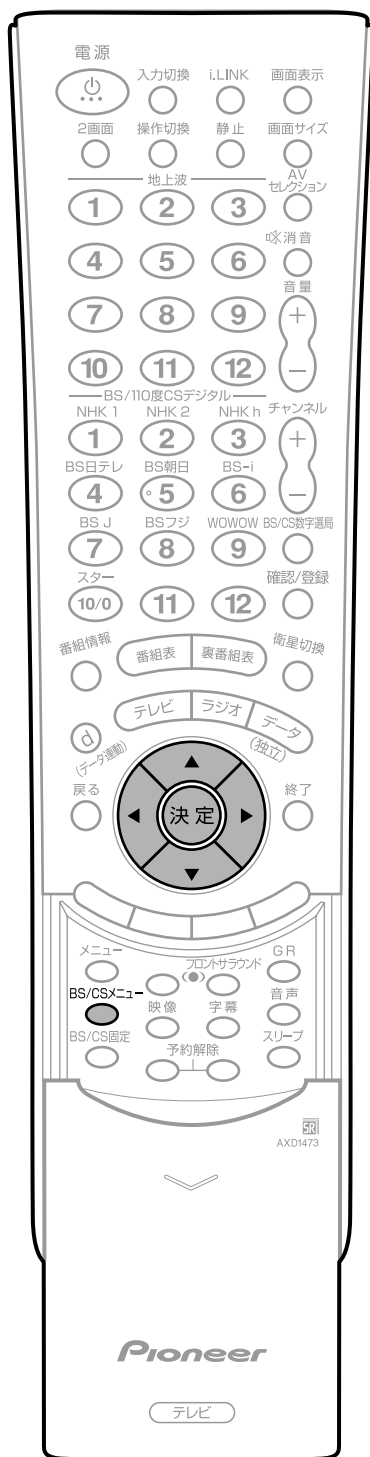
どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、**64**ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

手動による電話回線設定

扉を開けたところ

1

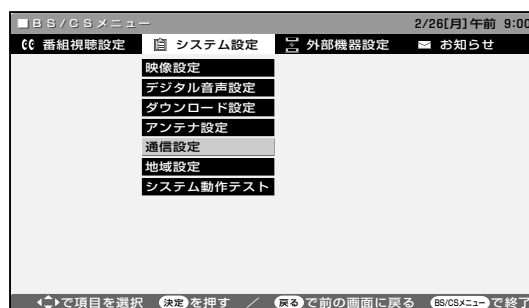
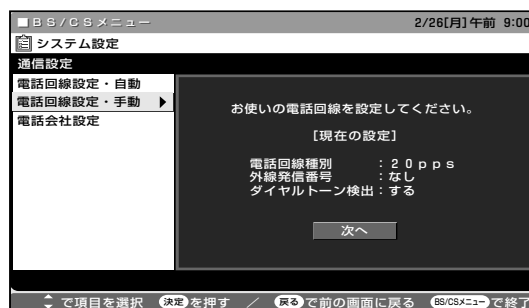
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定 を押す

3

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す

扉を開けたところ

4 ご契約の電話回線種別を   で選び、決定を押す

●契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

5 ① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

●「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

7 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

ご注意

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

電話会社設定

■ 放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

■ **通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ

発信者番号通知設定

●通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 **BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

2 ① **◀ ▶で「システム設定」を選ぶ**

② **▲ ▼で「通信設定」を選び、決定を押す**

3 **▼で「電話会社設定」を選び、決定を押す**

おしらせ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

扉を閉じたところ

4

① 「現在の設定」を確認する
② 「次へ」で（決定）を押す

5

▲▼で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、（決定）を押す

「設定しない」……「186」「184」のどちらにも設定しない
「186」………………番号を通知する
「184」………………番号を通知しない

次ページへ

扉を開けたところ

事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

6 **で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す**

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

7 **で「する」または「しない」を選び、****を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……. マイラインプラスを解除しないで発信します。

8 BS/CSメニュー **を押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号を設定する

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

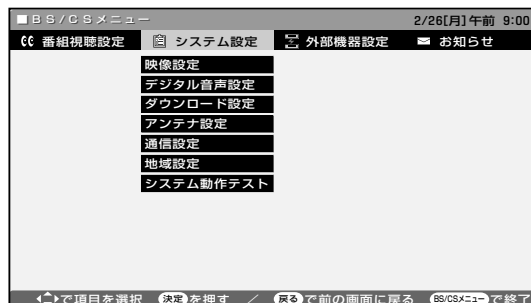
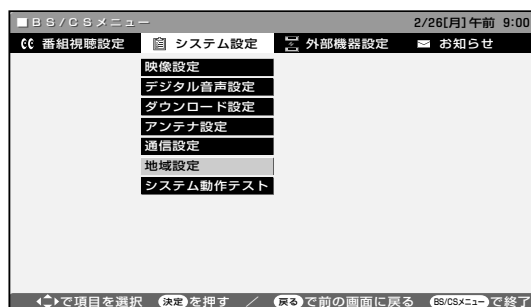
地域選択

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ◀▶で「システム設定」を選ぶ

3 ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

次ページへ

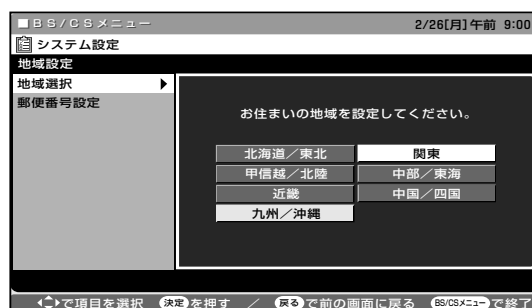
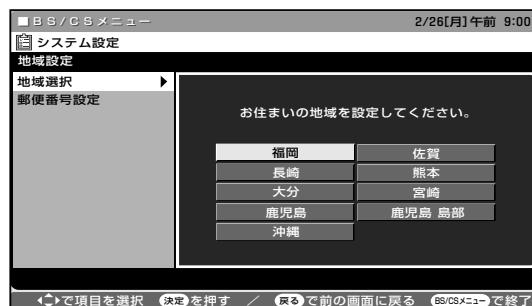
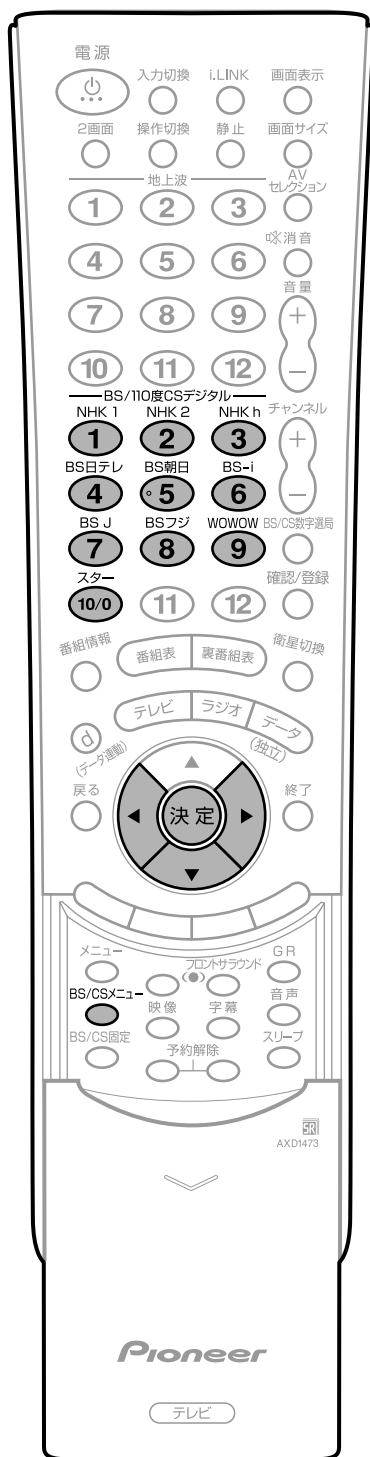
おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

扉を閉じたところ

4

▲で「地域選択」を選び、決定を押す

5

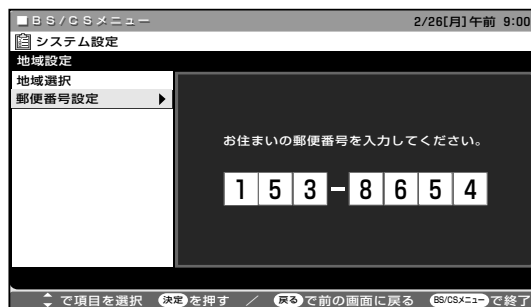
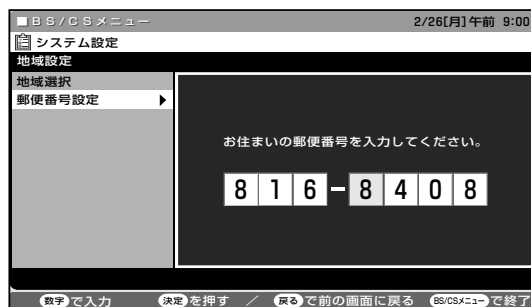
お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す

6

お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、決定を押す

扉を開けたところ

郵便番号設定

7 で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

8 BS/110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS/110度CSチャンネルボタンで入力しなおします。

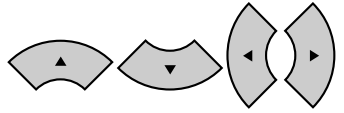
9 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

BS/CSメニュー画面について

本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをBS/CSメニューを使って行います。
操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

基本操作

BS/CSメニューを表示する／終了する .....

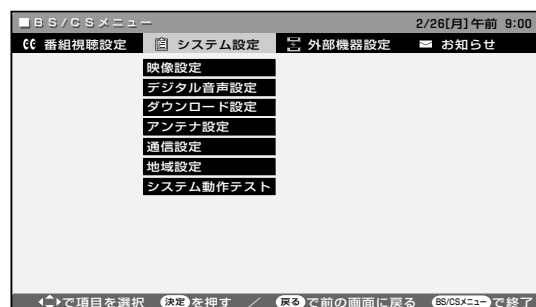
カーソルで選ぶ ......

前に戻る ....

決定する ....

メニューの構成

番組視聴設定

BS／CS固定設定	175ページ
字幕表示設定	138ページ
チャンネル表示設定	134ページ
チャンネルスキップ設定..........	135ページ
画面表示設定	137ページ
暗証番号設定	139ページ
視聴年齢制限設定	142ページ
PPV設定	143ページ

■ＢＳ／ＣＳメニュー　2/26[月]午前 9:00
番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ
映像設定
デジタル音声設定
ダウンロード設定
アンテナ設定
通信設定
地域設定
システム動作テスト
で項目を選択 決定を押す ／ 戻るで前の画面に戻る BS/CSメニューで終了

システム設定

映像設定	131ページ
デジタル音声設定	200ページ
ダウンロード設定	146ページ
アンテナ設定	149ページ
通信設定	152ページ
地域設定	159ページ
システム動作テスト	168ページ

■ＢＳ／ＣＳメニュー　2/26[月]午前 9:00
番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ
ｉ．ＬＩＮＫ設定
ビデオ連動録画設定
で項目を選択 決定を押す ／ 戻るで前の画面に戻る BS/CSメニューで終了

外部機器設定

i. LINK設定	192ページ
ビデオ連動録画設定	177ページ

■ＢＳ／ＣＳメニュー　2/26[月]午前 9:00
番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ
受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
ＩＣカード番号表示
ＰＰＶ購入履歴
で項目を選択 決定を押す ／ 戻るで前の画面に戻る BS/CSメニューで終了

お知らせ

受信メッセージ一覧	162ページ
ボード	163ページ
受信機レポート.....................	165ページ
ICカード番号表示.................	166ページ
PPV購入履歴	167ページ

設定画面の表示

白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

テレビを楽しむ

テレビ／ビデオ入力の画面サイズの種類

手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの4つの画面サイズから選択できます。

4：3

通常のテレビ画面（4:3サイズ）の映像をそのまま映します。

シネマ

ビスタサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

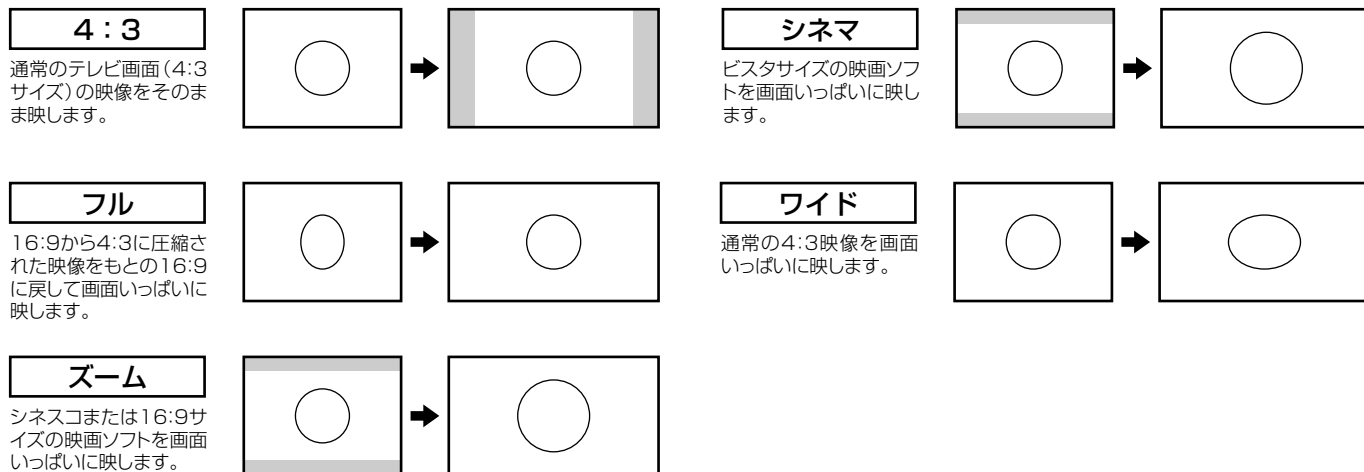
フル

16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。

ワイド

通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。

ズーム

シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

■ 選択できる画面サイズは、通常のテレビ／ビデオ映像とハイビジョン映像とで異なります。

テレビ／ビデオ画面	→4：3→フル→ズーム→シネマ→ワイド
ハイビジョン画面	→フル1（1080i）→フル2（1035i）

ワイドクリアビジョン放送や画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。（**オートワイド機能**☞**78**ページ）

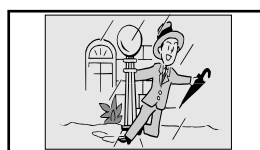
「EDTVII対応」機能（☞**79**ページ）…… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。（水平高画質化機能はありません。）

「S2対応」機能（☞**80**ページ）…… DVDプレーヤーなどをS映像ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

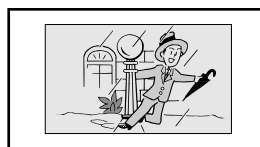
「D識別対応」機能（☞**81**ページ）…… DVDプレーヤーなどをD端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

フルモード制御信号・レターボックス制御信号とは

- 縦横比16：9の映像であることを示す信号です。

フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

〈自動的にフルモードで表示します〉

レターボックス： 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

テレビ／ビデオ入力の画面サイズ切換え

画面サイズを選ぶ

扉を閉じたところ

1 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

● メニュー表示中につぎの操作を行います。

2 画面サイズ または ▲ ▼ で、「4：3」「フル」「ズーム」「シネマ」「ワイド」のうちから、お好みの画面サイズを選ぶ

3 決定 を押す

● テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

● 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
● ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、ワイド機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「4：3」にしてください。
● 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**76**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
● オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

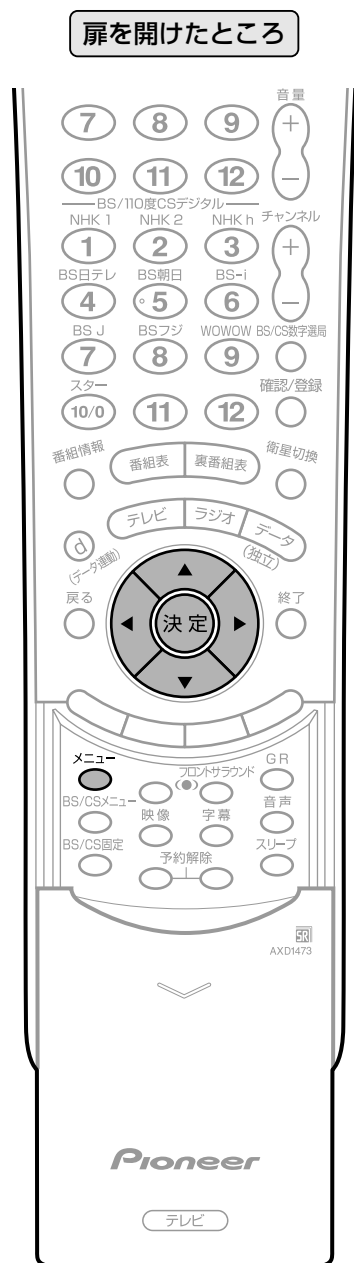
画面の位置を調整する

画面位置の調整のしかた

画面位置の調整について

- 画面の位置を調整することができます。

「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

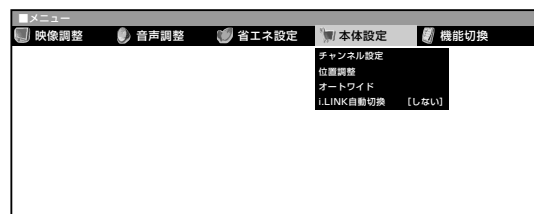
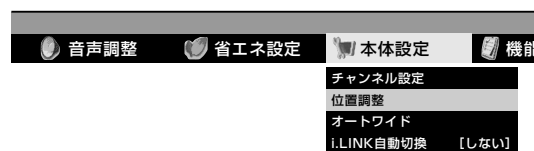
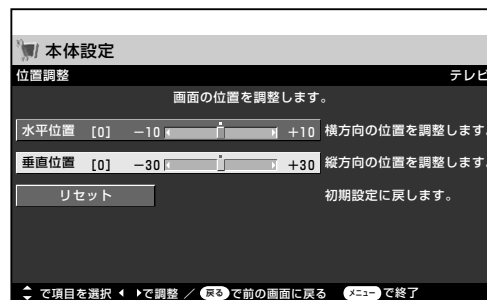
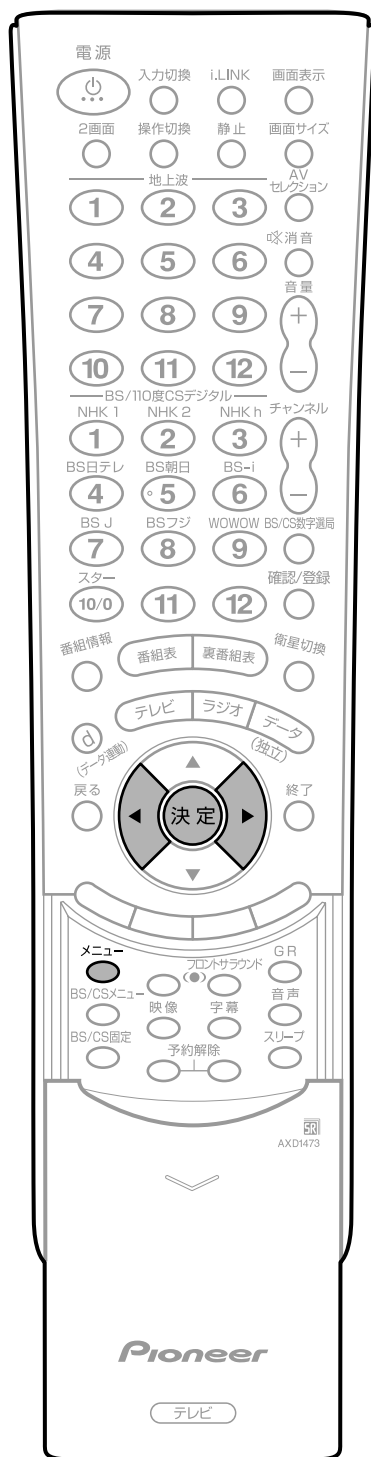
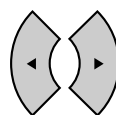
「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

扉を開けたところ

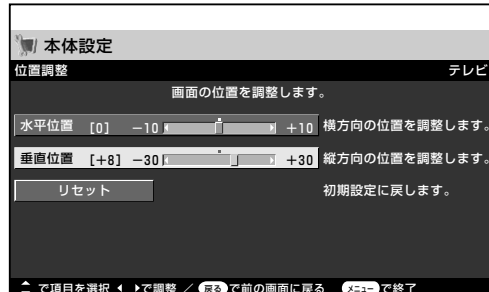
[例] 画面の垂直位置を調整する

1 (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する

2 ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、(決定)を押す

音声調整　省エネ設定　本体設定　機能
チャンネル設定
位置調整
オートワイド
i.LINK自動切換　[しない]

4 ▲ ▼ で「垂直位置」を選ぶ

扉を開けたところ

5 で適切な位置に調整する

- −30〜0〜+30の範囲で調整できます。

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

水平位置を調整するには

- 手順4のとき「水平位置」を選び、お好みの位置に調整してください。
  −10〜0〜+10の範囲で調整できます。

標準位置(工場出荷時の状態)に戻すには

- 手順4のとき「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
  垂直位置、水平位置ともに「0」に戻ります。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)

オートワイド機能について

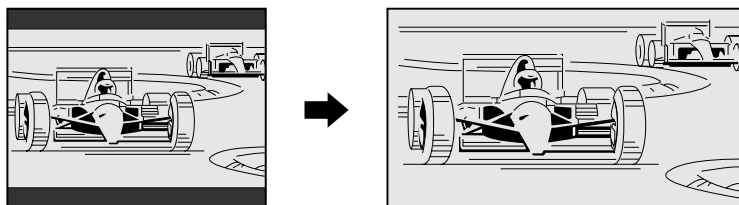
■オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。

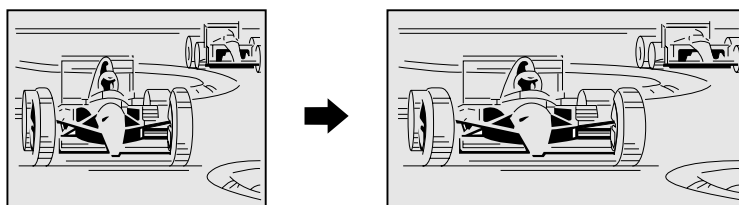
■オートワイド機能にはつぎの3つの項目があります。各項目はメニューの操作で設定します。

「EDTVII対応」……	ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(水平高画質化機能はありません。)(☞**79**ページ)
「S2対応」…………… (ビデオ入力のみ)	S2入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**80**ページ)
「D識別対応」……… (ビデオ1·2入力のみ)	画面サイズの判定にD4映像入力端子の識別信号を利用するか、映像信号で判別するかを選択することができます。(☞**81**ページ)

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

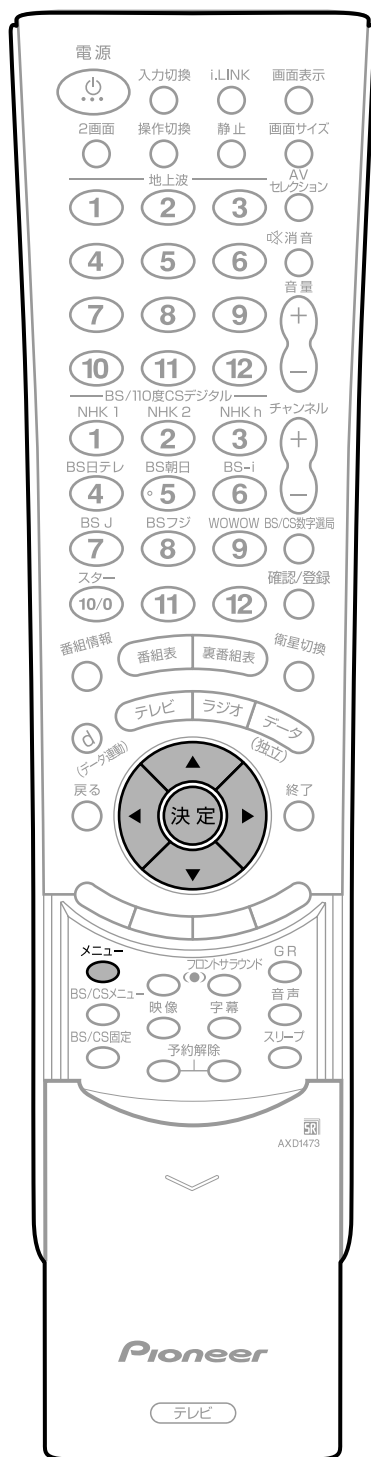
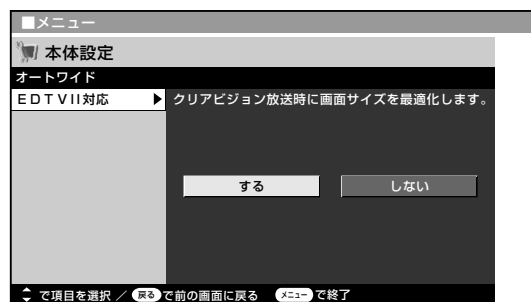
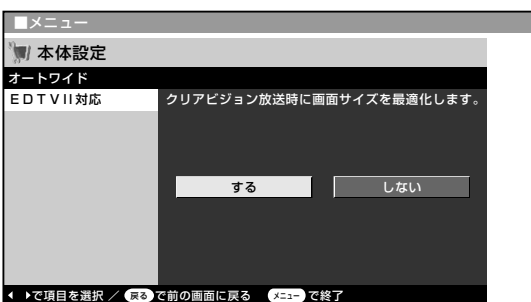
上下に黒い帯の入った映像

- EDTVII対応
- S2対応
- D識別対応

スクイーズ映像

- S2対応
- D識別対応

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。
  ① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
  ② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
  ③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
  ④ 画面に表示されているすべての項目(「EDTVII対応」「S2対応」「D識別対応」のうち表示されているもの)を「しない」に設定する。
  - 詳しい操作方法については、**79**〜**81**ページをご覧ください。

  ⑤ メニューボタンを押し、通常画面に戻す。
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「ズーム」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整(**76**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。

扉を開けたところ

EDTVII対応機能について

- ワイドクリアビジョン放送をテレビから録画したものを視聴する場合、機能しないことがあります。

EDTVII対応の設定

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「EDTVII対応」を選び、決定 を押す

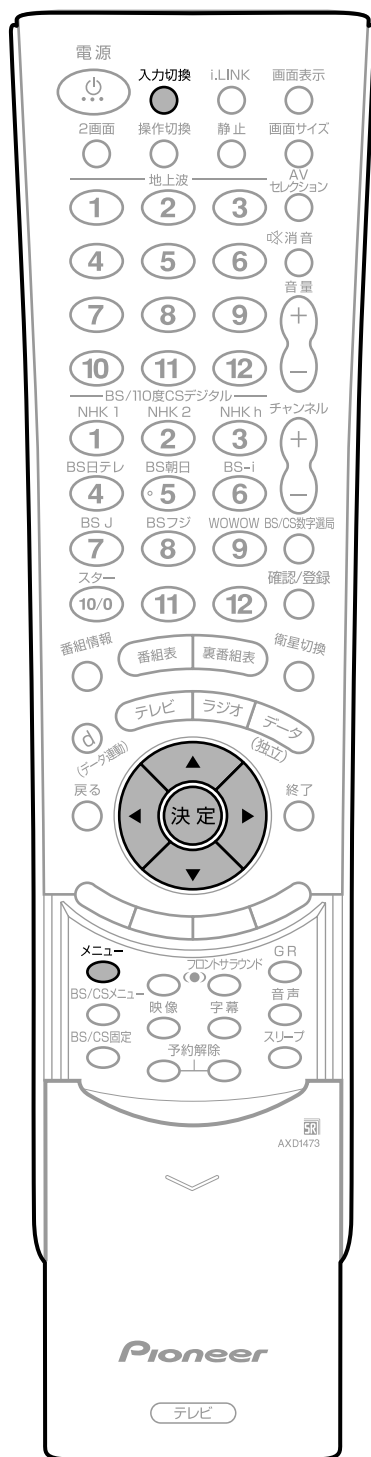
3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選ぶ

4

メニュー を押し、通常画面に戻す

画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

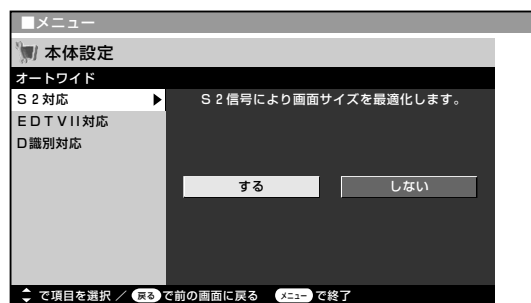
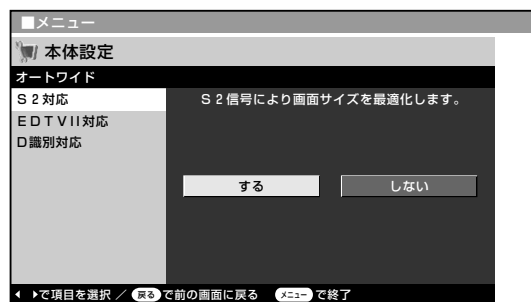
扉を開けたところ

S2対応の設定

1 (入力切換)を押し、S映像ケーブルを接続しているビデオ入力を選ぶ

2
① (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼で「オートワイド」を選び、(決定)を押す

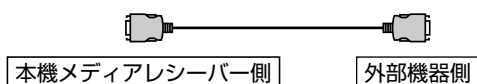
3 ▲ ▼で「S2対応」を選び、(決定)を押す

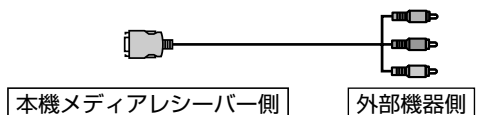
4 ◀ ▶で「する」または「しない」を選ぶ

5 (メニュー)を押し、通常画面に戻す

D識別対応の設定

■D4映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

「端子」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子接続ケーブルのときは、「端子」に設定します。

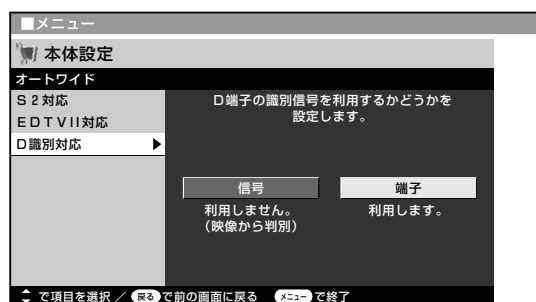
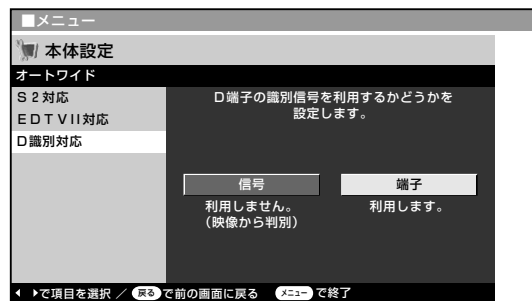
本機メディアレシーバー側　外部機器側

「信号」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「信号」に設定します。

本機メディアレシーバー側　外部機器側

1 入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続しているビデオ入力（1または2）を選ぶ

2 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

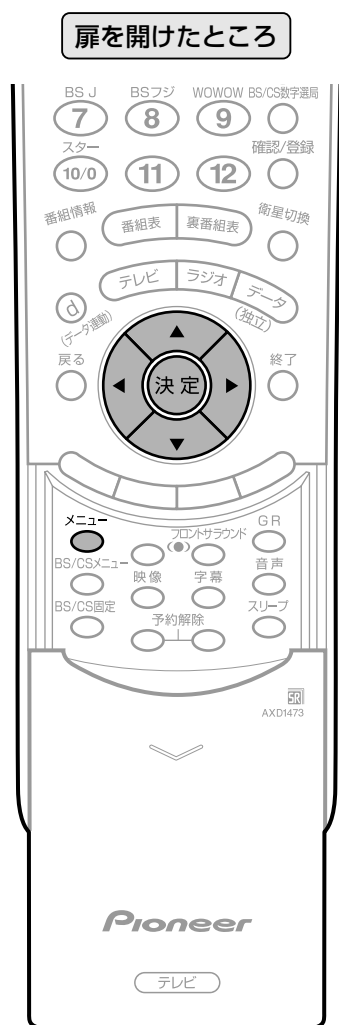
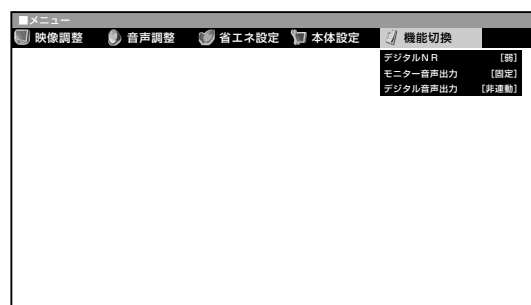
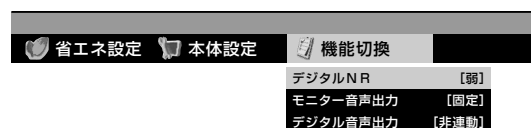
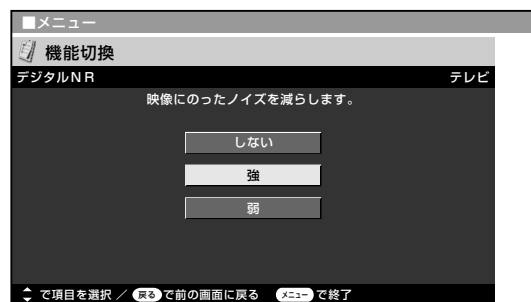
3 ▲ ▼で「D識別対応」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「信号」または「端子」を選ぶ

5 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ
- D端子接続ケーブルやD-コンポーネント変換ケーブルは、市販のものをご使用ください。

お好みの映像・音声で楽しむ

映像をすっきりさせる（デジタルNR）

■ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。

■地上放送、CATV、ビデオ入力ごとに設定ができます。なお、ビデオ入力は各入力別（個別）に設定できます。

扉を開けたところ

おしらせ

- BS・110度CSデジタル放送のハイビジョン放送、およびコンポーネント映像端子から入力された1125i／750pの映像に対しては、デジタルNR機能が働きません。
- BS/CSメニューの「システム設定」内、「映像設定」の「画面サイズ設定」が「フル固定」になっていると、BS・110度CSデジタル放送受信時にデジタルNR機能が働きません。

［例］デジタルNRを「強」に設定する

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ

2 ▲ ▼で「デジタルNR」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「強」を選ぶ

4 メニューを押し、通常画面に戻す

最適な映像・音声設定を選ぶ（AVセレクション）

AVセレクションとは

- 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

「標準」…………… 画質・音質の設定がすべて標準値になります。

「ダイナミック」…（テレビ／ビデオ入力のみ） くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力にあふれたものにします。

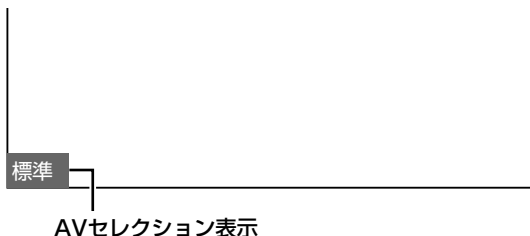
「映画」……………（テレビ／ビデオ入力のみ） コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。

「ゲーム」…………（テレビ／ビデオ入力のみ） テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

「AVメモリー」…… 各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

扉を閉じたところ

1 AVセレクション を押す

- 画面左下に現在のAVセレクションが表示されます。

AVセレクション表示

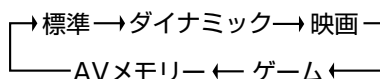
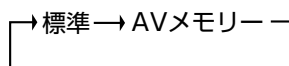
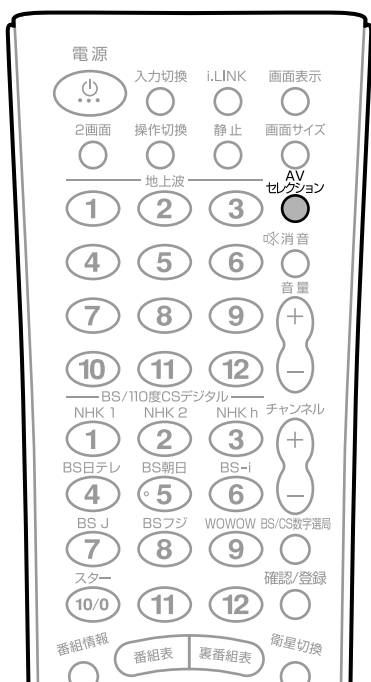
2 AVセレクション表示が出ている間に再び AVセレクション を押し、お好みの設定を選ぶ

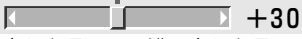
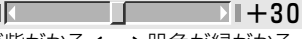
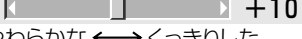
- ボタンを押すたびに、AVセレクションがつぎのように切り換わります。

テレビ／ビデオ入力時

→標準→ダイナミック→映画→ゲーム→AVメモリー→（標準に戻る）

PC入力時

→標準→AVメモリー→（標準に戻る）

おしらせ

- AVセクションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます（例えば、テレビは「標準」、ビデオ1は「ダイナミック」.....など）が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の調整内容についても「テレビ」と同じものになります。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
　テレビ／ビデオ入力とPC入力は、別の調整項目になっています。
　テレビ／ビデオ入力には、より細かい項目まで調整できる「プロ設定」があります。
■調整したいAVセレクションを選んでから、映像調整の操作を行います。(**83**ページ参照)

テレビ／ビデオ入力での調整項目

PC入力での調整項目

項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相を変化させます。	−30〜0〜+30
色温度	色温度を調整します。 低くすると色合いが落ち着いた映像になり、高くすると色鮮やかな映像となります。	高/高-中/中/中-低/低
黒伸張	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	しない/強/弱
3次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
ピュアシネマ	フィルム収録のDVD映像などを高画質に再生します。	する/しない

※カラーマネージメントの調整項目について

系統色	調　整 −30……0……+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

● プロ設定については、**86**ページをご覧ください。

● 2画面のとき、映像調整はできません。(AVセレクションは、2画面で別々に設定できます。)
● BSデジタル放送やコンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、プロ設定の「3次元設定」は選択できません。

お好みの映像に調整する

■AVセレクションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVセレクションを選んでから行ってください。

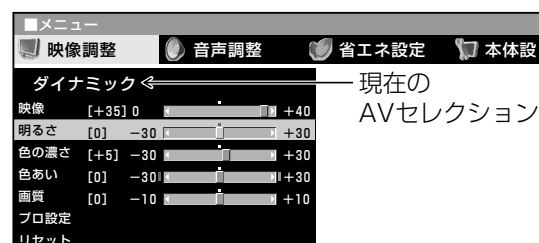
扉を開けたところ

［例］AVセレクションを「ダイナミック」に設定しているときに、「明るさ」を調整する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「映像調整」を選ぶ

③ ▲ ▼で「明るさ」を選ぶ

2

◀ ▶で、お好みの明るさに調整する

▶を押すと、より明るくなります。

◀を押すと、より暗くなります。

●続けて他の項目を調整したいときは、上下カーソルボタンで項目を選び、同じ要領で調整します。

3

メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順1の③で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

「初期設定に戻しました。」と表示されます。

この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

● 2画面のとき、映像調整はできません。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

プロ設定の調整

■映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、**84**ページを参照してください。

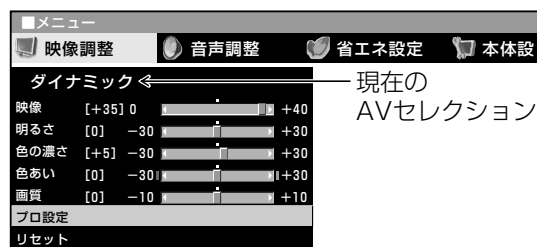
扉を開けたところ

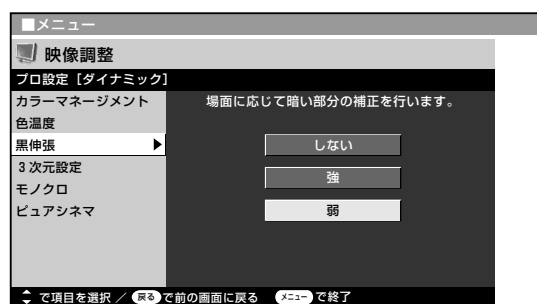
[例] 黒伸張を「強」に設定する

1

① (メニュー)**を押し、メニュー画面を表示する**

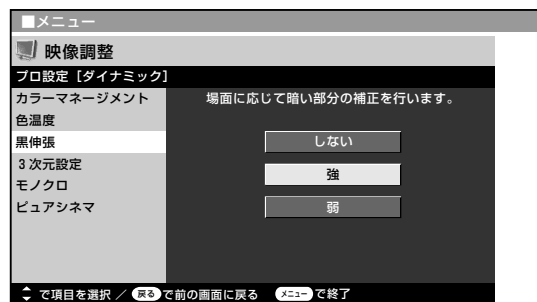
② ◀▶**で「映像調整」を選ぶ**

③ ▲▼**で「プロ設定」を選ぶ**

2

▲▼**で「黒伸張」を選び、**(決定)**を押す**

3

▲▼**で「強」を選ぶ**

●続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

4

(メニュー)**を押し、通常画面に戻す**

おしらせ
- 2画面のとき、映像調整はできません。
- BSデジタルのハイビジョン放送を受信しているとき、「3次元設定」は選択できません。

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

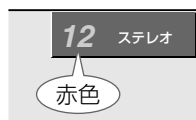
■二重音声放送やステレオ放送のとき、音声ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

● 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

▼画面表示

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

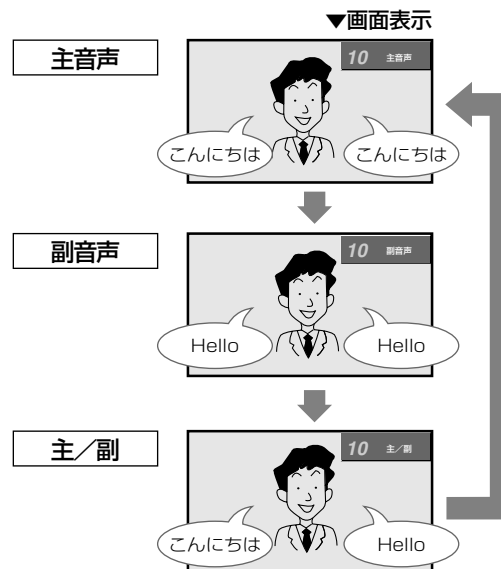
主音声と副音声について

● ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

扉を開けたところ

二重音声放送の音声切換

音声を押し、お好みの音声を選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送の音声切換

■ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、で「モノラル」にする

●画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
●「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

おしらせ

● 音声ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
● BS・110度CSデジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

お好みの音声に調整する

音声調整について

- 「高音」「低音」「バランス」「サラウンド設定」の4つの項目をお好みに合わせて調整することができます。
  調整したいAVセレクションを選んでから、音声調整の操作を行います。(**83**ページ参照)
- サラウンド設定については、**89**ページをご覧ください。

扉を開けたところ

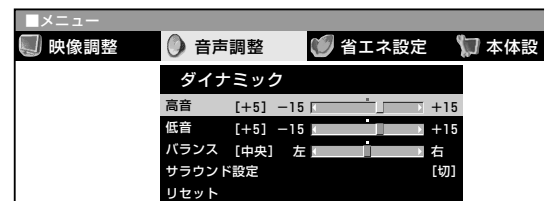
[例] AVセレクションを「ダイナミック」に設定しているときに、「高音」を調整する

1

① メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

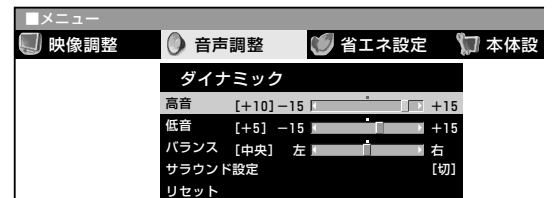
② ◀ ▶ **で「音声調整」を選ぶ**

2

▲ ▼ **で「高音」を選ぶ**

3

◀ ▶ **で、お好みの位置に調整する**

- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

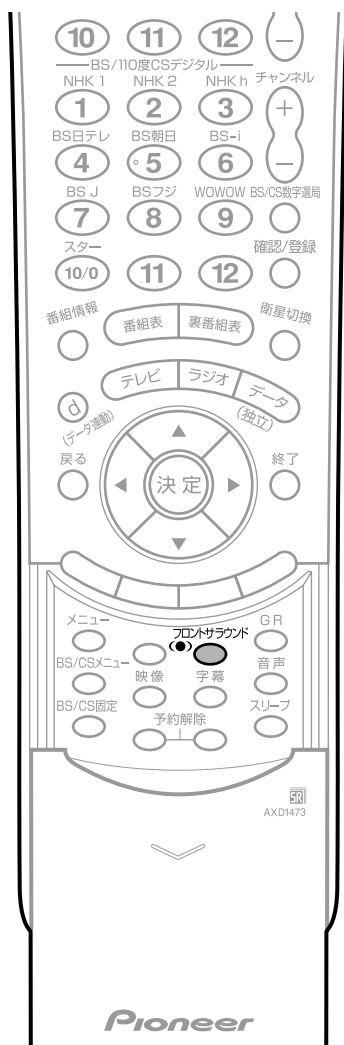
4

メニュー **を押し、通常画面に戻す**

サラウンド音声で聞く

■3つのサラウンドモードから選んで、お好みのサラウンド効果をお楽しみいただけます。
「切」を選ぶと通常の音声になります。

「SRS」……………	効果の大きな立体サウンドが再現できます。
「FOCUS」………	音が聞こえてくる垂直方向（音像定位）を変えることができます。
「FOCUS+SRS」…	2つの方式を併用することにより、立体サウンドの効果がアップします。

※ SRS(●) FOCUS はSRS Labs, Inc.の商標です。
SRS及びSRS FOCUSはSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

扉を開けたところ

リモコンで設定する

1 フロントサラウンド(●)を押す

● 画面左下に現在のサラウンドモードが表示されます。

(●):SRS

サラウンドモード表示

2 再びフロントサラウンド(●)を押し、お好みのモードを選ぶ

● ボタンを押すたびに、サラウンドモードがつぎのように切り換わります。

扉を開けたところ

メニュー画面で設定する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

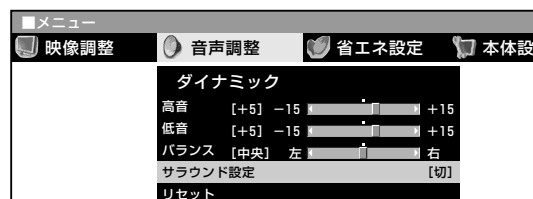
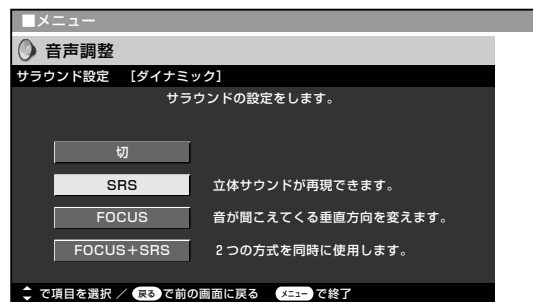
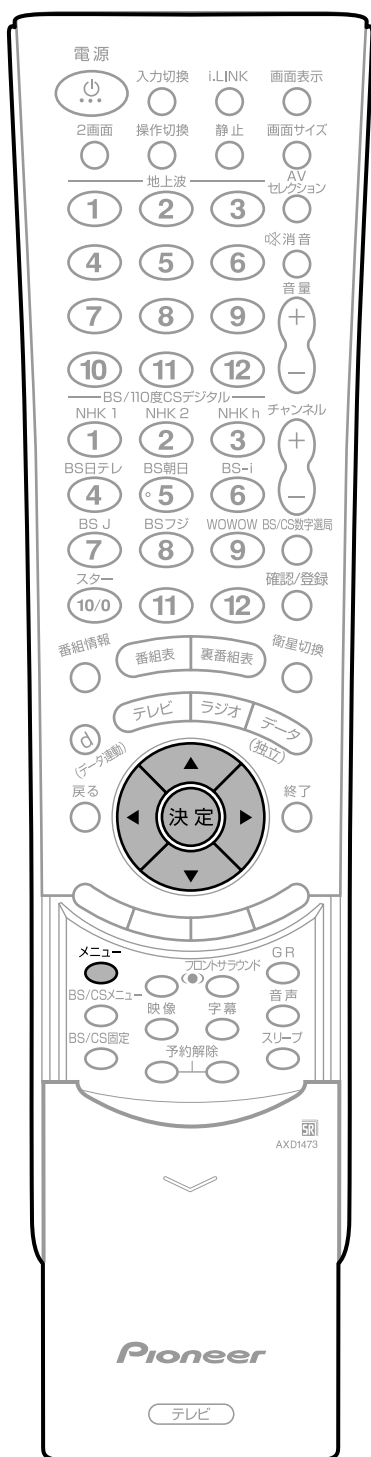
② ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ

2

▲ ▼ で「サラウンド設定」を選び、決定を押す

3

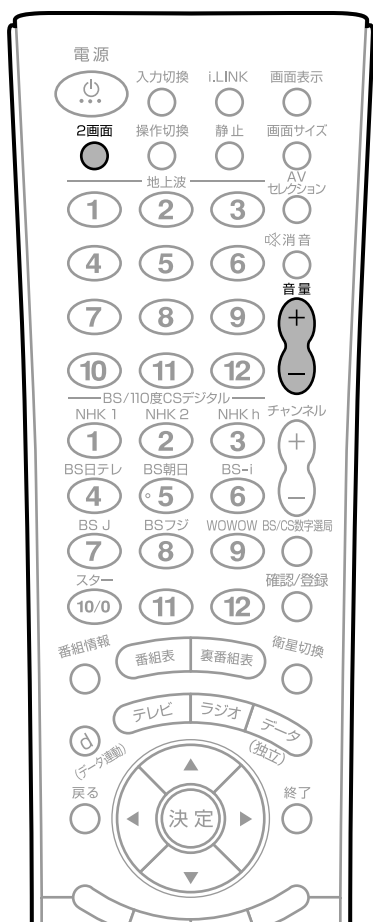
▲ ▼ で、お好みのモードを選ぶ

4

メニューを押し、通常画面に戻す

2画面で見る

2画面機能を使う

■本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■2画面のとき、「♪」マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

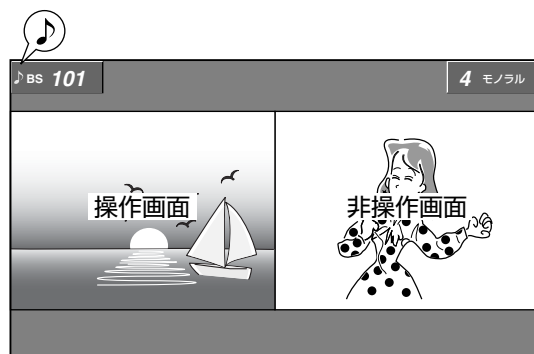
扉を閉じたところ

● 2画面機能を入／切すると、画面やBS/CS出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
● 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
● 2画面のとき、メニュー操作はできません。
● 2画面になった映像がハイビジョン信号(1125i、750p)のときや、オートワイド機能によりフルモード制御信号が利用できる場合は、16：9表示になります。

2画面で見られる映像の組合せ

左画面＼右画面	地上放送	BS/CS放送※1	外部入力	PC入力
地上放送	×	○	○※2	×
BS/CS放送	○	×	○※2･3	×
外部入力	○	○※3	○※2･4	×
PC入力	×	×	×	×

※1 BS/CS放送は、右画面に表示したとき自動的に525i信号に変換されます。
※2 右画面には525i信号(地上放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1080i/750p)が入力されている場合は、その入力に切り換えようとしてもスキップします。
※3 BS/CS放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。
※4 同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

［例］地上放送とBS放送を2画面で見る

2画面 を押す

●操作画面のチャンネル表示には、「♪」マークが付いています。

2画面時の音声と音量調整について

● 「♪」マークのある操作画面の音声が聞けます。
● 音量(＋／－)ボタンで、操作画面の音量を調整できます。

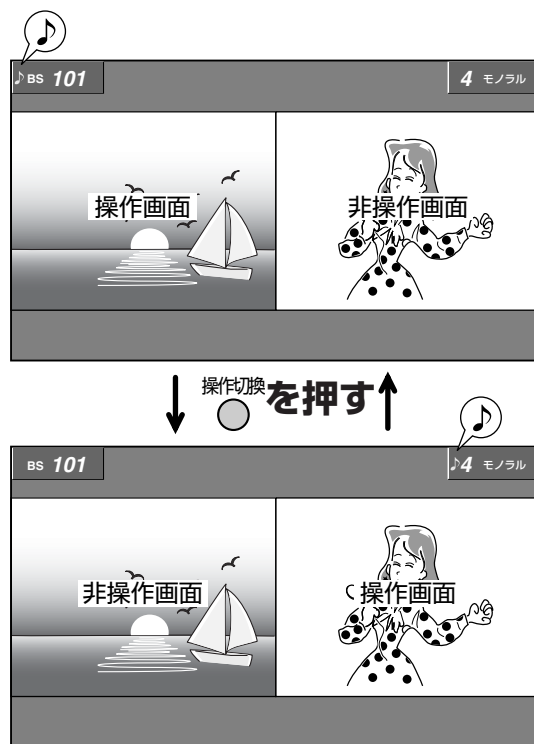
2画面で見る(つづき)

扉を閉じたところ

操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

●チャンネル(＋／－)ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
●入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

おしらせ
- 非操作画面がBS/CS放送のとき、操作画面は地上放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面が地上放送のとき、操作画面はBS/CS放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面がBS/CS放送のとき、操作画面の外部入力のi.LINKは選べません。
- 右画面には525i信号(地上放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1080i/750p)が入力されている場合は、その入力に切り換えようとしてもスキップします。

操作画面を切り換えるには

●「♪」マークが移動します。

1画面に戻すには

2画面をもう一度押すか、終了を押す

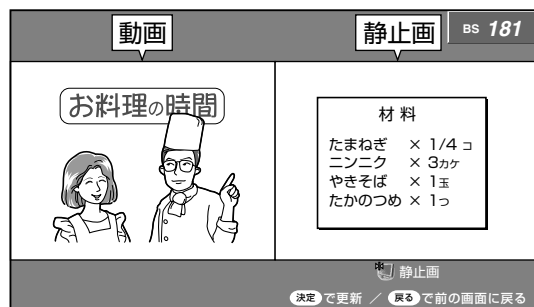
静止画面で見る

番組の内容をメモする

■いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするとき便利です。

扉を閉じたところ

映像を静止させたいところで、静止を押す

●2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

●静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

1画面に戻すには

静止をもう一度押すか、終了を押す

テレビを楽しむ

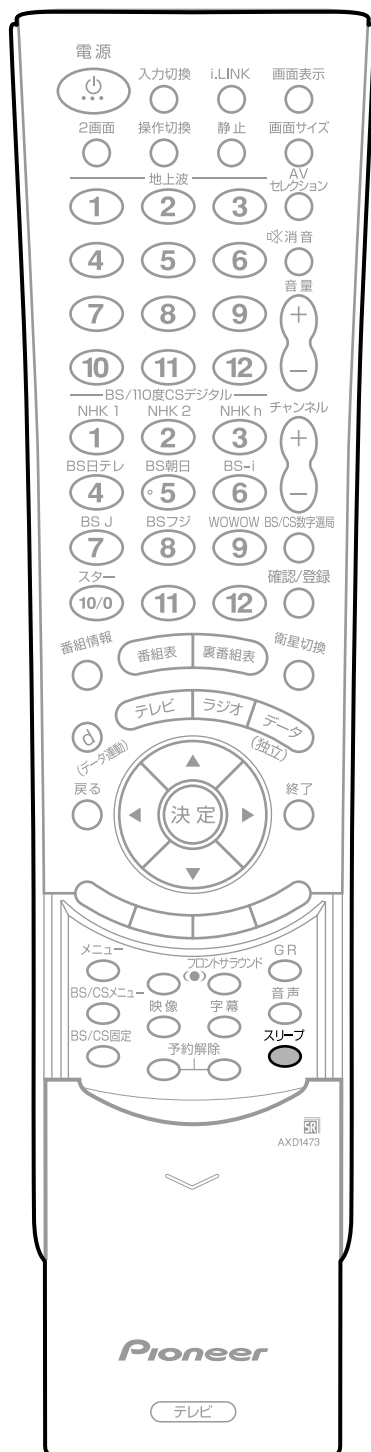
2画面／静止画面で見る（つづき）

- 静止ボタンを押し、静止画表示になってから8分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
- 静止画表示中に選局すると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中は、BS/CS放送のデータ放送の操作、BS/CSメニューや電子番組表などの操作ができません。
- 静止画表示中に予約録画が実行された場合、静止画表示が解除されます。
- 静止画表示中は、i.LINKの操作ができません。

指定した時間後に本機の電源を切る（スリープ機能）

スリープ機能を使う

■「スリープ機能」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

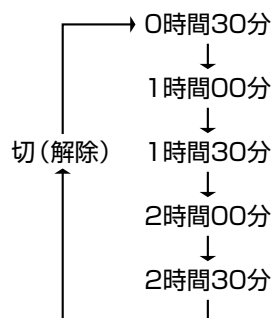
扉を開けたところ

1 スリープ を押す

●スリープ機能の設定時間が表示されます。

スリープ：　0時間３０分

●スリープ機能がすでに設定されている場合は、残り時間が表示されます。

2 スリープ表示が出ている間に再び スリープ を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

●ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

スリープ機能の残り時間を見るには

スリープ を押す

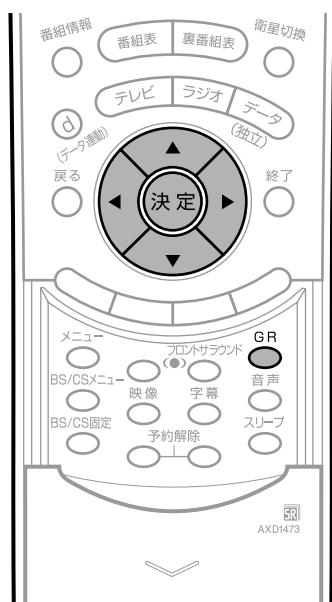
●残り時間が表示されます。

スリープ：残り　0時間１５分

ゴーストを軽減する(GR機能)

GR機能を使う

■ ゴーストの発生によって見にくくなったチャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能) ※GRはゴーストリダクションの略称です。
■ GR機能は、VHF/UHFアンテナ入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。
■ GR設定は工場出荷時、地上波チャンネルボタンにプリセットされているチャンネルが「入」に設定されています。

扉を開けたところ

おしらせ
- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - ・放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - ・飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ・ゴーストの電波が強いとき
  - ・ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

1 GR を押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

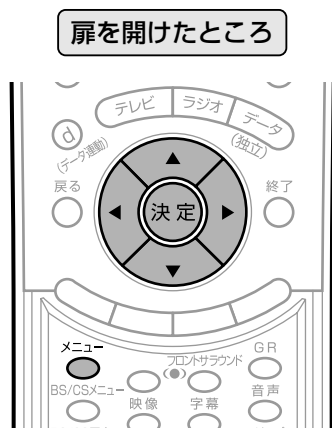
2 GR設定表示が出ている間に再び GR を押す

- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

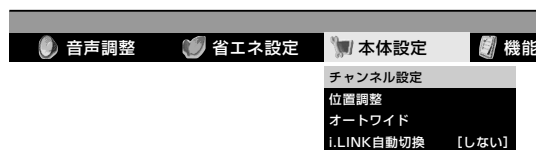
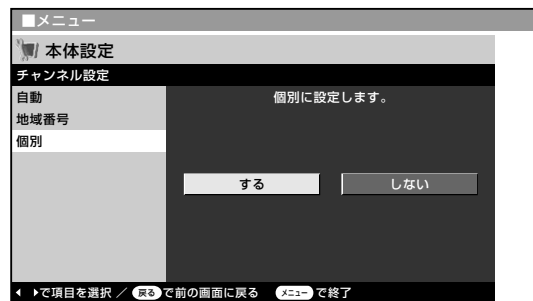
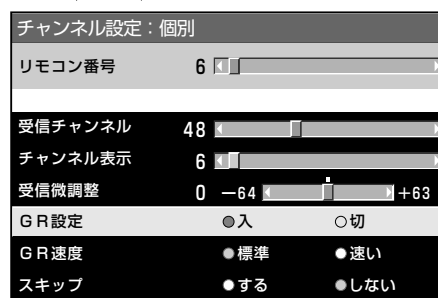
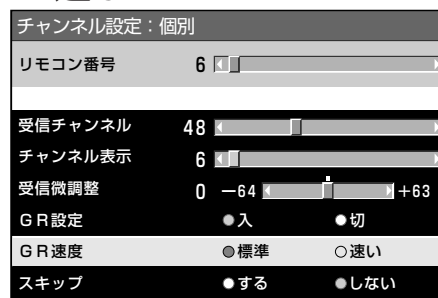
おしらせ
- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の右下に「GR」が表示されます。

「ゴースト」について
- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2画面のときは、左画面のみGR機能が働きます。

ゴーストを軽減する(GR機能)(つづき)

メニュー画面でGR設定をする

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「個別」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

5
① ▲▼で「GR設定」を選ぶ
② ◀▶で「入」または「切」を選ぶ

6
① ▲▼で「GR速度」を選ぶ
② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

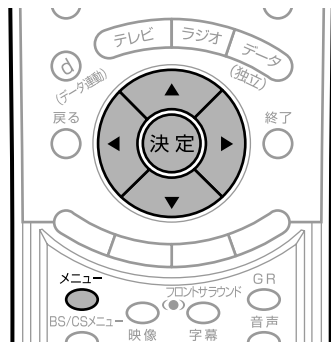
7 メニューを押し、通常画面に戻す

省エネ機能を使う

省エネ機能の設定のしかた

■省エネ機能は節電に役立つ機能です。
つぎの4種類の項目を設定できます。

項目	内容
「消費電力」	消費電力を抑えられる「省エネ」モードがあります。
「無信号オフ」（テレビ／ビデオ入力）	無信号になったとき、約15分後に自動的に電源が切れる機能です。
「無操作オフ」（テレビ／ビデオ入力）	操作しない時間が3時間経過すると、自動的に電源が切れる機能です。
「パワーマネジメント」（PC入力）	PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れる機能です。（**98**ページ参照）

扉を開けたところ

おしらせ

無操作オフ機能について

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。
- PC入力のときは別項目の設定となります。（**98**ページ参照）

無信号オフ機能について

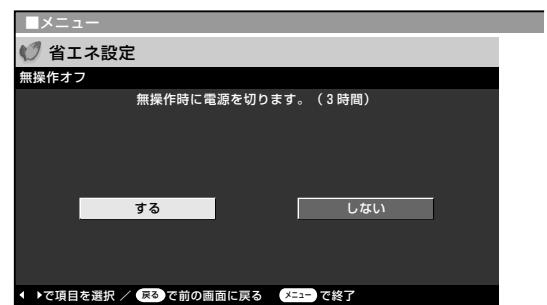
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。
- PC入力のときは別項目の設定となります。（**98**ページ参照）
- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ：残り　5分

＜例＞テレビ／ビデオ入力で無操作オフを「する」に設定する

1 **(メニュー)を押し、メニュー画面を表示する**

2 ① **◀▶で「省エネ設定」を選ぶ**
② **▲▼で「無操作オフ」を選び、(決定)を押す**

3 **◀▶で「する」を選ぶ**

- 他の省エネ機能を設定したいときは、手順**2**の②～**3**をくり返します。

4 **(メニュー)を押し、通常画面に戻す**

省エネ機能を使う（つづき）

PC入力の省エネ機能の設定

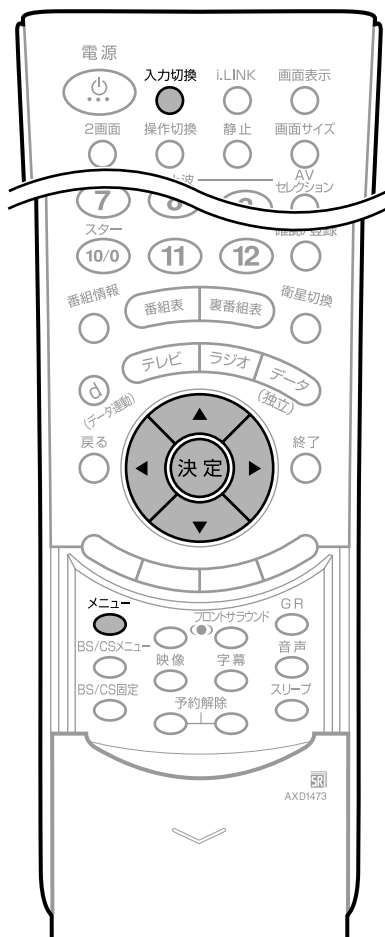
■PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。（パワーマネージメント）

「しない」………パワーマネジメントを行いません。

「モード1」……無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメント　残り　5分

「モード2」……無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。再び信号を受けると電源が入ります。

扉を閉じたところ

［例］パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1

① 入力切換 **を押す**

② ▲ ▼ **で「PC」を選び、**

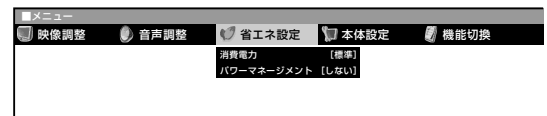
決定 **を押す**

入力切換
テレビ
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
i．LINK
➡ PC

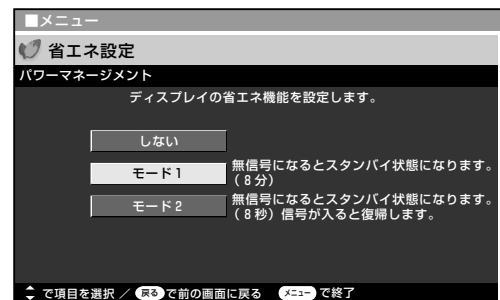
2

① メニュー **を押し、PCメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「省エネ設定」を選ぶ**

3

▲ ▼ **で「パワーマネージメント」を選び、** 決定 **を押す**

4

▲ ▼ **で「モード1」を選ぶ**

5

メニュー **を押し、通常画面に戻す**

BS・110度CSデジタル放送を楽しむ

BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS・CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2002年11月現在）

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG） ………… BS・110度CSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

- 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送のチャンネル番号表

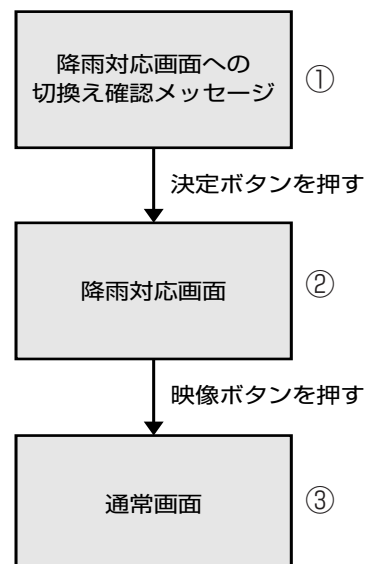
	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700〜709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140〜143、145〜149 (臨時編成サービス時：144)※	440〜449	740〜749
	BS朝日	150〜157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450〜459	750〜759
	BS-i	160〜168 (臨時編成サービス時：169)※	460〜469	760〜769
	BSジャパン	170〜179 (臨時編成サービス時：未定)※	470〜479	770〜779
	BSフジ	180〜187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780〜789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790〜799
	スターチャンネル	200〜209	なし	800〜809
ラジオ/データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310〜319	610〜619
	JFNサテライト	なし	320〜329	620〜629
	セント・ギガ	なし	330〜339	630〜639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900〜909
	ウェザーニュース	なし	なし	910〜919
	DCI	なし	なし	930〜939
	日本データ放送	なし	なし	940〜949
	メディアサーブ	なし	なし	950〜959
	日本メディアーク	なし	なし	960〜969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990〜999

※臨時編成サービス：**100**ページをご覧ください。

（2002年11月現在）

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像ボタンを押してください。(右図③)

- **降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。**

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

110度CSデジタル放送について

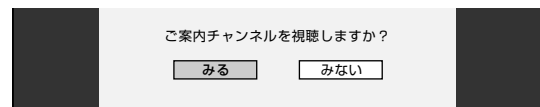
■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。
■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナ、BSアンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**
■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(プラットワン、スカイパーフェクTV!2)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※注が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※注.「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

プラットフォーム(プラットワン[CS1]、スカイパーフェクTV!2[CS2])単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。詳しくは**163**ページをご覧ください。

(画面例)

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ

ネットワーク、放送の種類、番組の選択手順

1 ネットワークを選ぶ
● 3種類のネットワークから選びます。

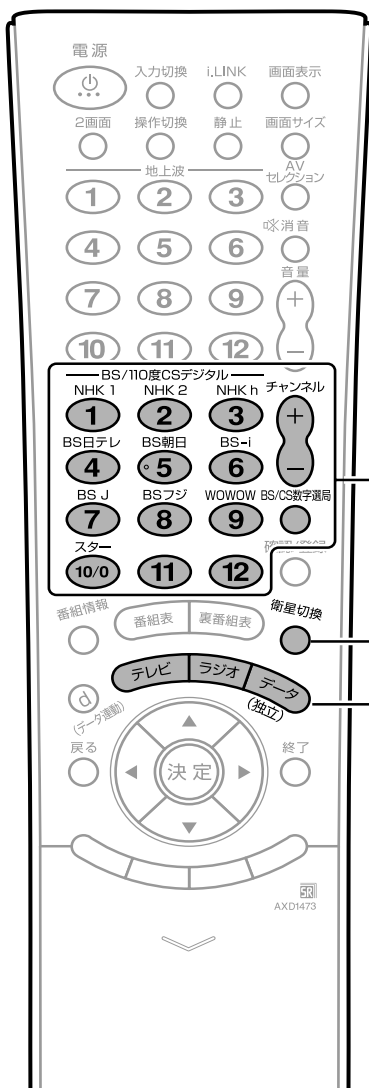
●BS（BSデジタル放送）
●CS1（プラットワン）
●CS2（スカイパーフェクTV！2）

2 放送の種類を選ぶ
● 3種類の放送から選びます。

●テレビ放送
●ラジオ放送
●データ放送

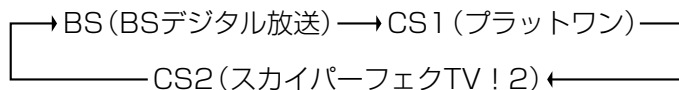
3 チャンネルを選ぶ
● 3種類の選局方法があります。
（**104**～**106**ページをご覧ください。）

●チャンネルボタンで選ぶ
●チャンネル番号入力で選ぶ
●チャンネル（＋／－）ボタンで選ぶ

扉を閉じたところ

操作手順

1 衛星切換 ◯ **を押し、視聴したいネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS（BSデジタル放送）→CS1（プラットワン）→CS2（スカイパーフェクTV！2）→

2 ／ ／   **のいずれかを押し、視聴したい放送の種類を選ぶ**

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

●チャンネルの選局方法には、つぎの3種類があります。各ページをご覧ください。

● チャンネルボタンで選ぶ…………… ☞**104**ページ
● チャンネル番号入力で選ぶ………… ☞**105**ページ
● チャンネル（＋／－）ボタンで選ぶ…… ☞**106**ページ

電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

■ 上記手順**1**、**2**の後に、電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**110**・**111**ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

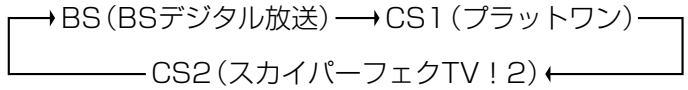
チャンネルボタンで選ぶ

■リモコンのBS／110度CSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認／登録ボタンを押すと、BS／110度CSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**108**・**109**ページ参照)

扉を閉じたところ

1 衛星切換 ◯ **でネットワークを選ぶ**

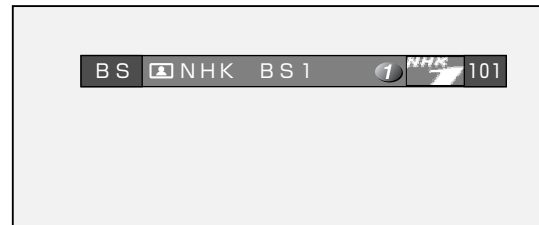
●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV！2)→

2 <例> BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選ぶとき

① テレビ **を押す**

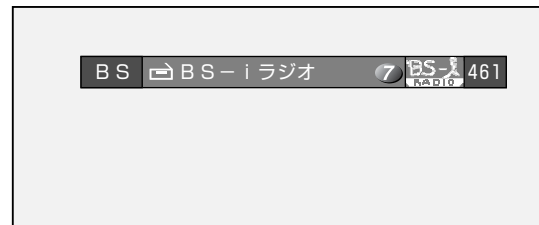
② **チャンネルボタン** NHK 1 (1) **を押す**

▼画面表示

BS NHK BS1 1 101

<例> BSデジタル放送のラジオ放送「BS-iラジオ」を選ぶとき

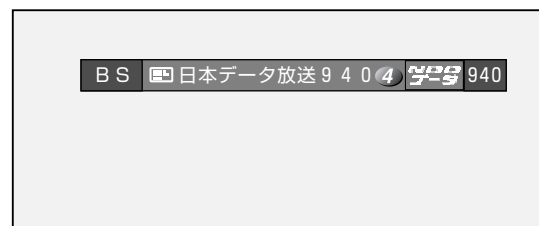
① ラジオ **を押す**

② **チャンネルボタン** BS J (7) **を押す**

BS BS－iラジオ 7 461

<例> BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選ぶとき

① データ(独立) **を押す**

② **チャンネルボタン** BS日テレ (4) **を押す**

BS 日本データ放送940 4 940

おしらせ

● 独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

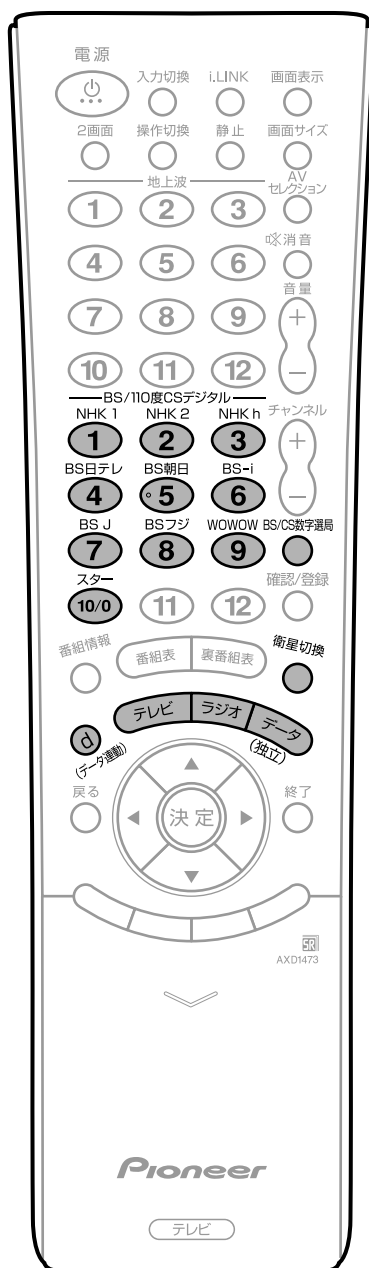
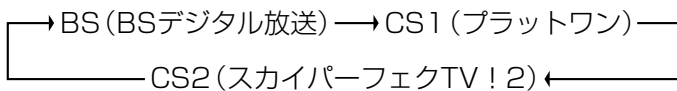
チャンネル番号で選ぶ

■視聴したい番組のチャンネル番号(3桁)を入力して選局できます。
チャンネル番号表(**101**・**109**ページ)を参照してください。

扉を閉じたところ

1 衛星切換 ○ **でネットワークを選ぶ**

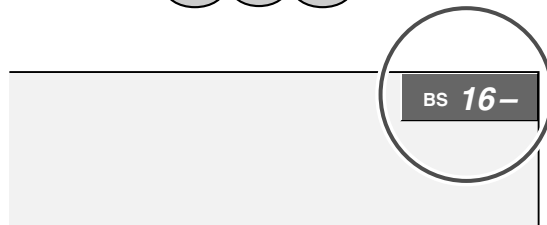
●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV！2)→

2 テレビ / ラジオ / データ(独立) **で放送の種類を選ぶ**

3 <例> BSデジタル放送のテレビ放送で、161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① BS/CS数字選局 ○ を押す

●画面右上にチャンネル番号入力欄が表示されます。

② 数字ボタン NHK 1 ① BS-i ⑥ NHK 1 ① を押す

●間違った番号を入力した場合は、再度BS/CS数字選局ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

●選んだ番組がデータ連動放送のときは、「*d*」マークがチャンネル表示の右下に表示されます。

●*d*(データ連動)ボタンを押すと、番組の関連情報などが表示されます。

おしらせ

●「*d*」マークが表示されていても、*d*(データ連動)ボタンを押したとき連動データ放送に切り換わらない番組もあります。

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

チャンネル(+/−)ボタンで選ぶ

■チャンネル(+/−)ボタンを押すたびに、BSチャンネルまたは110度CSチャンネル、CATVチャンネル、テレビチャンネルが、順/逆に選局できます。

1 衛星切換 でネットワークを選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV!2)→

2 テレビ / ラジオ / データ(独立) で放送の種類を選ぶ

3 チャンネル(+/−) を押す

●視聴したい番組が表示されるまで、チャンネル(+/−)ボタンを押してください。

おしらせ
●あらかじめチャンネルスキップ(**135**ページ)を設定しているチャンネルは飛びこします。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」マークが表示されます。

おしらせ
●「*d*」マークが表示されていても、*d*(データ連動)ボタンを押したとき連動データ放送に切り換わらない番組もあります。

① 番組情報 を押し、チャンネル表示内の「*d*」マーク表示を確認する

② *d*(データ連動) を押す

「*d*」マーク表示

BS NHK h 103
おはよう世界のトップスポーツ
午前 9:00〜午前 9:50
ハイビジョン 高音質 サラウンド
映像 副1 音声 副2 字幕 主
■番組情報
プレーバック・ワールドカップフランス98
−準々決勝−「イタリア」対「フランス」
〜サンドニ・フランス競技場で録画〜
【解説】○○○○【アナウンサー】○○○○
次ページ

(連動データ放送の画面例)

●テレビ放送に戻すときは、再び*d*(データ連動)ボタンを押します。

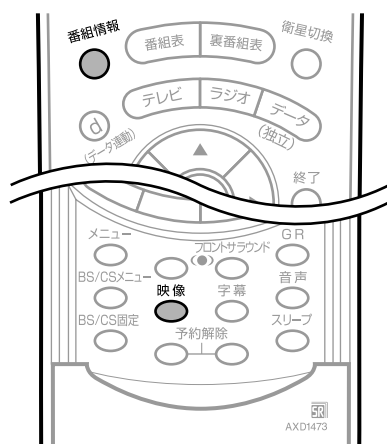
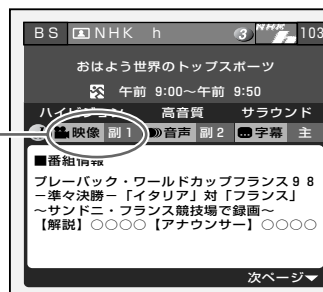
おしらせ
●電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、*d*(データ連動)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大3つ)、または主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

扉を開けたところ

映像を押し、映像を切り換える

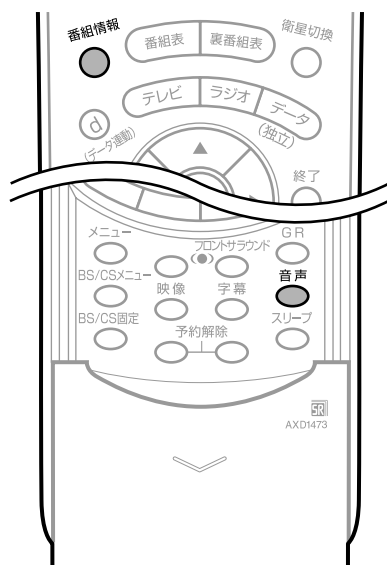
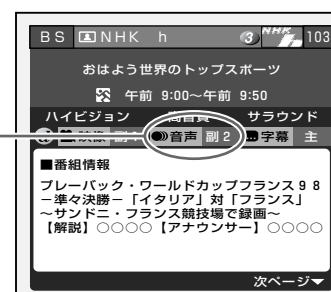
●ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。

→主映像 → 副映像1～3※

※番組によって副映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

■主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

扉を開けたところ

音声を押し、音声を切り換える

●ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1～7※

※番組によって副音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主音声 → 副音声 → 主/副音声

おしらせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合は、前回の設定がそのまま反映されます。

BS/110度CSチャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

■BS／110度CSチャンネルボタンでワンタッチ選局するときに、登録されているチャンネル内容の確認ができます。

扉を閉じたところ

放送を視聴中に 確認/登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

<例> BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、確認／登録ボタンか終了ボタンを押します。

- 各放送のチャンネル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときに確認／登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、衛星切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、ネットワーク・放送の種類が切り換わり、そのチャンネル登録画面が表示されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- BS・110度CSデジタル放送を視聴しているとき以外は確認／登録ボタンを押しても、チャンネル確認画面は表示されません。

工場出荷時に設定されているBS・110度CSチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2 NHK2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニューズ	910
3 NHKh	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4 BS日テレ	BS 日テレ	141	セントギガ	333	日本データ放送	940
5 BS朝日	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
6 BS-i	BS-i	161	BSAラジオ	455	日本メディアーク	963
7 BSJ	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	日本ビーエス放送	999
8 BSフジ	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	―	―
9 WOWOW	WOWOW	191	LFX488	488	―	―
10/0 スター	スターチャンネル	200	BS QR489	489	―	―
11	―	―	WOWOW WAVE1	491	―	―
12	―	―	―	―	―	―

CS1（プラットワン）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	プラットワン・プロモチャンネル	001	サウンドスケープテリア	700	データカレッジ	010
2 NHK2	G+SPORTS&NEWS	004	ヒーリングテリア	701	CS日本	011
3 NHKh	NNN24	005	ライトクラシックテリア	702	WOWOW PPV NAVI	090
4 BS日テレ	電波少年的放送局	006	スクリーンテリア	703	お一当たりch	900
5 BS朝日	ブルームバーグテレビジョン	007	ストリング・アンサンブルテリア	704	お！宝ch	901
6 BS-i	ミュージックジャパンTVプラス	008	カフェ・ミュージックテリア	705	CS教育テレビ	902
7 BSJ	サイエンス教育チャンネル	009	スウィングテリア	706	ゲーちゃん	909
8 BSフジ	epプラザ	055	フュージョンテリア	707	ハローTivi	963
9 WOWOW	ep056	056	カントリー&ウェスタンテリア	708	スポーツTivi	966
10/0 スター	BBTV	085	ラテン&ブラジリアンテリア	709	ニュースTivi	967
11	ベルメゾンTV	088	ボーダーレス・ミュージックテリア	710	ショッピングTV	998
12	WOWOW PPV1	091	R&B・ソウルテリア	711	カルチャーTV	999

CS2（スカイパーフェクTV！2）チャンネル

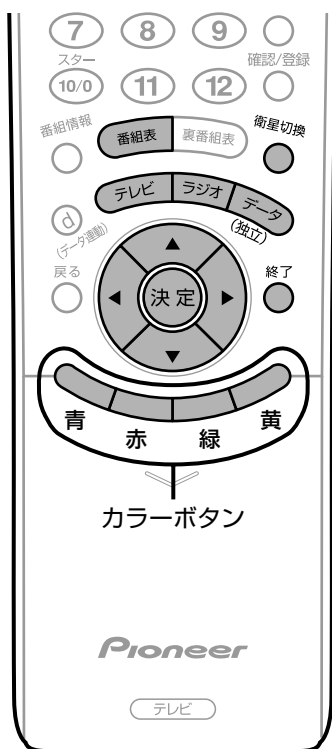
チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	スカパー2プロモ	100	–	–	ワンテンポータル	110
2 NHK2	C-TBSウェルカムチャンネル	160	–	–	CS映画	123
3 NHKh	ショップチャンネル	177	–	–	たまごとじ	168
4 BS日テレ	フジテレビ739	182	–	–	たまごとじ	169
5 BS朝日	AQステーション	194	–	–	タカラヅカ・スカイ・ステージ	190
6 BS-i	ザ・ゴルフチャンネル	211	–	–	AQデータ放送	196
7 BSJ	日本映画+時代劇TV	220	–	–	ム・ーハ	501
8 BSフジ	スーパーチャンネル	230	–	–	ム・ーハ	512
9 WOWOW	CS NOW	235	–	–	–	–
10/0 スター	アクティブ！スポーツチャンネル	250	–	–	–	–
11	タカラヅカ・スカイ・ステージ	290	–	–	–	–
12	–	–	–	–	–	–

※CS2（スカイパーフェクTV！2）のラジオ放送は、現在放送予定がありません。
※チャンネルプランは2002年11月現在のもので、変更されることもあります。

電子番組表(EPG)の使いかた

BS・110度CSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

扉を閉じたところ

カラーボタン

1 BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を視聴中に **を押す**

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。
(**117**ページ参照)

電子番組表(EPG)画面を消すときは
番組表 または 終了 を押します。

おしらせ

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。
- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送だけです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに衛星切換ボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

カラーボタンの機能について

青 (情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

扉を閉じたところ

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

1 番組表 を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を で選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**117**ページ参照)

(117ページ参照)

アイコン一覧

■BS・110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

放送の種類を示すアイコン

アイコン	放送の種類
	テレビ放送
	ラジオ放送
	独立データ放送

番組情報を示すアイコン

アイコン	内容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピー禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・公演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

扉を閉じたところ

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 赤 (ジャンル検索)を押す

2 見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

■番組表　テレビ　ラジオ　データ　2/26[月]午前 9:00
BS digital　◀ ▶でジャンルの切換えができます。
■ジャンル検索　◀ ニュース・報道 ▶

101	①	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:00
102	②	NNNモーニングライブ	2/26[月]午前 9:00〜午前 9:50
103	③	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:00
141	④	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:30
142		NNNニュースダッシュ	2/26[月]午前10:00〜午前10:30
143		ニュース	2/26[月]午前10:00〜午前10:50
151	⑤	ニュース	2/26[月]午前10:30〜午前11:00
152		ニュース	2/26[月]午前11:00〜午後12:00
153		ニュース	2/26[月]午前11:30〜午後12:50

※ 2/26[月] 午前 9:00〜午後 0:00までの番組です。
戻る　次の時間帯
で選択し、選局は 決定 を押す / 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了

3 見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタン(次の時間帯)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の時間帯)を押します。

■番組表　テレビ　ラジオ　データ　2/26[月]午前 9:00
BS digital　◀ ▶でジャンルの切換えができます。
■ジャンル検索　◀ ニュース・報道 ▶

101	①	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:00
102	②	NNNモーニングライブ	2/26[月]午前 9:00〜午前 9:50
103	③	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:00
141	④	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00〜午前10:30
142		NNNニュースダッシュ	2/26[月]午前10:00〜午前10:30
143		ニュース	2/26[月]午前10:00〜午前10:50
151	⑤	ニュース	2/26[月]午前10:30〜午前11:00
152		ニュース	2/26[月]午前11:00〜午後12:00
153		ニュース	2/26[月]午前11:30〜午後12:50

※ 2/26[月] 午前 9:00〜午後 0:00までの番組です。
戻る　次の時間帯
で選択し、選局は 決定 を押す / 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**117**ページ参照)

日時を指定して番組を探す

■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

扉を閉じたところ

1

① 番組表 を押し､電子番組表を表示する

② 緑 (日時検索)を押す

2

◀▶で日にちを選び、 黄 (時間を選ぶ)を押す

●日にちを選んだあとに決定ボタンを押すと、選んだ日にちの番組表が表示されます。

3

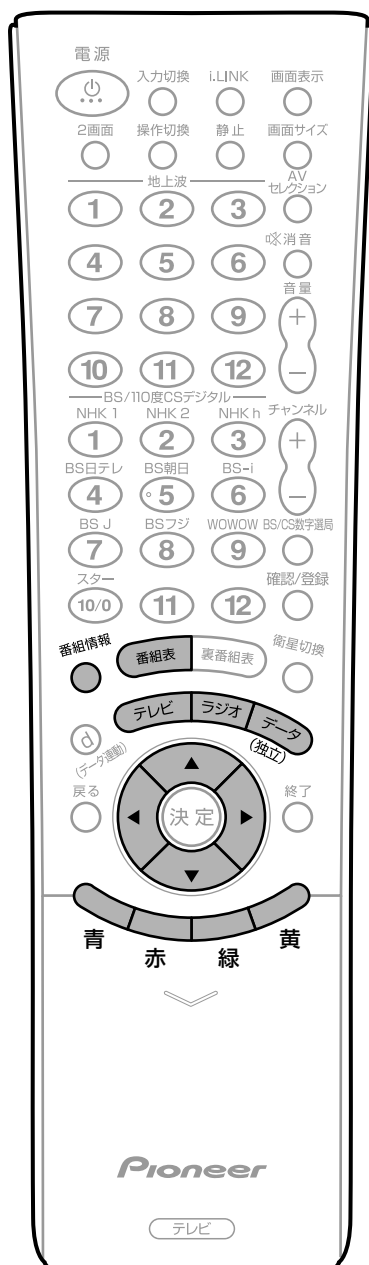
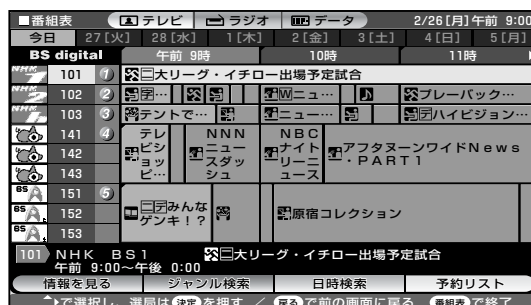
◀▶で時間を選び、決定を押す

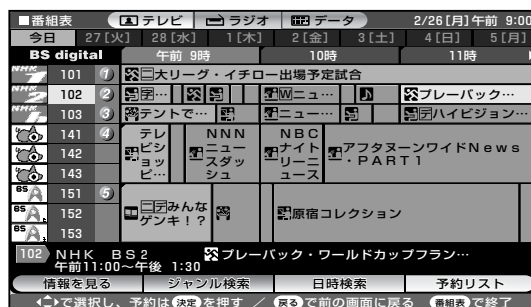
●指定された日時の電子番組表が表示されます。

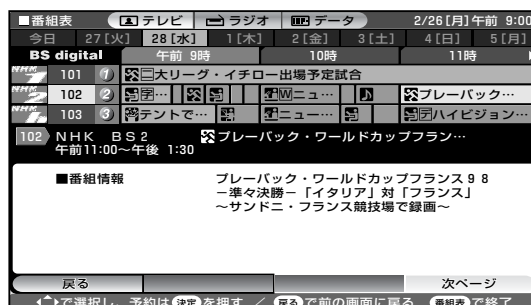
電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

番組の内容を確認する

■番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

扉を閉じたところ

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を

で選ぶ

3 青 (情報を見る)を押す

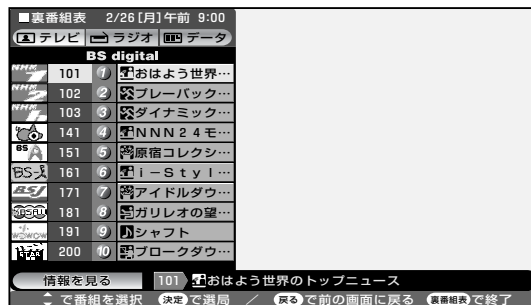
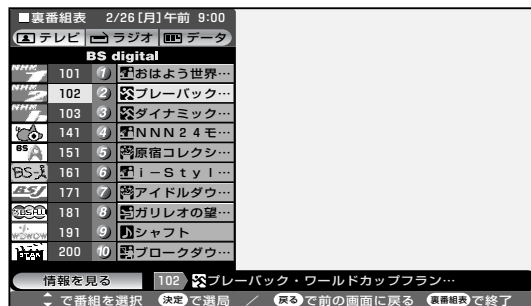
●番組情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

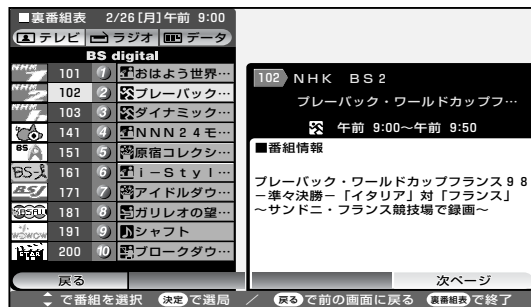
● 番組情報ボタンを押してください。
(電子番組表を表示する必要はありません。)

放送中の他の番組を知りたいとき

扉を閉じたところ

1 裏番組表 を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青 (情報を見る)を押す

●選んだ番組の情報が表示されます。

■裏番組表 2/26［月］午前 9:00
102 NHK BS2
ブレーバック・ワールドカップフ…
午前 9:00〜午前 9:50
■番組情報
ブレーバック・ワールドカップフランス98 ー準々決勝ー「イタリア」対「フランス」〜サンドニ・フランス競技場で録画〜
戻る 次ページ

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

おしらせ

- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれの放送種類についても、同じように裏番組表を表示することができます。
- 裏番組表を表示しているときに衛星切換ボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ BS・110度CSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。

■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

番組予約（録画予約）の手順

予約する放送（BS/CS1/CS2）を受信する

↓

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ ―― 番組表から、直接予約ができます

↓

「録画予約」を選ぶ

↓

録画機器の選択・設定

- ビデオ連動予約確認・設定 ―― ビデオデッキ
- i.LINK 予約確認・設定 ―― D-VHS ビデオデッキ

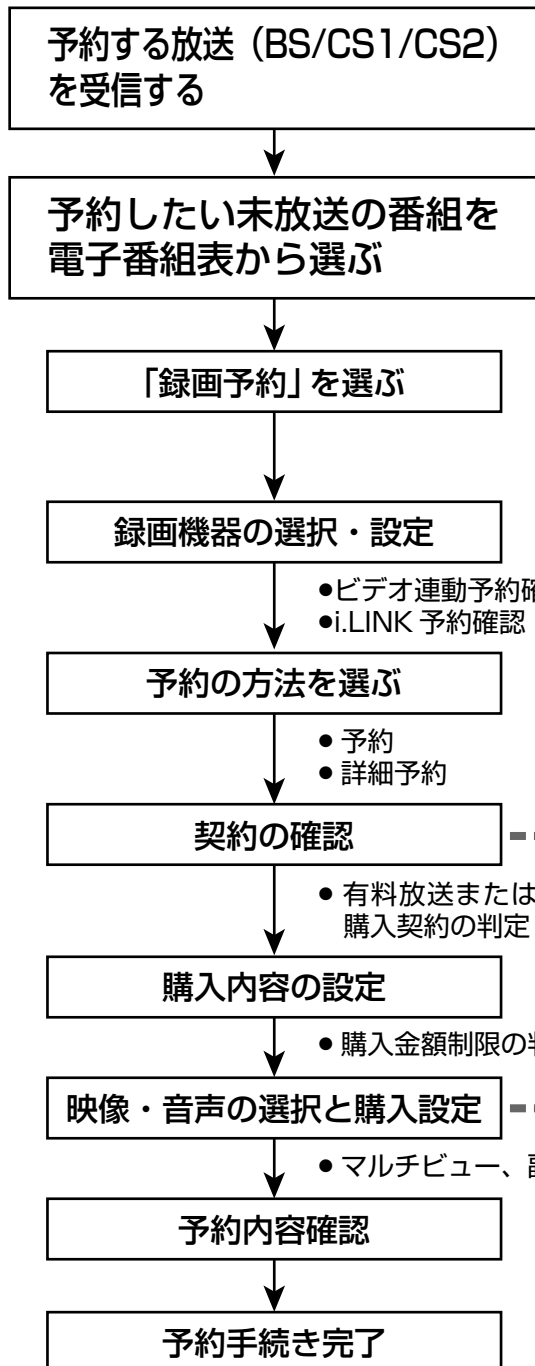
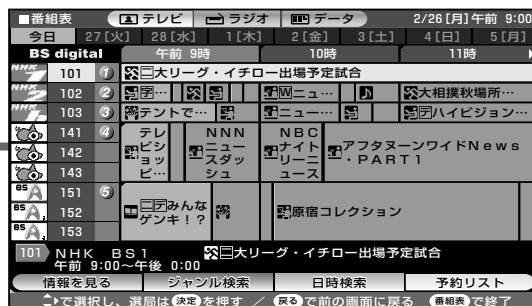
↓

予約の方法を選ぶ

- 予約
- 詳細予約

↓

契約の確認

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

> - BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
> - 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

↓

購入内容の設定

- 購入金額制限の判定

↓

映像・音声の選択と購入設定

- マルチビュー、副映像、副音声

> BS・110度CSデジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

↓

予約内容確認

↓

予約手続き完了

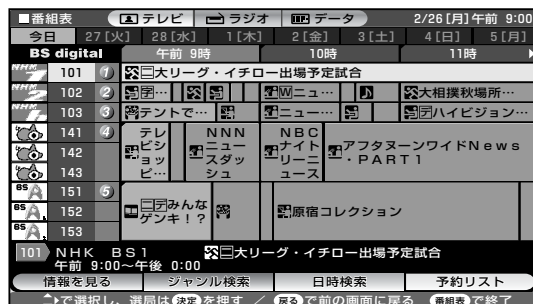
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

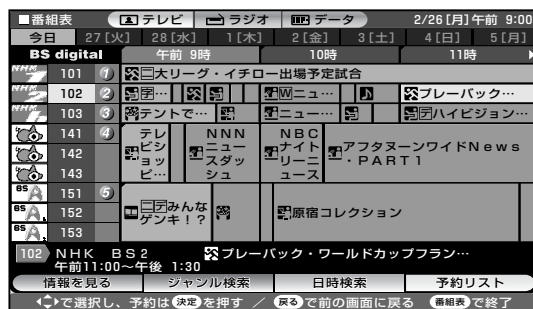
- 電子番組表から予約する場合は、予約するBS/CSデジタル放送(BS/CS1/CS2)に切換えてから予約を行ってください。
- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BS・110度CSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタン(2つのボタンを同時押し)で予約を解除してから操作してください。

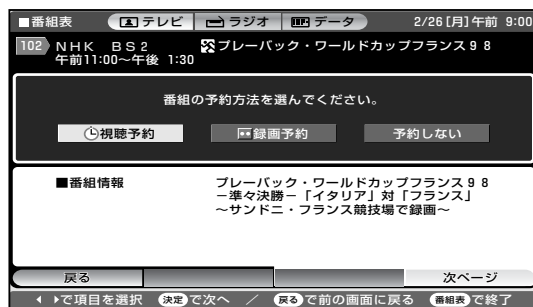
視聴予約か録画予約かを選ぶ

■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

扉を閉じたところ

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**113**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 決定 を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順(**118**ページ)に進みます。

「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順(**119**ページ)に進みます。

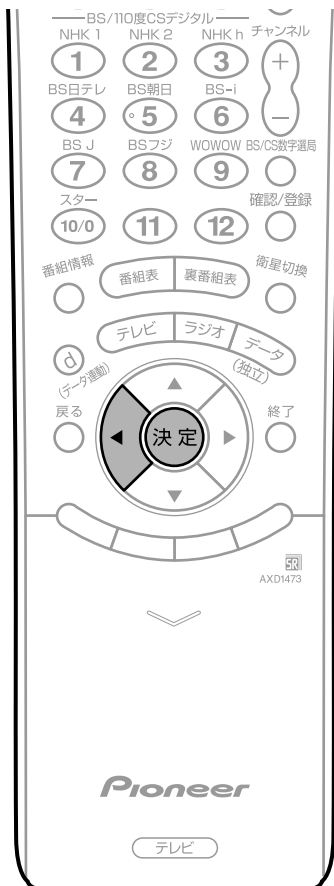
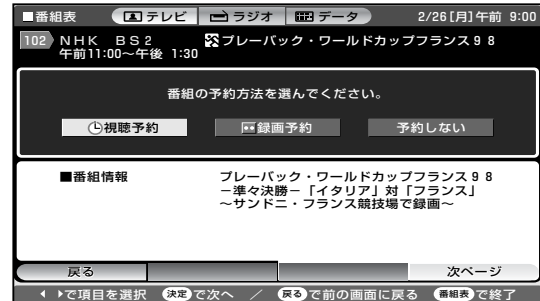
「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

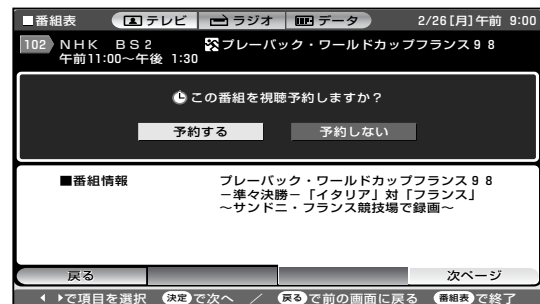
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

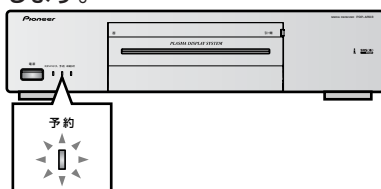
視聴予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- PPVは視聴予約できません。

- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**129**ページ)が必要です。

扉を閉じたところ

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定されました。

おしらせ

予約インジケータについて
- 番組を予約すると、メディアレシーバー前面の予約インジケータが点灯します。

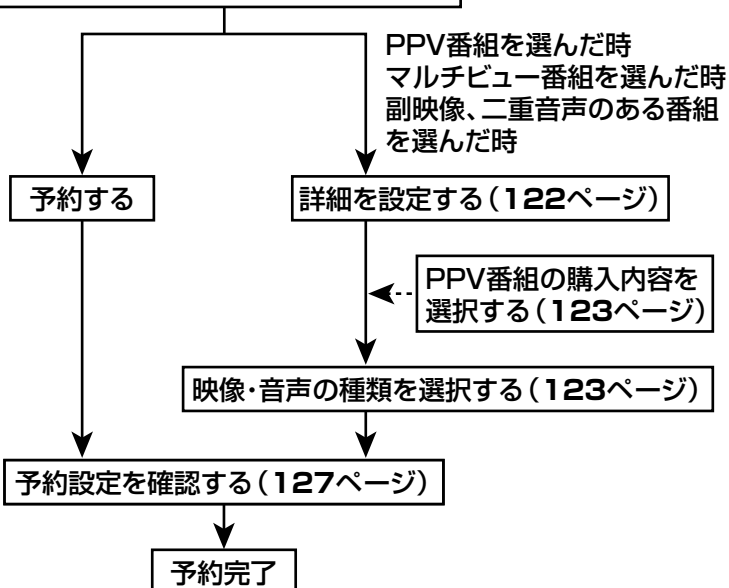
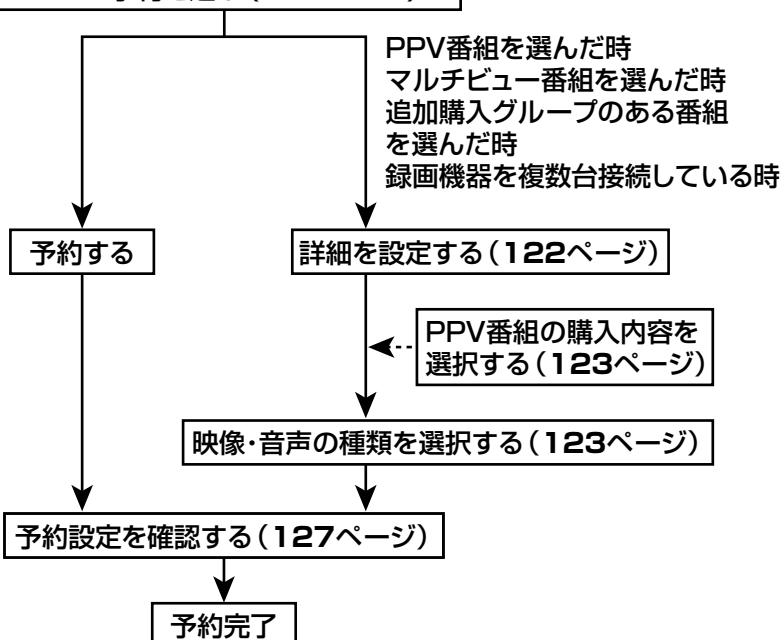
録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 視聴制限設定をしているとき、視聴制限のある番組を予約する場合、暗証番号の入力が必要です(**122**ページ)。各予約時はB-CASカードを必ず挿入してください。

おしらせ

- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**129**ページ)が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください(**200**ページ)。
- 独立データ放送をD-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください(**192**～**196**ページ)。

扉を閉じたところ

ビデオ連動予約の操作手順

i.LINK予約の操作手順

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約(**120**ページ)に進みます。
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約(**121**ページ)に進みます。
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

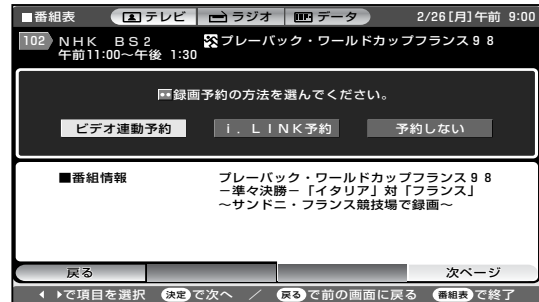
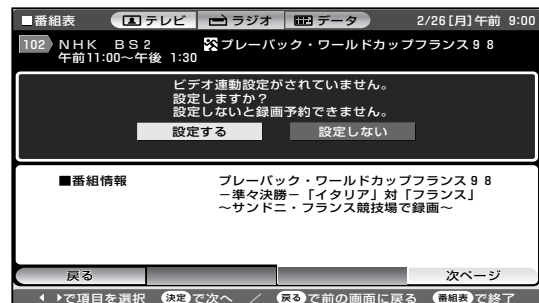
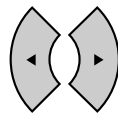
■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

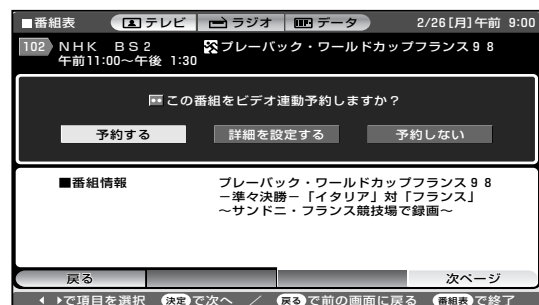
● PPVは視聴予約できません。

● ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**176**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**177**ページ)を済ませておいてください。
● ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

扉を閉じたところ

ビデオ連動予約するとき

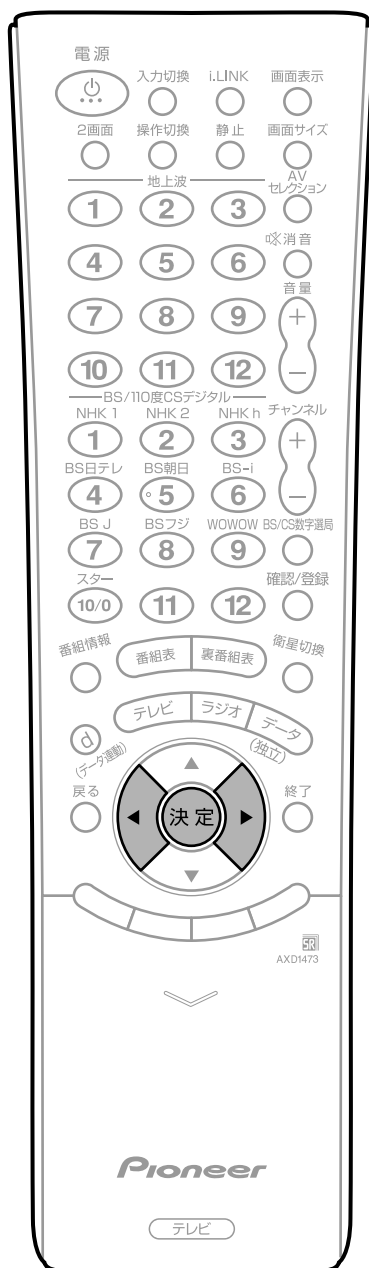
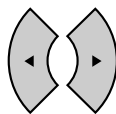
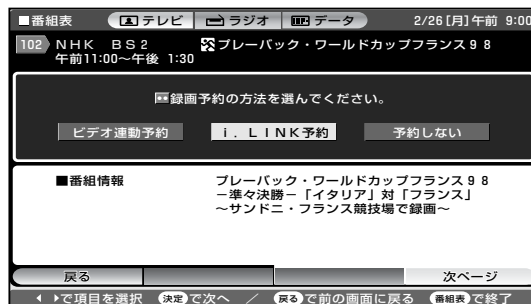
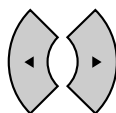
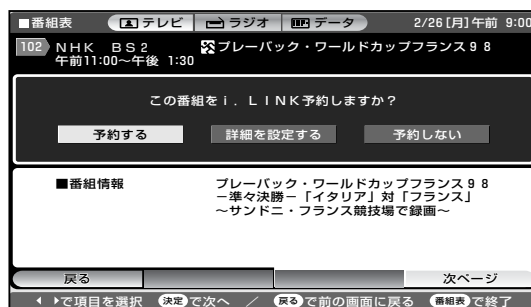
1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

●ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
●ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

●「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**177**ページ参照)

2 ◀ ▶で「予約」を選び、決定を押す

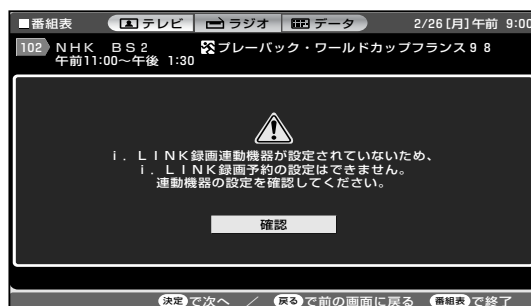
●次に予約設定の確認をします。(**127**ページ参照)

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。
「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

123ページへ

■i.LINK予約とは、メディアレシーバー後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

● i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**188**ページ)とi.LINK設定(**192**～**194**ページ)を済ませておいてください。

扉を閉じたところ

i.LINK予約するとき

1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

i.LINK録画連動機器の設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

i.LINK録画連動機器を設定後(**192**ページ参照)、再度予約操作を行ってください。

「詳細を設定する」… i.LINK録画連動機器の設定等ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

125ページへ

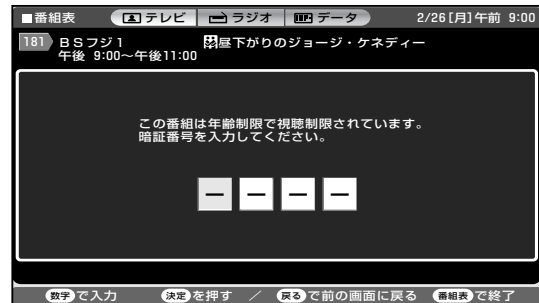
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

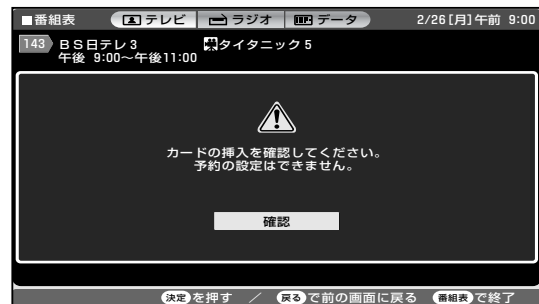
詳細設定

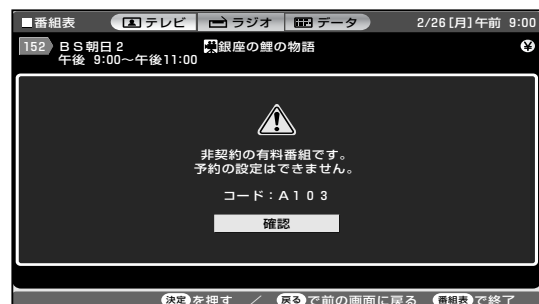
■視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

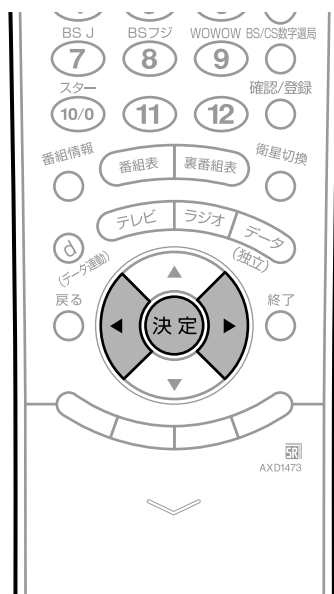
扉を閉じたところ

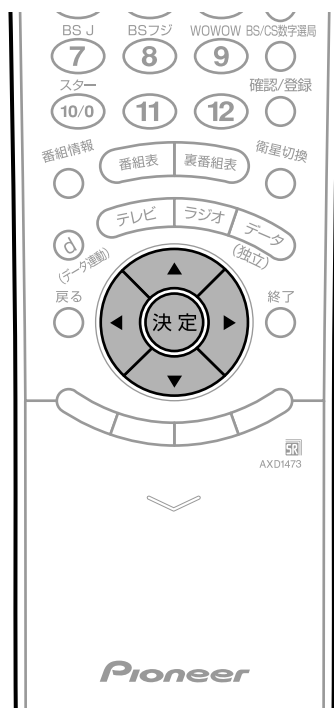
視聴年齢制限のある番組を予約したとき

●暗証番号入力画面が表示されます。

●BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力してください。(**139**ページ参照)

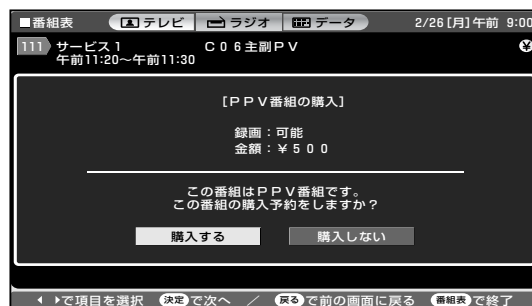
カード未挿入で非契約番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

非契約の有料番組を予約したとき

●「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

ビデオ連動予約の場合

■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」…いろいろな角度から見た映像
「映像」………主映像と副映像（最大3つ）
「音声」………主音声と副音声（最大7つ）
「二重音声」…主音声と副音声

PPV番組の購入（する／しない）を選択する

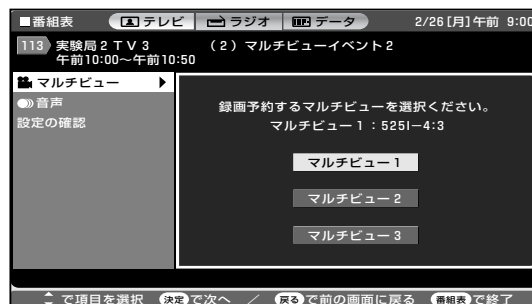
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

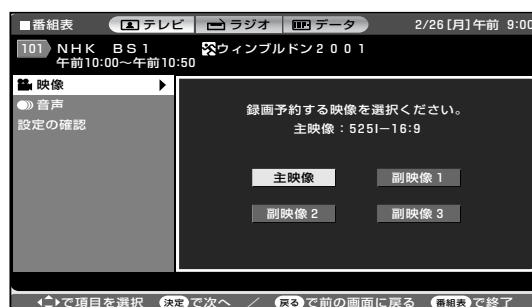
◀ ▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

1

マルチビュー番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲ ▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

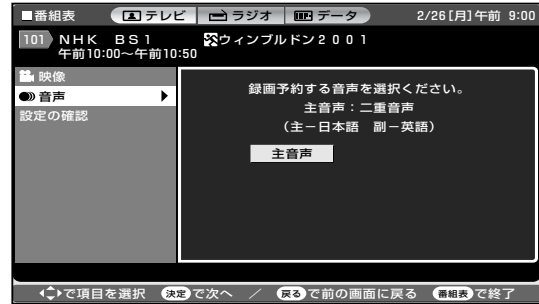
決定を押してから、▲ ▼ ◀ ▶で映像を選び、決定を押す

●副映像の数は、番組によって異なります。

次ページへ

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

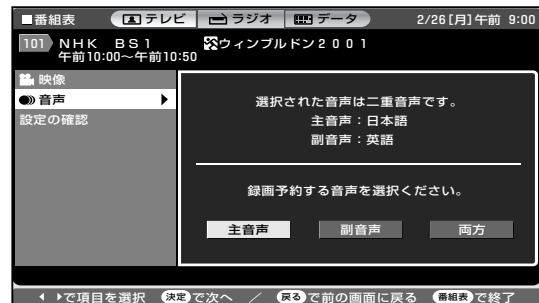
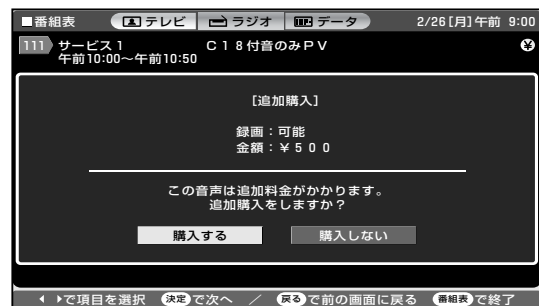
2

① ▼で「音声」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で音声を選び、決定を押す

●副音声の数は、番組によって異なります。

3

（手順**2**で選んだ音声が二重音声のときのみ必要な手順です。）

◀▶で二重音声の種類（言語）を選び、決定を押す

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

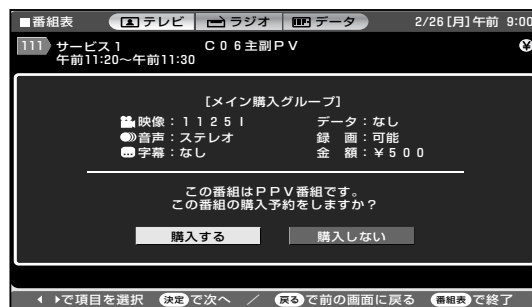
127ページへ

i.LINK予約の場合

扉を閉じたところ

PPV番組の購入（する／しない）を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

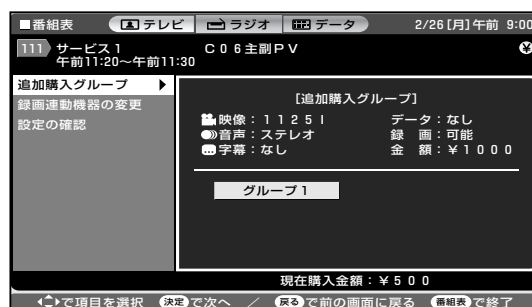
で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

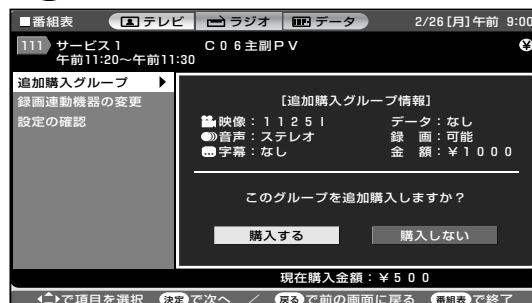
購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ（グループ）が複数あるときのみ必要な手順です。

1

① 「追加購入グループ」で 決定 を押す

② で購入グループを選び、決定 を押す

2

で「購入する」または「購入しない」を選び、決定 を押す

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合(つづき)

扉を閉じたところ

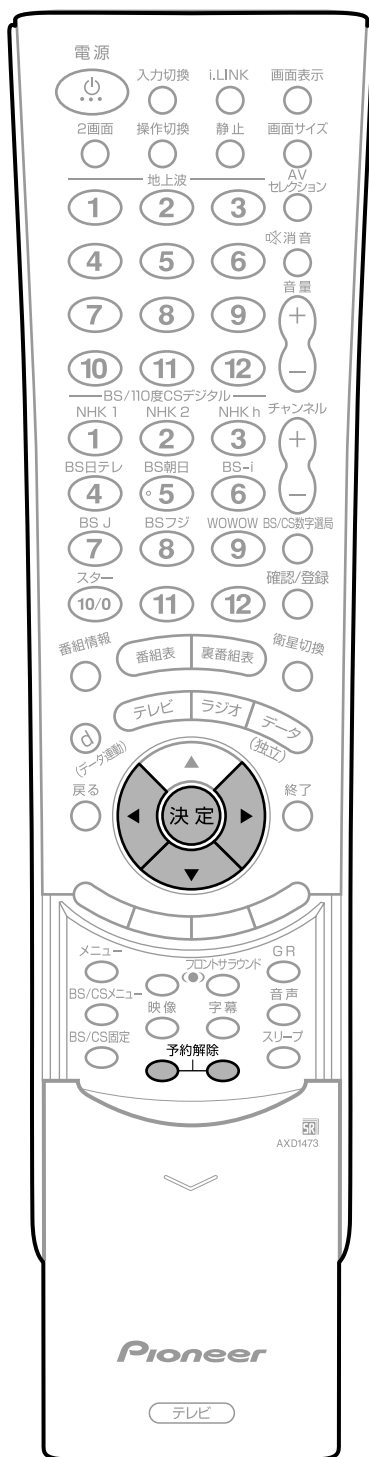
使用するi.LINK機器を選択する

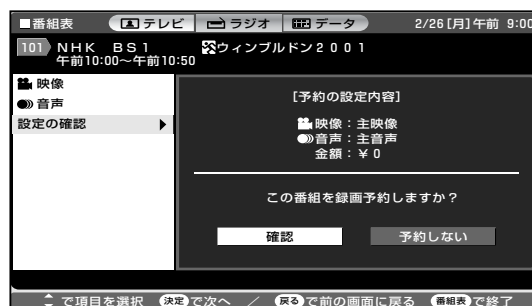
●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 **▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、決定 を押す**

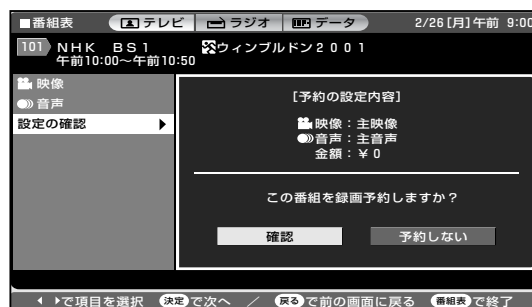
2 **▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、決定 を押す**

127ページへ

扉を開けたところ

予約設定を確認する

1 **▼で「設定の確認」を選び、決定を押す**

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

2 **① 画面に表示された設定内容を確認する**

② 「確認」で決定を押す

- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

おしらせ

予約インジケータについて

- 番組を予約すると、メディアレシーバー前面の予約インジケータが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

- BS・110度CSデジタル放送に切り換えてから、予約解除ボタンを2つ同時に押します。

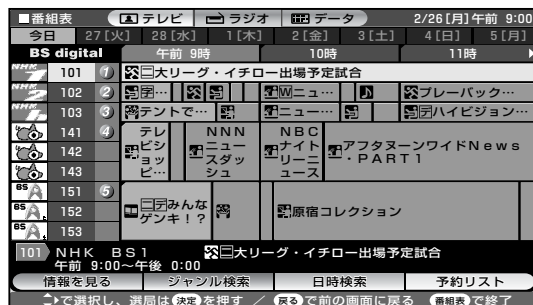
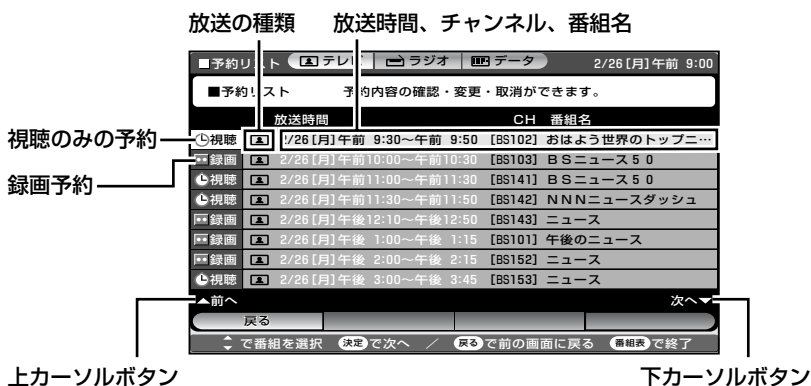
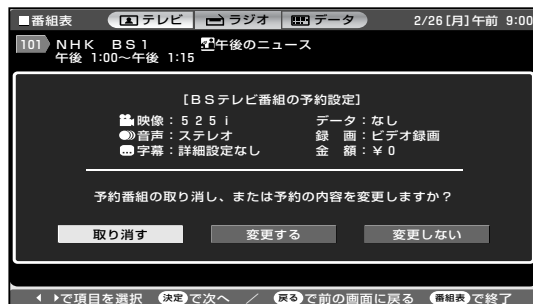
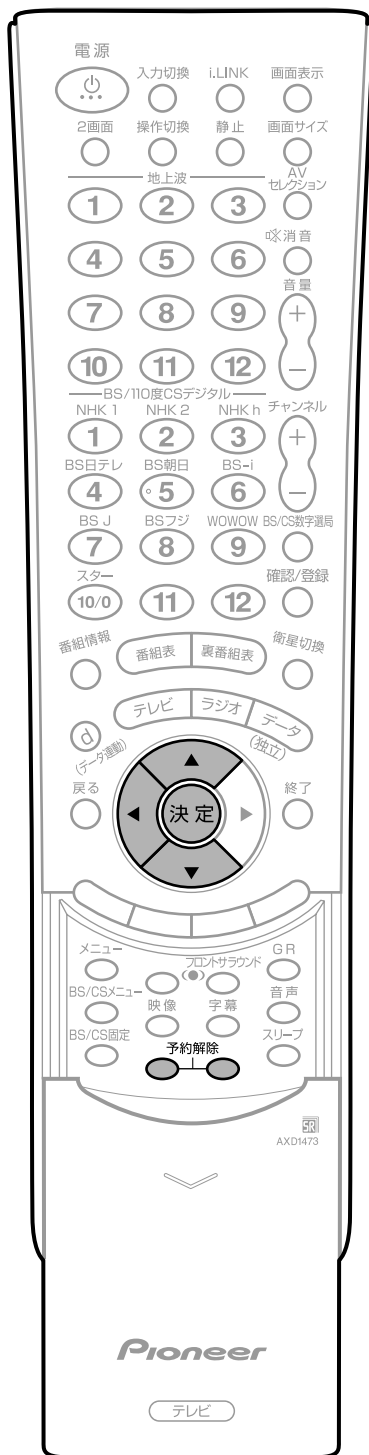
予約の確認・取消し・変更

■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

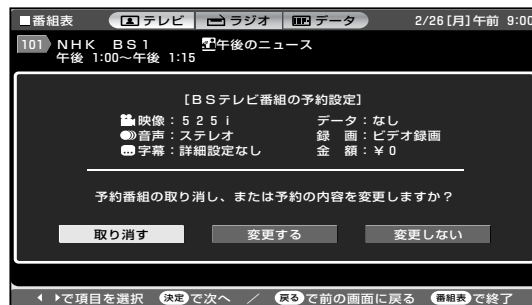
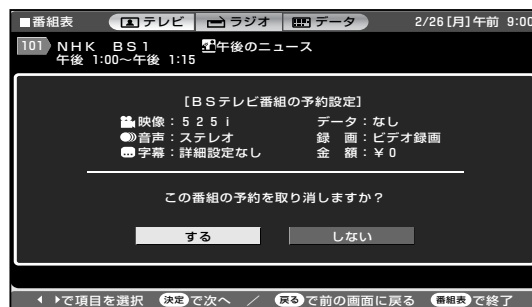
扉を閉じたところ

予約を確認したいとき

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 (予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

扉を開けたところ

予約を取り消したいとき

1 予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す

2 ◀ で「取り消す」を選び、決定を押す

3 ◀ で「する」を選び、決定を押す

おしらせ

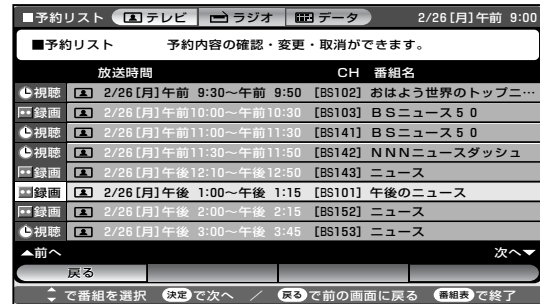
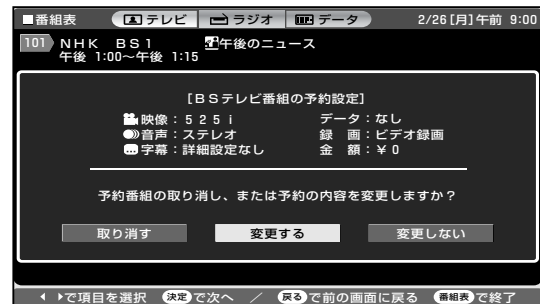
実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを2つ同時に押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約を変更したいとき

扉を閉じたところ

1 **予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す**

2 **◀ ▶ で「変更する」を選び、決定を押す**

- 予約選択画面になります。

3 **予約操作をやりなおす**

- **117～127**ページの操作手順をご参照ください。

放送視聴のためのいろいろな設定

画面サイズの設定

扉を開けたところ

1 ① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲ ▼ で「画面サイズ設定」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で「オート」または「フル固定」を選び、決定 を押す

「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。
通常は「オート」でお使いください。

「フル固定」…… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

おしらせ

2種類の画面サイズ設定について

- **「オート」**…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- **「フル固定」**…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

録画画面サイズの設定

■本機に接続した録画用機器にBS・110度CSデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

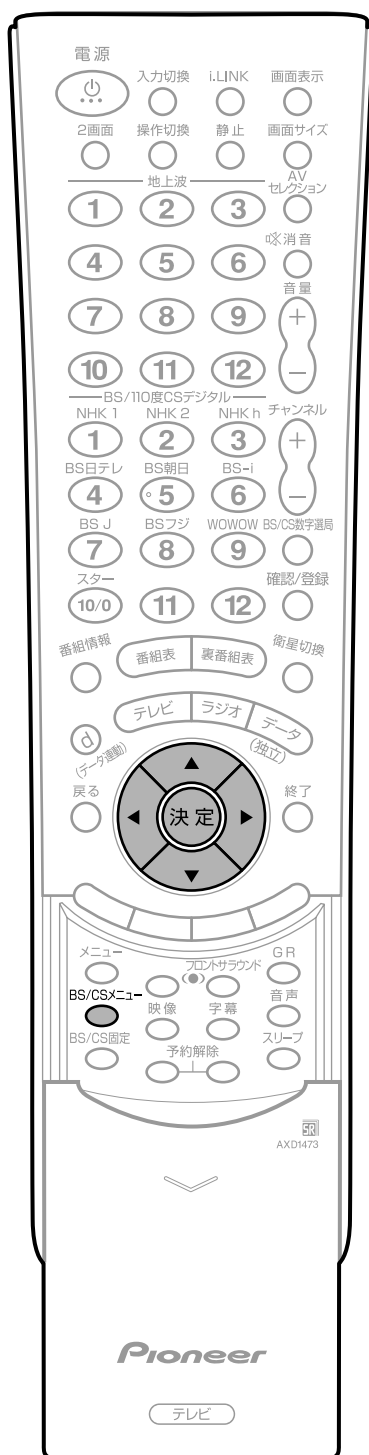
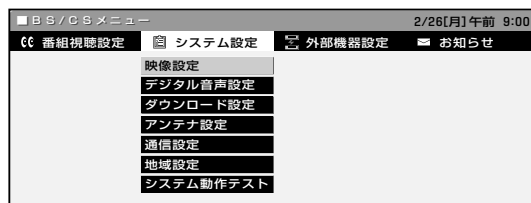
扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

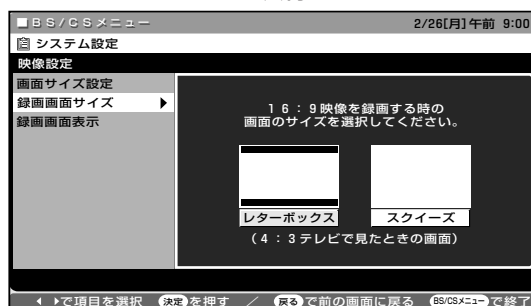
③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「録画画面サイズ」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定 を押す

「レターボックス」… 4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」……… 4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

録画画面表示の設定

■メディアレシーバー後面のBS/CS出力端子に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、メニュー、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

扉を開けたところ

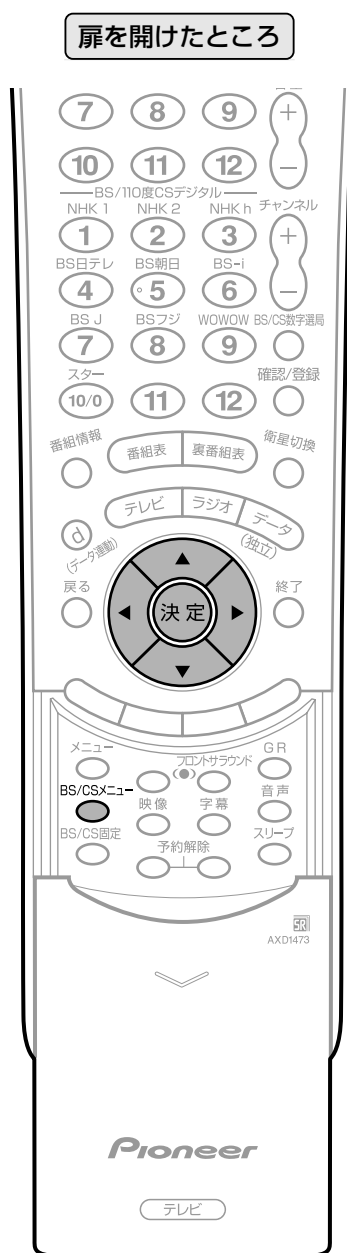
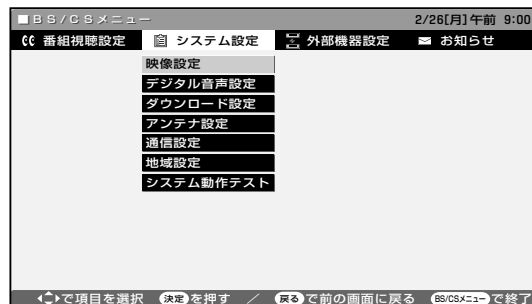
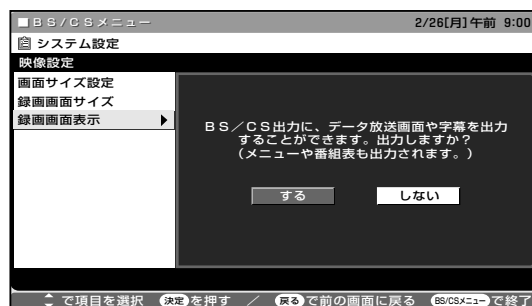
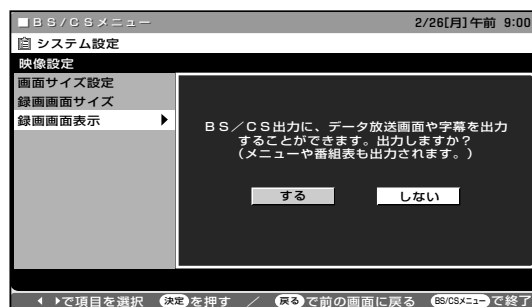
1 ① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲ ▼ で「録画画面表示」を選び、決定 を押す

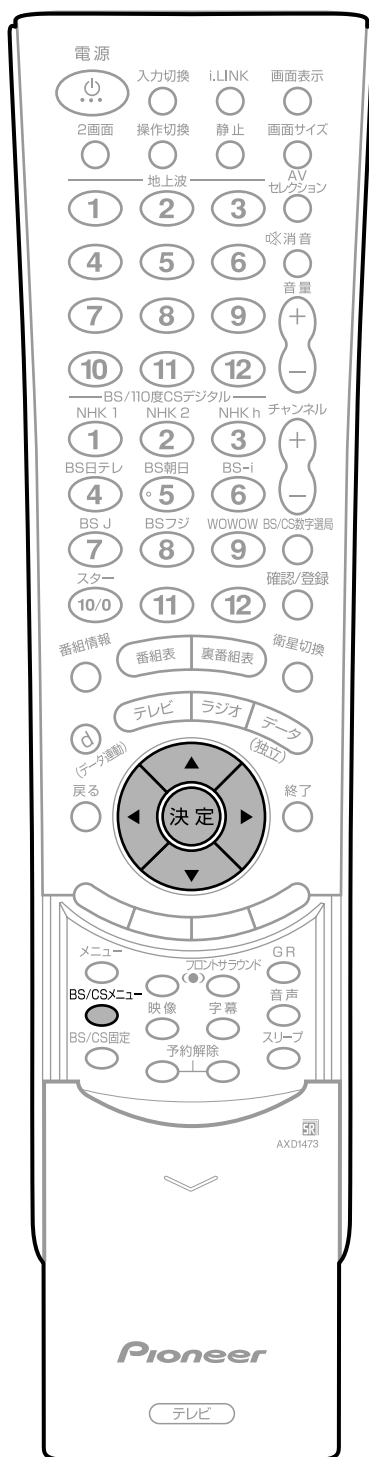
3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

おしらせ

- 録画画面表示を「する」に設定したとき、BS/CS出力端子から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。
- BS/CS固定時は、BS/CSメニューや電子番組表を表示することができません。

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

チャンネル表示のしかたを選ぶ

■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

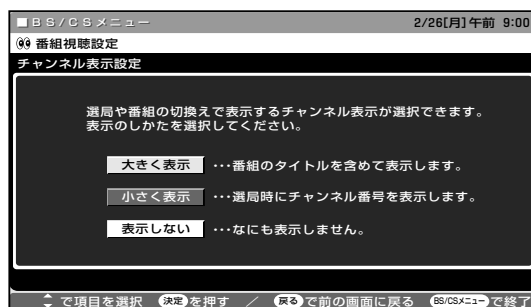
扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

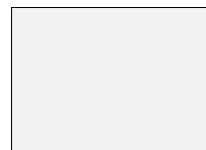
③ ▲ ▼ で「チャンネル表示設定」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で表示のしかたを選び、決定 を押す

「大きく表示」… 選局時に番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」… 選局時にチャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」… 何も表示しません。

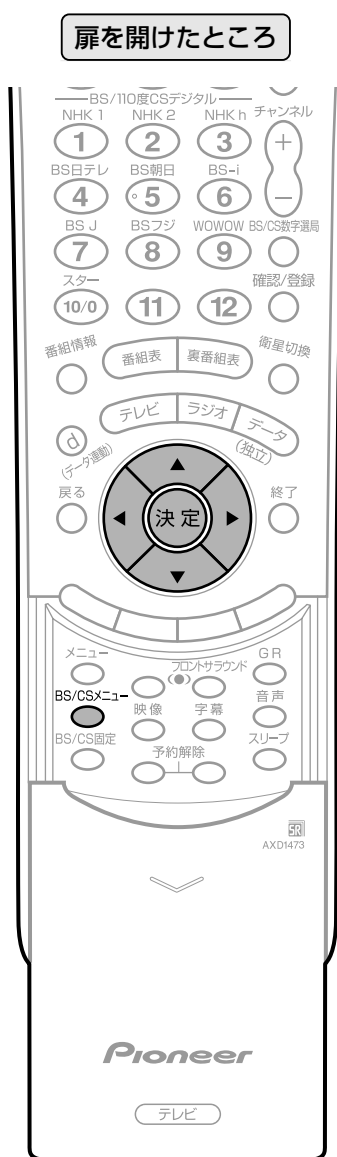
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

チャンネルスキップを設定する

■チャンネル(＋／－)ボタンでＢＳ・１１０度ＣＳチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯によっては、同じ1つの放送局が複数のチャンネルで同じ番組を放送することがあります。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

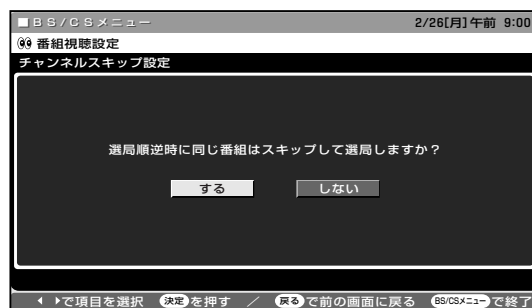
② ◀▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

2

◀ で「する」を選び、決定を押す

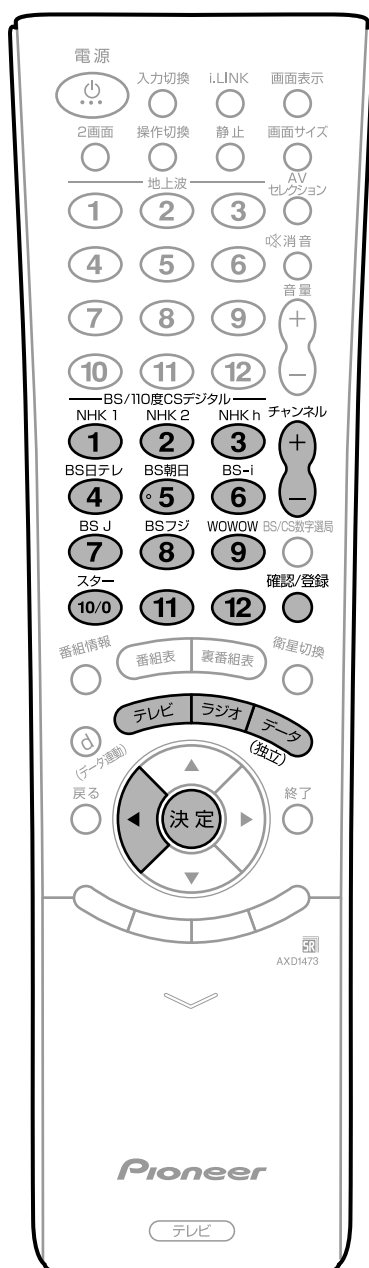
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

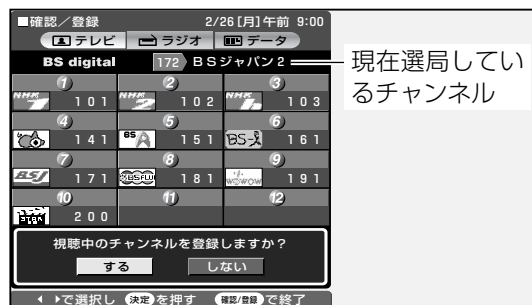
お好みのチャンネルを登録する

■BS・110度CSデジタル放送のテレビ放送・ラジオ放送・独立データ放送それぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。登録できるチャンネルボタンは、BS／110度CSチャンネルボタン1～12です。

扉を閉じたところ

1

① **登録したいBS・110度CSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② 確認／登録 **を押す**

③ ◀ **で「する」を選び、** 決定 **を押す**

2

登録したいBS／110度CSチャンネルボタン(1～12)を押し、 決定 **を押す**

<例>「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、BS／110度CSチャンネルボタン⑪を押します。

●登録確認画面が表示されます。

3

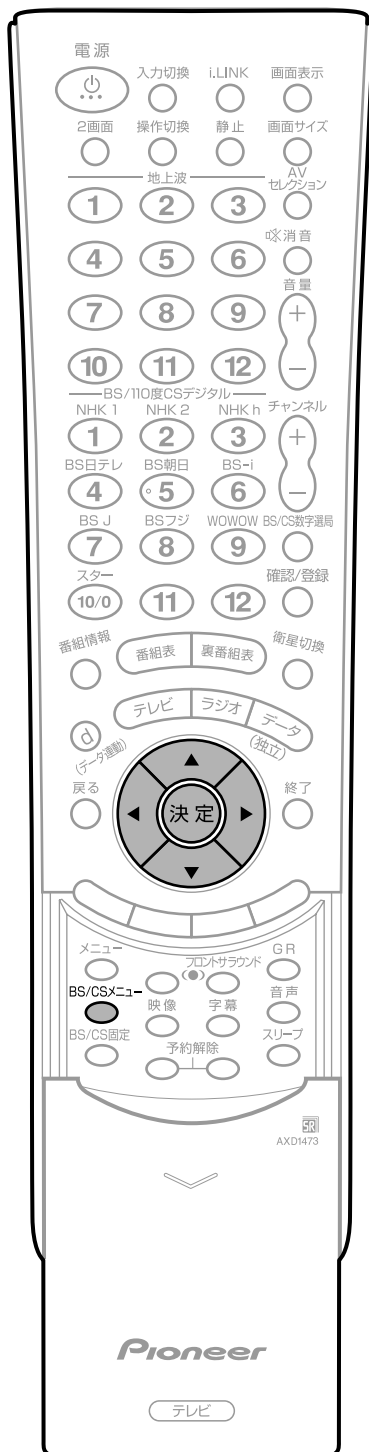
◀ **で「登録する」を選び、** 決定 **を押す**

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

電子番組表やBS/CSメニューを半透明で表示する

■背景の映像を見ながら番組表操作などをしたいとき、電子番組表やBS/CSメニューなどを半透明で表示させることができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

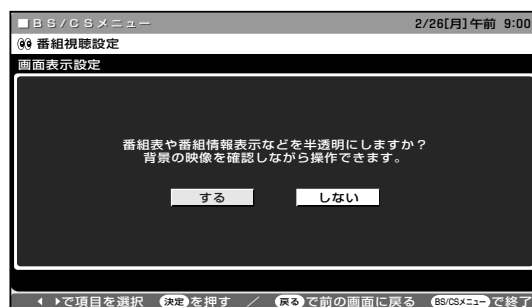
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「画面表示設定」を選び、決定を押す

2

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………BS/CSメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」……半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

3

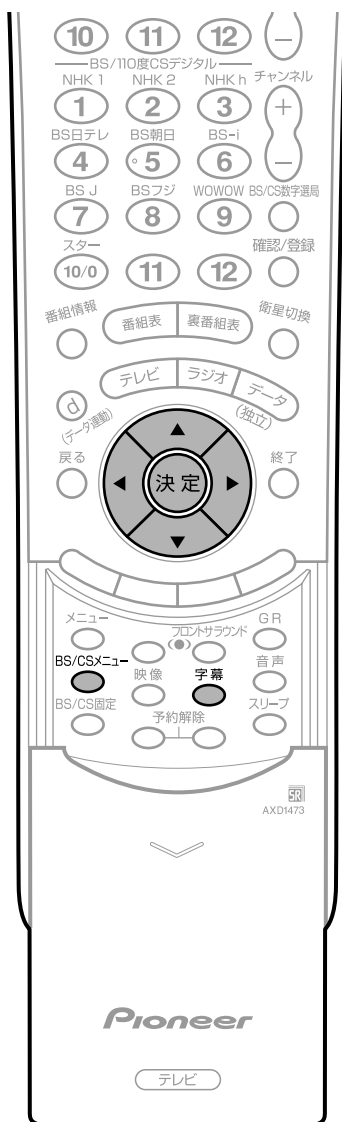
BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

字幕を表示する

■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

● 地上波放送の字幕放送には対応していません。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2

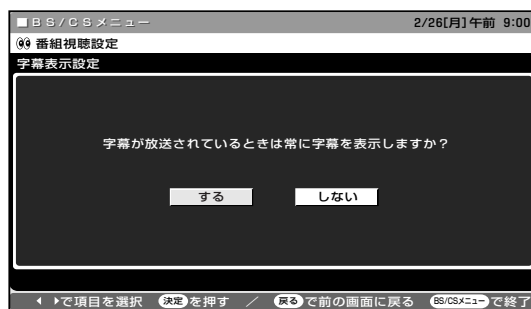
 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 字幕のある番組では、常に字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンでは字幕表示を消せません。)

「しない」…… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入/切することができます。

3

 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

字幕ボタンについて

● **字幕表示設定を「する」にしたとき**
複数の字幕がある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。

● **字幕表示設定を「しない」にしたとき**
字幕のある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕表示の入/切、および複数の字幕の切換えができます。

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

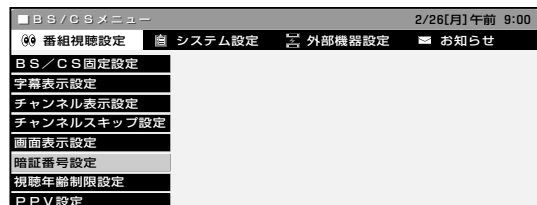
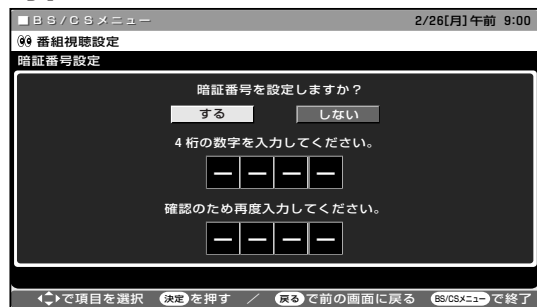
扉を開けたところ

1

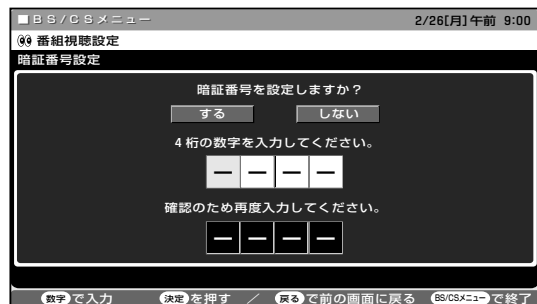
① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

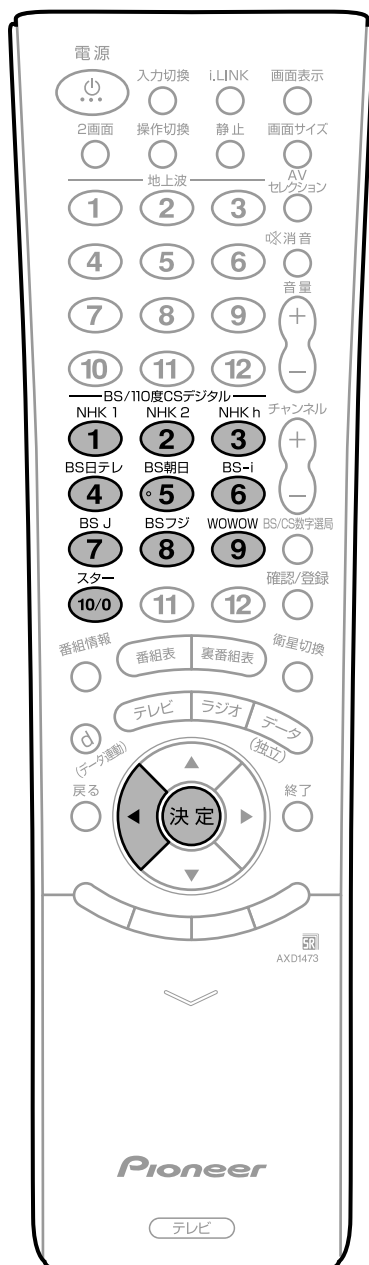
2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定（手順**3**）に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

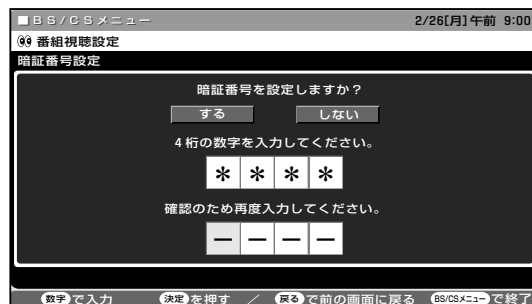
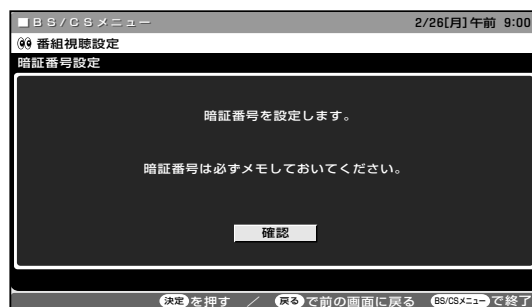
3

BS／110度CSチャンネルボタン（1～10/0）で、新しい暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

次ページへ

安心して使うための設定(つづき)

扉を閉じたところ

4 確認のため、再度同じ番号をBS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力する

●番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。

5 暗証番号をメモし、「確認」で(決定)を押す

●新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

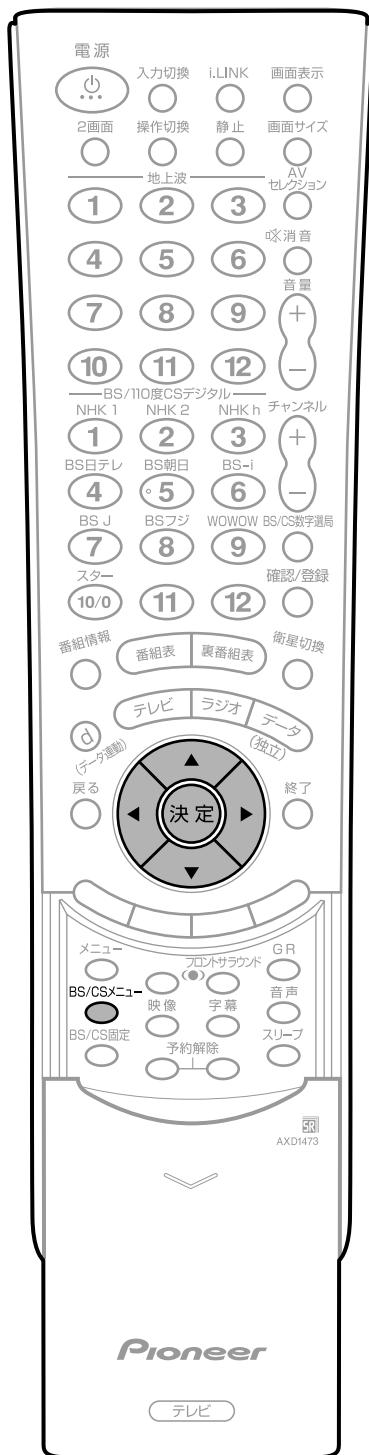
おしらせ

● 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。
(2002年11月現在)

暗証番号を変更するとき

扉を開けたところ

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

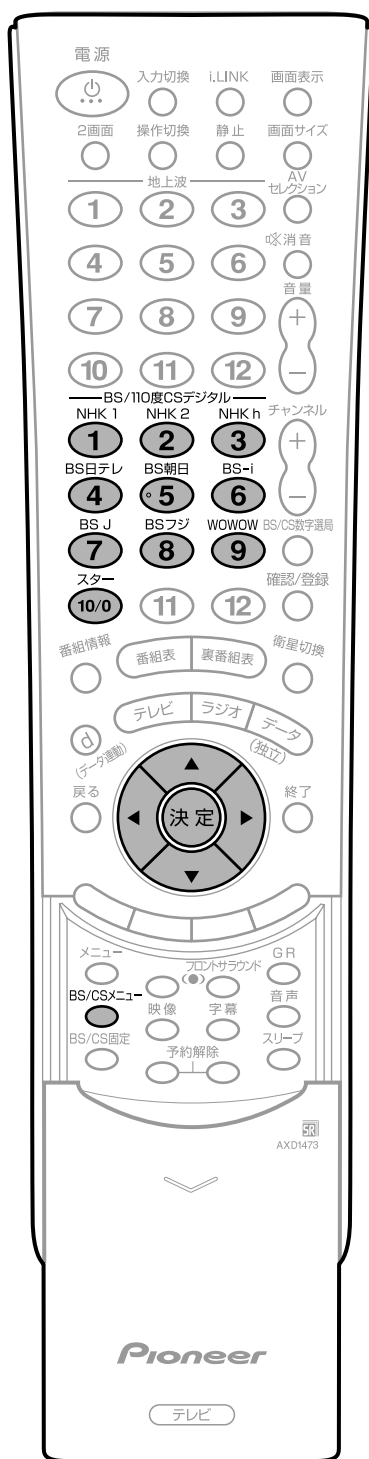
●暗証番号を入力すると、**139**ページ「暗証番号を設定する」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

安心して使うための設定(つづき)

視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**139**ページ)をしておくことが必要です

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定 を押す

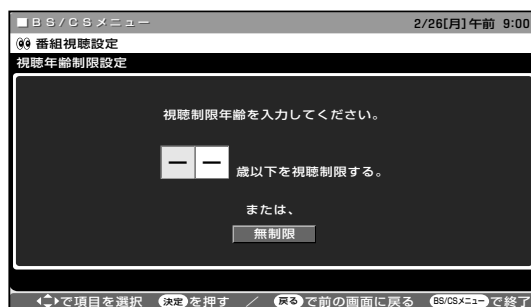
2

BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

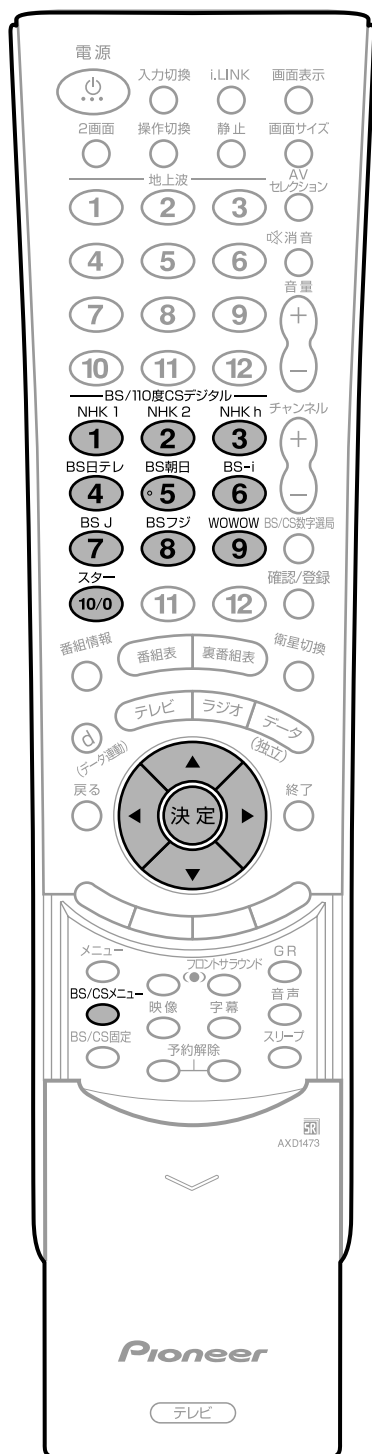
●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

① ▲ で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢をBS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力し、決定 を押す

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**139**ページ)をしておくことが必要です。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、決定 を押す

2

BS/110度CSチャンネルボタン(1~10/0)で暗証番号を入力する

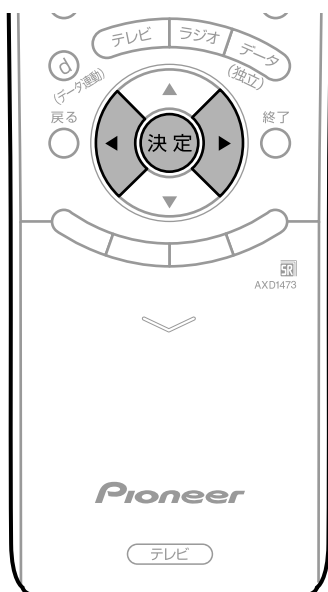
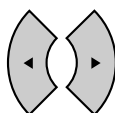
●PPV設定画面が表示されます。

3

「PPV制限」で 決定 を押す

次ページへ

安心して使うための設定(つづき)

扉を閉じたところ

4 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

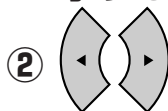
「する」……PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。

「しない」…PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

購入金額制限を設定する

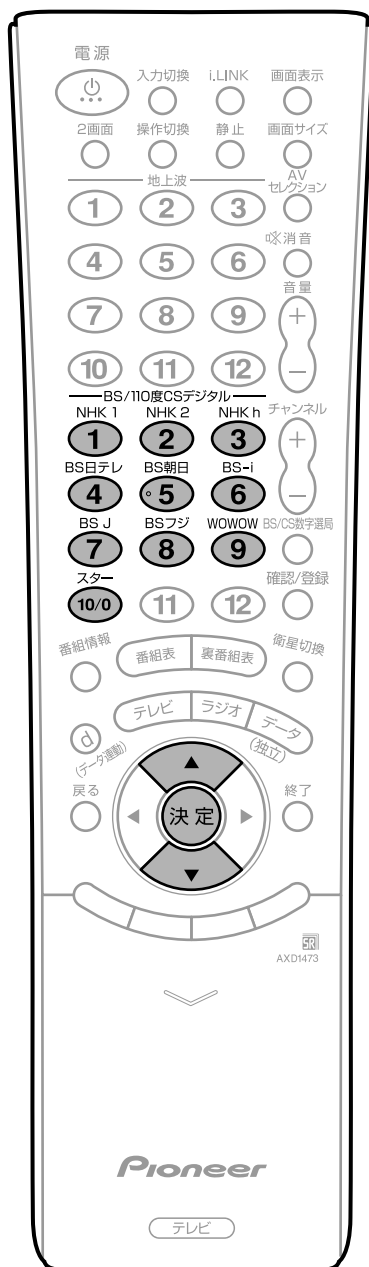
■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

扉を開けたところ

1 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ で「PPV設定」を選び、決定を押す

2 BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

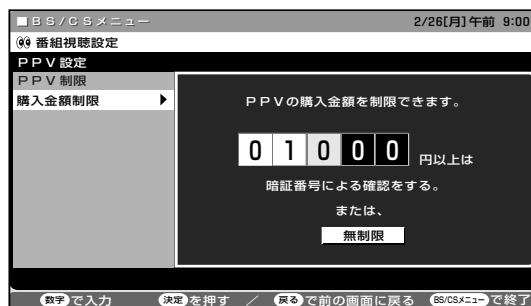
扉を閉じたところ

3

で「購入金額制限」を選び、決定を押す

4

① で購入金額の入力欄を選ぶ

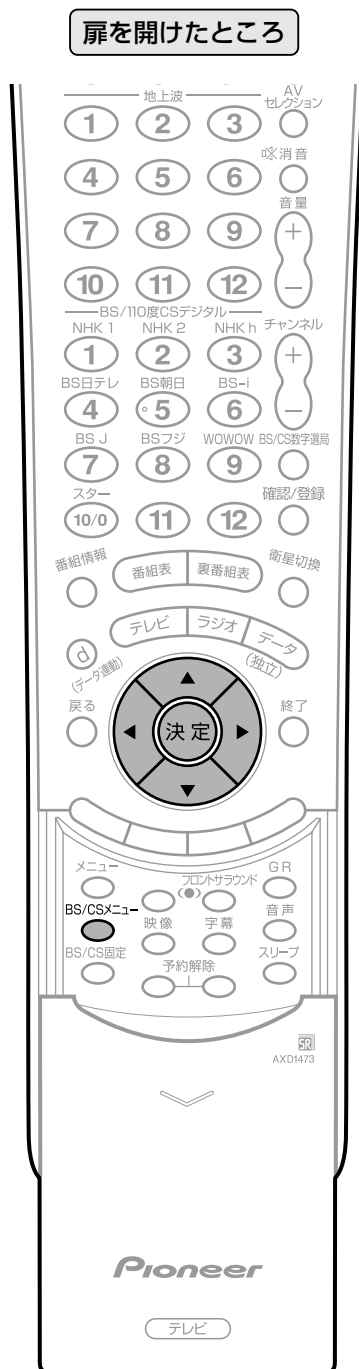
② 購入金額の上限をBS／110度CSチャンネルボタン（1～10/0）で入力し、決定を押す

<例>1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

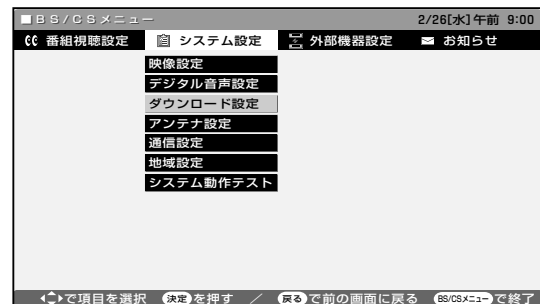
BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定

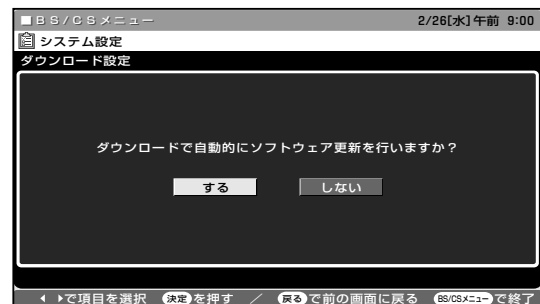
ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、BS・110度CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

扉を開けたところ

1 BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

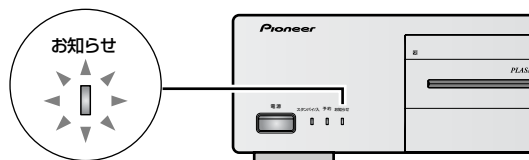
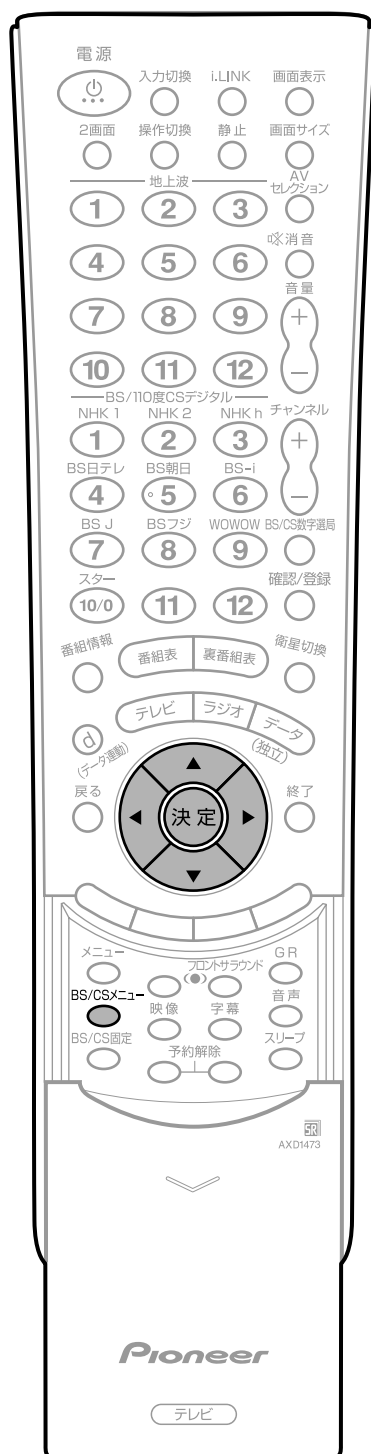
2 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

- ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。
- ソフトウェアを受信するために、メディアレシーバーの電源が入り、ファンが回る場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的に待機状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)に戻ります。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

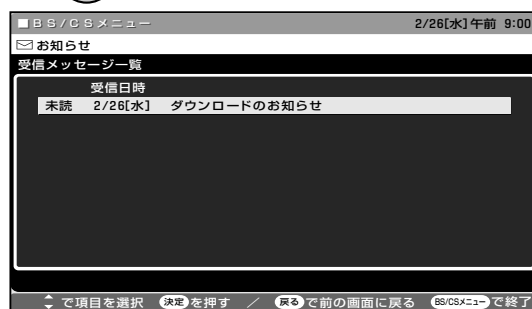
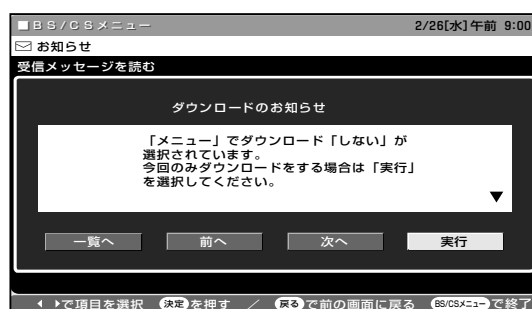
▼お知らせインジケータ
お知らせインジケータは、お知らせの受信メッセージを確認することにより消灯します。

扉を開けたところ

手動でダウンロードを行うとき

● 本機がダウンロードのお知らせを受信すると、メディアレシーバーのお知らせインジケータが点灯します。

1 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

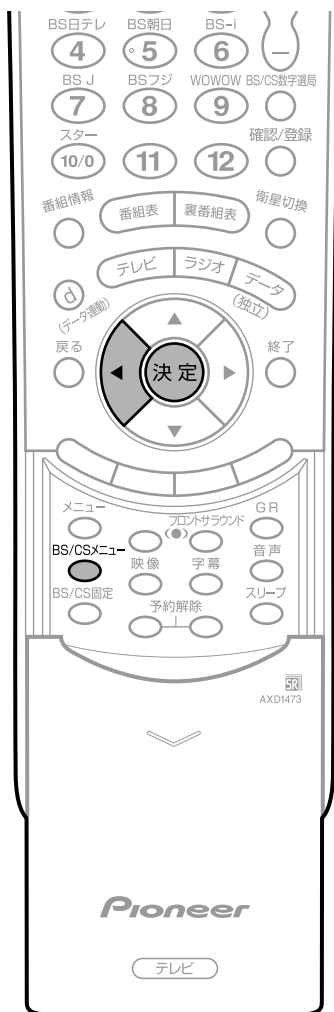
② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

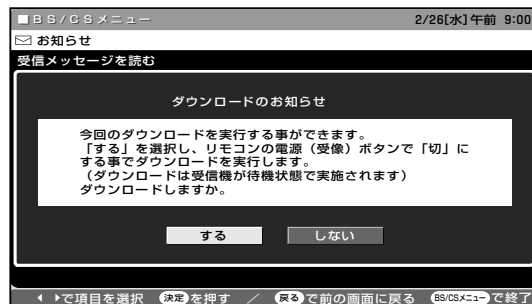
③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

3 画面の表示内容を確認してから、▶で「実行」を選び、決定を押す

次ページへ

扉を開けたところ

おしらせ

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、電源の入/切、BS/CSリセットボタンの操作や電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、メディアレシーバーの電源が入り、ファンが回る場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的に待機状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)に戻ります。

4 画面の表示内容を確認してから、◀で「する」を選び、決定を押す

おしらせ

- ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(メディアレシーバー前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源をスタンバイ状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**147**ページ手順**1**～**2**の操作を行ってください。

BS・110度CS共用アンテナの設定

■BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

扉を開けたところ

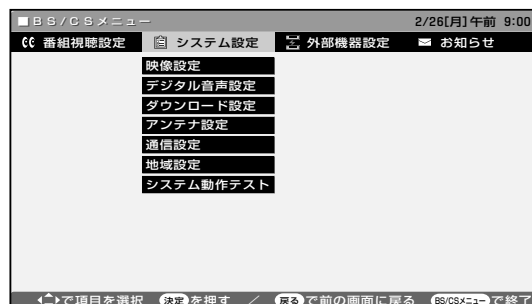
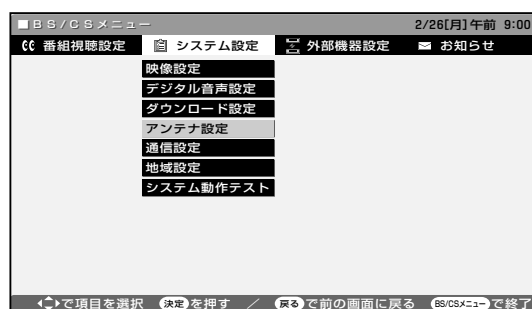
アンテナ設定画面を表示する

1 **BSデジタル放送のチャンネルを選局する（104〜106ページ参照）**

① 衛星切換 でBSを選ぶ

② 無料番組を選局する

2 **① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

3 **▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す**

●アンテナ設定画面が表示されます。

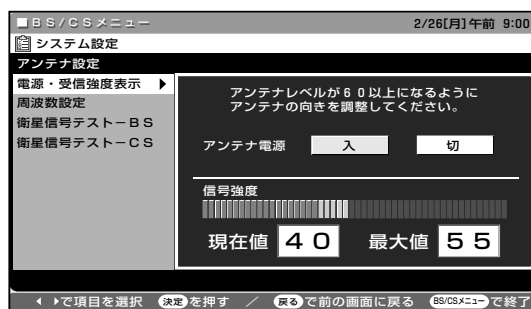
BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を閉じたところ

アンテナに電源を供給する

1 **「電源・受信強度表示」で(決定)を押す**

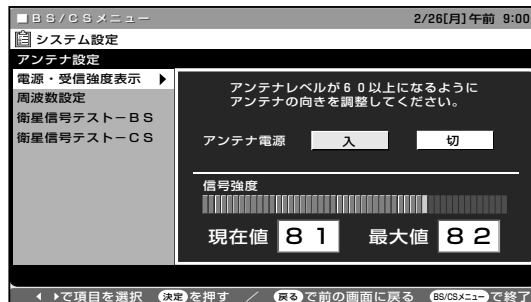
2 **◀▶でアンテナ電源「入」または「切」を選び、**

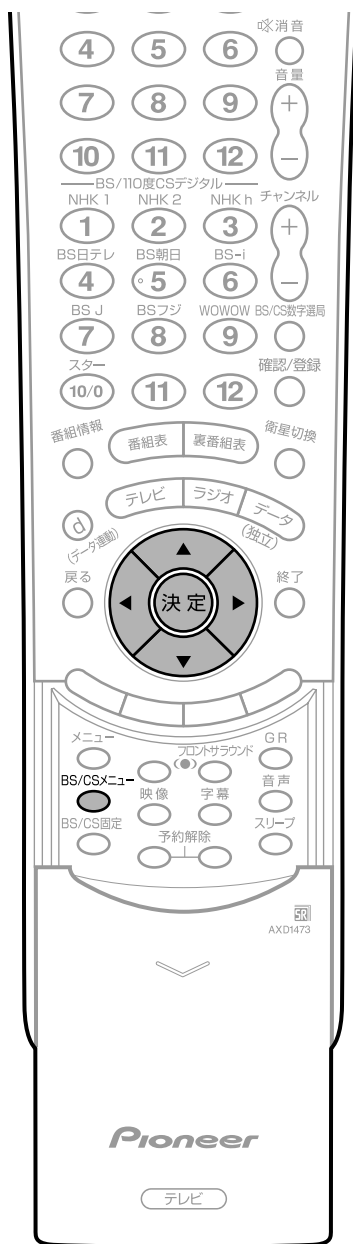
(決定)を押す

「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」……電源を供給しないときの設定(共聴アンテナに接続している場合など)(工場出荷時の設定)

受信強度を確認・調整する

3 (アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

4 **(決定)を押す**

扉を開けたところ

■110度CSデジタル放送の衛星信号テスト

手順2で「衛星信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

衛星信号テスト

[例] BSデジタル放送の衛星信号テストを行う

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼で「衛星信号テストーBS」を選び、決定を押す

3

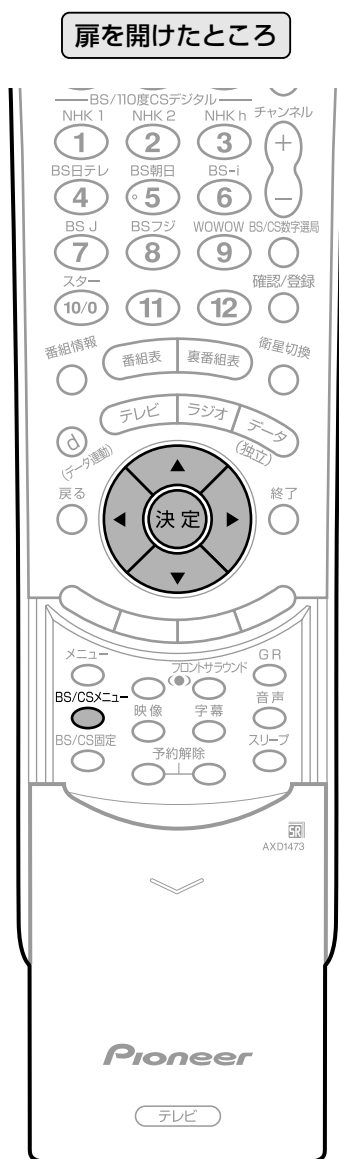
テストしたいチャンネルを▲ ▼ ◀ ▶で選び、決定を押す

● アンテナレベル(信号強度)の最大値が60以上あることを確認してください。

4

▼ ▶で「終了」を選び、決定を押す

電話回線の設定

■引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

扉を開けたところ

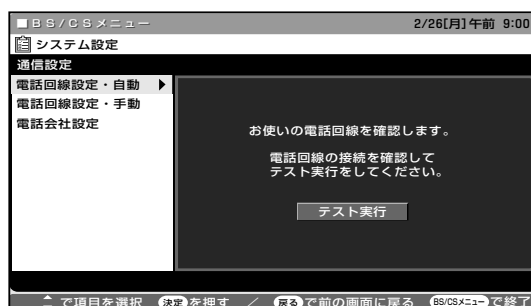
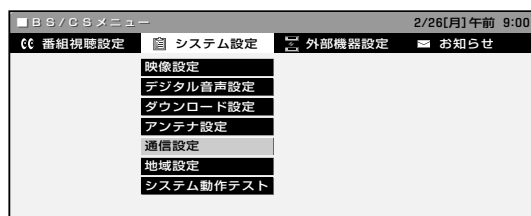
おしらせ

● 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

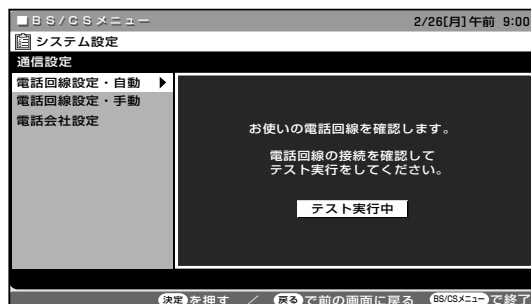
1 **電話回線が接続されていることを確認する(56ページ参照)**

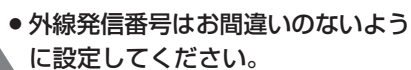
2 **① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す

3 **① 「電話回線設定・自動」で決定を押す**

② 「テスト実行」で決定を押す

● 「テスト実行中」が表示されます。

● 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。

● 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(**153**ページ参照)

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

外線発信番号の設定

1 **▲ ▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す**

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）

「あり」……電話交換機などをご使用の場合

● 「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で外線発信番号(0〜9)を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 **「テスト実行」で決定を押す**

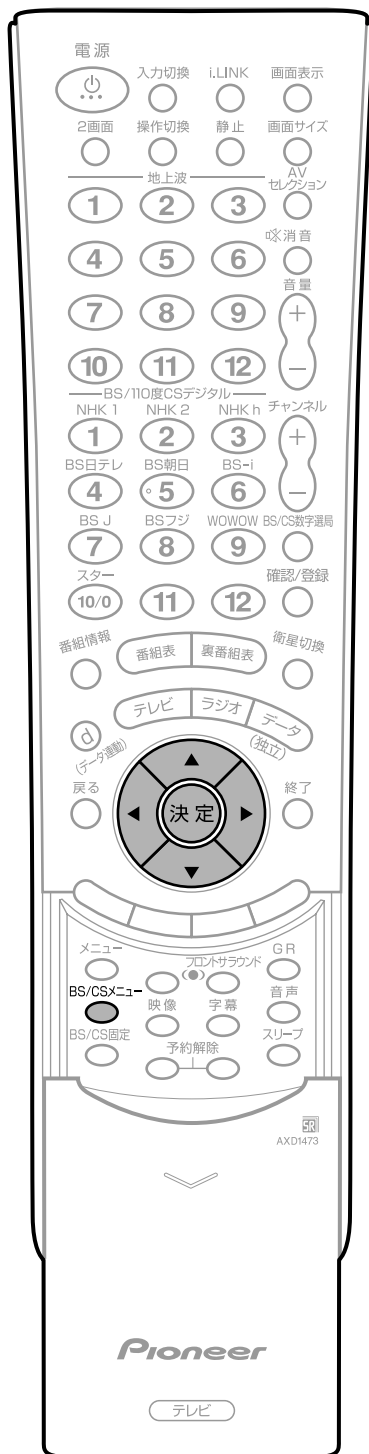
● 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
● 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

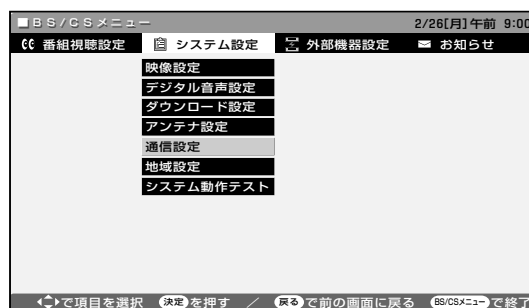
ご注意
● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、**154**ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

扉を開けたところ

手動による電話回線設定

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

2

▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定 を押す

3

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す

4 ご契約の電話回線種別をで選び、決定を押す

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

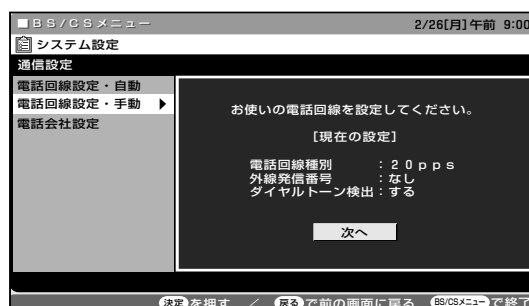
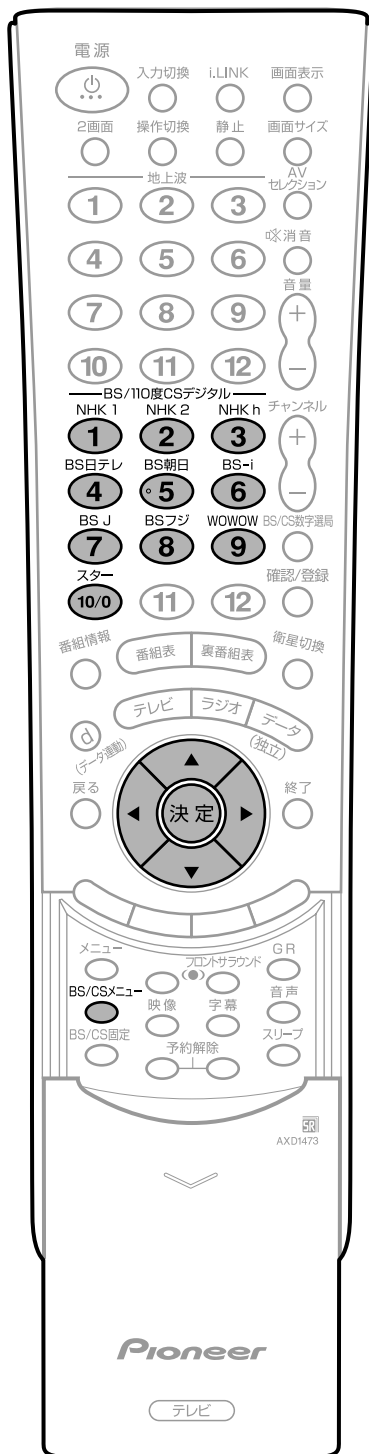
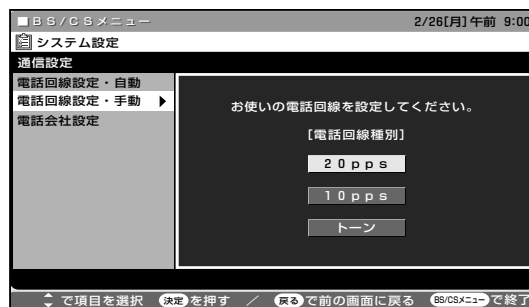
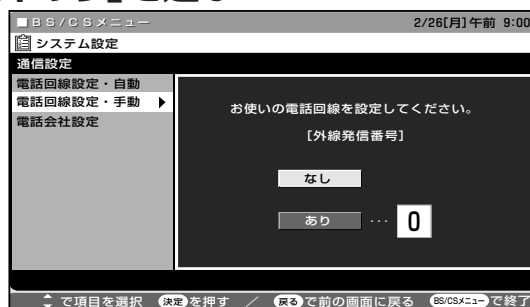
5 ① で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン（1～10/0）で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

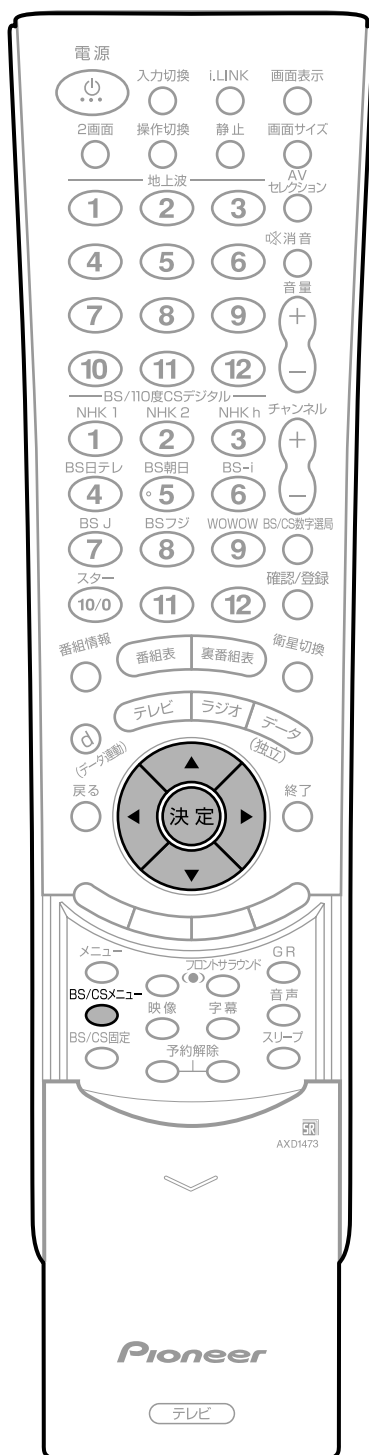
② 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を で選び、決定を押す

7 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

ご注意

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

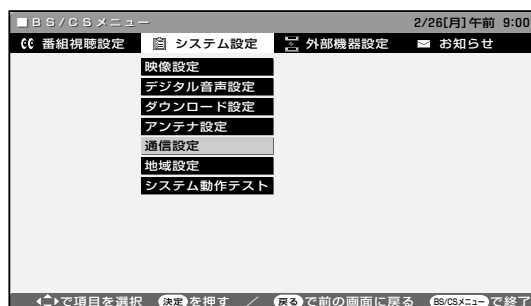
電話会社設定

■放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■**通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ

発信者番号通知設定

●通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 **BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

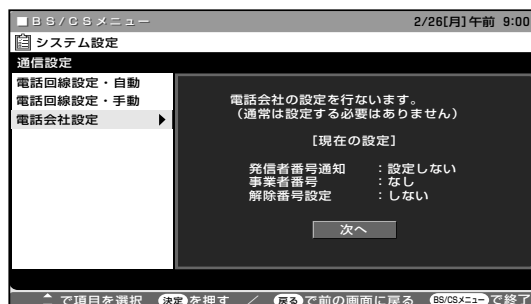
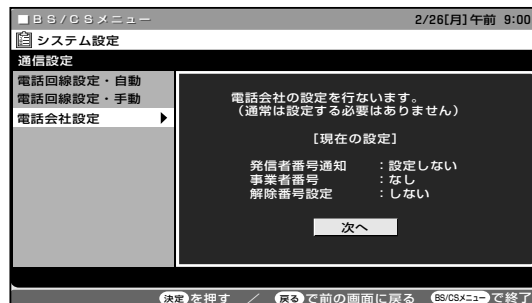
2 **① ◀▶で「システム設定」を選ぶ**

② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

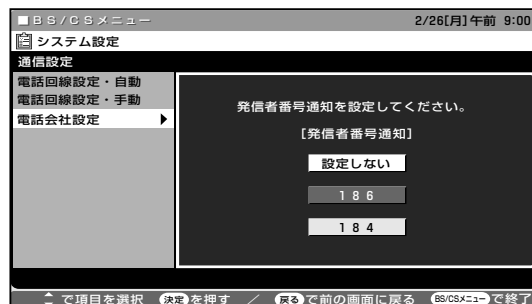
3 **▼で「電話会社設定」を選び、決定を押す**

扉を閉じたところ

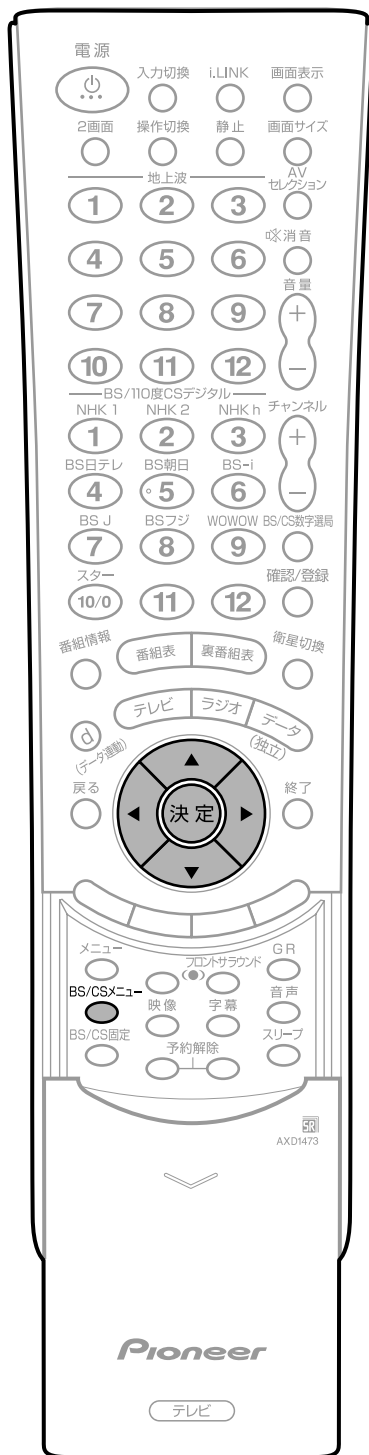
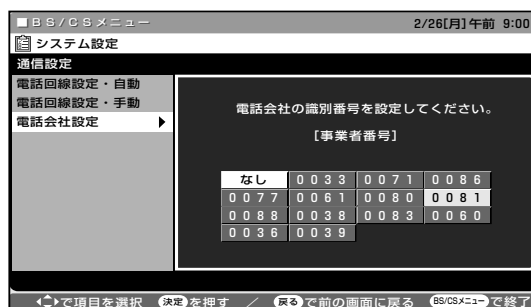
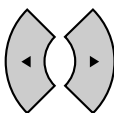
4

① 「現在の設定」を確認する
② 「次へ」で(決定)を押す

5

(▲)(▼)で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、(決定)を押す

「設定しない」…… 「186」「184」のどちらにも設定しない
「186」……………… 番号を通知する
「184」……………… 番号を通知しない

次ページへ

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

6

で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す

解除番号設定

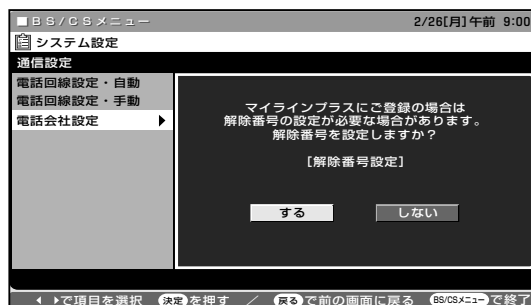
- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

7

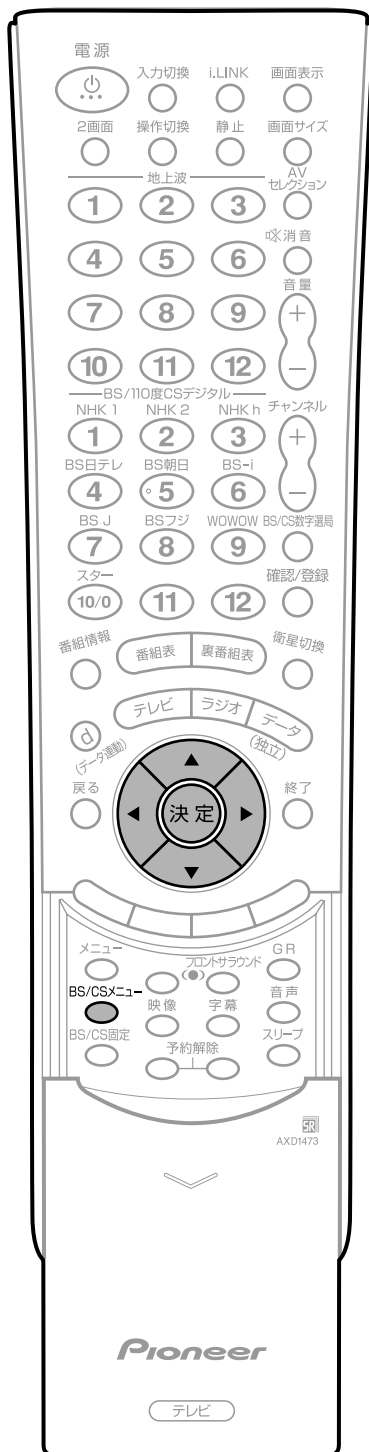
で「する」または「しない」を選び、**を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……. マイラインプラスを解除しないで発信します。

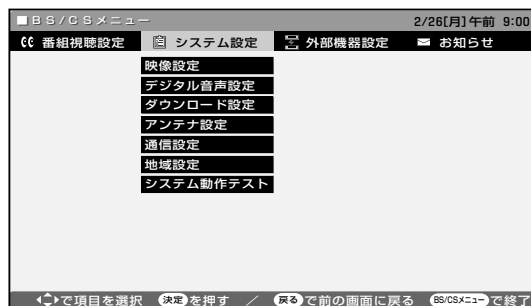
8

BS/CSメニュー **を押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号の設定

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

地域選択

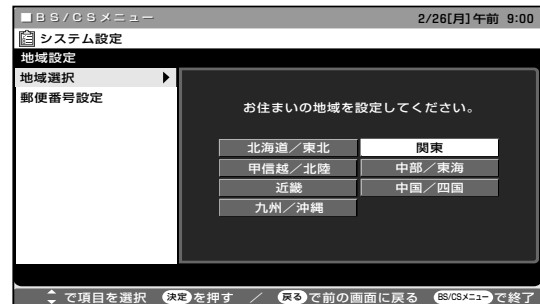
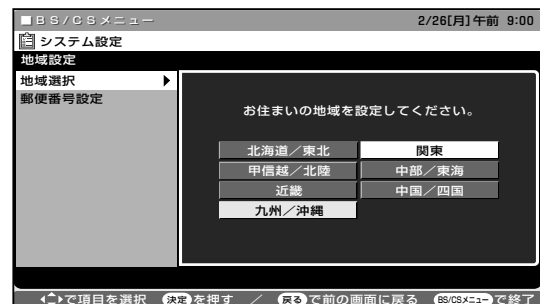
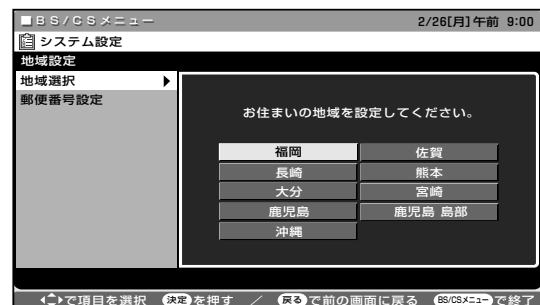
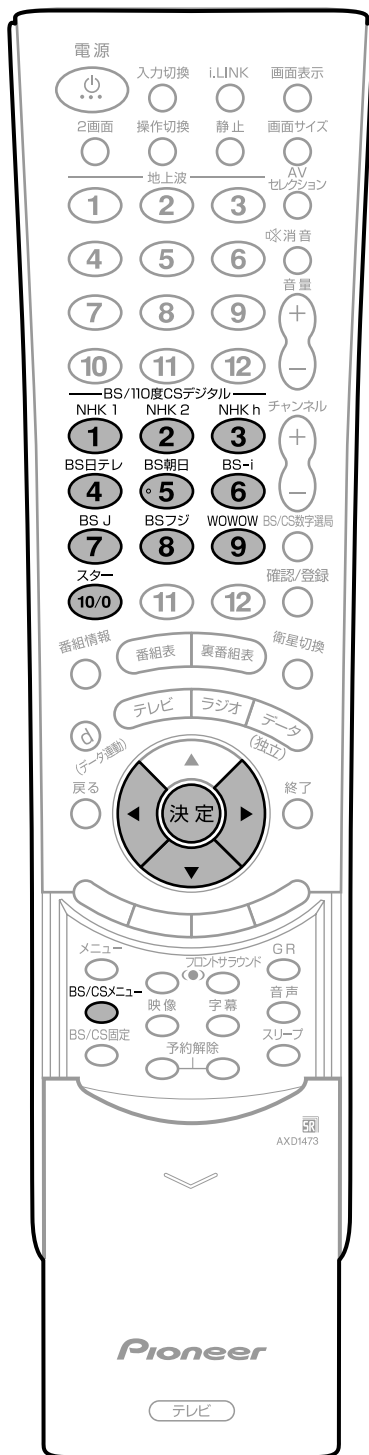
1 BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

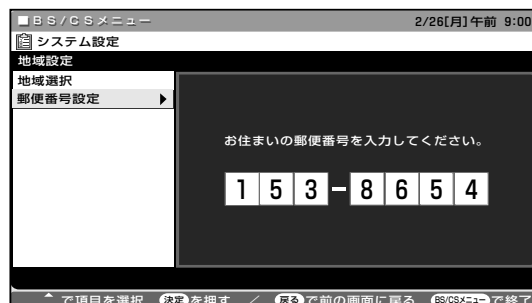
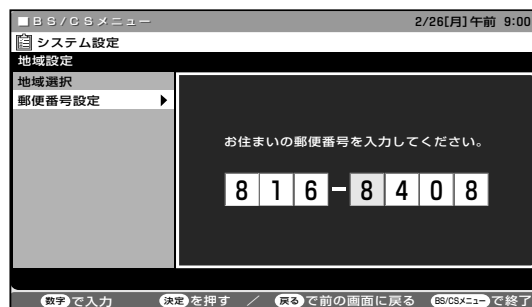
2 ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

次ページへ

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を閉じたところ

4 で「地域選択」を選び、決定を押す

5 お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す

6 お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、決定を押す

扉を開けたところ

郵便番号設定

7 **▼で「郵便番号設定」を選び、決定を押す**

8 **BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で郵便番号を入力し、決定を押す**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS／110度CSチャンネルボタンで入力しなおします。

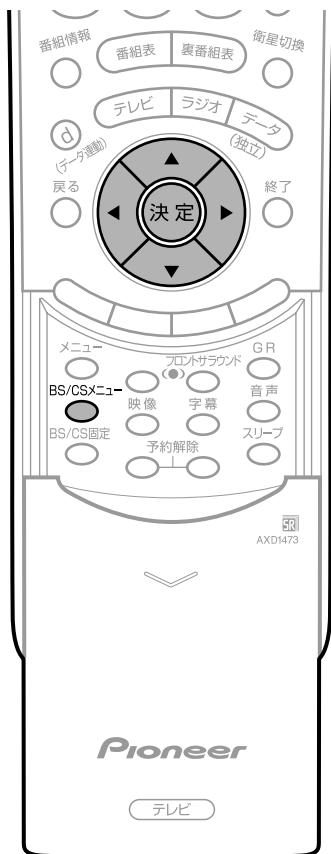
9 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

お知らせを見る

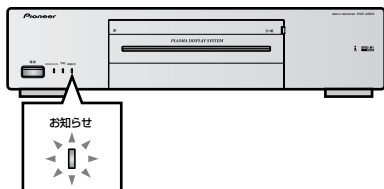
受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

扉を開けたところ

おしらせ

お知らせインジケータについて

- 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、メディアレシーバー前面のお知らせインジケータが点灯します。
- お知らせインジケータは、お知らせの受信メッセージを確認することにより消灯します。

[例] ダウンロード成功のお知らせを見る

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

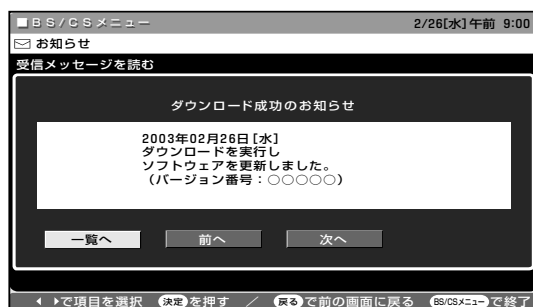
③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す

2

見たいメッセージを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

3

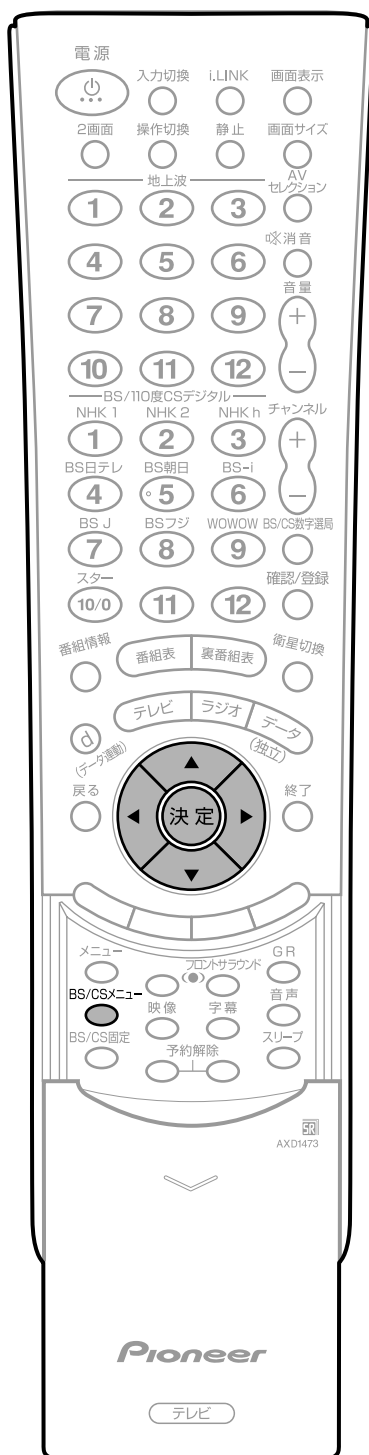
① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを

◀ ▶ で選び、決定 を押す

ボードを表示して情報を見る

■送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

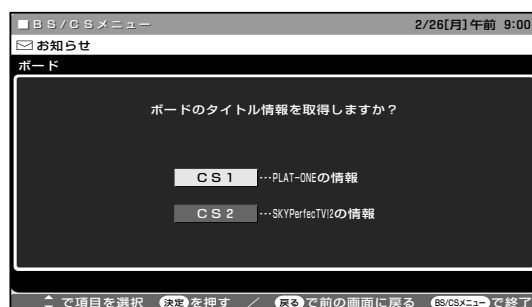
扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ボード」を選び、決定 を押す

2

表示したいネットワークを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます

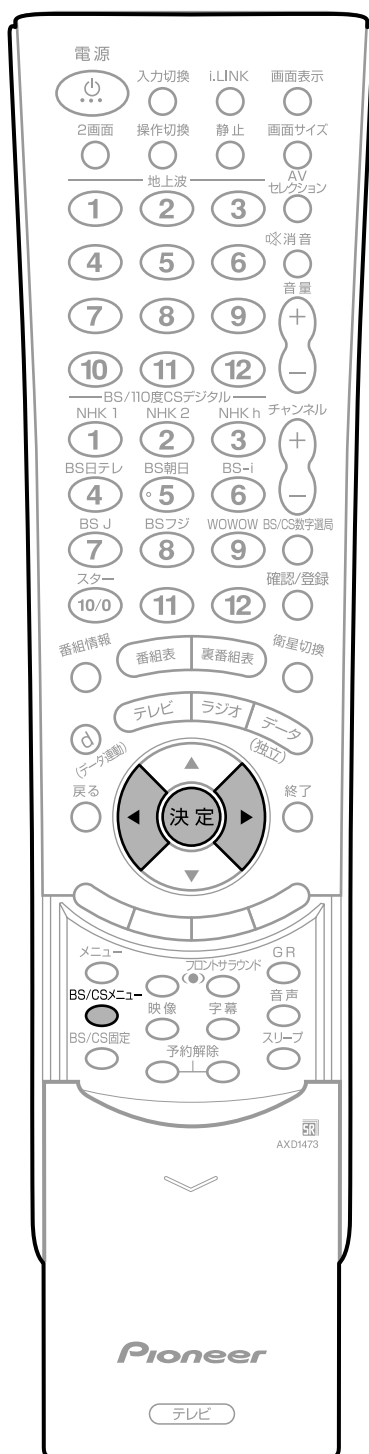
3

見たい情報のタイトルを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

(プラットワンのボード表示例)

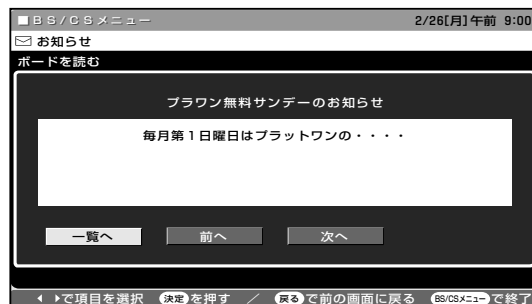
次ページへ

お知らせを見る(つづき)

扉を開けたところ

4

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを

で選び、決定を押す

5

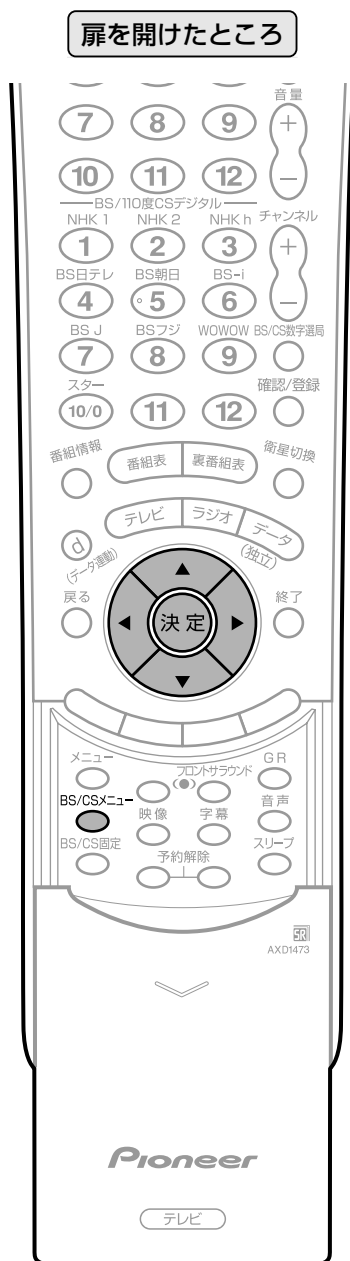
BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

受信機レポートを見る

■B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ

おしらせ

● アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

[例] アップロード失敗のレポートを見る

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

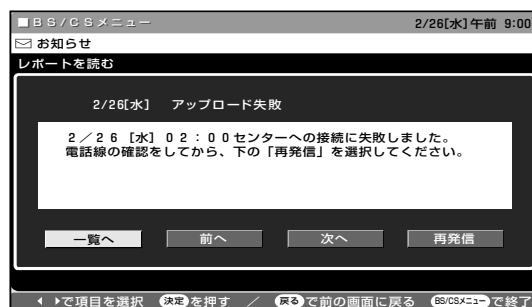
③ ▲ ▼ で「受信機レポート」を選び、決定を押す

2

見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定を押す

3

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定を押す

お知らせを見る(つづき)

B-CASカード番号を見る

■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

扉を開けたところ

1

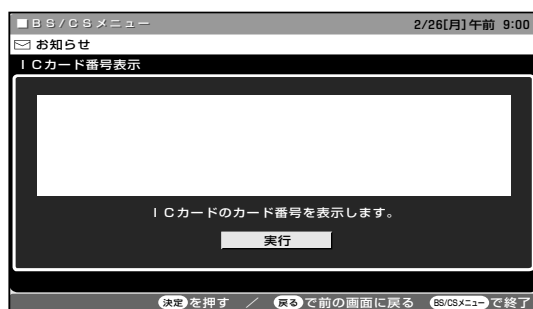
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

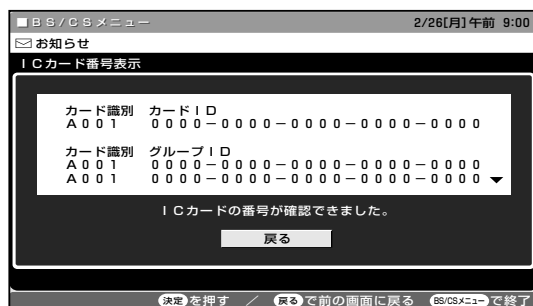
② で「お知らせ」を選ぶ

③ で「ICカード番号表示」を選び、決定を押す

2

「実行」で決定を押し、ICカード番号表示を実行する

3

① カード番号を確認する

② 「戻る」で決定を押す

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

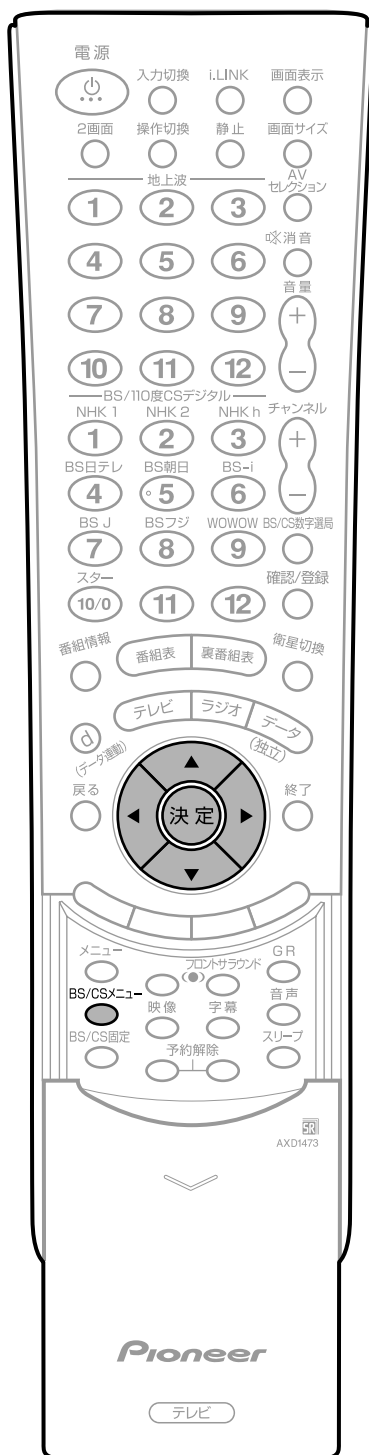
カードID……カード固有の番号です。

グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるB-CASカードに書き込まれます。

PPV購入履歴を見る

■購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「PPV購入履歴」を選び、決定 を押す

●PPV購入履歴画面が表示されます。

2

① 画面を確認する

② 「戻る」で 決定 を押す

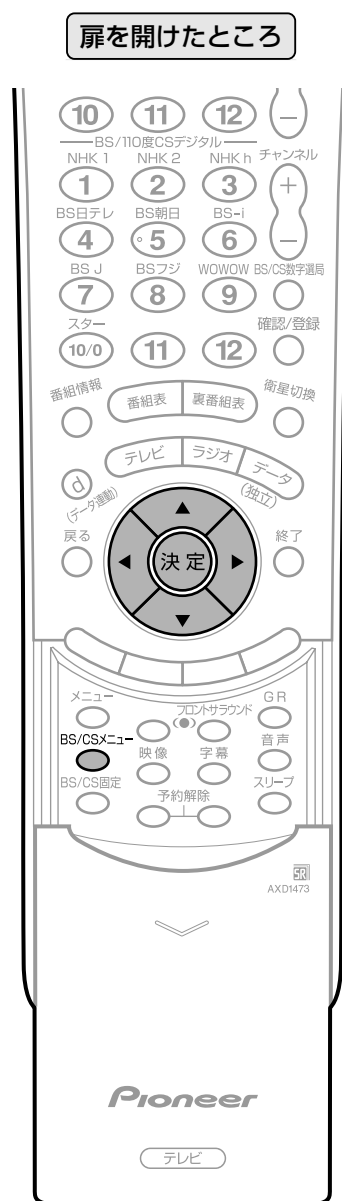
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

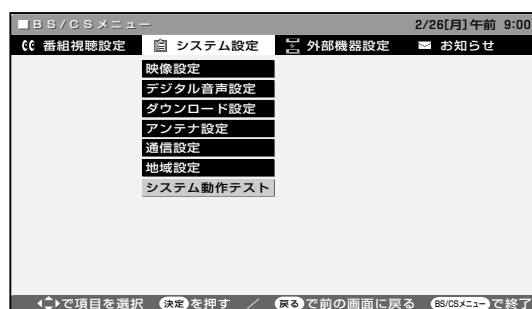
システム動作テストを行う

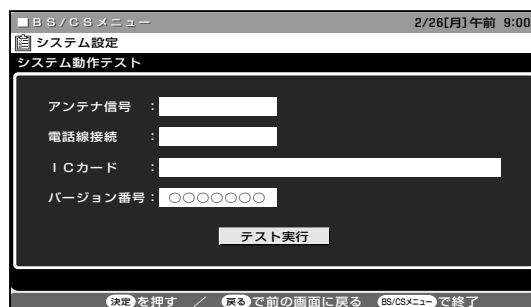
本機は、BS・110度CS共用アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

2

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① 結果を確認する

② 「テスト終了」で決定を押す

システム動作テストに失敗したときは

アンテナ信号

BS・110度CS共用アンテナの接続と設定を確認してください。

➪ **33**・**149**ページ

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。 ➪ **56**・**152**ページ

ICカード

B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

➪ **59**ページ

他の機器をつないで使う

ビデオ機器をつなぐ

■本機はビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統、BS/CS出力端子1系統を搭載しています。

■映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。

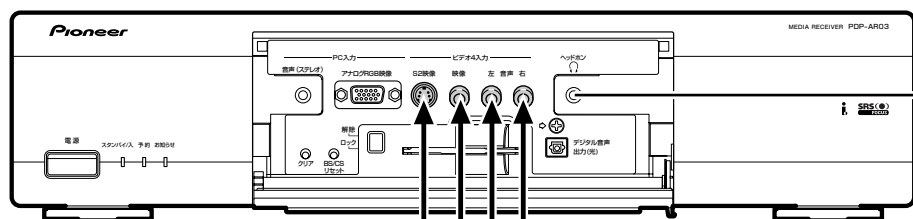
■接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

接続のしかた

▼メディアレシーバー前面端子部（扉内）

再生

ビデオカメラなど

S映像出力端子へ

映像・音声出力端子へ

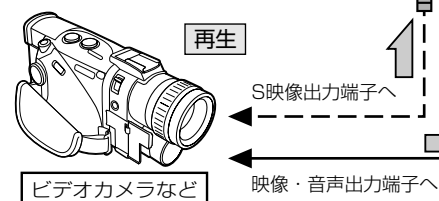
ヘッドホン端子について

- ステレオミニプラグの付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声は出ません。

ヘッドホン接続時の音量表示

30

プラグの記号

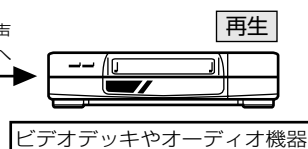
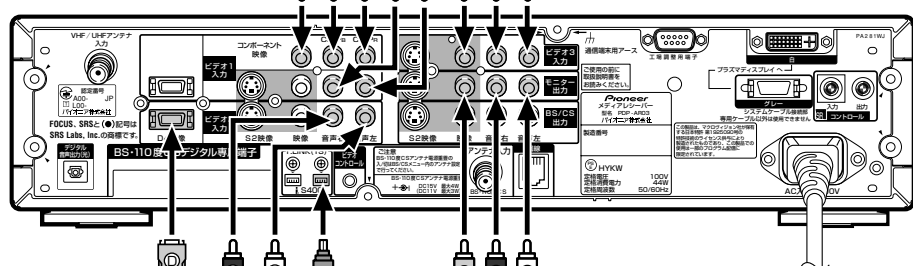
Ⓢ S2映像
Ⓥ 映像
Ⓛ 音声・左
Ⓡ 音声・右
Ⓓ D映像

は信号の流れを表しています。

再生

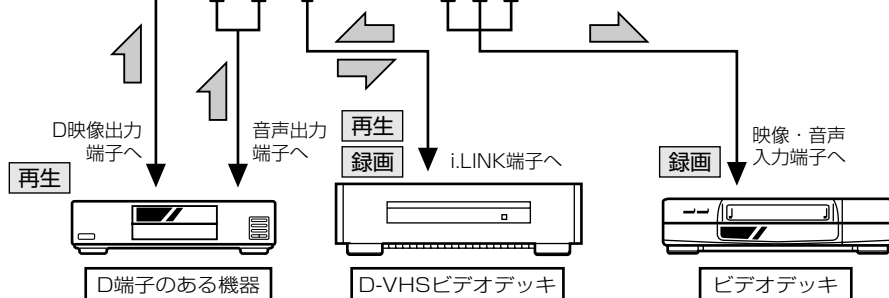
コンポーネント端子のある機器

コンポーネント映像出力端子へ

音声出力端子へ

映像・音声出力端子へ

再生

ビデオデッキやオーディオ機器

▼メディアレシーバー後面端子部

D映像出力端子へ

音声出力端子へ

再生

D端子のある機器

再生
録画

i.LINK端子へ

D-VHSビデオデッキ

録画

映像・音声入力端子へ

ビデオデッキ

おしらせ **ビデオ1～4入力に外部機器をつないだとき**

- 接続した映像用端子に合わせて入力選択の設定をしてください。（**183**ページ参照）

接続上のご注意

■接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
■接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
■接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
■複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
■接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- ビデオ1〜4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1〜4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**80**ページ)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、問題なく映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

D4映像入力端子について

- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力、ビデオ2入力にあるD4映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。

コンポーネント映像入力端子について

- コンポーネント映像ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力にあるコンポーネント映像端子は、映像用の端子です。音声は音声端子(左・右)に接続します。

モニター出力端子について

- つぎの信号はモニター出力端子から出力できません。(ただし、音声は出力できます。)
  ① D4映像端子から入力された映像信号
  ② コンポーネント映像端子から入力された映像信号
  ③ PC(パソコン)映像信号
  ④ テレビ(UHF/VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時のS2映像出力信号(Y/C分離機能はありません。)
- BS・110度CSデジタル放送を、モニター出力端子に接続した外部機器で録画する場合、コピープロテクト信号が含まれている一部の放送は正常に録画することができません。
- S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力端子の映像端子からも出力されます。

デジタル音声出力(光)端子について

- メディアレシーバー前面扉内の端子と後面の端子は、まったく同じものです。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS/CSチューナーの音声を出力するようにできます。(**200**ページの「デジタル音声出力(光)端子の設定」をご覧ください。)

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオデッキなどの再生映像を見る

● ビデオ機器を接続している入力の入力選択設定を済ませておいてください。(183ページ参照)

扉を閉じたところ

入力選択の設定について

● 接続されている映像用端子と、入力選択の設定(183ページ参照)で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

[例] ビデオ1入力端子に接続したビデオデッキの再生映像を見る

1 再生機器の準備をする

① メディアレシーバー後面のビデオ1入力端子にビデオデッキを接続し、電源を入れる

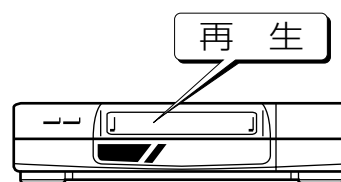
② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

●入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ1」を選ぶ

② 決定 を押す

4 ビデオ機器を再生状態にする

テレビ番組を録画する

扉を閉じたところ

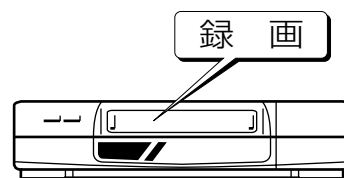
[例] 6チャンネルの番組を録画する

1 録画機器の準備をする

① メディアレシーバー後面のモニター出力端子に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる
② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える
③ 録画可能なビデオテープを入れる

2 地上波チャンネルボタンまたは で、6チャンネルを選ぶ

6 モノラル

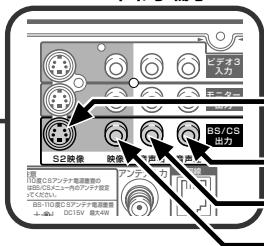
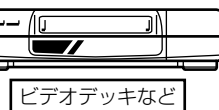
3 録画機器(ビデオデッキなど)を録画状態にする

おしらせ

- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力端子から出力される映像も変わります。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(ただし、音声は出力されます。)
- テレビ(UHF／VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時、モニター出力端子のS2映像から信号は出力されません。(Y／C分離機能はありません。)

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

視聴中のBS・110度CSデジタル放送をビデオデッキに録画する

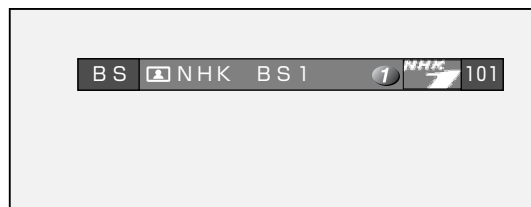
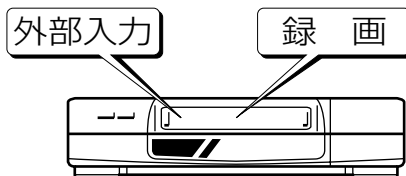
■メディアレシーバー後面のBS/CS出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、BS・110度CSデジタル放送を録画することができます。

ビデオデッキとの接続のしかた

- BS/CS出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、**接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。**
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して行ってください。(**188**～**197**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 2画面機能を入／切すると、BS/CS出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」(**175**ページ)または「ビデオ連動予約」(**176**ページ)で録画することをおすすめします。
- BS・110度CSデジタル放送をBS/CS出力端子から録画する場合、番組表、i.LINKパネル等を画面と一緒に録画する場合は、「録画画面表示の設定」(**133**ページ)を「する」にします。

扉を閉じたところ

BS・110度CSデジタル放送を録画する

[例] NHK BS1の番組を録画するとき

1 **BS／110度CSチャンネルボタン(NHK1 1)を押し、録画する番組を選ぶ**

2 **ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする**

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

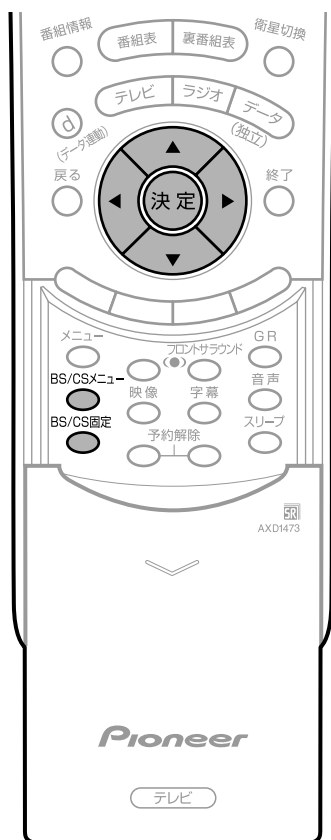
- BS・110度CSデジタル放送を録画しながら、地上放送などの裏番組を見るときは、BS/CS固定を「入」に設定します。(**175**ページ参照)

BS/CS固定の設定

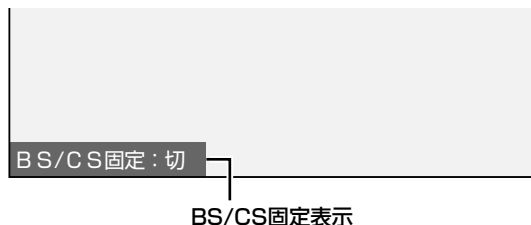
■「BS/CS固定」とは、現在受信しているBS・110度CSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BS・110度CSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
また、BS・110度CSデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

■BS/CS固定は、リモコンでの直接操作またはBS/CSメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。どちらで設定しても動作は同じです。

扉を開けたところ

1

① 固定したいBS・110度CSデジタル放送のチャンネルを選局する

② BS/CS固定 を押す

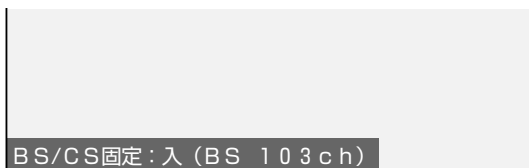
●画面左下にBS/CS固定表示が出ます。

BS/CS固定表示

2

もう一度、BS/CS固定 を押す

●BS/CS固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS/CS固定を入／切できます。

<例> BS103チャンネルを固定する場合

BS/CS固定：入（BS　103ch）

BS/CSメニュー画面で設定するには

① BS/CSメニューボタンを押し、BS/CSメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「番組視聴設定」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「BS/CS固定設定」を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
⑤ BS/CSメニューボタンを押し、通常画面に戻す

おしらせ

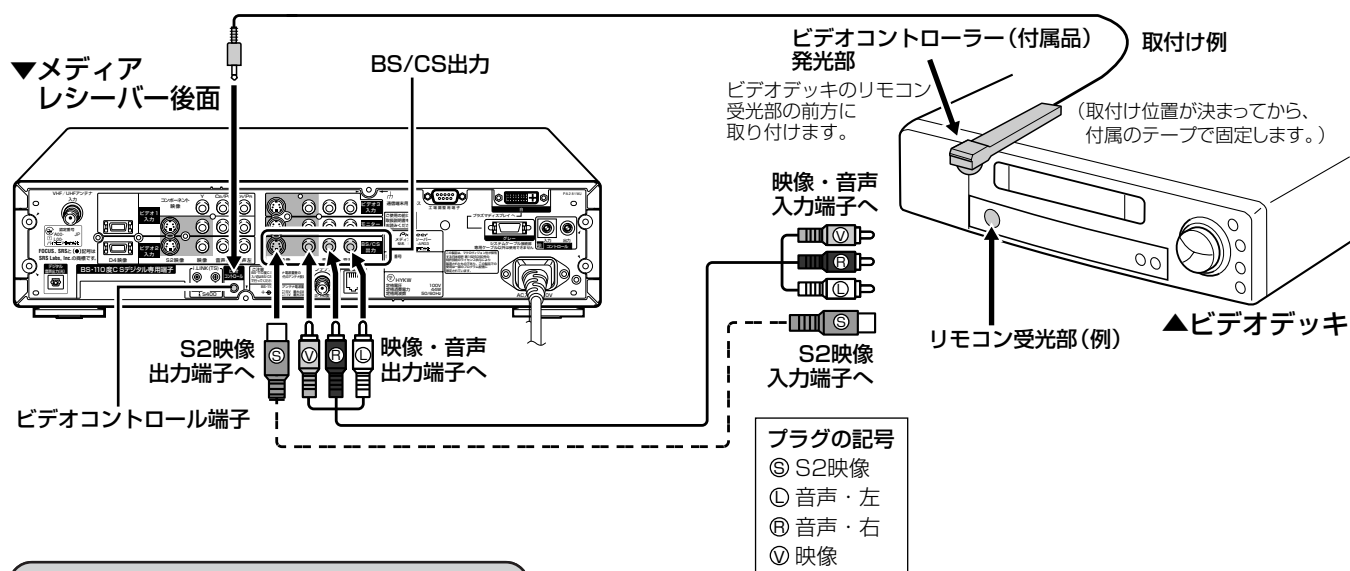
- BS/CS固定中に録画・視聴予約時間になると、BS/CS固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS/CS固定にすることができません。
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」(**176**ページ)で録画することをおすすめします。
- BS/CS固定時には、録画出力の切り換わりを防ぐため、つぎの操作ができません。
  - BS・110度CSデジタル放送の選局、BS/CSメニュー・電子番組表の表示。
  - i.LINK操作パネルの表示。
  - 「iLINK」への入力切換え。
  - 「BS/CS固定」を「入」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(スタンバイ状態)にしてもファンが回転しています。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入/切や録画の開始/停止を行い、本機の予約機能と連動して録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた(ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

機種番号について

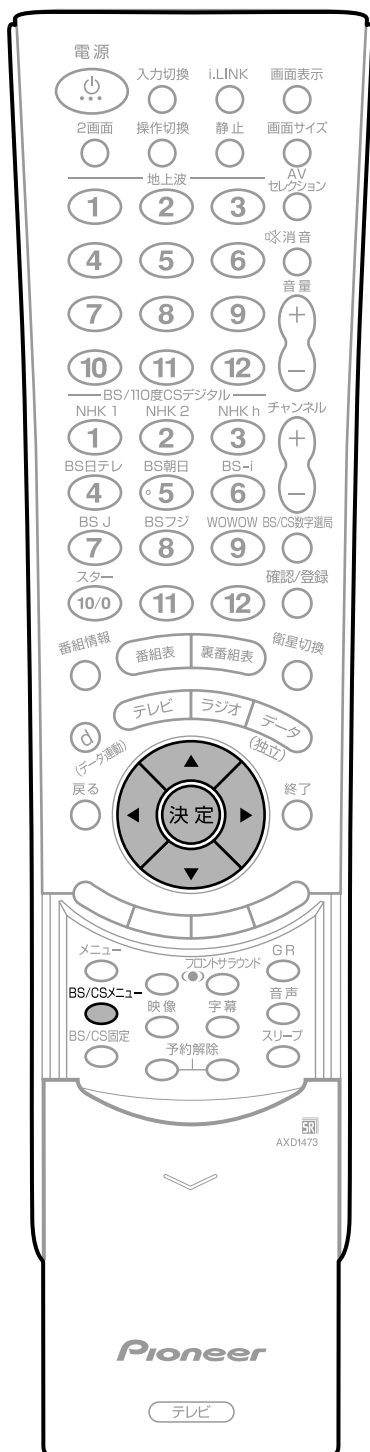
■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
パイオニア	1, 2, 3
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4

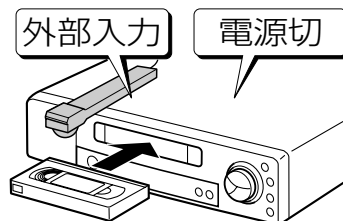
工場出荷時の設定:未設定

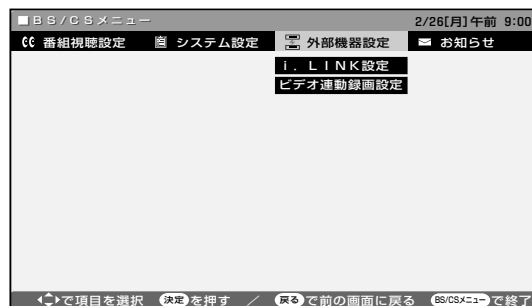
ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受光部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**177**~**179**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

扉を開けたところ

ビデオ連動録画の設定

1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(176ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける(176ページ参照)
③ 外部入力に切り換える(本機を接続した外部入力を選択してください)
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ 電源を「切」にする

2 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

●「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

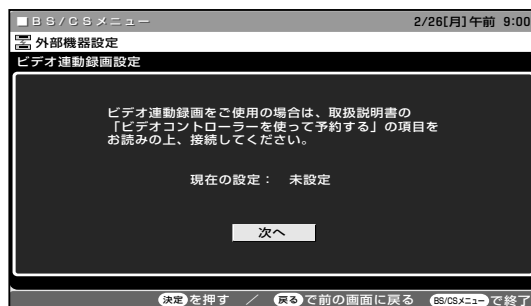
次ページへ

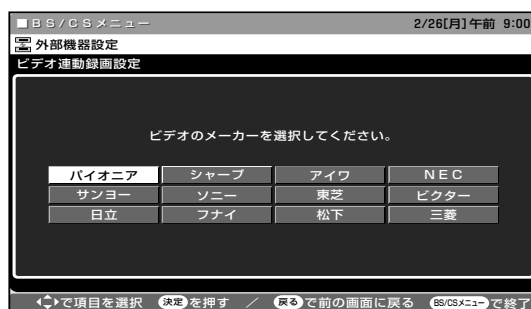
おしらせ
● ビデオ連動録画設定は初めてビデオコントローラーをご使用になる時に行って下さい。
2回目以降は、ご使用のビデオデッキを変えない限り、設定の必要はありません。

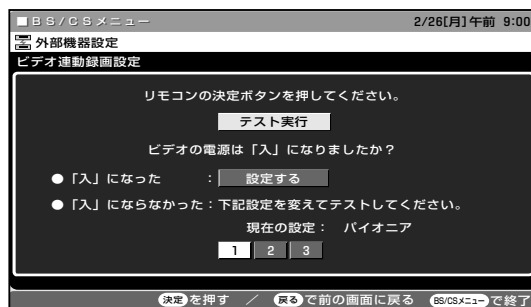
ビデオ機器をつなぐ(つづき)

扉を閉じたところ

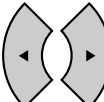
4

① ビデオコントローラーの接続を確認する
② 「次へ」で(決定)を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを ▲▼◀▶ で選び、(決定)を押す

6

「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨ 手順9に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順7に進みます。

おしらせ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順6〜8でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

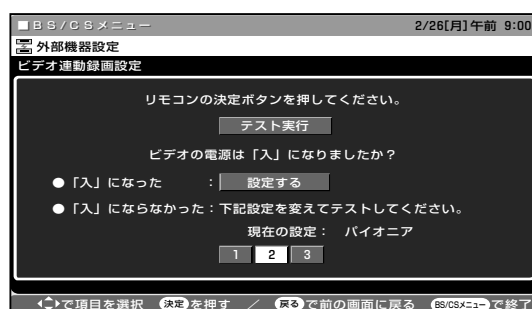
扉を閉じたところ

7

① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

●176ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順7、8をくり返してください。

8

決定を押し、テストを実行する

9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

●ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

● 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。

● 録画予約のしかたについては、116～130ページをご覧ください。

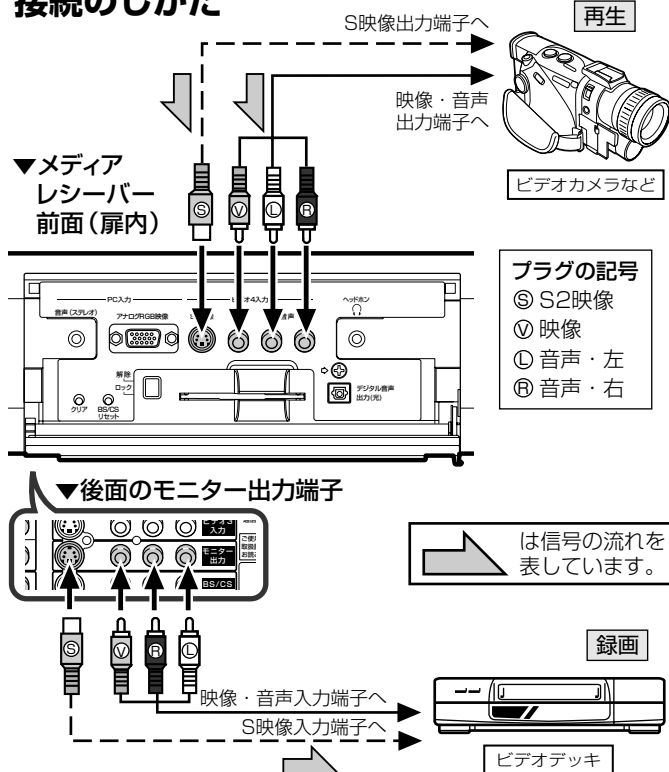
おしらせ

● ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

● ビデオ連動録画設定は初めてビデオコントローラーをご使用になる時に行って下さい。
2回目以降は、ご使用のビデオデッキを変えない限り、設定の必要はありません。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

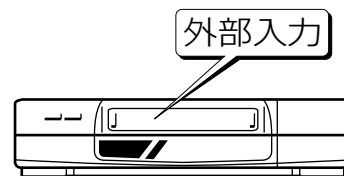
接続のしかた

扉を閉じたところ

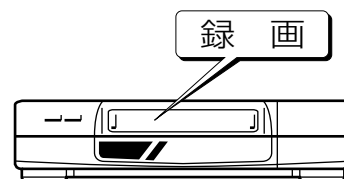
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(ただし、音声は出力されます。)
- テレビ(UHF/VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時、モニター出力端子のS2映像から信号は出力されません。(Y/C分離機能はありません。)

[例] ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの映像をビデオデッキに録画する

1

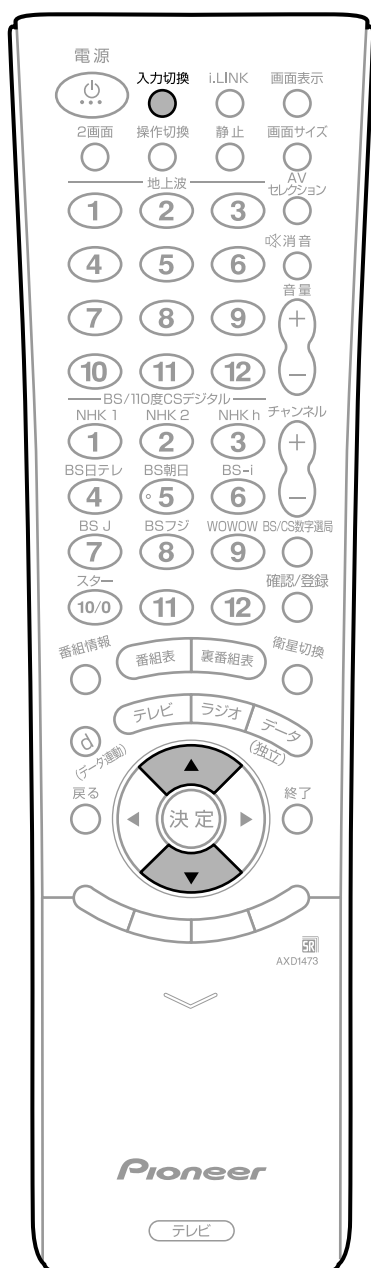
2 **モニター出力端子に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする**

3 **ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの機器を再生状態にする**

4 **モニター出力端子に接続しているビデオデッキを録画状態にする**

DVDプレーヤーをつなぐ

高精細映像を楽しむ

■メディアレシーバー後面のビデオ1入力またはビデオ2入力のD4映像端子や、ビデオ1入力のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

- DVDプレーヤーをつないでいる入力(ビデオ1入力またはビデオ2入力)の入力選択の設定を済ませておいてください。（**183**ページ参照）

扉を閉じたところ

[例] ビデオ2入力端子に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

1 **DVDプレーヤーの準備をする**

① メディアレシーバー後面のビデオ2入力端子にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 **入力切換を押し、入力切換メニューを表示する**

3 **入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ2」を選ぶ**

ビデオ1〜4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

4 **DVDプレーヤーを再生状態にする**

おしらせ

- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子からの入力映像は、モニター出力端子から出力されません。（ただし、音声は出力されます。）
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。
- テレビ(UHF／VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時、モニター出力端子のS2映像から信号は出力されません。（Y／C分離機能はありません。）

DVDプレーヤーをつなぐ(つづき)

■DVDなど、映画ソフトの映像がチラついて気になるときは、ピュアシネマの設定を「する」にすると動きのなめらかな映像で見ることができます。 メニュー項目 プロ設定

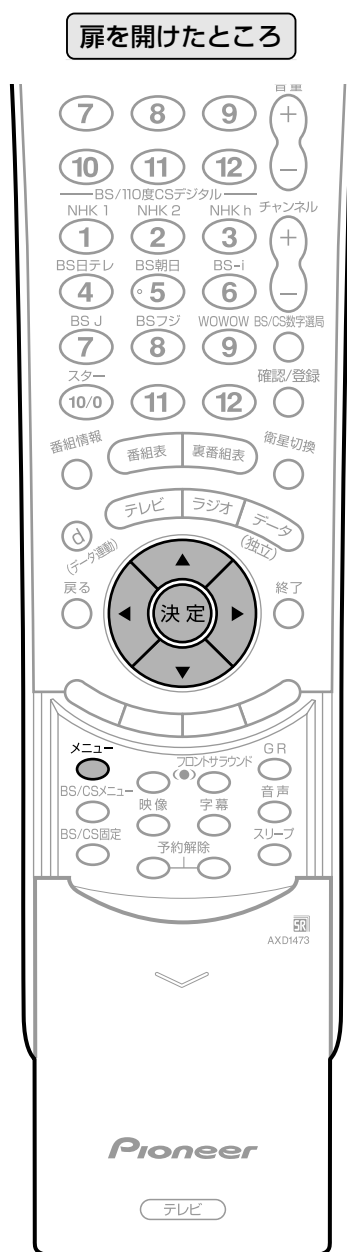
扉を開けたところ

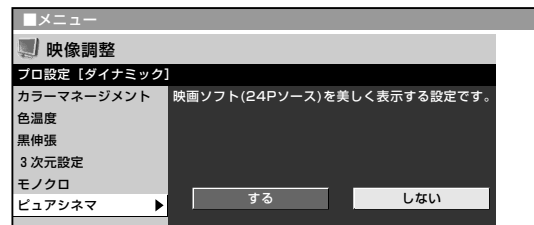
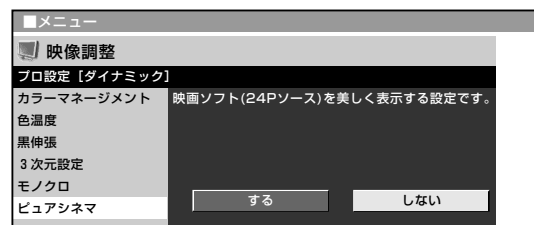
DVD映像のチラツキが気になるとき(ピュアシネマ)

[例] ピュアシネマを「する」に設定する

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「映像調整」を選ぶ
③ ▲▼で「プロ設定」を選ぶ

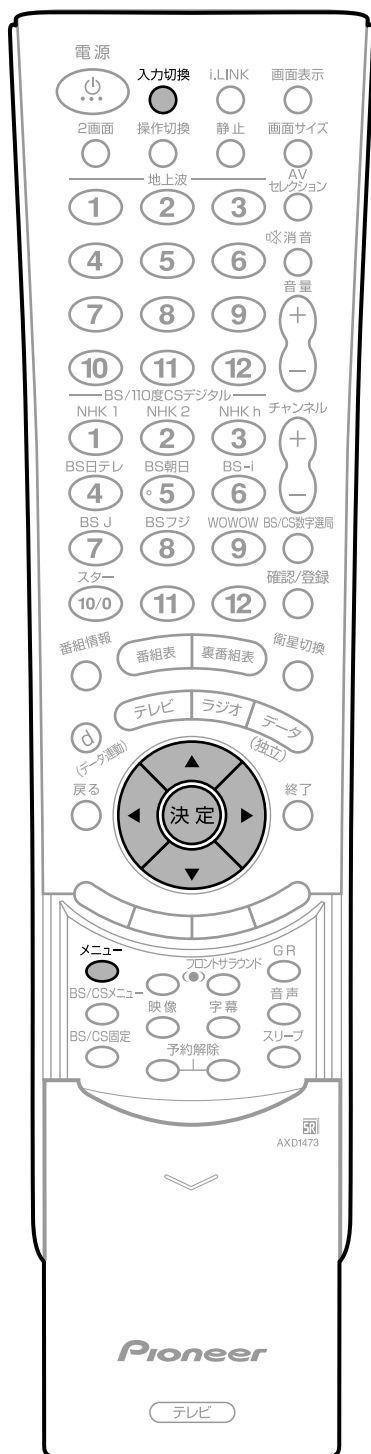
2 ▲▼で「ピュアシネマ」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選ぶ

4 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ
- ピュアシネマはDVD再生など、映画ソフトの映像の動きをなめらかにする機能です。通常は「しない」にしてください。

入力選択の設定

■ビデオ1～4入力端子に外部機器を接続したときは、本機に入力される映像信号の入力選択の設定を行ってください。（工場出荷時は、すべて「自動」に設定されています。）

■入力選択設定の操作を行う前に、機器の接続を済ませておいてください。

扉を開けたところ

［例］ビデオ2入力のD4映像端子からの入力を選択する

1

入力切換 で「ビデオ2」を選ぶ

2

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

3

▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定 を押す

次ページへ

入力選択の設定(つづき)

4 で「D端子」を選ぶ

5 メニューを押し、通常画面に戻す

入力選択の項目について

■ビデオ1～4入力のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

ビデオ 1
自動
D端子
コンポーネント
S映像
ビデオ映像

ビデオ 2
自動
D端子
S映像
ビデオ映像

ビデオ 3
自動
S映像
ビデオ映像

ビデオ 4
自動
S映像
ビデオ映像

映像入力端子選択の優先順位について

- 入力選択を「自動」に設定したときは、接続されている各端子の中からつぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

ビデオ1
D端子映像→コンポーネント映像→S映像→ビデオ映像

ビデオ2
D端子映像→S映像→ビデオ映像

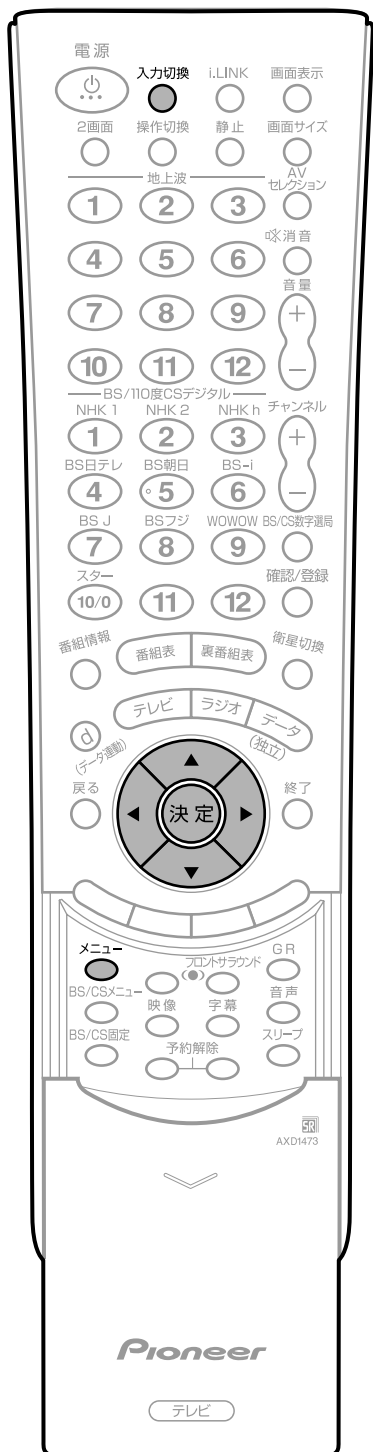
ビデオ3および4
S映像→ビデオ映像

- 映像の有無での選択機能はありません。
- 固定設定を選択した場合は、端子接続の有無に関わらず設定された入力端子を選択します。
- テレビ入力、i.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

外部機器に表示を合わせる

入力表示を選択する

■ビデオ1～4入力端子に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューに表示される機器の名称を選択することができます。

扉を開けたところ

[例] ビデオ2の表示を「ゲーム」に変える

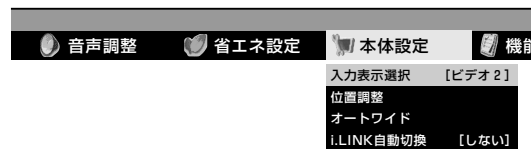
1 入力切換 で「ビデオ2」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

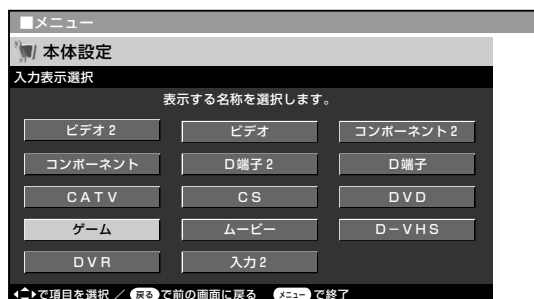
入力切換
テレビ
ビデオ 1
ビデオ 2
ビデオ 3
ビデオ 4
i．LINK
PC

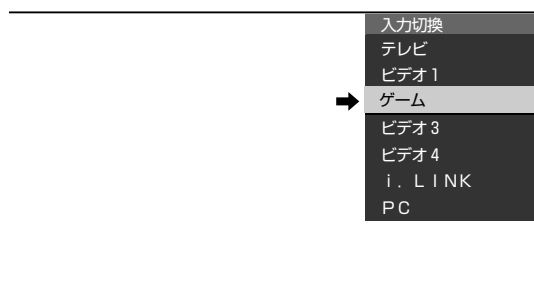
2 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「入力表示選択」を選び、決定 を押す

次ページへ

外部機器に表示を合わせる(つづき)

4 ▲▼◀▶で「ゲーム」を選ぶ

5 メニューを押し、通常画面に戻す

●入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「ゲーム」が表示されます。

- テレビ入力、i.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。
- 入力表示選択の設定で選択された名称は、画面表示(チャンネルサイン)にも表示されます。

入力表示選択できる名称

ビデオ1入力

ビデオ1	ビデオ	コンポーネント1
コンポーネント	D端子1	D端子
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
DVR	入力1	

ビデオ2入力

ビデオ2	ビデオ	コンポーネント2
コンポーネント	D端子2	D端子
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
DVR	入力2	

ビデオ3入力

ビデオ3	ビデオ	CATV
CS	DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS	DVR
入力3		

ビデオ4入力

ビデオ4	ビデオ	CATV
CS	DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS	DVR
入力4		

モニター出力の音声出力設定を切り換える

モニター音声出力を設定する

■ モニター出力からの音声出力を「固定」または「可変」に設定する機能です。

「固定」…… モニター出力からの音声出力が一定の音量で出力されます。
スピーカーからの音声は、ボリュームに連動した音量で出力されます。

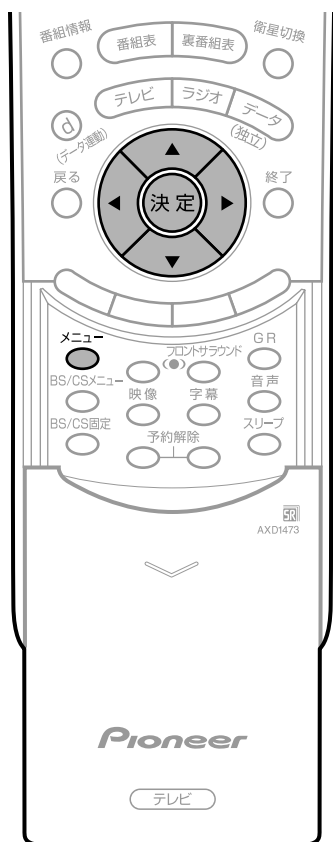
画面の音量表示

30

「可変」…… モニター出力からの音声出力を調整することができます。
スピーカーからの音声は消音状態となります。

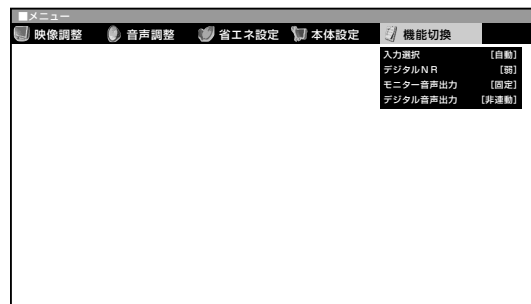
画面の音量表示

30

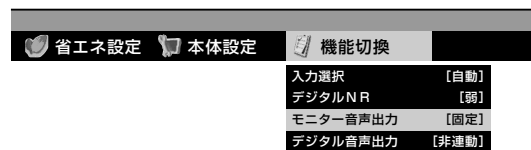
扉を開けたところ

おしらせ

- 「可変」に設定し、モニター出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大/小)ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からのボリュームに連動した音声出力は可能です。

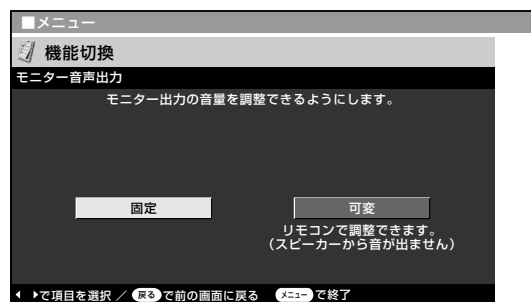
1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

2

▲ ▼ で「モニター音声出力」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「固定」または「可変」を選ぶ

4

メニュー を押し、通常画面に戻す

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

i.LINK(アイリンク)について

■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

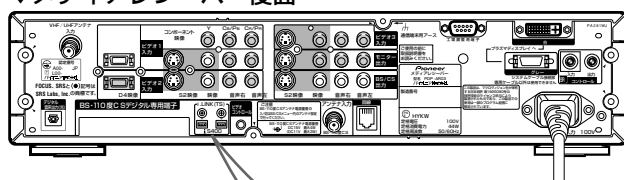
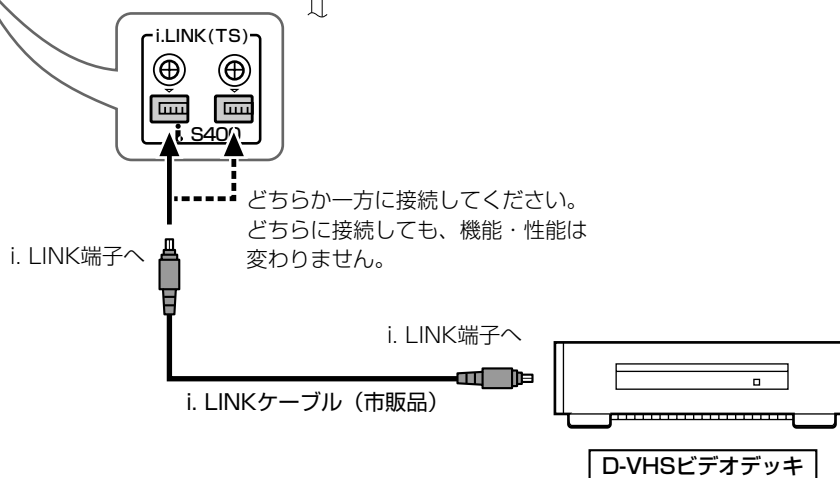
本機に接続できるi.LINK機器について

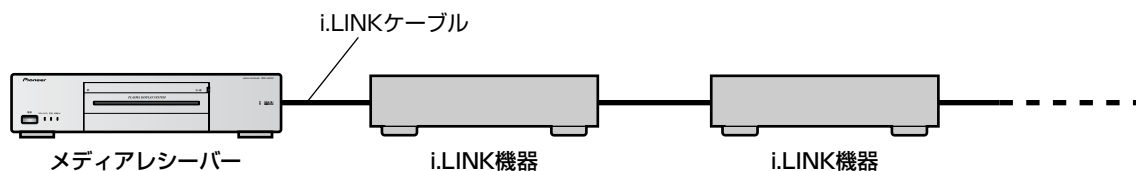
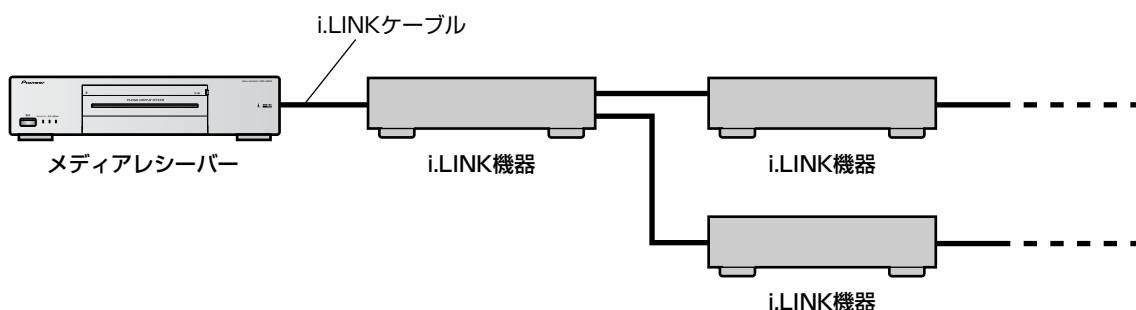
■本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)やPC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

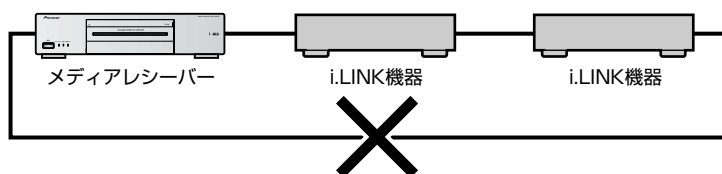
i.LINKで録画できる内容について

■本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、BS・110度CSデジタル放送のみです。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1～4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。

i.LINK接続のしかた

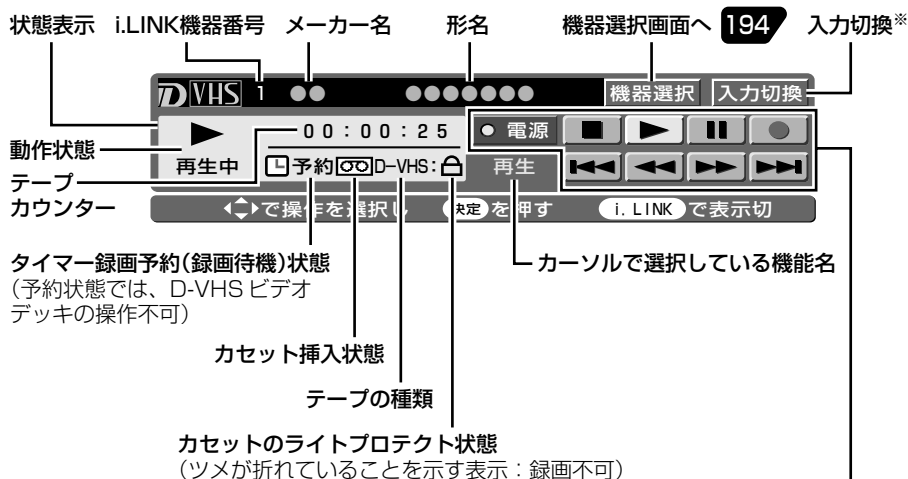
[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。BS/CSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**193**ページ参照)
- **下図のようなループ(輪)接続をしないでください。**

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の操作のしかた

■i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■操作を始める前に、**192**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

※入力切換ボタンについて
● i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BS・110度CSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
電源	電源の入／切	⏮	1つ前に戻って頭出し
■	停止	◀◀	巻戻し
▶	再生	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	⏭	1つ先に進んで頭出し
●	録画開始		

- 本機とD-VHS ビデオデッキをi.LINK 接続して録画できるのは、BS・110度CSデジタル放送のみです。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1～4)、PC 入力は、i.LINK 録画ができません。
- 本機で使用しているD-VHS ビデオデッキを再生状態にすると、D-VHS ビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わるように設定できます。(**198**ページ参照)
- 本機で使用しているD-VHS ビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK 操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BS・110度CSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHS ビデオデッキによっては、本機のi.LINK 操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHS ビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機に接続する機器によっては、VHS テープやS-VHS テープ、またはアナログで記録されているD-VHS テープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができないことがあります。このような場合は、D-VHS ビデオデッキのアナログ映像出力を本機のビデオ1～4入力のいずれかに接続してご使用ください。
- 本機で使用しているD-VHS ビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK 操作パネルでの操作ができません。本機で受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声をD-VHS ビデオデッキで記録するときは、D-VHS テープを使用してください。VHS テープやS-VHS テープでは記録することができません。
- BS/CS 固定中は、入力を「i.LINK」に切り換えることができません。
- BS/CS 固定中、予約録画実行中は、i.LINK 操作パネルを表示することができません。
- 番組の内容によっては、D-VHS ビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK 機器(D-VHS ビデオデッキ)で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ(早送り／巻戻し)をすると画面がモザイクになる場合があります。

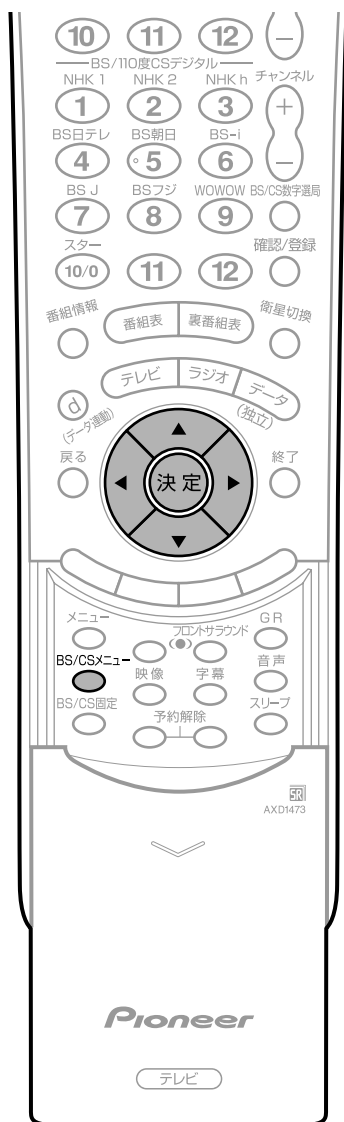
- i.LINKで接続されている機器を使っての録画、予約録画中、及び再生中に、他の使用していないi.LINK機器の電源を入/切したり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像・音声がとぎれることがあります。
  録画・予約録画中や再生中は、使っていない機器でも電源の入／切、i.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。
- i.LINKによって接続されている機器の仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやり取りができない場合があります。
- 万一i.LINK操作において、D-VHSビデオデッキが正常に録画・録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

- IEEE1394 は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK (アイリンク)とi.LINK ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINK でのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK設定を行う

扉を開けたところ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

録画モードの設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

「録画モード設定」で決定を押す

3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定によりスタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

1

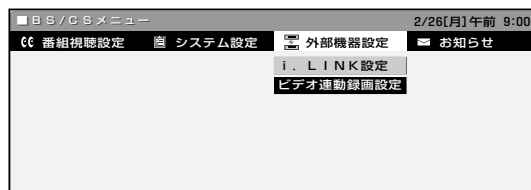
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

2

▼ で「電源待機設定」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……複数のi.LINK機器を接続している場合、スタンバイ時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…スタンバイ時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

ご注意

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源をスタンバイ状態(電源ランプ赤色点灯)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

おしらせ

- 本機の電源がスタンバイ状態(電源ランプ赤色点灯)のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」(電源ランプ緑色点灯)にしてから行ってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

扉を閉じたところ

i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**188**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

おしらせ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

扉を閉じたところ

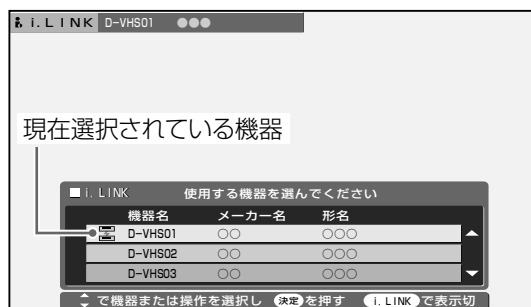
i.LINK機器の使用解除

- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**188**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲◀で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 ▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す

- i.LINK機器の使用が解除されます。

おしらせ

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

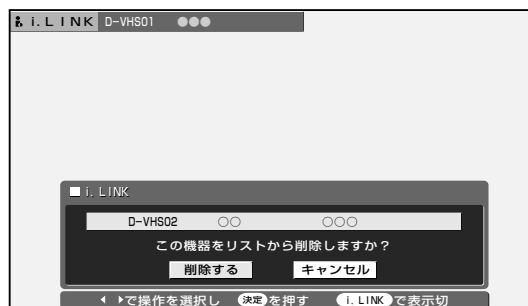
i.LINK機器の登録削除

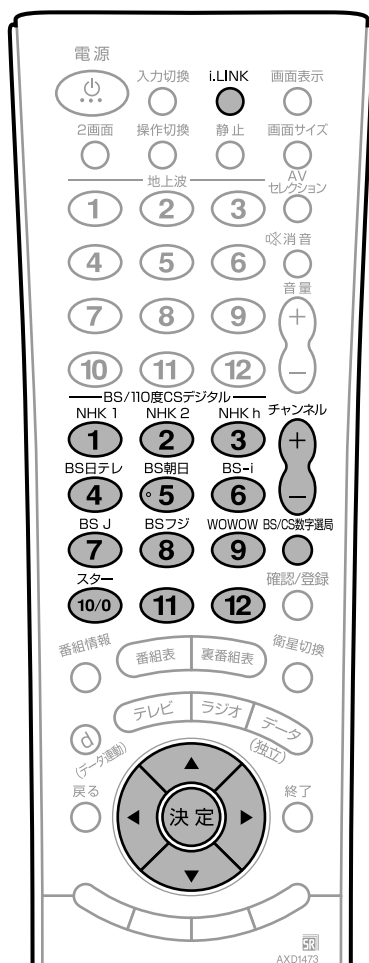
- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 ① i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定 を押す

2 削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

3 ◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

扉を閉じたところ

● 本機で受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープや S-VHSテープでは記録することができません。

● D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面(操作パネル)にある操作ボタンで操作できないことがあります。
● 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
● i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
● BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。
● 録画した放送の内容によっては、再生時にビデオサーチ(早送り、巻戻し)した際、画面がモザイクになる場合があります。

i.LINK機器でBS・110度CSデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**192**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 録画したいBS・110度CSデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

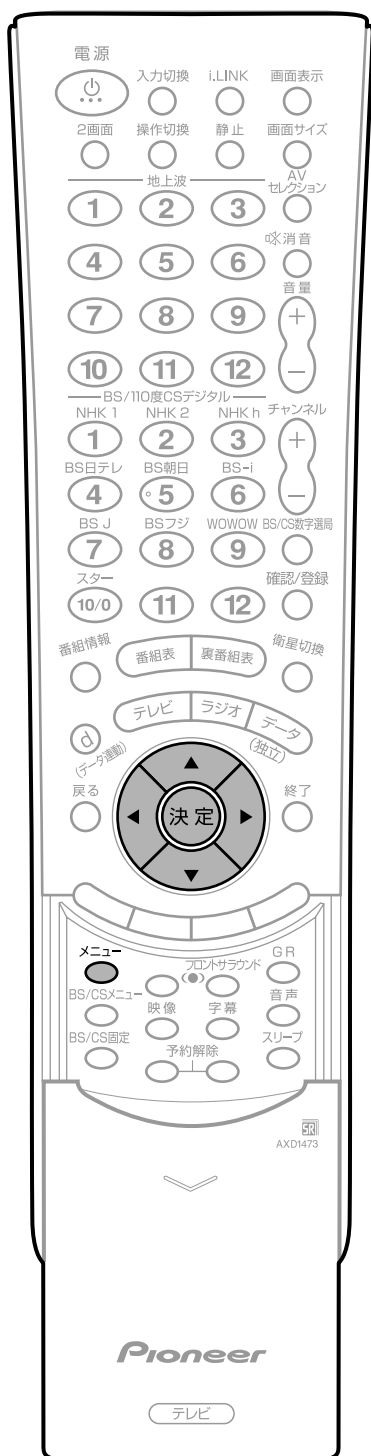
3 ▲▼◀▶で ●(録画ボタン)を選び、決定を押す

● 録画が開始され、操作パネルが消えます。
● 録画を止めるときは、i.LINKボタンで再度操作パネルを表示し、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

● 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

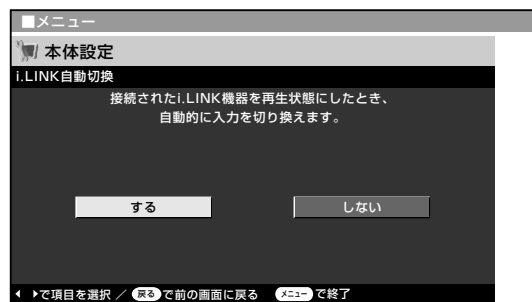
■i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

扉を開けたところ

i.LINK自動切換の設定

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

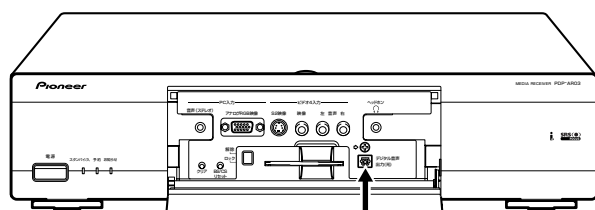
2 ▲ ▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

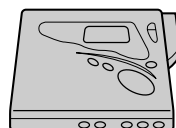
3 ◀ ▶で「する」または「しない」を選ぶ

4 メニューを押し、通常画面に戻す

音響機器をつなぐ

デジタル音声出力(光)端子から録音する

■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BS・110度CSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

▼音響機器

デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付き音響機器に限ります。
例）MDプレーヤーの場合：
　　サンプリングレートコンバータ内蔵型

▼メディアレシーバー前面扉内

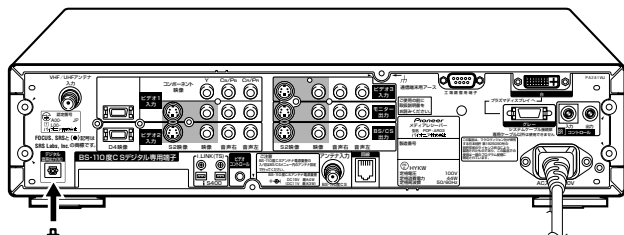
<例>ポータブルMDプレーヤー

※録音、再生のしかたについては、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

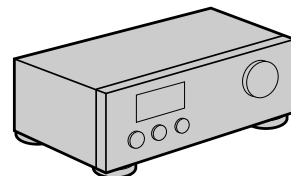
デジタル音声ケーブル（市販品）
※接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

■また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

接続のしかた

▼メディアレシーバー後面

▼AAC対応音響機器

<例>AVアンプ

デジタル音声ケーブル（市販品）
※接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- メディアレシーバー前面扉内のデジタル音声出力(光)端子と後面のデジタル音声出力(光)端子は、まったく同じものです。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS/CSチューナーの音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。（**200**ページの「デジタル音声出力(光)端子の設定」をご覧ください。）
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。

音響機器をつなぐ(つづき)

■メディアレシーバー前面扉内または後面のデジタル音声出力(光)端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

扉を開けたところ

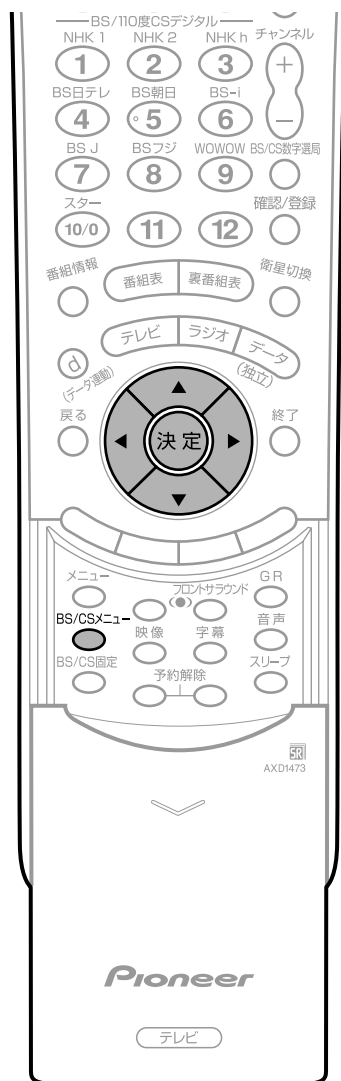
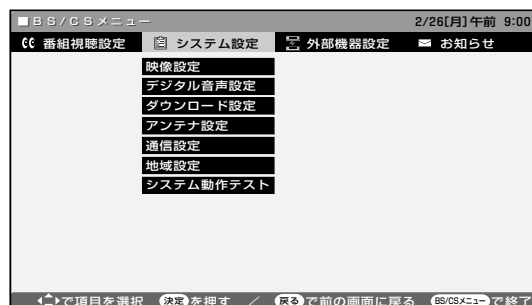
- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

デジタル音声出力(光)端子の設定

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

2

▲ ▼で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

3

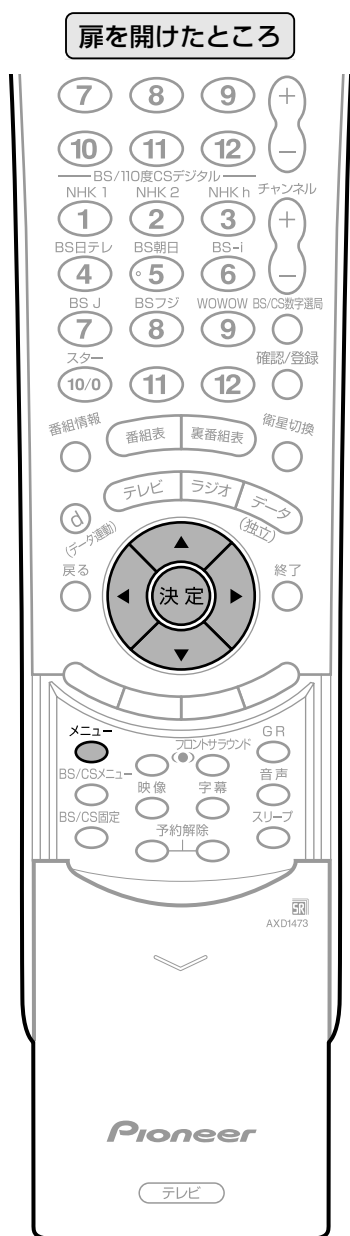
接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を▲ ▼で選び、決定を押す

「PCM」……AACに対応していない音響機器(例．MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

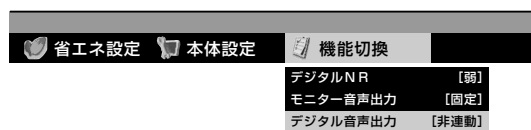
■デジタル音声出力(光)端子からの出力を、BS/CS固定と連動させるか否かを設定することができます。

「連動」……BS/CS固定した場合、BS/CS固定したBS・110度CSデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。
「非連動」…BS/CS固定した場合でも、固定後チャンネルを変えたときは、出力される音声も切り換わります。

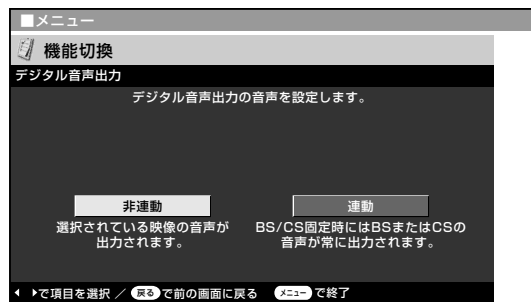
扉を開けたところ

デジタル音声出力の設定

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ

2 ▲ ▼で「デジタル音声出力」を選び、決定を押す

●デジタル音声出力設定画面が表示されます。

3 ◀ ▶で「非連動」または「連動」を選ぶ

4 メニューを押し、通常画面に戻す

コントロール接続

SR マークのあるパイオニア製の他の機器とコントロール接続すると、本機の受光部を通じてリモコンの操作ができるようになります。
コントロール入力端子を接続した機器のリモコン受光部は、リモコン信号を受けつけなくなります。
接続した他の機器のリモコンは、本機の受光部に向けて操作してください。

- 接続する前に、電源が切れていることを確認してください。
- コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませておいてください。

▼メディアレシーバー後面

コントロール
（入力/出力）端子

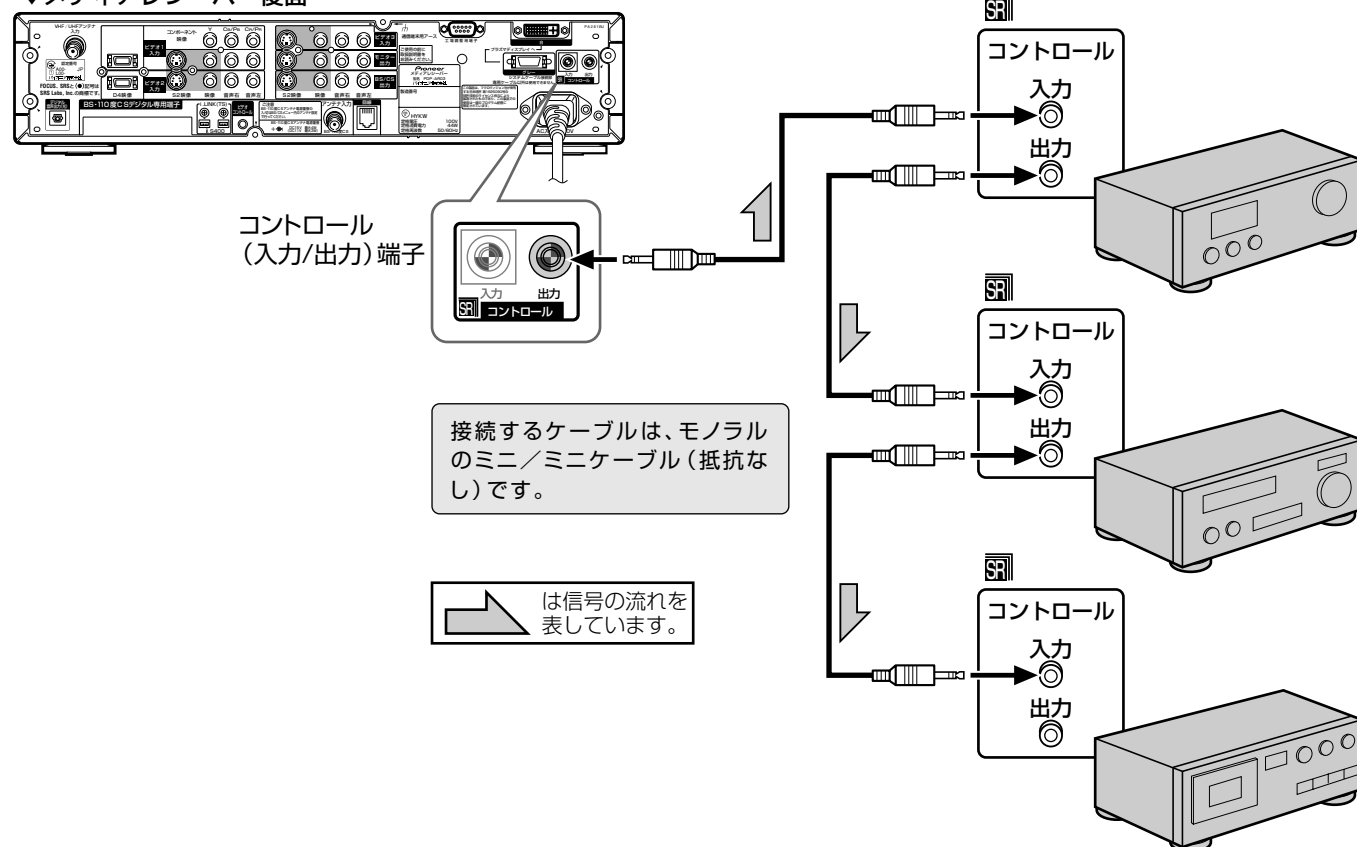
入力　出力
SR コントロール

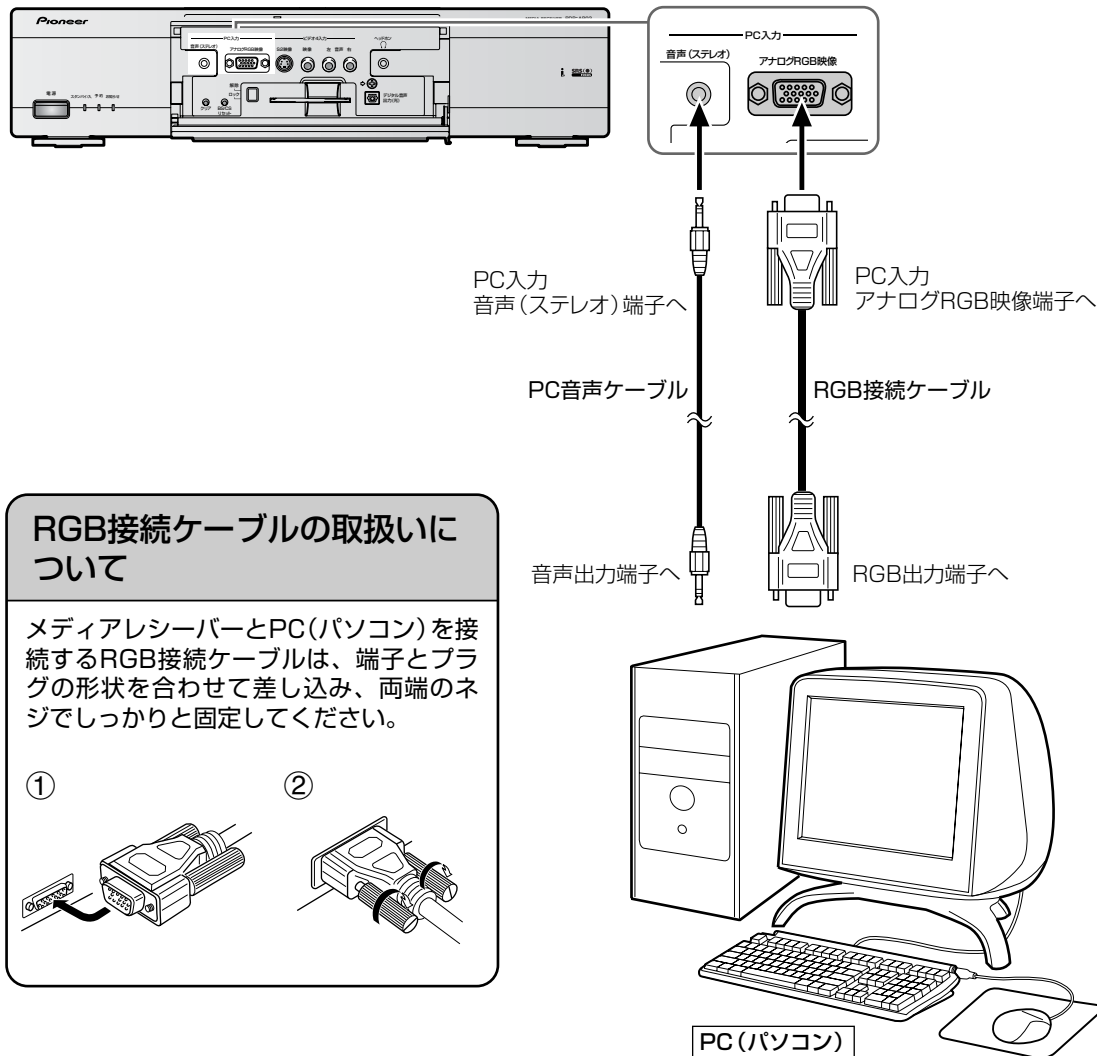
接続するケーブルは、モノラルのミニ／ミニケーブル（抵抗なし）です。

は信号の流れを表しています。

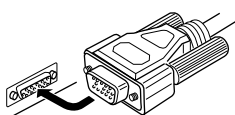
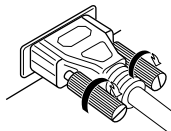
SR
コントロール
入力
出力

SR
コントロール
入力
出力

SR
コントロール
入力
出力

PC(パソコン)をつなぐ

接続のしかた

RGB接続ケーブルの取扱いについて

メディアレシーバーとPC（パソコン）を接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

① ②

PC入力対応表

画素数	垂直周波数	備　考
640×400	85Hz	
720×400	70Hz	
	85Hz	
640×480	60Hz	
	65Hz	Macintosh13"(67Hz)
	72Hz	
	75Hz	
	85Hz	
800×600	56Hz	
	60Hz	
	72Hz	

画素数	垂直周波数	備　考
800×600	75Hz	
	85Hz	
832×624	74.5Hz	Macintosh16"
1024×768	60Hz	
	70Hz	
	75Hz	Macintosh19"
	85Hz	
1280×768	60Hz	

※PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動同期調整……**206**ページ参照）
非対応信号が入力された場合は「Out of range」が表示されます。

PC入力の画面サイズの種類と切換

画面サイズを選ぶ

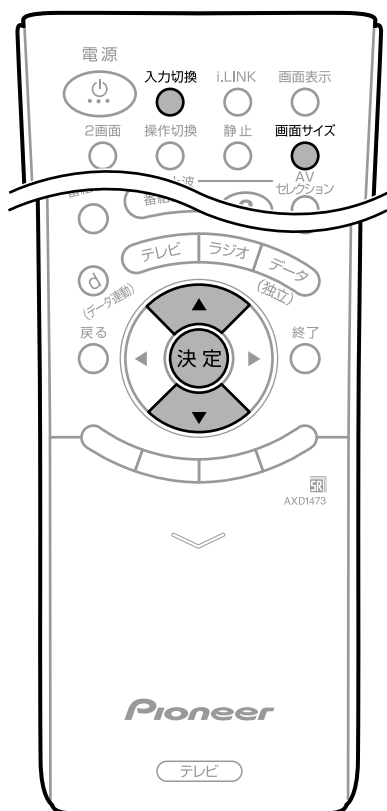
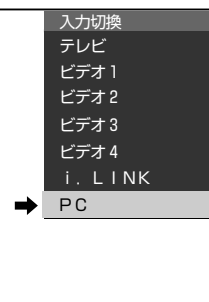
Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは
- 接続したコンピューター(PC)の入力信号の解像度を判別して、これに一致したパネル画素数で表示する機能です。(**203**ページ「PC入力対応表」参照)
- XGA(1024×768)信号入力時のDot by Dot表示は「4：3」を選ぶことにより可能です。
  (PDP-A503HDの場合)

- 縦横比16：9の映像が入力されたときの表示サイズについては、「入力解像度を選択する」(**209**ページ)をご参照ください。

扉を閉じたところ

1 入力切換 ◯ **を押す**

2 ▲ ▼ **で「PC」を選び、**(決定)**を押す**

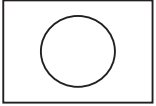
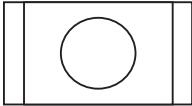
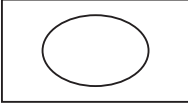
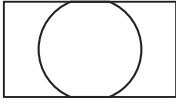
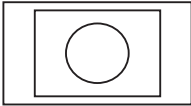
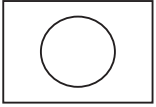
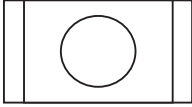
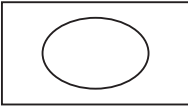
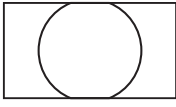
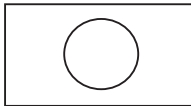
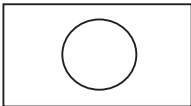
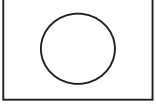
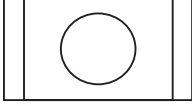
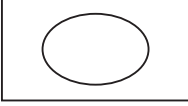
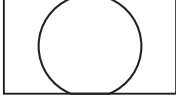
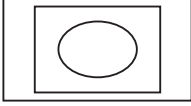
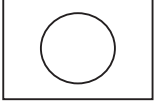
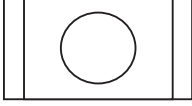
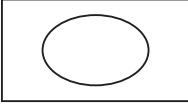
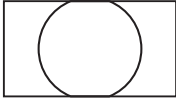
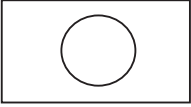
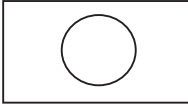
入力切換
テレビ
ビデオ１
ビデオ２
ビデオ３
ビデオ４
ｉ．ＬＩＮＫ
➡ ＰＣ

3 画面サイズ ◯ **を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

(画面表示例)

画面サイズ切換
４：３
フル
Dot by Dot
シネマ

- メニュー表示中につぎの操作を行います。

4 画面サイズ ◯ **または** ▲ ▼ **で、お好みの画面サイズを選ぶ**

(画面表示例)

画面サイズ切換
４：３
フル
Dot by Dot
シネマ

■次の画面サイズから選択できます

PDP-A503HD

	4：3	フル	シネマ	Dot by Dot
入力信号 640×400 720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。
入力信号 1024×768	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。 *1	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	
入力信号 1280×768				入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

＊1：入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

PDP-A433HD

	4：3	フル	シネマ	Dot by Dot
入力信号 640×400 720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。 *2
入力信号 1024×768	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	
入力信号 1280×768		16：9画面いっぱいに映します。		

＊2：PDP-A433HDは横長画素のため、実際の入力信号より横長に映し出されます。

PC入力の画面設定

自動同期調整で最適な画面にする

「自動同期調整」とは
- 最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

扉を開けたところ

おしらせ
- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  －動きのある映像
  －画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。(**207**ページ参照)
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。(**209**ページ参照)

1

① 入力切換 を押す

② ▲ ▼ で「PC」を選び、

決定 を押す

入力切換
テレビ
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
i．LINK
➡ PC

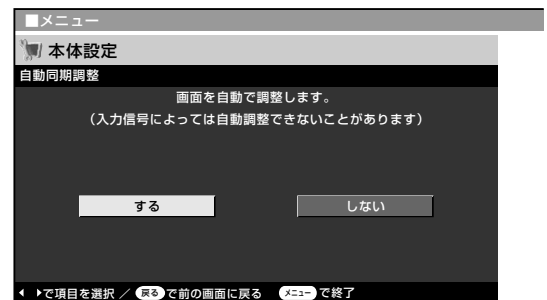
2

① メニュー を押し、PCメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「自動同期調整」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像の調整をしました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

4

メニュー を押し、通常画面に戻す

手動で最適な画面に調整する

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」…縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
  「クロック位相」…文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

扉を開けたところ

［例］画面の垂直位置を調整する

1

① 入力切換 を押す

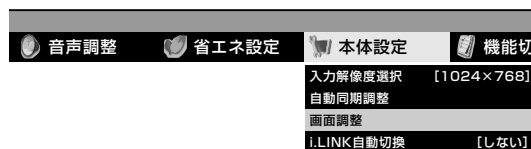
② ▲ ▼ で「PC」を選び、決定を押す

2

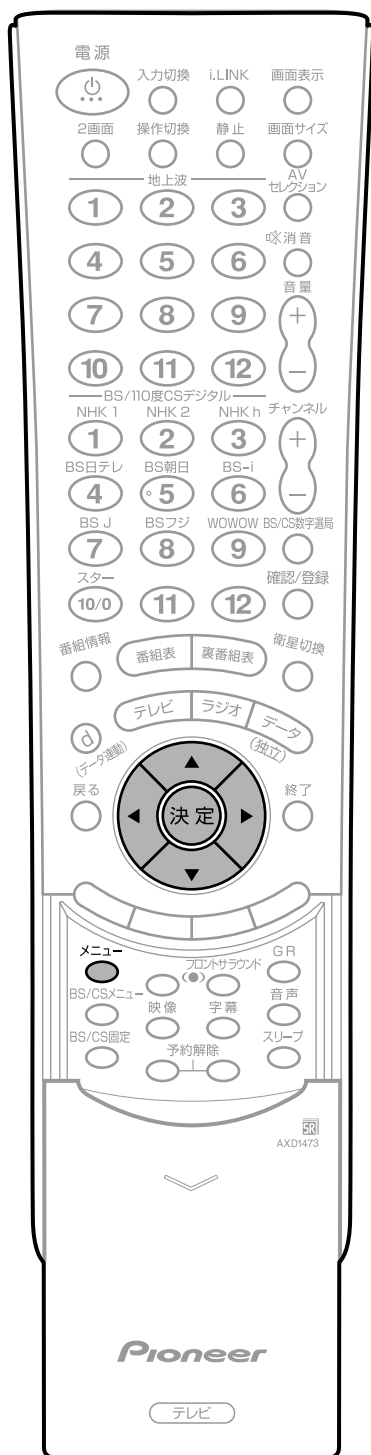
① メニュー を押し、PCメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3

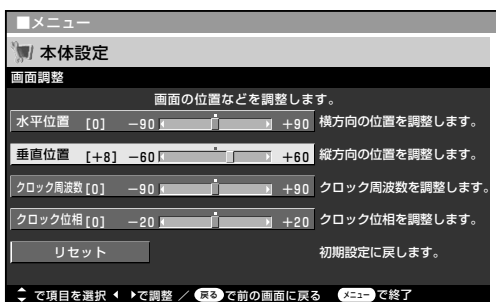
▲ ▼ で「画面調整」を選び、決定を押す

次ページへ

PC入力の画面設定(つづき)

扉を開けたところ

4

で「垂直位置」を選ぶ

5

で適切な位置に調整する

各項目の調整範囲

水平位置	−90 ～ +90
垂直位置	−60 ～ +60
クロック周波数	−90 ～ +90
クロック位相	−20 ～ +20

6

メニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

● 手順4で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

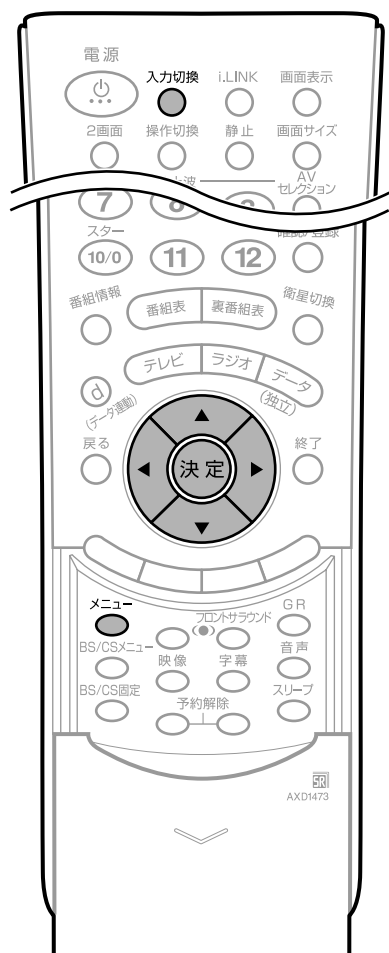
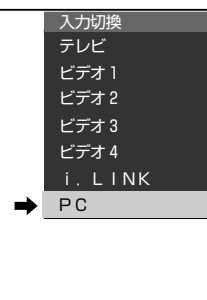
入力解像度を選択する

■PC入力時の画像表示は、自動同期調整(**206**ページ)で最良に近い状態に設定されますが、入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。

■入力された信号が下の表に掲載されている信号のとき、横に並んだ信号どうしは自動的に判別ができません。この場合は、「入力解像度選択」でどの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

640×400	720×400
640×480	848×480
1024×768	1280×768

※ この表に掲載されている信号(6種類)が入力されたときのみ、「入力解像度選択」の項目を選択することができます。

扉を開けたところ

1

① 入力切換 **を押す**

② ▲ ▼ **で「PC」を選び、**

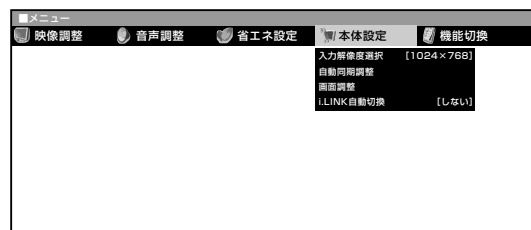
決定 **を押す**

2

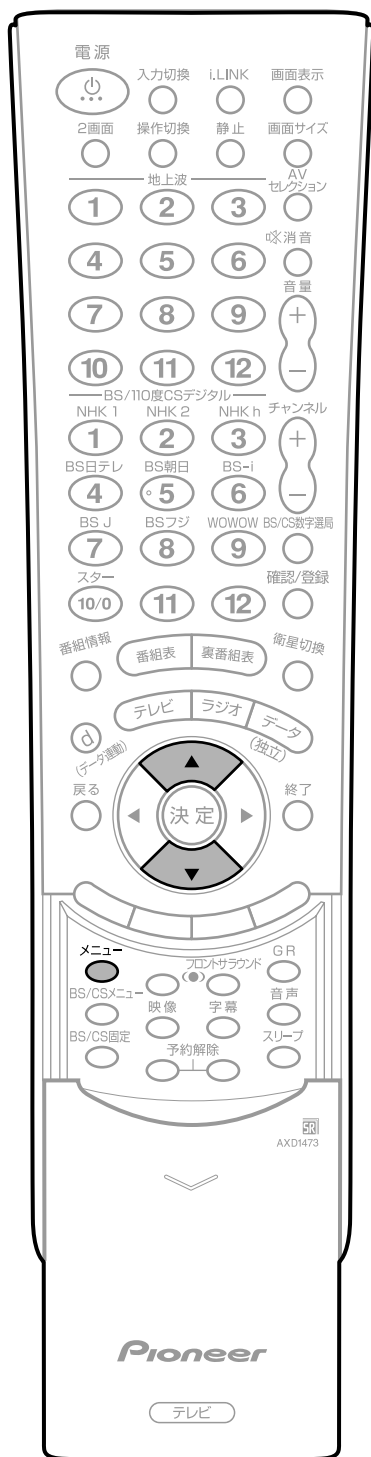
① メニュー **を押し、PCメニュー画面を表示する**

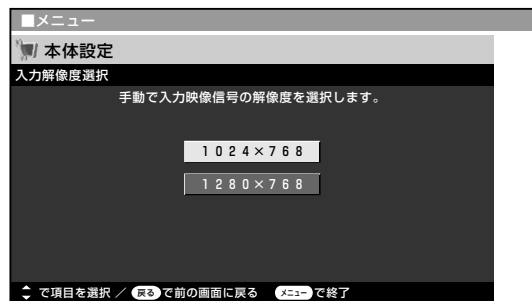
② ◀ ▶ **で「本体設定」を選ぶ**

3

▲ ▼ **で「入力解像度選択」を選び、** 決定 **を押す**

次ページへ

PC入力の画面設定(つづき)

扉を開けたところ

4 ▲ ▼ で入力解像度を選ぶ

（画面例）

5 メニュー を押し、通常画面に戻す

お知らせ

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**221**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	電源が入らない 電源が切れた	●内部回路に誤動作が生じ、保護回路が動作したと考えられます。一度、ディスプレイの電源プラグを抜き、1分以上たってから再度電源プラグを差し込み、電源を入れて下さい。	29
	画面に【E01】と表示が出て電源が切れる	●システムケーブルが抜けていませんか。又は抜けかかっていませんか。	29
	? 映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●システムケーブルが抜けていませんか。又は抜けかかっていませんか。 ●テレビ（地上放送、CATV）やBS･110度CSデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	29 34･35 29 172
	リモコンが動作しない	●電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンはディスプレイ部に向けてお使いください。	21・22
	右の音 左の音 左 右 音が左右逆になる 片方しか音が出ない	●スピーカーケーブルがきちんと接続されていますか。 ●スピーカーケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。	30
	映像は出るが 音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●モニター音声出力が「可変」に設定されていませんか。「固定」にしてください。 ●S映像･D映像･コンポーネント映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	35 35 170 187 170
	色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	84･85
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	●テレビチャンネルの微調整がズレていませんか。	53
	長時間（3時間以上）視聴していると、電源が切れてしまう	●メニューの【省エネ設定】で【無操作オフ】が【する】に設定されていませんか。	97
	電源を切ってもメディアレシーバーのファンが停止しない 電源スタンバイ状態でもファンが回っている	●電源を「切」にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、8～10秒程度かかります。 ●ディスプレイ部の電源を切っても、メディアレシーバーの内部温度*が一定以上の場合で、かつ、下記条件（BS･110度CSチューナー部が動作）の場合にファンは回ります。この症状は故障ではありません。 1. WOWOWの15日間無料視聴キャンペーンに加入した。 2. BS･110度CS予約（i-LINK予約･VTR連動予約）録画を実行している 3. 衛星ダウンロードにてデータをダウンロードしている。 4. BS/CS固定設定を「入」にした。 * 内部温度については、設置環境等により異なりますが、通常環境下で使用した場合、「BS･110度CSチューナー」が動作するとファンは動作します。	－ － 119 146 175

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
アンテナ	映像が出ない 雑音のみ出る	●アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	32·33
	画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
	映像が二重になる （ゴースト）	●近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	– 95
	色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
	雪が降っているような画面になる	●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	32·33 – –
地上波	リモコンの地上波チャンネルボタンで希望のチャンネルが選局できない	●地上波チャンネルボタン（リモコン番号）の【1】～【12】に希望のチャンネルが設定されていますか。	39
	リモコンのチャンネルボタン（＋/－）で希望のチャンネルが選局できない	●チャンネルスキップが【する】に設定されていませんか。 ●リモコン番号の【1】～【20】に希望のチャンネルが設定されていますか。	49 39
BS・110度CSデジタル放送関係	映像も音声も出ない BS/CS メニューも 出ない	●BS/CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●アンテナケーブルが外れていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。 ●強い外来ノイズ（静電気、または落雷などによる電源電圧の異常など）を受けた場合などに発生することがあります。	150 33 – 172 –
	画面に四角のノイズ （モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナはBS·110度CSデジタル放送対応のものを使用していますか。 ●アンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 150 – 33 33
	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	59 60·61 56·62
	BS デジタル放送が受信できない	●衛星切換が110度CSデジタル放送になっていませんか。	103
	110度 CS デジタル放送が受信できない	●ブースターや分配器等がCSデジタル対応でないものを使用していませんか。 ●衛星切換がBSデジタル放送になっていませんか。	33 103
	画面にノイズが出る	●VHF/UHFのアンテナケーブルがBS/CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–

故障かな？と思ったら(つづき)

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BS・110度CSデジタル放送関係	BS・110度CSデジタル放送受信で、動きの速い映像にて細かなブロック状のノイズが出る	●映像（コンテンツ）の情報量過多により、放送機材（エンコーダー）の処理能力を超えた時に、発生します。	ー
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	60･61 150
	電子番組表(EPG)が表示されない 電子番組表(EPG)に表示されない番組がある	●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	ー
	音声が途切れる	●雪や雨で、天候が悪くありませんか。	ー
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。	176 177
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	122
その他	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	ー 188 188

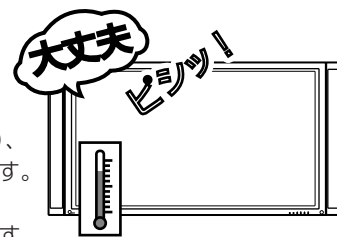
■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはディスプレイの主電源スイッチで電源を「切」にし、ディスプレイ、メディアレシーバー両方の電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

■ つぎのエラーコードが画面に表示されている場合は、それぞれの対処法を実施してください。それでもエラーコードの表示が消えないときは、お買い求めになった販売店にご相談ください。

エラーコード	意　味	対　処　法	ページ
E01	システムケーブルが正しく接続されていません。	・システムケーブルを正しく接続しなおしてください。	29
E04	本機内部の温度が異常に高くなっています。	・本機を、熱を受けない場所、内部に熱がこもらない風通しのよい場所に移動してください。	ー
E06	内部信号または回路の動作が異常です。	・ディスプレイの主電源ボタンで電源を一度切り、再び電源を「入」にしてください。	34

BS・110度CSデジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。	****	B-CASカードを正しく挿入し、ロックスイッチをロックしてください。	59
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	59
このカードは使用できません。 正しい IC カードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	59
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	33・149
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	33
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	56・59

BS・110度CSデジタル放送の注意文など(つづき)

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ(つづき)

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、BS/CSメニューの通信設定を正しく行ってください。	**56・62**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■i.LINKに関する注意文

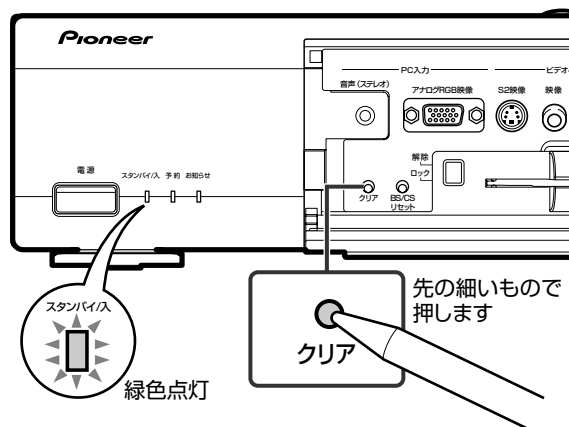
注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**189**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

クリアボタンについて

クリアボタン

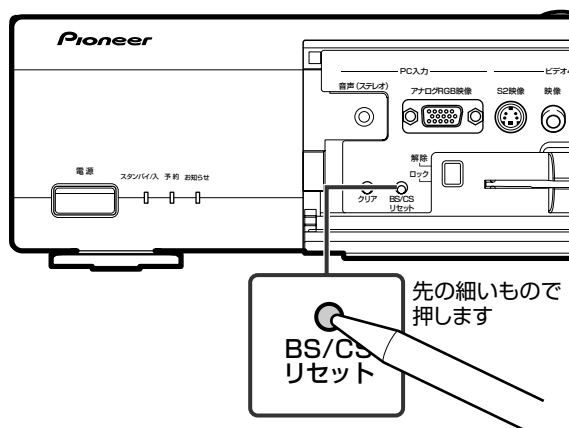
■複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とBS/CSメニューでの設定項目以外を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

■本機が動作している状態のとき(電源ランプが緑色点灯中)にメディアレシーバー前面扉内のクリアボタンを1秒以上押しつづけてください。画面に「**初期設定に戻しています**」と表示されますので、その表示が消えるまでお待ちください。操作の終了後は、テレビの1チャンネル(リモコンの地上波チャンネルボタン「1」を押したときのチャンネル)になります。

▼メディアレシーバー前面扉内

BS/CSリセットボタン

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、メディアレシーバー前面扉内のBS/CSリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

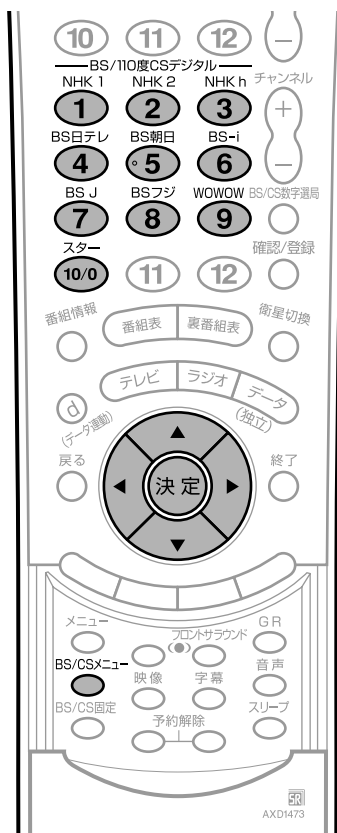
- **リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。**

▼メディアレシーバー前面扉内

BS・110度CSデジタル放送の周波数設定について

周波数の設定

■衛星の不慮の事故等で、新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2

① ▲ ▼ で「周波数設定」を選び、決定を押す

② BS/110度CSチャンネルボタン(0〜10/0)で周波数を入力し 決定 を押す

※周波数は例です。

メニュー項目一覧

テレビ・ビデオ用メニュー項目一覧

映像調整

項目	設定
映像	0～+40
明るさ	−30～0～+30
色の濃さ	−30～0～+30
色あい	−30～0～+30
画質	−10～0～+10
プロ設定	→
リセット	する、しない

プロ設定 →

項目	設定
カラーマネージメント	→
色温度	高、高−中、中、中−低、低
黒伸張	しない、強、弱
3次元設定	標準、動画より、静止画より
モノクロ	する、しない
ピュアシネマ	する、しない

カラーマネージメント →

項目	設定
R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

音声調整

項目	設定
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左30～中央～右30
サラウンド設定	切、SRS、FOCUS，FOCUS+SRS
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
消費電力	標準、省エネ
無信号オフ	する、しない
無操作オフ	する、しない

本体設定

項目
チャンネル設定 ※1
入力表示選択 ※2
位置調整
オートワイド
i.LINK自動切換

チャンネル設定 ※1 →

項目	設定
自動	する、しない
地域番号	する、しない
個別	する → / しない

個別 → する →

項目	設定
リモコン番号	1～20、C13～C63
受信チャンネル	1～62、C13～C63
チャンネル表示	0～99、C13～C63
受信微調整	−64～0～+63
GR設定	入、切
GR速度	標準、速い
スキップ	する、しない

入力表示選択 ※2 →

※3 ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント
D端子1、D端子2、D端子、入力1、入力2、入力3、入力4
CATV、CS、DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、DVR

位置調整 →

項目	設定
水平位置	−10～0～+10
垂直位置	−30～0～+30
リセット	

オートワイド →

項目	設定
S2対応 ※2	する、しない
EDTVII対応	する、しない
D識別対応 ※4	信号、端子

i.LINK自動切換 → する、しない

機能切換

項目	設定
入力選択 ※2	※3 自動、D端子、コンポーネント、S映像、ビデオ映像
デジタルNR	しない、強、弱
モニター音声出力	固定、可変
デジタル音声出力	非連動、連動

※1 テレビ入力時のみ表示されます。
※2 ビデオ入力時のみ表示されます。
※3 選択されているビデオ入力により、表示項目が異なります。
※4 ビデオ1・2入力時のみ表示されます。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

メニュー項目一覧(つづき)

PC用メニュー項目一覧

映像調整

項目	設定
映像	0～+40
明るさ	−30～0～+30
赤	−30～0～+30
緑	−30～0～+30
青	−30～0～+30
カラーマネージメント	→ R / Y / G / C / B / M / リセット
リセット	する、しない

カラーマネージメント

項目	設定
R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

音声調整

項目	設定
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左30～中央～右30
サラウンド設定	切、SRS、FOCUS，FOCUS+SRS
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
消費電力	標準、省エネ
パワーマネージメント	しない、モード1、モード2

本体設定

項目	設定
入力解像度選択 ※1	※2 640×400、720×400、640×480、840×480 1024×768、1280×768
自動同期調整	する、しない
画面調整	→ 水平位置 / 垂直位置 / クロック周波数 / クロック位相 / リセット
i.LINK自動切換	する、しない

画面調整

項目	設定
水平位置	−90～0～+90
垂直位置	−60～0～+60
クロック周波数	−90～0～+90
クロック位相	−20～0～+20
リセット	

機能切換

項目	設定
モニター音声出力	固定、可変
デジタル音声出力	非連動、連動

※1 入力信号の種類によっては表示されません。
※2 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書について（別途添付してあります）

ご購入時に、保証書にお買い上げの店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。
保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したとき、あるいは誤った使用法で使用し故障した場合は、保証期間中であっても有料となりますのでご注意ください。
また、本機を分解しますと、保証が無効になります。
本機の保証期間は、お買い上げ後１年間となっています。（ただし、プラズマディスプレイパネルのみは２年間です。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（**212**ページ）を見て、もう一度接続や操作に間違いはないか確認してください。
また、異常のあるときは使用を中止してください。必ず電源コードを抜いてから、販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご連絡ください（付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください）。

連絡していただきたい内容

1. 型名、型番
2. 故障の内容「映像も音声も出ない」など
3. お買い上げ年月日「○○年○月○日」
4. お名前、住所、連絡先電話番号
5. ご希望訪問日
6. ご自宅までの道順と目標物（建物、公園など）

保証期間中は

修理を依頼するときは、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定によって、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

部品の保有期間は

プラズマディスプレイシステムの補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は、パイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。所在地、電話番号は、付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。
テレビの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。
近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

●長年ご使用のプラズマディスプレイシステムの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

おもな仕様

型番			PDP-A503HD	PDP-A433HD-U/PDP-A433HD-S
型名			プラズマディスプレイシステム	
受信チャンネル			VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／ CATV C13～C63チャンネル／BSデジタル000～999チャンネル	
ディスプレイパネル （画面寸法）			50V型AC方式プラズマパネル （幅109.8cm、高さ62.1cm、対角126.1cm）	43V型AC方式プラズマパネル （幅95.2cm、高さ53.6cm、対角109.3cm）
画素数			1280×768	1024×768
アンテナ入力			VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型（C15型）	
音声出力			12W＋12W（1kHz、10%、8Ω）	
スピーカー			低音用（ウーファー）：長円コーン形、高音用（トゥイーター）：2.5cmドーム形	
定格電圧			AC100V	
定格周波数			50/60Hz	
消費電力			385W リモコン待機時 BS固定「切」時1.1W、BS固定「入」時25W	334W リモコン待機時 BS固定「切」時1.1W、BS固定「入」時25W
年間消費電力量			516kWh／年	489kWh／年
入出力端子	ビデオ入力端子		映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負 音声：0.5Vrms、22kΩ以上	
	S2映像入力端子		輝度信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負、色信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω	
	コンポーネント映像入力端子		映像Y：1.0Vp-p、75Ω、同期負、 C_B/C_R（P_B/P_R）：0.7Vp-p（カラー100%）、75Ω	
	D4映像入力端子			
	モニター出力端子		映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負　音声：0.5Vrms（モニター出力端子）／0.5Vrms（BSデジタル出力端子、フルスケール-12dB信号入力時）、2.2kΩ以下	
	BSデジタル出力端子			
	S2映像出力端子		輝度信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負、色信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω	
	BSデジタル音声出力（光）端子		2系統	
	ビデオコントロール端子		1系統	
	i.LINK（TS）端子		2系統	
	PC入力 アナログRGB映像端子		1系統	
	PC入力 音声（ステレオ）端子		1系統	
	ヘッドホン端子		ステレオミニジャック、32Ω	
	電話回線端子		モジュラー式　V.22bis（2400bps）	
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調		時分割多重mPSK	
	トランスポート		MPEG2システム	
	映像		MPEG2（MP@HL）	
	音声		MPEG2 AAC	
	限定受信システム		ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域		11.71GHz～12.75GHz（右円偏波）	
	IRD受信周波数帯域		1032MHz～2071MHz	
外形寸法	ディスプレイ部	スピーカー取付時	幅1368mm、奥行101mm、高さ714mm	幅1070mm、奥行108mm、高さ708mm（PDP-A433HD-U） 幅1220mm、奥行101mm、高さ630mm（PDP-A433HD-S）
		スピーカー取外時	幅1218mm、奥行98mm、高さ714mm	幅1070mm、奥行98mm、高さ630mm
	メディアレシーバー部		幅420mm、奥行253.2mm、高さ98mm	
質量	ディスプレイ部	スピーカー取付時	42.3kg	34.2kg（PDP-A433HD-U）/34.7kg（PDP-A433HD-S）
		スピーカー取外時	38.9kg	31.5kg
	メディアレシーバー部		5.8kg	

■年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（約4.5時間／日）を基準に算出した1年間に使用する電力量です。

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

付属品	メディアレシーバー部	ディスプレイ部	スピーカー部
	リモコン×1、簡単リモコン×1、単4乾電池×4、システムケーブル×1、電源コード（3ピン）×1、AC変換プラグ×1、縦置用スタンド×1、縦置スタンド固定用ネジ×2、シール（長丸）×4、アンテナケーブル×1、ビデオコントローラー×1、モジュラー分配器×1、電話線×1、BS・110度CS用品一式、取扱説明書	電源コード（3ピン）×1 AC変換プラグ×1 ワイピングクロス×1 スピードクランプ×3 ビーズバンド×3 保証書 ユーザー登録用紙 ご相談窓口・修理窓口のご案内 故障かな？と思ったら	取付金具×4 取付ネジ類×8 取付工具（六角レンチ）×1 スピーカーケーブル×2 （PDP-A433HD-Uのスピーカー付属品については、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。）

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

用語の解説 （よく使われるテレビ用語です）

■ 16：9
BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（→ MPEG2 AAC）

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS・110度CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS(アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送(BSラジオ)、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ 110 度 CS デジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム(運営会社)によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）

BS・110度CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）

MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

用語の解説（つづき）

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlace)を表します。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ お知らせ
BS・110度CSデジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送
BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ ワイドクリアビジョン放送
地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

索引

索引（つづき）

●ナ行

●ハ行

●マ行

●ヤ行

●ラ行

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口：**0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口：**0070-800-8181-33**

ファックス：**03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81095**

一般電話：**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話：**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話：**098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	
ご購入年月日	年　月　日		

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

TINS-A474WJZZ